

第 14 回

教育用コンピュータ等に関するアンケート調査

報告書

令和 6 年 6 月



一般社団法人 日本教育情報化振興会

URL: <https://www.japet.or.jp/>

This page is intentionally left blank

はじめに

一般社団法人日本教育情報化振興会会長

山西 潤一（やまにし じゅんいち）

日本教育情報化振興会が実施している、教育の情報化に関わるアンケート調査の結果を、皆様にお届けできることを大変嬉しく思います。この調査は、教育の情報化に関わる企業・団体の集まりである当会の特色を生かし、現場目線で教育委員会・学校における教育の情報化の実態や意識を把握し、その結果を皆さんで共有することで、望ましい教育の情報化を進めようと 20 年以上前から隔年で実施してきたものです。全国市区町村の 1,741 自治体教育委員会から回答のあった約 450 の教育委員会、小学校については児童数が 80 以上 800 未満、中学校については生徒数 140 以上 700 未満を対象とし、結果として小・中学校 5,344 校から回答のあった約 2,000 校のデータをもとに、実情や課題を分析いたしました。

文部科学省の学校の ICT 環境整備の基本方針では、「円滑なクラウド活用を前提とした 1 人 1 台端末をはじめとする学校の ICT 環境は、これまで通りの指導や学習を単に効率化するための付加的な整備ではなく、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る上で必要不可欠な学習基盤」とされています。GIGA スクール構想が推進されてきて 4 年が経過しました。クラウド環境のもと日常的利活用で、児童生徒が自らの学びや協働的な学びに生き活きと取り組む学校、端末の持ち帰りで家庭での学びや保護者との連携を進める地域など、新たな教育に積極的に取り組む学校や地域がある一方、ネットワーク環境整備やクラウド活用が進まない地域・学校など、地域間格差、学校間格差が見えてきています。

NEXT GIGA で、1 人 1 台端末利活用、教科横断型の探究・STEAM 学習、校務 DX 等のさらなる推進はもとより、自治体にあってはそれらの活動を支えるネットワーク環境の充実と次期端末更新の計画を進める段階になってきています。国も GIGA スクール構想第 2 期に向けて、端末の計画的更新を容易にする GIGA スクール構想加速化基金の設立や教育データの利活用や校務 DX 推進のための学習系・校務系を一体としたクラウド活用の推進を加速する計画です。

GIGA スクール構想がめざす個別最適な学びや協働的な学びを確実にすすめるためにも、今後一層の環境整備の充実と、学校はもとより家庭も含めた日常的利活用が求められます。いつでもどこでも誰とでも学び協働できる時代、学習を支援する有用な教材コンテンツがネットに溢れる時代です。日常的利活用があればこそ、情報モラルやセキュリティに対する感覚、情報の真偽を見抜く目も高められます。GIGA スクール構想の目的を今一度考え、次代を担う児童生徒のための新たな教育への変革を皆さんで進めたいものです。

最後に、お忙しい中、アンケートにご回答いただいた教育委員会、学校の皆さんに心から感謝申し上げますとともに、本報告書が教育変革への一助となれば幸いです。

令和 6 年 5 月

目次

第Ⅰ部 調査概要編	1
調査の概要	2
1. 調査目的	2
2. 調査計画	3
3. 回答状況	5
4. 調査内容	6
5. 調査結果の分析及び課題	6
第Ⅱ部 教育委員会編	10
1 全国の自治体教育委員会の調査結果	11
1-0 プロフィール	11
1-1 ネットワーク及び ICT 環境整備に関する項目	12
1-2 ハードウェアに関する項目	20
1-3 ソフトウェアに関する項目	38
1-4 保守サポートに関する項目	51
1-5 予算に関する項目	56
1-6 情報セキュリティに関する項目	59
1-7 教育の情報化に対する意識に関する項目	67
第Ⅲ部 学校編	72
2 全体的傾向（小中学校別の集計）	73
2-0 回答者プロフィール	73
2-1 ネットワーク及び学習記録に関する項目	75
2-2 ハードウェアに関する項目	78
2-3 ソフトウェアに関する項目	90
2-4 保守サポートに関する項目	99
2-5 教育の情報化に対する意識に関する項目	101
3 先進地域／一般地域別の集計比較	110
3-1 ネットワーク及び学習記録に関する項目	110
3-2 ハードウェアに関する項目	111
3-3 ソフトウェアに関する項目	119
3-4 保守サポートに関する項目	128
3-5 教育の情報化に対する意識に関する項目	129
あとがき	132

第Ⅰ部 調査概要編

調査概要編は、今回の調査の概要について整理しまとめた要約編である。本編は、次の5つの項目で構成している。

- 1 調査目的
- 2 調査計画
- 3 回答状況
- 4 調査内容
- 5 調査結果の分析および課題

調査の概要

一般社団法人日本教育情報化振興会の国内調査部会では、これまで20年以上にわたり、全国自治体の教育委員会および公立小中学校に対して、隔年で大規模なアンケート調査を実施してきた。主な調査内容は、ICT環境整備状況、ICT活用状況、ICT推進体制・サポート体制、ICT関連予算の実態、ICT活用に関する意識についてなど、多岐にわたっている。近年は、「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」が短期間で改訂され、GIGAスクール構想で学校のICT環境は大きく変化している。また、文部科学省内にDX関係の部署が設置され、デジタル庁も教育分野に関わるなど行政機関の新しい動きに加え、クラウドやAIの活用と教育現場に求められることも増えている。

教育委員会や、学校の変化を知るうえで本調査の重要性が増している。今回の本調査はGIGAスクール構想の整備後、活用状況や周辺機器、学習者用デジタル教科書などの普及を確認するには貴重な資料になるものと考えられる。

本調査に近いものとして、文部科学省による「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」が、国内の全学校を対象とする悉皆調査として毎年実施されている。この文部科学省による調査は、統計法に基づいた政府統計の一つとして、調査体制や調査項目の規定に従っており、信頼度も高く、経年の変化を知るうえで基本的な情報が得られる貴重なものである。当会の調査は文部科学省の調査対象とならないような、最新の整備動向やICT環境の活用状況に加え、導入されている学習者用デジタル教科書の教科や情報化に対する意識など独自の項目を有するものである。これまでに、当調査の報告内容が、文部科学省をはじめとする各種機関や団体の資料・文献に引用されてきた実績を持っている。

この調査で提供するデータは、技術の変化や教育の変化に応じた観点から、学校における教育の情報化の実態と進展状況をとらえたものであり、教育委員会等の内部で具体的な整備計画や対応策を立案するために役立てる資料としても、重要なデータとなっている。

近年、学校教員の負担の大きな要因の一つとして、学校外からの様々な調査に対応する負担が挙げられており、働き方改革が進められている。当会としても、この点については早くから意識し、学校現場には、あくまで任意でのご協力をお願いするものである点を依頼状に明記強調するとともに、実施は2年に1回とし、調査対象もできるだけ全国的な傾向が分かるように絞り込んで行っている。また、回答フォーマットや回答の受取方法についても、できるだけ学校の負担が大きくなるように、学校の実態に即して行っており、設問数も精選し過去の設問数より削減している。

1. 調査目的

本調査は、以下の3つを目的としている。

- ① 教育の情報化に関わる企業・団体の集まりである当会の特色を生かし、現場目線での教育委員会・学校における教育の情報化の実態や意識を把握すること。
- ② 調査結果を国や自治体への政策提案に反映するとともに、教育の情報化の進展に向けた提言として活用すること。
- ③ ICT環境整備に関する教育委員会の施策状況等を調査することで、当会の会員企業の教育ビジネスに役立つ情報を収集し提供すること。

2. 調査計画

(1) 調査対象

全国自治体の教育委員会の情報教育担当及び全国の公立小中学校の情報担当教諭

(2) 調査地域

全国自治体の教育委員会及び全国の公立小中学校

(3) 標本調査

- ① 全国市区町村の 1,741 自治体教育委員会すべて。(全数対象調査)
- ② 全国公立小中学校のリストから、一定規模の児童・生徒数※を有する範囲の学校を選出。

※小学校・中学校の調査にあたっては、学校の規模（児童・生徒数）を基準にして調査対象範囲を決定している。本調査の設問は、1 学年が複数の学級から構成されるような規模の学校を想定した調査となっており、複式学級となるような小規模校は調査対象から外すことにしている。また、1 学年の児童・生徒数があまりにも大きい学校についても、調査対象としてはやや特殊な状況にあることが推察される点や、回収結果が平均的な学校規模から大きく変わってしまう可能性を考慮し、対象から外すこととした。今回の調査では、小学校については児童数が 80 以上 800 未満、中学校については生徒数 140 以上 700 未満を対象とし、結果としては、小学校 3,745 校、中学校 1,599 校の合計 5,344 校を標本として選択した（図 1）。この作業には、学校の住所と児童・生徒数が記載されている市販の住所録を使用した。なお、学校の分割・統合・廃校・新設などもあるため、得られた結果のデータは、必ずしも意図された範囲の中に収まらないものも存在した。

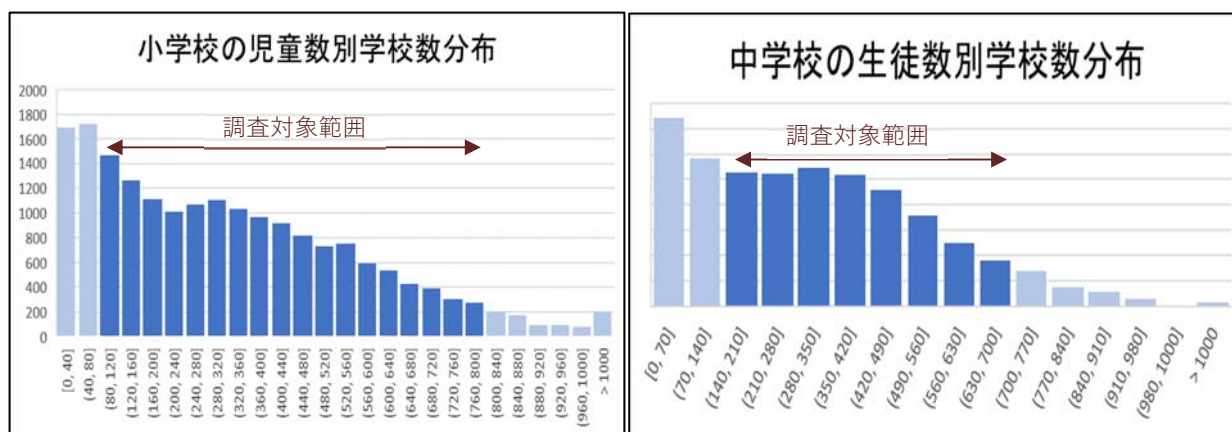


図 1 全国の小学校・中学校の児童・生徒数別の学校数分布と今回の調査範囲

(4) 調査時期

令和 5 年 8 月～9 月

(5) 調査方法

アンケートの実施は、以下のような手順によって行った。

- ①調査対象（教育委員会・学校）への回答依頼状の送付
- ②依頼状に記載された URL から回答フォーム（Google フォーム）への入力（図 2）
- ③回答の集計と分析

上記のうち②が調査対象者の作業となる。この作業は、学校及び教育委員会の情報担当者に実施いただくことを想定し、極力担当される方の作業負担が大きくなるように、以下の点に留意した。

- ・質問項目を厳選し、可能な限り項目数を増やさないようにした。
- ・回答結果をメールで返信し回答内容を確認できるようにした。同時に回答修正用のリンクを返信し、回答の修正や回答を途中まで入力し再開することを可能とした。

第14回 学校アンケート

平素より一般社団法人日本教育情報化振興会（JAPET&CEC）の事業活動に多大なご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

本会は、日本のより良い学校教育の実現に向けて、教育の情報化を進めている団体です。これまでに皆様のご協力をいただき、隔年で通算13回にわたって学校教育の情報化の状況を調査し、その調査結果を国への政策提言・予算獲得や教育ICT関連製品の改善に反映してまいりました。

この度は、最新の教育の情報化の進捗状況を調査いたしたく、下記の要領でアンケートをお願いする次第でございます。ご多忙の折、大変お手数をおかけいたしますが、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

令和5年8月 一般社団法人 日本教育情報化振興会

mikihiwa@gmail.com アカウントを切り替える

* 必須の質問です

メールアドレス *

メールアドレス

次へ 1/8 ページ フォームをクリア

Google フォームでパスワードを記憶しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。不正行為の報告・利用規約・プライバシーポリシー

Google フォーム

第14回 学校アンケート

mikihiwa@gmail.com アカウントを切り替える

2-1 ネットワーク及び学習記録に関する項目

2-1-1 ネットワークの利用について感じていることについて伺います。
(いくつでも)

☐ ①ネットワーク(インターネット)が不安定で、利用に支障が生じる

☐ ②ネットワーク(インターネット)の速度が遅い

☐ ③セキュリティが厳しく、利用に支障が生じる(フィルタリングによるアクセス制限等)

☐ ④セキュリティの設定が緩く、不安を感じる

☐ ⑤端末起動・ログインの際に支障が生じる

☐ ⑥動画やデジタル教科書等を使用する際に支障が生じる

☐ ⑦校内で繋がりにくい場所・時間(繋がらない)がある

☐ ⑧課題を感じていない

2-1-2 電子化された学習記録の活用について、既に利用しているものをすべて選択してください。
(いくつでも)

☐ ①評定等児童・生徒の評価

図 2 回答フォームの例

いくつかの自治体ではセキュリティポリシーにより Google フォームなどの Web からのデータ入力を禁止する設定がなされていたため、質問一覧（エクセル）に対し回答を記入し返信いただいた。

3. 回答状況

回答状況は、教育委員会の回答率 26.1%、学校の回答率 36.4%と良好な数値結果となった（表 1・図 3）。学校は Web での回答とした前回調査で回答率が大きく伸び、今回もそれを維持しているが、教育委員会は学校のように回答率が伸びていない。Web での回答とはいえ、回答前に上席確認などの手順を取る必要があるなど、手間がそれほど軽減されていないことが考えられる。

表 1 過去の回答状況

		第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回
		2005	2007	2009	2011	2013	2015	2017	2019	2021	2023
教育委員会	回答数	246	218	176	183	146	298	614	419	463	455
	回答率	61.5%	54.5%	44.0%	10.5%	36.5%	17.1%	35.3%	24.1%	26.6%	26.1%
	発信数	400	400	400	1,743	400	1,740	1,738	1,741	1,741	1,741
小中学校	回答数	1,375	900	860	2,988	983	780	1,815	1,281	1,832	1,945
	回答率	34.4%	30.0%	28.7%	11.3%	23.4%	13.0%	34.6%	24.4%	34.9%	36.4%
	発信数	4,000	3,000	3,000	26,442	4,200	6,000	5,250	5,244	5,250	5,344

※第13回より Web での回答

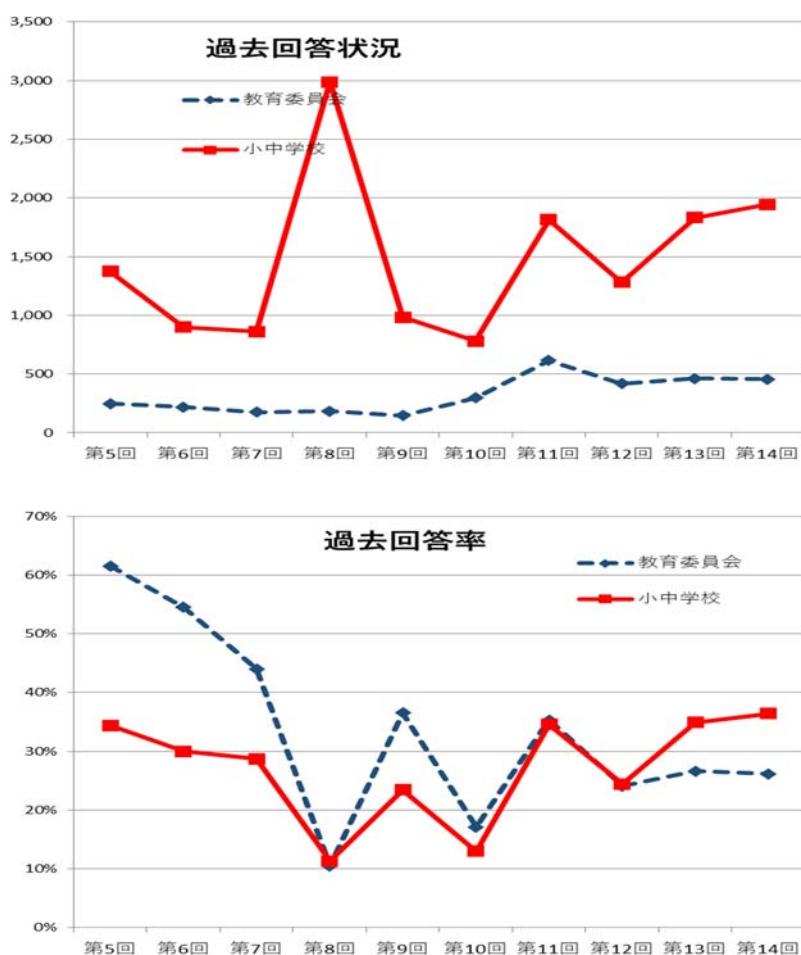


図 3 過去の回答状況・回答率

4. 調査内容

今回の設問の項目数を、以下の表2に示す。

表2 教育委員会及び学校への調査のカテゴリ別設問項目数

(教育委員会)		(学校)	
設問カテゴリ	項目数	設問カテゴリ	項目数
回答者プロフィール	18	回答者プロフィール	12
ネットワーク及びICT環境整備に関する項目	11	ネットワーク及び学習記録に関する項目	3
ハードウェアに関する項目	15	ハードウェアに関する項目	19
ソフトウェアに関する項目	14	ソフトウェアに関する項目	16
保守サポートに関する項目	6	保守サポートに関する項目	2
予算に関する項目	3	教育の情報化に対する意識に関する項目	16
情報セキュリティに関する項目	13	合計	68
教育の情報化に対する意識に関する項目	7		
合計	87		

5. 調査結果の分析及び課題

(1) ネットワーク環境の整備状況

【特徴】

自治体規模で大きな差があるが、校務データ・学習用データを保存するサーバは、外部のデータセンターやクラウドサービスを利用しているところが前回調査に比べて大きく増えている。その内訳は、校務データは民間事業者等のデータセンター、学習用データは民間のクラウドサービスの利用が多い結果となっている。

【課題】

ネットワーク整備に関して課題と感じた点は、予算の確保、ネットワーク等の技術的な知識等多岐にわたっており、教育委員会の苦勞が見て取れる。無線LANの整備にあたっては教育委員会としては事前調査や接続テストを十分に実施したとしている所が多いが、学校では繋がらないところがあるなどネットワークに満足していない。

校務データの保存場所に関しては、自治体規模で大きな差が出ており、町・村で6割ほどが学校内のサーバで保存している。セキュリティの観点からも外部のデータセンターやクラウドサービスの利用の検討が必要である。

(2) ハードウェアの整備状況

【特徴】

GIGAスクール構想の進展に伴う学校のICT環境の急速な変化に注目し、質問項目を選定した。1人1台環境の定着に伴い端末の整備後に追加整備したものについて、大型提示装置、デジタル教材コンテンツ、ICT支援員やヘルプデスクが高い比率を示している。またコンピュータ教室について、継続、廃止、転用、と判断が分かれている小中学校別の現在の状態も興味深い。

学校での1人1台端末の運用方法では、利用する授業のみ充電保管庫から出して利用するが半数を超えており、教員の指示により利用しているケースが多いとかがえる。端末の持ち帰りについては前回

より多いが 60%程度に留まる。

端末の利用について、持ち帰り以外にも自宅での使用状況、自宅ネットワークへの接続や他端末でのアカウント利用の可否など、1人1台環境ならではの質問を踏み込んで行った。端末整備に伴う周辺環境への影響についても計れるようにした。

【課題】

教員の指導者用端末の整備は前回から大幅に改善した。学校向けの調査では、教員用として個人専用のものが整備されている学校は小学校で 86.6%、中学校で 80.0%と向上した。ただ校務用端末と兼用している学校は小学校で 15.0%、中学校で 21.9%あり、もう一段の台数整備が望まれる。さらに懸念されるのは、私物端末の利用が全体で 34.2%あり、指導者用端末の整備が進んでもこの比率は下がらない。何らかの対策が必要となっている。

(3) 統合型校務支援システムと学習用ソフトウェア・コンテンツの導入状況

【特徴】

統合型校務支援システムの導入について、既に導入している自治体は全体で 73.6%と、前回調査の 63.9%、前々回調査の 41.6%と比較して、確実に導入が進んでいる様子が見える。

学習者用デジタル教科書の導入について、「学習者用デジタル教科書普及促進事業」とは別で自治体内すべての学校に導入されているのは、全体で小学校が 15.6%、中学校は 13.0%となっている。自治体予算による導入はまだまだ進んでいないのが現状である。

【課題】

1人1台端末を活用するために、必要だと思うアプリ・ツールは、「デジタルドリル」が 81.3%、「指導者用デジタル教科書」が 74.1%、「学習者用デジタル教科書」が 72.7%、「協働学習支援ツール」が 65.9%となっている。一方、すでに導入しているアプリ・ツールを見ると、「デジタルドリル」が 70.3%、「指導者用デジタル教科書」が 51.0%、「学習者用デジタル教科書」が 26.6%、「協働学習支援ツール」が 53.2%となっている。とくに学習者用デジタル教科書は低い結果となっており、現場のニーズに対応した予算措置が望まれる。

(4) 保守・サポート体制

【特徴】

ICT 支援員の整備に関しては、各学校への配置は前回調査から変わらず少ない。4校に1人程度以上配置しているところは 32.9%と前回調査の 22.5%から改善がみられる。それに対し、ICT 支援員を配置していない自治体は全体で 22.0%となっており前回調査の 32.4%より増えた。なお、町・村では未だに 30%以上が配置されていない。

ICT 支援員に期待する業務や実際に学校現場で支援を依頼している業務は、授業にかかわる技術的なサポートや活用方法のアドバイスなど授業にかかわるところが多くなっている。加えて、教員研修や端末の年度更新作業なども重要な業務となっている。

【課題】

GIGA スクール構想による授業への ICT 活用が進み、技術的サポートや活用に関するアドバイスの要

望が増加傾向である反面、4校に1人を超える支援員配置が進んでおらず、保守・サポートの予算化が難しいことがうかがえる。更なるICT活用を進めていく上で、保守・サポートの予算化に加え、新たな仕組みを含めた現場サポートサービスの充実が望まれる。

1人1台端末の活用が進み、端末更新時の児童生徒のデータの取り扱い、持ち帰りに関する家庭からの問い合わせが教育委員会や学校現場の負担となっていることがうかがえる。卒業した児童生徒のデータに関しては、全体の2割弱がデータ取り扱いのルールが決まっていない。持ち帰りに関する家庭からの問い合わせ対応は、学校が72.1%と前回の54.2%より増加しており、学校現場への負担が更に大きくなっていることが懸念され、ヘルプデスクなどでの対応や予算化などの対策が望まれる。

(5) 予算に関する項目

【特徴】

2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針の目標を達成もしくはほぼ達成している教育委員会が8割を超えている。1人1台端末の更新に関しては、検討中や予定というところが大半である。

1人1台端末で使用する学習用アプリ・ツールに関しての予算措置では「デジタルドリル」が最も多く、続いて「指導者用デジタル教科書」「協働学習支援ツール」となっている。

【課題】

1人1台端末で使用する学習用アプリ・ツールに関しての予算措置では「デジタルドリル」が自治体規模にかかわらず多いが、「協働学習支援ツール」は政令市等・市では6割以上であるのに対して、町・村は32.9%となっている。学習者用デジタル教科書に関しては2割強に留まっており、さらなる整備が望まれる。

(6) 情報セキュリティ

【特徴】

セキュリティ事故に備えて、教育委員会内に統一的な窓口を設置し報告ルール、対応手順等をさだめているところは4割弱、情報資産の分類が完了しているところは25%ほどと対応・対策が遅れている項目が多い。ただ自治体規模の大きいところはかなり進んでおり、自治体規模による差が大きい。

児童・生徒用端末へのセキュリティ対策ではフィルタリング等の対策に自治体規模にかかわらずほぼ全てに導入されている。盗難・紛失時の情報漏えい対策、セキュリティ設定の一元管理等は政令市等ではかなり対策が進んでいるが、町・村では5割にも満たない状況である。

【課題】

文部科学省のセキュリティガイドラインで示されている対策が、必ずしも進んでいるとは言えない。また、GIGAスクール構想によって整備された端末や環境が、教育委員会の下で適切に管理されているわけではない。規模の大きな自治体ほど情報セキュリティ対策を実施している傾向が強い。対策の遅れている自治体への早急な予算補助や支援が望まれる。

(7) 教育委員会や学校現場の意識

【特徴】

教育委員会は1人1台端末を有効活用するために新たな教員研修が必要という問いに対して、「強く思う」「そう思う」を合わせて全体で9割を超えている。学校によりICT活用に差が出ていると考えている。各種端末のセキュリティ強化も望まれている。

学校ではICT環境の整備で、授業の進め方や方法が変わったと9割以上が感じている。個別最適な学びが進み、協働する時間が増えたとしており、GIGAスクール構想の良い効果が表れている。

【課題】

教育委員会、学校ともICT支援員等の環境整備が必要と考えているが、実態はそうっていない。現場の努力で補っていると思われるが限界がある。より一層のICT環境整備とその活用が望まれる。

学校外での校務処理等は、教育委員会と学校では温度差が出ている。

※本調査で設問もしくは選択肢に一部不明確なところがあり、正確な調査結果と判断できなかったものなどは本報告書に掲載していない。このため設問番号が抜けている箇所がある。

※本報告書で、表現や表記が統一されていないところがある。国内調査部会メンバーが各々分担して執筆し、限られた時間の中で取りまとめた結果でありご容赦いただきたい。

第Ⅱ部 教育委員会編

教育委員会編は、全国の教育委員会に対して調査を行い、得られた結果を自治体（市区町村）の規模別に集計し、掲載している。本編は、以下の7つの節からなる。

- 1-0 プロフィール
- 1-1 ネットワーク及び ICT 環境整備に関する項目
- 1-2 ハードウェアに関する項目
- 1-3 ソフトウェアに関する項目
- 1-4 保守・サポートに関する項目
- 1-5 予算に関する項目
- 1-6 情報セキュリティに関する項目
- 1-7 教育の情報化に対する意識に関する項目

1 全国の自治体教育委員会の調査結果

1-0 プロフィール

教育委員会を対象とする調査は、1,741 の自治体教育委員会に依頼を発信し、450(25.8%)の教育委員会から回答が得られた。以下に、回答が得られた教育委員会の内訳を、自治体規模別に示す。また、各教育委員会の所管の小学校・中学校の平均校数も自治体規模別に示す。

	自治体数	比率	平均 小学校数	平均 中学校数
政令市	5	1.1%	142.8	65.2
中核市	25	5.6%	48.0	22.0
特別区	5	1.1%	49.0	23.6
市	203	45.1%	20.3	14.9
町	176	39.1%	3.1	1.6
村	36	8.0%	1.2	0.8
合計	450	100.0%	15.3	9.6

以下の2つの表は、回答が得られた教育委員会が所管する学校数の分布を示したものである。

小学校	政令市		中核市		特別区		市		町		村		総計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
～3校									112	63.6%	36	100.0%	148	32.9%
4校～10校							79	38.9%	64	36.4%			143	31.8%
11校～20校							73	36.0%					73	16.2%
21校～30校			1	4.0%	1	20.0%	14	6.9%					16	3.6%
31校～80校	1	20.0%	24	96.0%	4	80.0%	33	16.3%					62	13.8%
81校～160校	3	60.0%					3	1.5%					6	1.3%
161校～	1	20.0%					1	0.5%					2	0.4%
総計	5	100.0%	25	100.0%	5	100.0%	203	100.0%	176	100.0%	36	100.0%	450	100.0%

中学校	政令市		中核市		特別区		市		町		村		総計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
～3校							36	17.7%	169	96.0%	36	100.0%	241	53.6%
4校～10校					1	20.0%	122	60.1%	7	4.0%			130	28.9%
11校～20校			11	44.0%			23	11.3%					34	7.6%
21校～30校			12	48.0%	3	60.0%	14	6.9%					29	6.4%
31校～80校	4	80.0%	2	8.0%	1	20.0%	6	3.0%					13	2.9%
81校～160校	1	20.0%					1	0.5%					2	0.4%
総計	5	100.0%	25	100.0%	5	100.0%	202	99.5%	176	100.0%	36	100.0%	449	99.8%

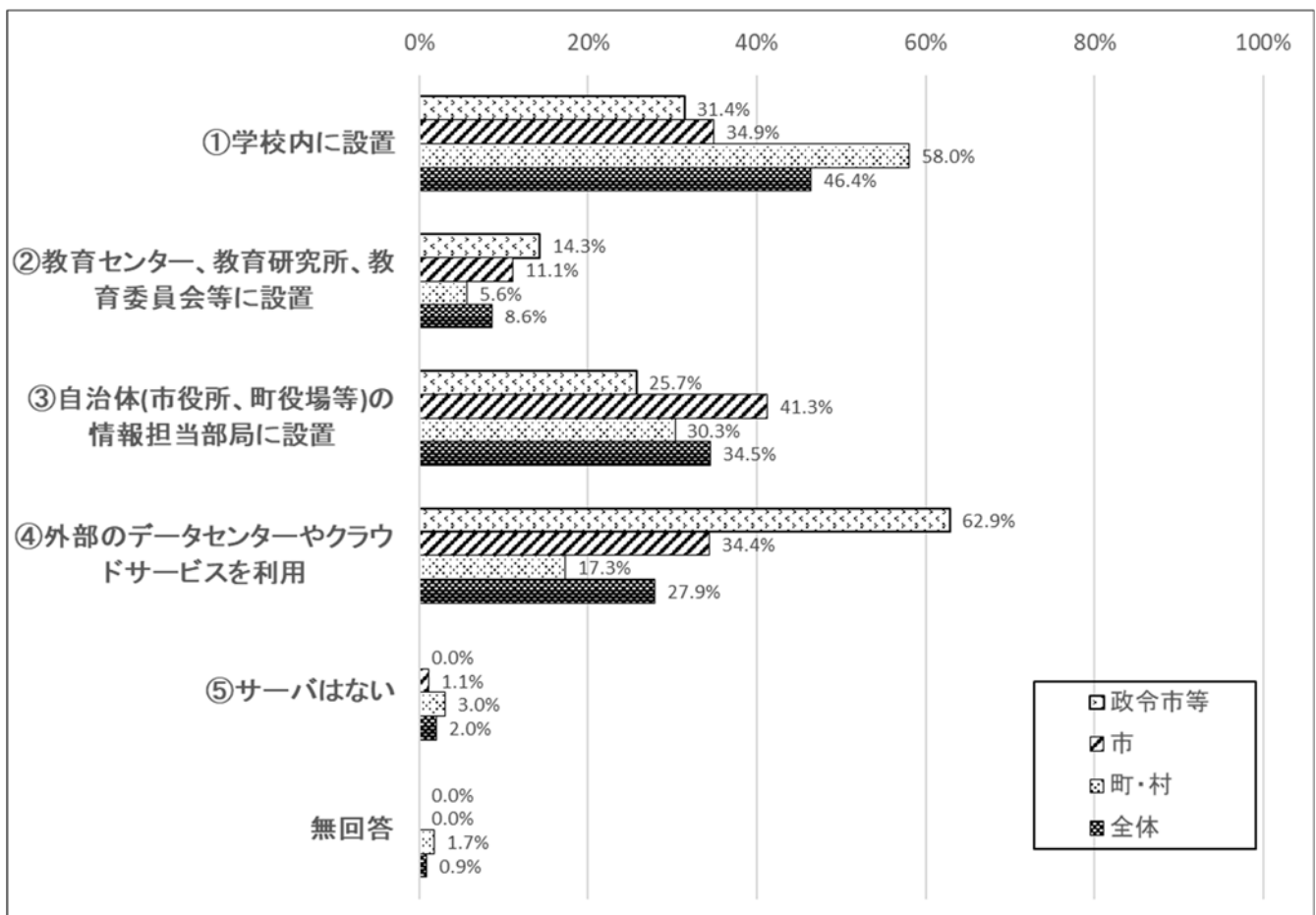
本報告書の次頁以降における集計では、上記の政令市・中核市・特別区を合わせて「政令市等」とし、また町と村を合わせて「町・村」とした。

※本報告書において、各項目のグラフ下にあるコメントで、(XX.X%→XX.X%)となっている場合は、前回調査の結果→今回調査の結果という変化を表している。

1-1 ネットワーク及びICT 環境整備に関する項目

1-1-01(1) 校務データを保存するサーバの設置場所について伺います。(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校内に設置	11	31.4%	66	34.9%	134	58.0%	211	46.4%
②教育センター、教育研究所、教育委員会等に設置	5	14.3%	21	11.1%	13	5.6%	39	8.6%
③自治体(市役所、町役場等)の情報担当部局に設置	9	25.7%	78	41.3%	70	30.3%	157	34.5%
④外部のデータセンターやクラウドサービスを利用	22	62.9%	65	34.4%	40	17.3%	127	27.9%
⑤サーバはない			2	1.1%	7	3.0%	9	2.0%
無回答					4	1.7%	4	0.9%
回答数合計	47	134.3%	232	122.8%	268	116.0%	547	120.2%
回答者数(母数)	35		189		231		455	

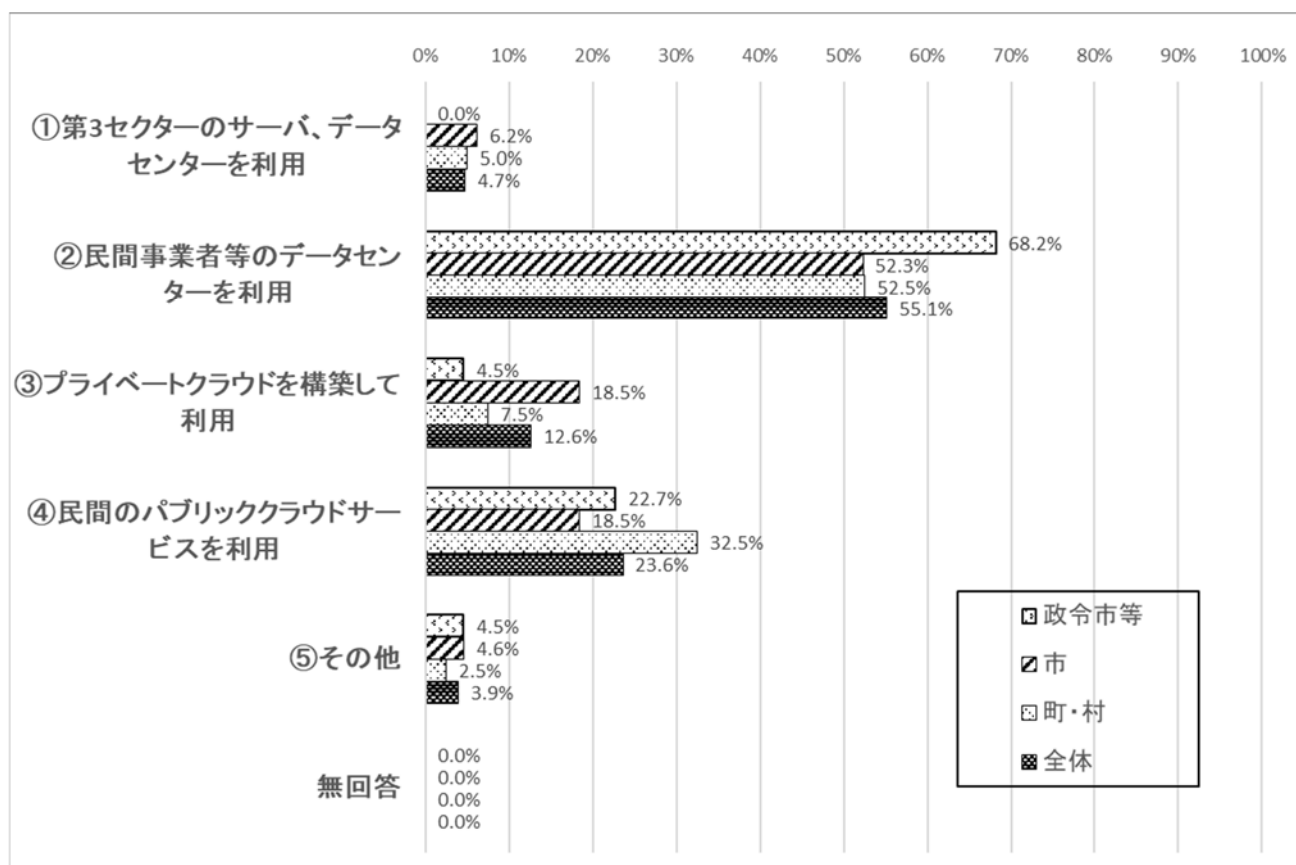


※「④外部のデータセンターやクラウドサービスを利用」は、政令市等が62.9%と最も多くなっている。自治体規模が小さくなるほどその比率は下がっている。全体では27.9%に留まっている。

町・村では「①学校内に設置」が58.0%と最も多く、自治体規模による差が顕著になっている。

1-1-01(2) 「1-1-01(1)」で④と回答された方に伺います。どのような形態での利用ですか。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①第3セクターのサーバ、データセンターを利用			4	6.2%	2	5.0%	6	4.7%
②民間事業者等のデータセンターを利用	15	68.2%	34	52.3%	21	52.5%	70	55.1%
③プライベートクラウドを構築して利用	1	4.5%	12	18.5%	3	7.5%	16	12.6%
④民間のパブリッククラウドサービスを利用	5	22.7%	12	18.5%	13	32.5%	30	23.6%
⑤その他	1	4.5%	3	4.6%	1	2.5%	5	3.9%
無回答								
回答者数(母数)	22	100.0%	65	100.0%	40	100.0%	127	100.0%

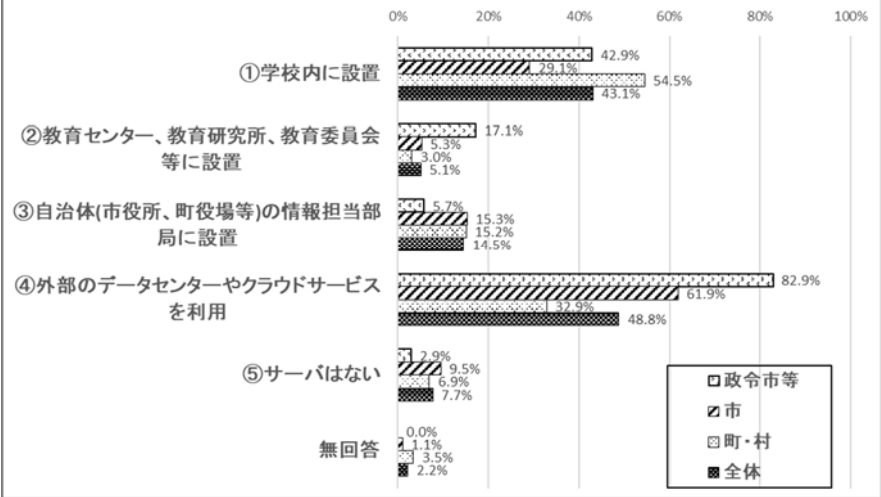


※自治体規模に関わらず「②民間事業者等のデータセンターを利用」が最も多くなっている。

「④民間のパブリッククラウドサービスを利用」は、政令市等（4.2%→22.7%）、市（16.4%→18.5%）、町・村（21.3%→32.5%）と増えている。今後はパブリッククラウドの利用が増えるものと思われる。

1-1-01(3) 学習用データを保存するサーバはどこに設置していますか。(いくつでも)

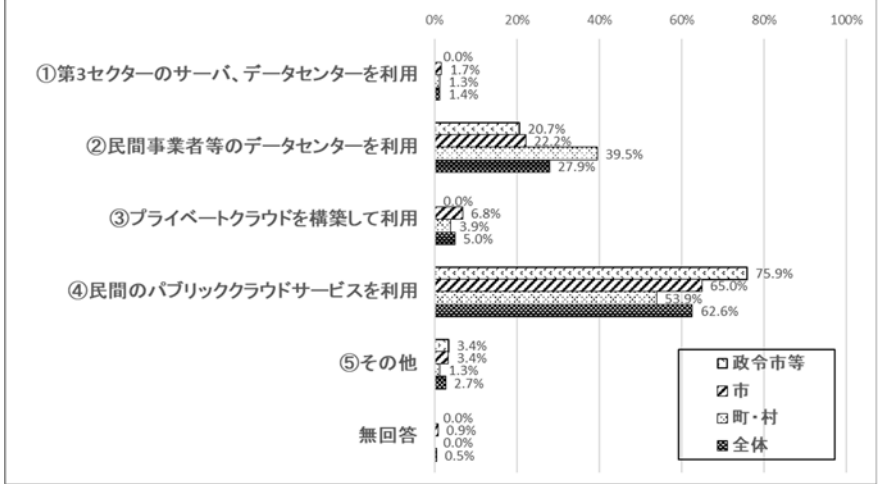
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校内に設置	15	42.9%	55	29.1%	126	54.5%	196	43.1%
②教育センター、教育研究所、教育委員会等に設置	6	17.1%	10	5.3%	7	3.0%	23	5.1%
③自治体(市役所、町役場等)の情報担当部に設置	2	5.7%	29	15.3%	35	15.2%	66	14.5%
④外部のデータセンターやクラウドサービスを利用	29	82.9%	117	61.9%	76	32.9%	222	48.8%
⑤サーバはない	1	2.9%	18	9.5%	16	6.9%	35	7.7%
無回答			2	1.1%	8	3.5%	10	2.2%
回答数合計	53	151.4%	231	122.2%	268	116.0%	552	121.3%
回答者数(母数)	35		189		231		455	



※「④外部のデータセンターやクラウドサービスを利用」は政令市等が82.9%、市が61.9%と多くなっている。町・村は「①学校内に設置」が54.5%と最も多くなっている。

1-1-01(4) 「1-1-01(3)」で④と回答された方に伺います。どのような形態での利用ですか。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①第3セクターのサーバ、データセンターを利用			2	1.7%	1	1.3%	3	1.4%
②民間事業者等のデータセンターを利用	6	20.7%	26	22.2%	30	39.5%	62	27.9%
③プライベートクラウドを構築して利用			8	6.8%	3	3.9%	11	5.0%
④民間のパブリッククラウドサービスを利用	22	75.9%	76	65.0%	41	53.9%	139	62.6%
⑤その他	1	3.4%	4	3.4%	1	1.3%	6	2.7%
無回答			1	0.9%			1	0.5%
回答者数(母数)	29	100.0%	117	100.0%	76	100.0%	222	100.0%

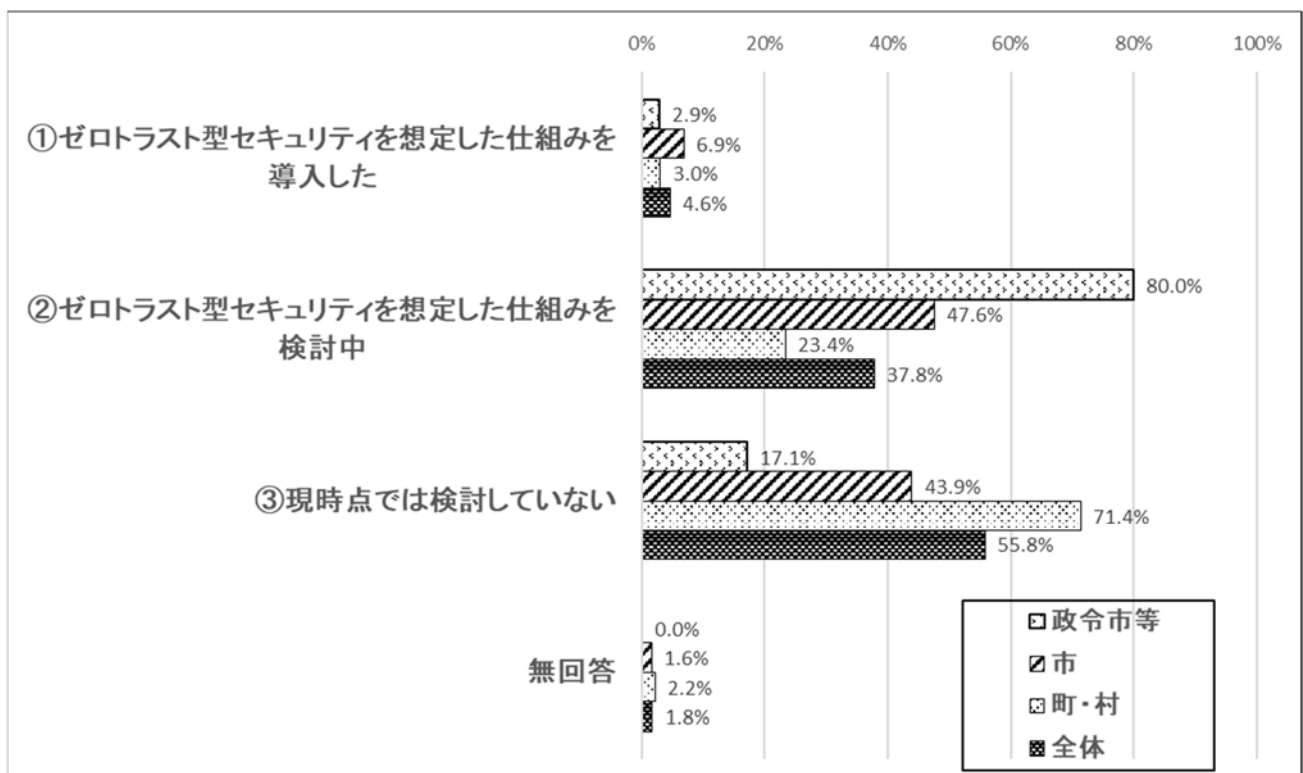


※「④民間のパブリッククラウドサービスを利用」が自治体規模に関わらず最も多くなっている。学習者用データはパブリッククラウドの活用が進んでいる。

1-1-02(1) 「アクセス制御による対策」(=ゼロトラスト型セキュリティを想定した仕組みの導入)について検討していますか。

※ゼロトラスト：クラウドサービスの登場によりいつでもどこでもサービスの利用ができるようになったことを背景に、接続後のネットワークは安全だと信頼するのではなく、「全てのアクセスにはセキュリティリスクが潜んでいる」という前提の上で、IAM を用いてアクセス時に本人の認証や安全性の確認を毎回行い、管理・監視する方式。旧来の方式(VPN 等)では不十分なセキュリティを置き換える技術。

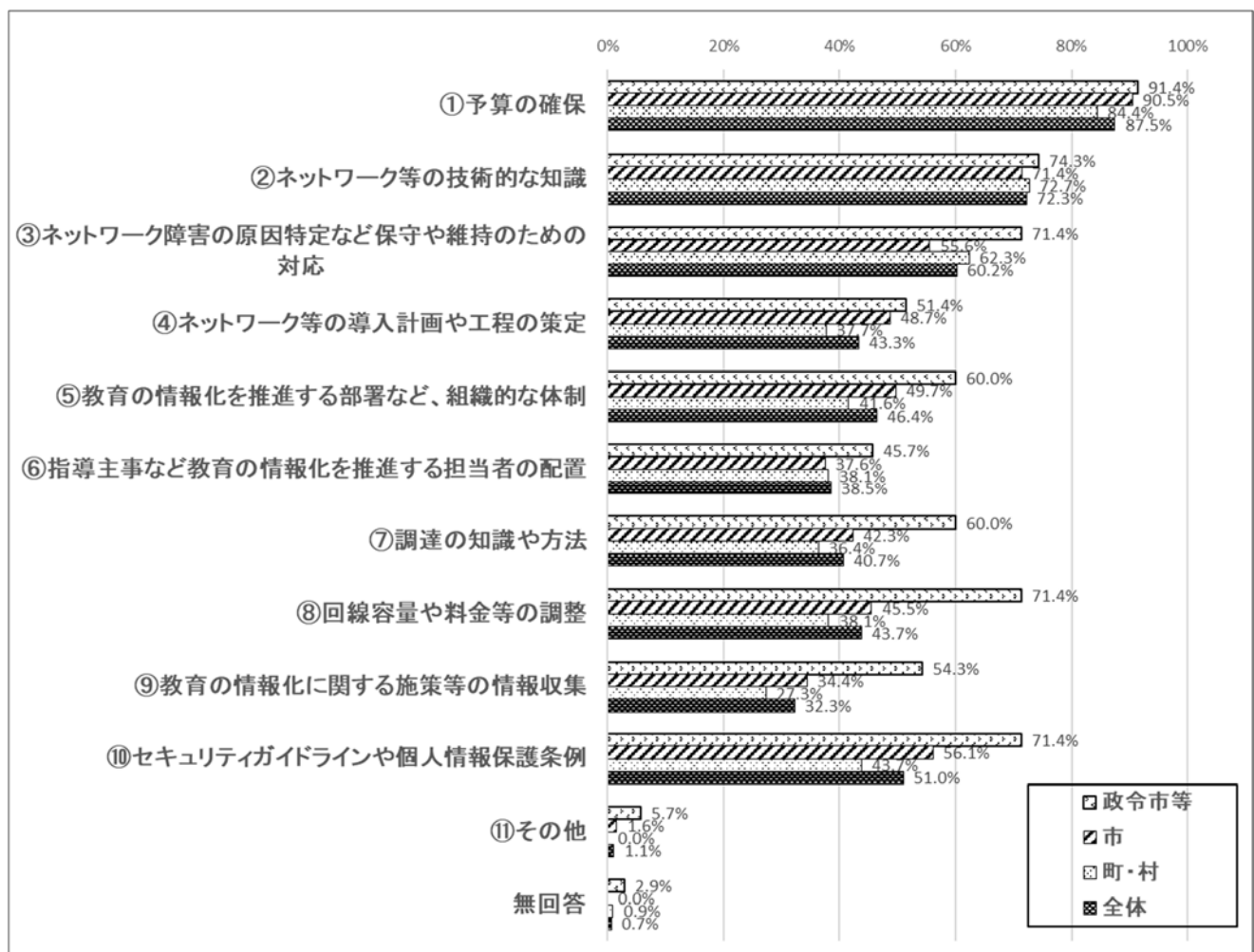
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ゼロトラスト型セキュリティを想定した仕組みを導入した	1	2.9%	13	6.9%	7	3.0%	21	4.6%
②ゼロトラスト型セキュリティを想定した仕組みを検討中	28	80.0%	90	47.6%	54	23.4%	172	37.8%
③現時点では検討していない	6	17.1%	83	43.9%	165	71.4%	254	55.8%
無回答			3	1.6%	5	2.2%	8	1.8%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※「③現時点では検討していない」は町・村で71.4%、全体で55.8%とまだ進んでいない。「①ゼロトラスト型セキュリティを想定した仕組みを導入した」は全体で4.6%に留まっている。「②ゼロトラスト型セキュリティを想定した仕組みを検討中」は政令市等が80.0%、市が47.6%、町・村は23.4%となっている。

1-1-02(2) ネットワークの整備にあたり課題と感じた点についてあてはまるものをすべて選択してください。(いくつでも)

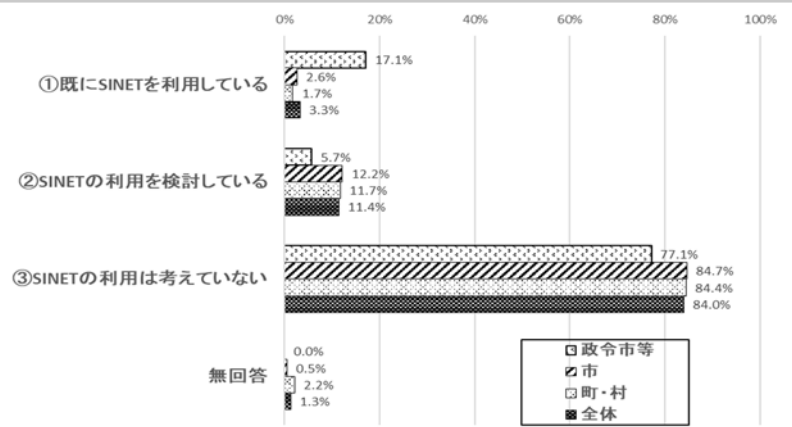
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①予算の確保	32	91.4%	171	90.5%	195	84.4%	398	87.5%
②ネットワーク等の技術的な知識	26	74.3%	135	71.4%	168	72.7%	329	72.3%
③ネットワーク障害の原因特定など保守や維持のための対応	25	71.4%	105	55.6%	144	62.3%	274	60.2%
④ネットワーク等の導入計画や工程の策定	18	51.4%	92	48.7%	87	37.7%	197	43.3%
⑤教育の情報化を推進する部署など、組織的な体制	21	60.0%	94	49.7%	96	41.6%	211	46.4%
⑥指導主事など教育の情報化を推進する担当者の配置	16	45.7%	71	37.6%	88	38.1%	175	38.5%
⑦調達の知識や方法	21	60.0%	80	42.3%	84	36.4%	185	40.7%
⑧回線容量や料金等の調整	25	71.4%	86	45.5%	88	38.1%	199	43.7%
⑨教育の情報化に関する施策等の情報収集	19	54.3%	65	34.4%	63	27.3%	147	32.3%
⑩セキュリティガイドラインや個人情報保護条例	25	71.4%	106	56.1%	101	43.7%	232	51.0%
⑪その他	2	5.7%	3	1.6%			5	1.1%
無回答	1	2.9%			2	0.9%	3	0.7%
回答数合計	231	660.0%	1,008	533.3%	1,116	483.1%	2,355	517.6%
回答者数(母数)	35		189		231		455	



※「①予算の確保」が最も多く、「②ネットワーク等の技術的な知識」「③ネットワーク障害の原因特定など保守や維持のための対応」と続いている。政令市等では、「⑧回線容量や料金等の調整」「⑩セキュリティガイドラインや個人情報保護条例」が71.4%と高くなっている。

1-1-03 SINET(学術情報ネットワーク)の利用に関して伺います。

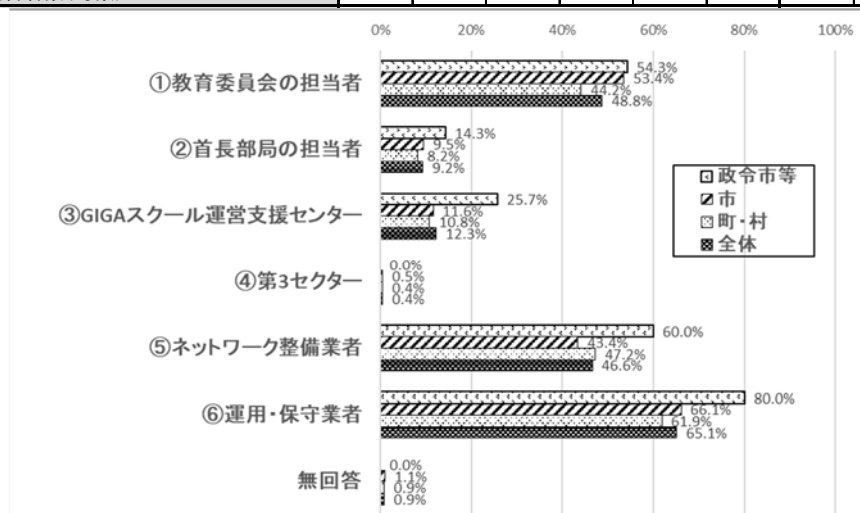
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①既にSINETを利用している	6	17.1%	5	2.6%	4	1.7%	15	3.3%
②SINETの利用を検討している	2	5.7%	23	12.2%	27	11.7%	52	11.4%
③SINETの利用は考えていない	27	77.1%	160	84.7%	195	84.4%	382	84.0%
無回答			1	0.5%	5	2.2%	6	1.3%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※「①既に SINET を利用している」は政令市等で 17.1%、全体で 3.3%に留まっている。
「③SINET の利用は考えていない」が全体で 84.0%となっている。

1-1-04 ネットワークについて、サーバや機器の運用・保守は、誰が行っていますか。(いくつでも)

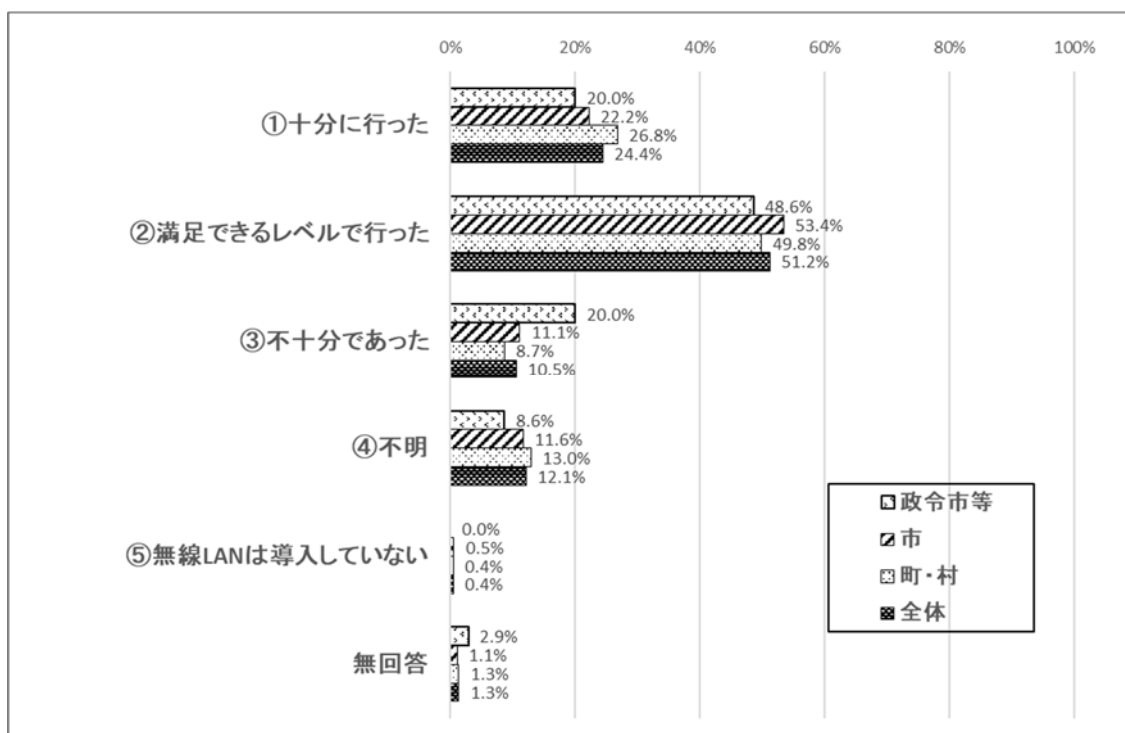
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教育委員会の担当者	19	54.3%	101	53.4%	102	44.2%	222	48.8%
②首長部局の担当者	5	14.3%	18	9.5%	19	8.2%	42	9.2%
③GIGAスクール運営支援センター	9	25.7%	22	11.6%	25	10.8%	56	12.3%
④第3セクター			1	0.5%	1	0.4%	2	0.4%
⑤ネットワーク整備業者	21	60.0%	82	43.4%	109	47.2%	212	46.6%
⑥運用・保守業者	28	80.0%	125	66.1%	143	61.9%	296	65.1%
無回答			2	1.1%	2	0.9%	4	0.9%
回答数合計	82	234.3%	351	185.7%	401	173.6%	834	183.3%
回答者数(母数)	35		189		231		455	



※「⑥運用・保守業者」が政令市等で 80.0%、全体で 65.1%と多いが、「①教育委員会の担当者」が全体で 48.8%と教育委員会の担当者の負担も多くなっている。「③GIGA スクール運営支援センター」は、政令市等で 25.7%あり、活用が進み始めている。

1-1-05(1) 無線 LAN は、十分に設計および現地調査(現地サーベイ)をしてから導入したと思いますか。
 あてはまるものを一つ選択してください。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①十分に行った	7	20.0%	42	22.2%	62	26.8%	111	24.4%
②満足できるレベルで行った	17	48.6%	101	53.4%	115	49.8%	233	51.2%
③不十分であった	7	20.0%	21	11.1%	20	8.7%	48	10.5%
④不明	3	8.6%	22	11.6%	30	13.0%	55	12.1%
⑤無線LANは導入していない			1	0.5%	1	0.4%	2	0.4%
無回答	1	2.9%	2	1.1%	3	1.3%	6	1.3%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%

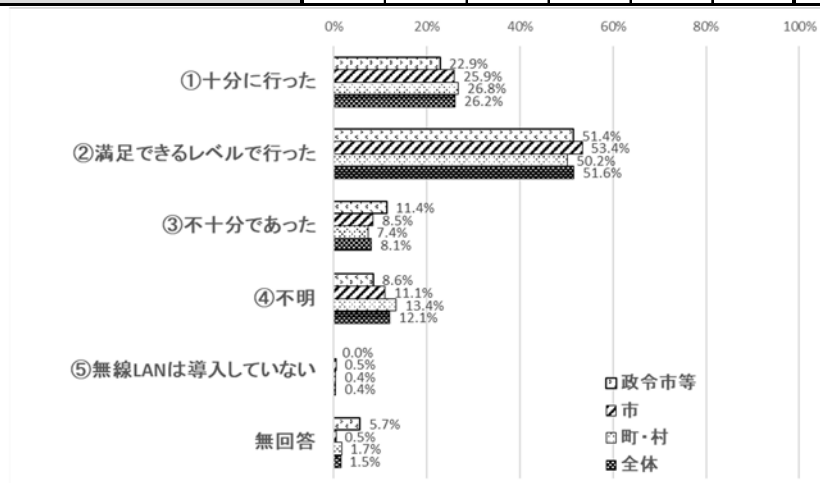


※「②満足できるレベルで行った」が全体で 51.2%、「①十分に行った」が全体で 24.4%となっている。

しかしながら、学校へのアンケート 2-1-01 の回答で「⑦校内で繋がりにくい場所・時間(繋がらない)がある」が 64.7%、「②ネットワーク(インターネット)の速度が遅い」が 44.1%、「①ネットワーク(インターネット)が不安定で、利用に支障が生じる」が 36.6%あり、学校現場の認識と差が出ている。

1-1-05(2) 無線 LAN 導入後、十分に接続試験を実施しましたか。

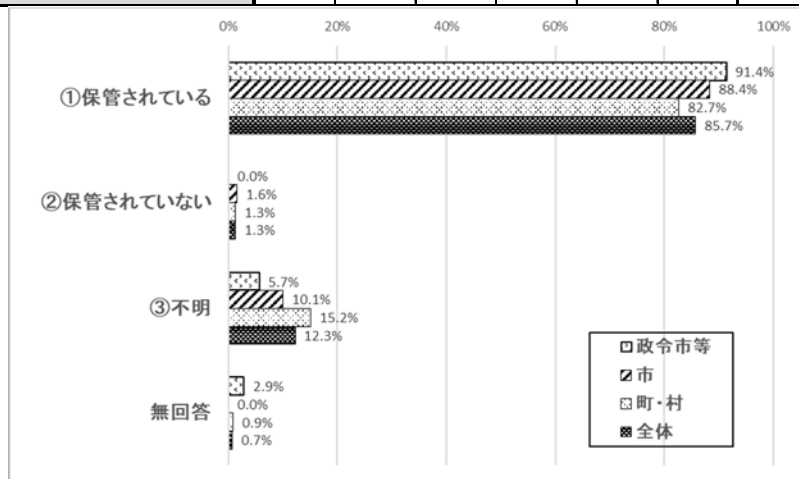
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①十分に行った	8	22.9%	49	25.9%	62	26.8%	119	26.2%
②満足できるレベルで行った	18	51.4%	101	53.4%	116	50.2%	235	51.6%
③不十分であった	4	11.4%	16	8.5%	17	7.4%	37	8.1%
④不明	3	8.6%	21	11.1%	31	13.4%	55	12.1%
⑤無線LANは導入していない			1	0.5%	1	0.4%	2	0.4%
無回答	2	5.7%	1	0.5%	4	1.7%	7	1.5%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※「②満足できるレベルで行った」が自治体規模に関わらず全体で 51.6%、「①十分に行った」も全体で 26.2%となっている。

1-1-05(3) 無線 LAN 整備時の初期導入資料は保管されていますか。(設計資料や現地サーベイ資料、現地接続試験結果資料等のドキュメント資料)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①保管されている	32	91.4%	167	88.4%	191	82.7%	390	85.7%
②保管されていない			3	1.6%	3	1.3%	6	1.3%
③不明	2	5.7%	19	10.1%	35	15.2%	56	12.3%
無回答	1	2.9%			2	0.9%	3	0.7%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%

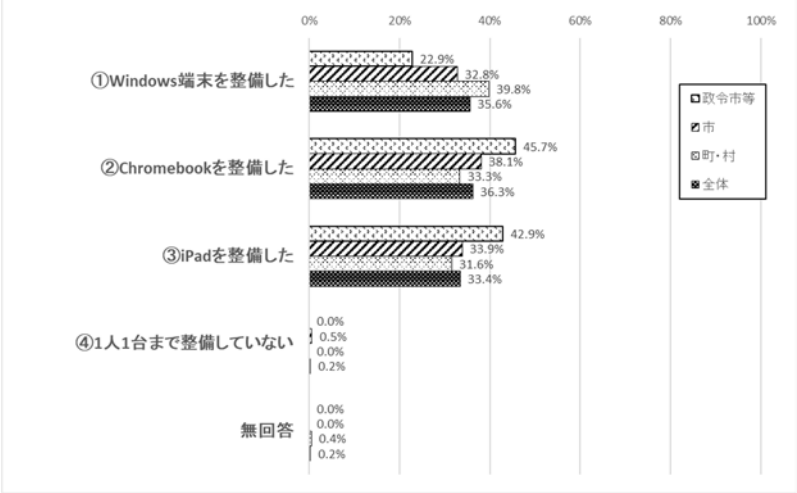


※「①保管されている」が全体で 85.7%となっている。「③不明」が全体で (8.6%→12.3%) となっており、時が経つにつれドキュメントの保管があやふやになっている。

1-2 ハードウェアに関する項目

1-2-01 小学校に整備した1人1台端末について伺います。(いくつでも)

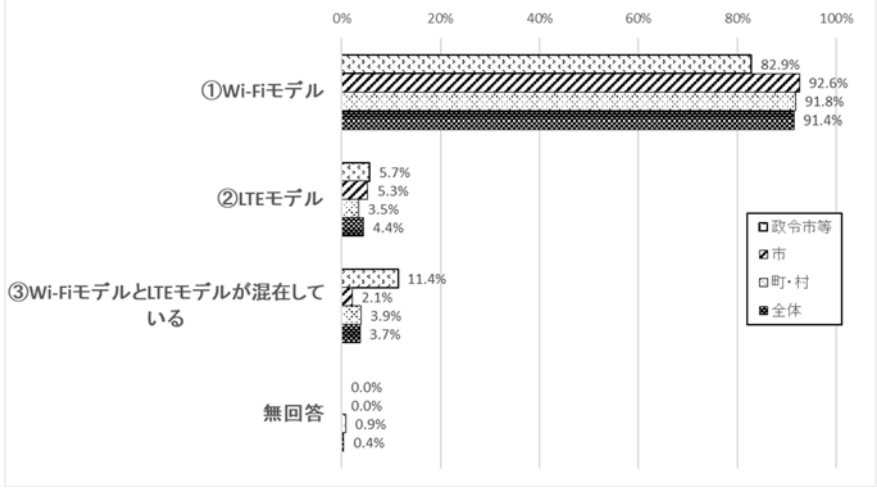
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Windows端末を整備した	8	22.9%	62	32.8%	92	39.8%	162	35.6%
②Chromebookを整備した	16	45.7%	72	38.1%	77	33.3%	165	36.3%
③iPadを整備した	15	42.9%	64	33.9%	73	31.6%	152	33.4%
④1人1台まで整備していない			1	0.5%			1	0.2%
無回答					1	0.4%	1	0.2%
回答数合計	39	111.4%	199	105.3%	243	105.2%	481	105.7%
回答者数(母数)	35		189		231		455	



※全体では端末 OS 間に大きな差は見られないが、政令市等では「①Windows 端末を整備した」が 22.9%と低い。代わりに「②Chromebook を整備した」は 45.7%、「③iPad を整備した」は 42.9%と高い比率となる。

1-2-02 「1-2-01」について、次のどのタイプで整備していますか。

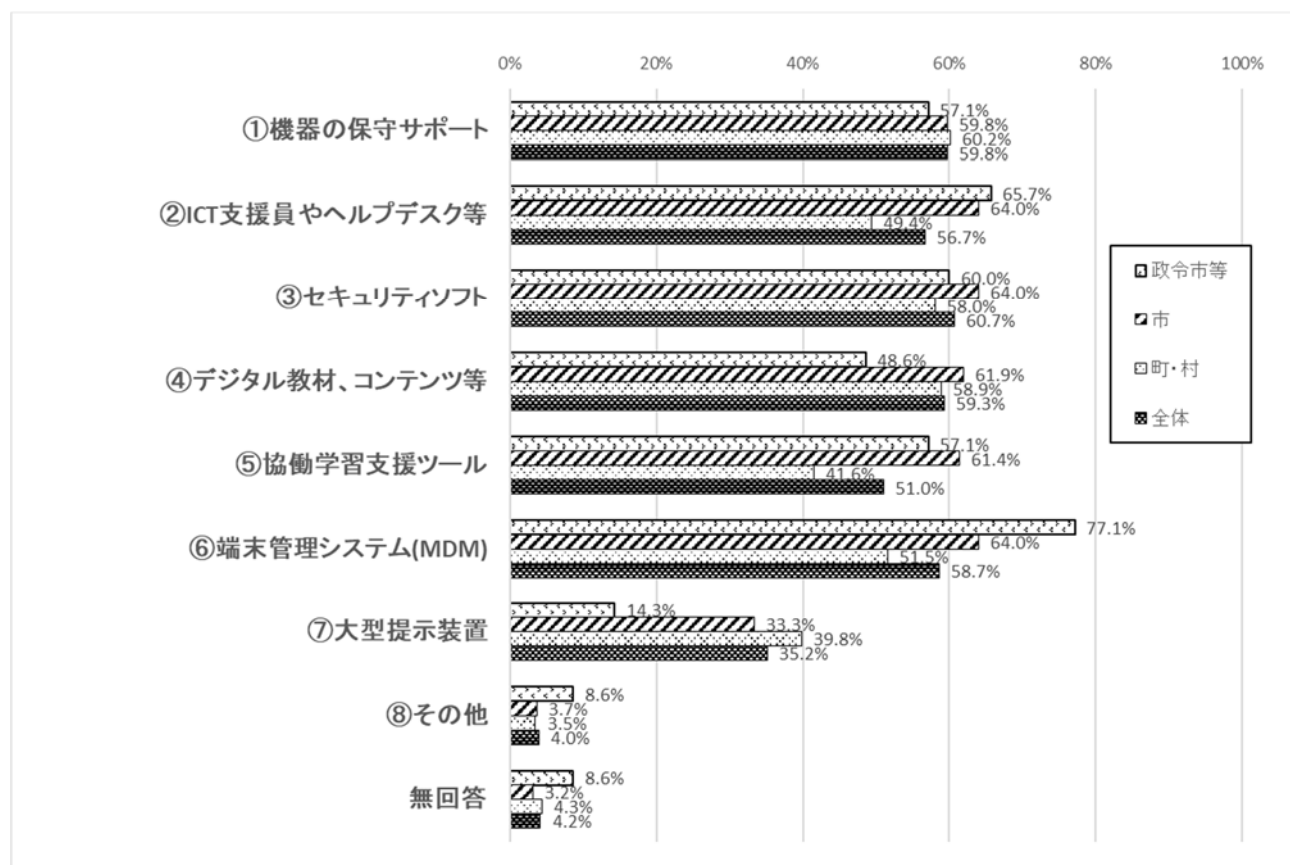
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Wi-Fiモデル	29	82.9%	175	92.6%	212	91.8%	416	91.4%
②LTEモデル	2	5.7%	10	5.3%	8	3.5%	20	4.4%
③Wi-FiモデルとLTEモデルが混在している	4	11.4%	4	2.1%	9	3.9%	17	3.7%
無回答					2	0.9%	2	0.4%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※「①Wi-Fi モデル」が全体で 91.4%と、大半を占めている。

1-2-03 GIGA 端末整備時に、小学校に対して自治体予算により整備したものを教えてください。(いくつでも)(それまでに整備したものは除く)

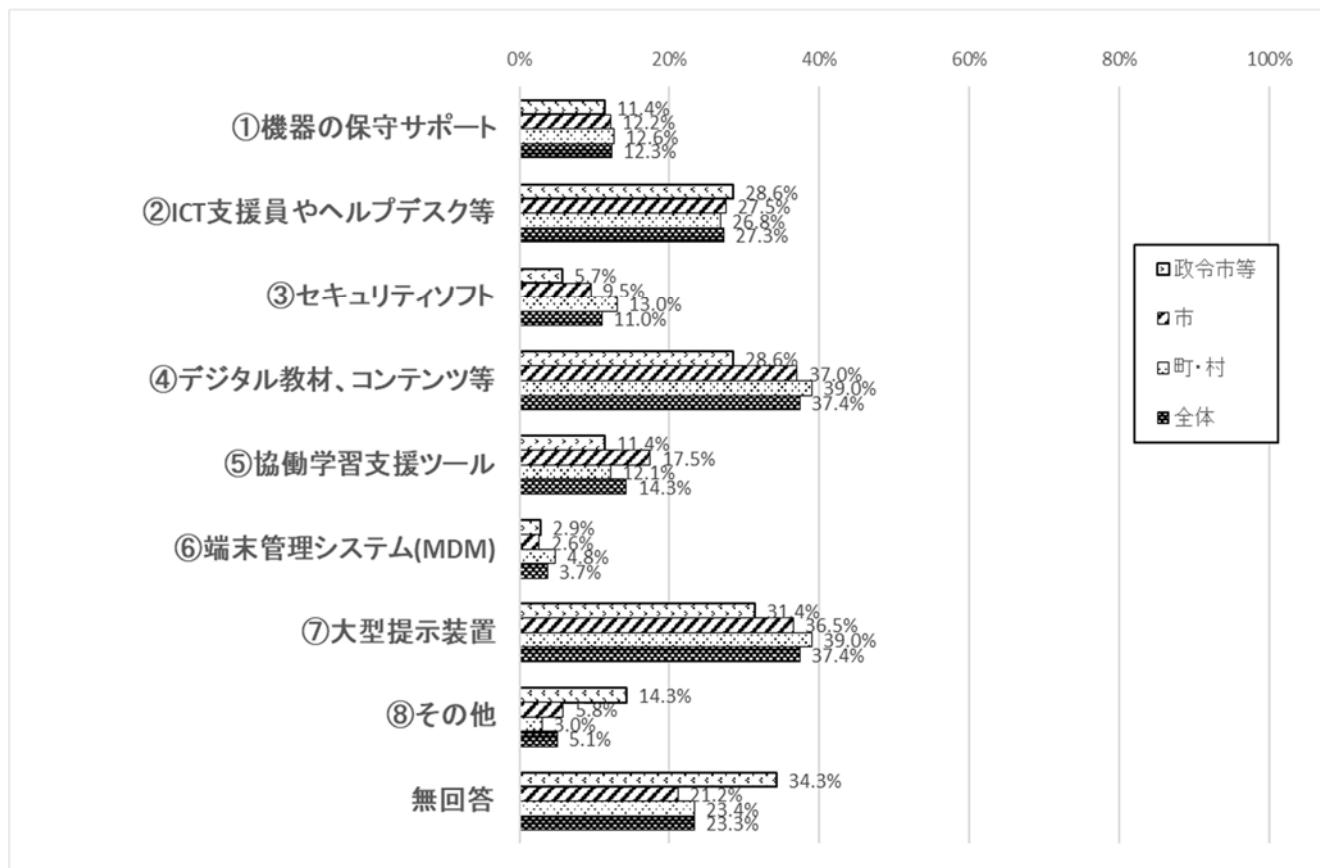
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①機器の保守サポート	20	57.1%	113	59.8%	139	60.2%	272	59.8%
②ICT支援員やヘルプデスク等	23	65.7%	121	64.0%	114	49.4%	258	56.7%
③セキュリティソフト	21	60.0%	121	64.0%	134	58.0%	276	60.7%
④デジタル教材、コンテンツ等	17	48.6%	117	61.9%	136	58.9%	270	59.3%
⑤協働学習支援ツール	20	57.1%	116	61.4%	96	41.6%	232	51.0%
⑥端末管理システム(MDM)	27	77.1%	121	64.0%	119	51.5%	267	58.7%
⑦大型提示装置	5	14.3%	63	33.3%	92	39.8%	160	35.2%
⑧その他	3	8.6%	7	3.7%	8	3.5%	18	4.0%
無回答	3	8.6%	6	3.2%	10	4.3%	19	4.2%
回答数合計	139	397.1%	785	415.3%	848	367.1%	1,772	389.5%
回答者数(母数)	35		189		231		455	



※「⑦大型提示装置」以外は 50%を超えている。なお、選択肢によって自治体規模で差がみられる。

1-2-04 GIGA 端末整備後に、小学校に対して自治体予算により追加整備したものを教えてください。
(いくつでも)

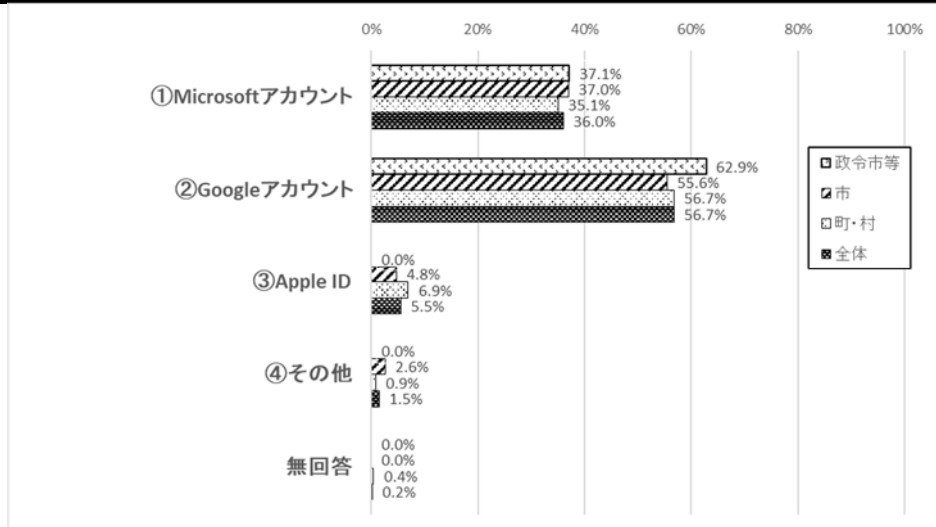
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①機器の保守サポート	4	11.4%	23	12.2%	29	12.6%	56	12.3%
②ICT支援員やヘルプデスク等	10	28.6%	52	27.5%	62	26.8%	124	27.3%
③セキュリティソフト	2	5.7%	18	9.5%	30	13.0%	50	11.0%
④デジタル教材、コンテンツ等	10	28.6%	70	37.0%	90	39.0%	170	37.4%
⑤協働学習支援ツール	4	11.4%	33	17.5%	28	12.1%	65	14.3%
⑥端末管理システム(MDM)	1	2.9%	5	2.6%	11	4.8%	17	3.7%
⑦大型提示装置	11	31.4%	69	36.5%	90	39.0%	170	37.4%
⑧その他	5	14.3%	11	5.8%	7	3.0%	23	5.1%
無回答	12	34.3%	40	21.2%	54	23.4%	106	23.3%
回答数合計	59	168.6%	321	169.8%	401	173.6%	781	171.6%
回答者数(母数)	35		189		231		455	



※「④デジタル教材、コンテンツ等」と「⑦大型提示装置」が全体で37.4%と最も多く、次いで「②ICT支援員やヘルプデスク等」が27.3%と多い。なお、「④デジタル教材、コンテンツ等」と「⑦大型提示装置」は1-2-03の整備時も高い整備率となっており、必要性が高いと考えられている。

1-2-05 小学校の児童用アカウントは主に何を利用されていますか。

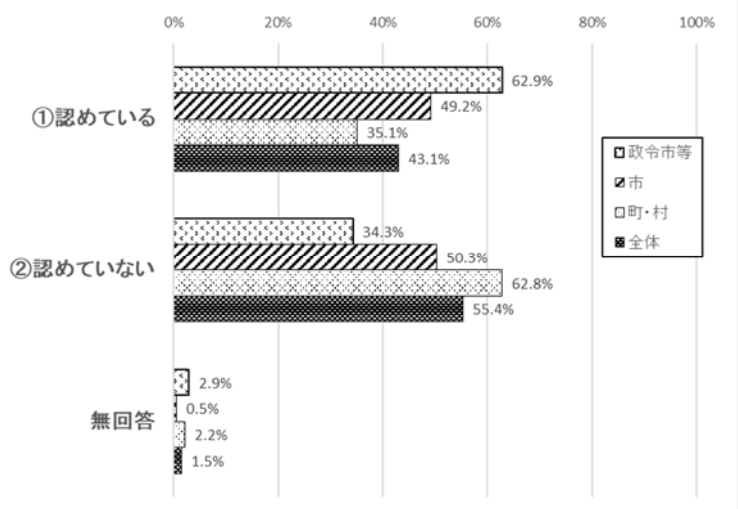
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Microsoftアカウント	13	37.1%	70	37.0%	81	35.1%	164	36.0%
②Googleアカウント	22	62.9%	105	55.6%	131	56.7%	258	56.7%
③Apple ID			9	4.8%	16	6.9%	25	5.5%
④その他			5	2.6%	2	0.9%	7	1.5%
無回答					1	0.4%	1	0.2%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※児童用アカウントは「②Google アカウント」が全体で 56.7%と、1-2-01 の Chromebook の整備率 36.3%と比べて高くなっている。一方、Apple ID は全体で 5.5%と低い。

1-2-06 「1-2-05」で選択されたアカウントを、他の端末で利用することを認めていますか。

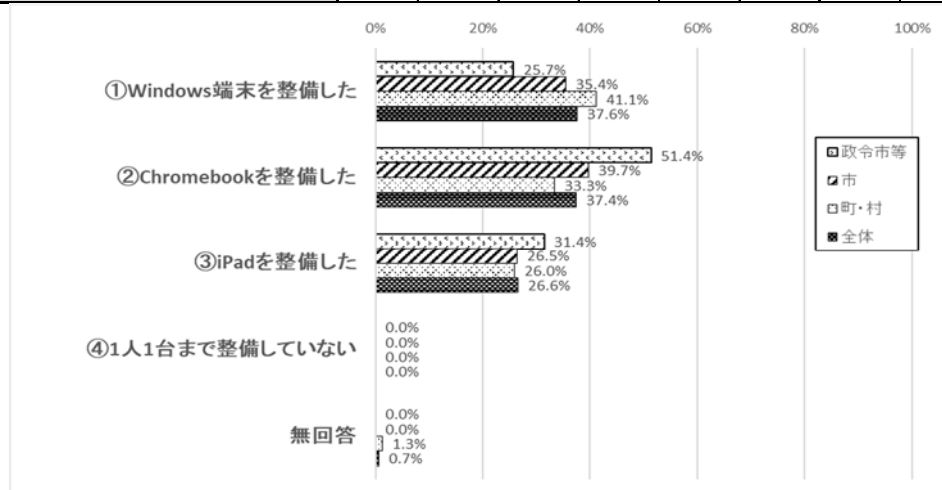
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①認めている	22	62.9%	93	49.2%	81	35.1%	196	43.1%
②認めていない	12	34.3%	95	50.3%	145	62.8%	252	55.4%
無回答	1	2.9%	1	0.5%	5	2.2%	7	1.5%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※「①認めている」が政令市等では 62.9%と最も多く、町・村では 35.1%と最も低い結果となり、自治体規模で差がみられる。

1-2-07 中学校に整備した1人1台端末について伺います。(いくつでも)

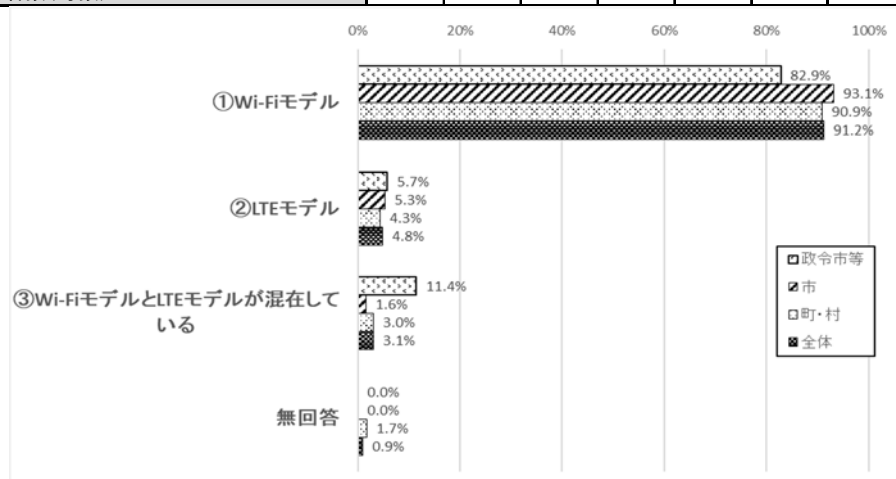
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Windows端末を整備した	9	25.7%	67	35.4%	95	41.1%	171	37.6%
②Chromebookを整備した	18	51.4%	75	39.7%	77	33.3%	170	37.4%
③iPadを整備した	11	31.4%	50	26.5%	60	26.0%	121	26.6%
④1人1台まで整備していない								
無回答					3	1.3%	3	0.7%
回答数合計	38	108.6%	192	101.6%	235	101.7%	465	102.2%
回答者数(母数)	35		189		231		455	



※「全体で「①Windows 端末を整備した」と「②Chromebook を整備した」が同様の比率だが、政令市等では「②Chromebook を整備した」が51.4%と高く、町・村では「①Windows 端末を整備した」が41.1%と高くなる。1-2-01の小学校との比較では、町・村のiPadが26.0%と低くなる。

1-2-08 「1-2-07」について、次のどのタイプで整備していますか。

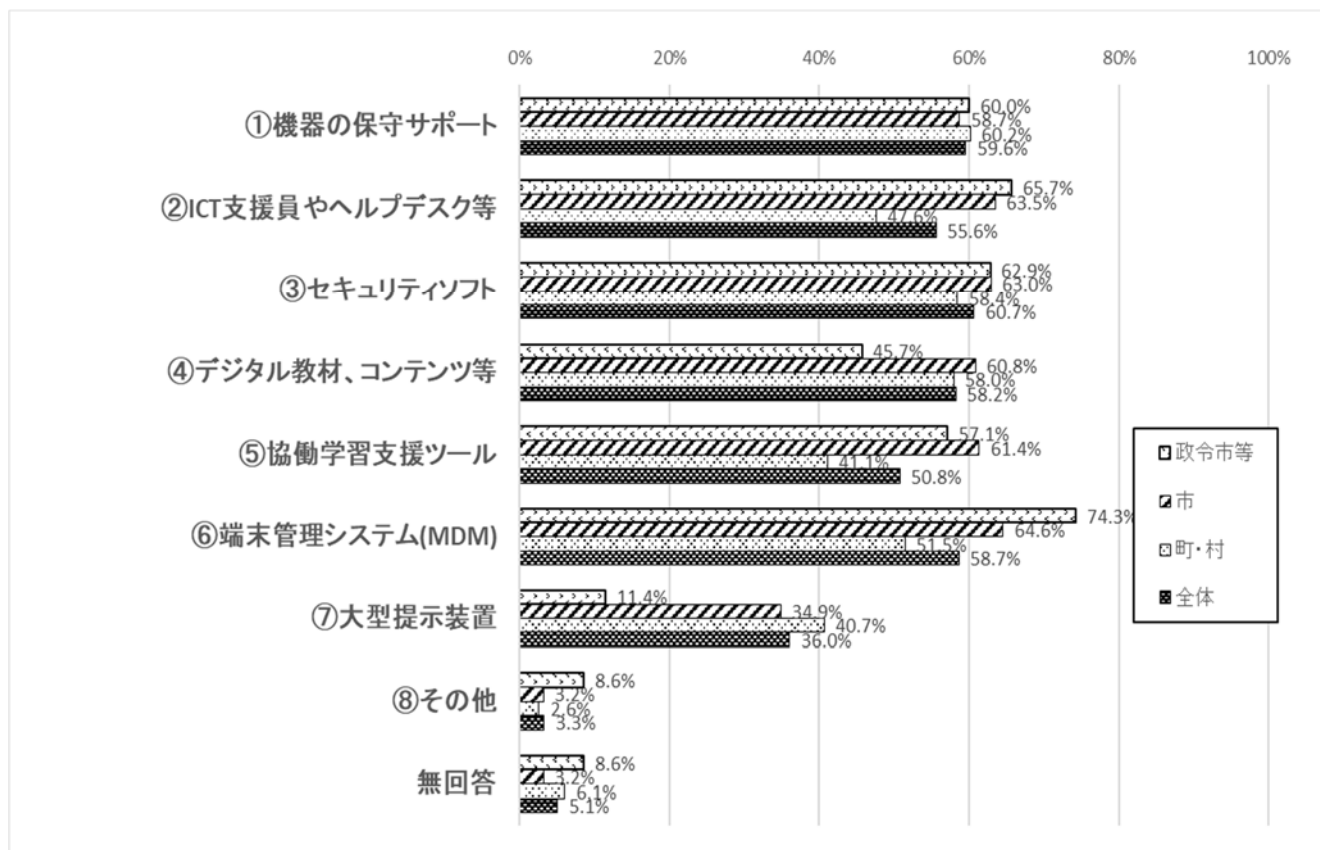
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Wi-Fiモデル	29	82.9%	176	93.1%	210	90.9%	415	91.2%
②LTEモデル	2	5.7%	10	5.3%	10	4.3%	22	4.8%
③Wi-FiモデルとLTEモデルが混在している	4	11.4%	3	1.6%	7	3.0%	14	3.1%
無回答					4	1.7%	4	0.9%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※「①Wi-Fi モデル」が全体で91.2%と、大半を占めている。

1-2-09 GIGA 端末整備時に、中学校に対して自治体予算により整備したものを教えてください。(いくつでも)(それまでに整備したものは除く)

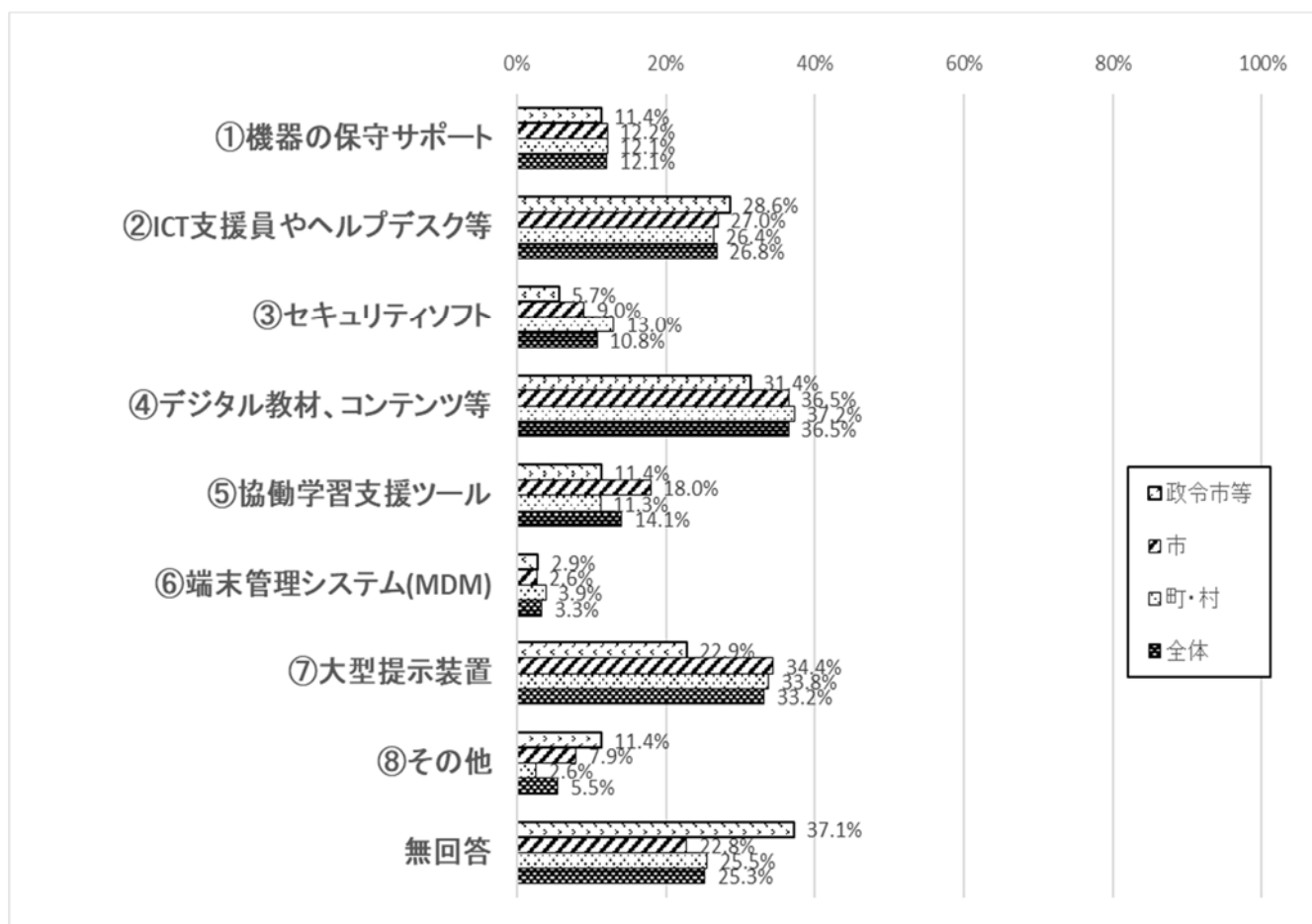
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①機器の保守サポート	21	60.0%	111	58.7%	139	60.2%	271	59.6%
②ICT支援員やヘルプデスク等	23	65.7%	120	63.5%	110	47.6%	253	55.6%
③セキュリティソフト	22	62.9%	119	63.0%	135	58.4%	276	60.7%
④デジタル教材、コンテンツ等	16	45.7%	115	60.8%	134	58.0%	265	58.2%
⑤協働学習支援ツール	20	57.1%	116	61.4%	95	41.1%	231	50.8%
⑥端末管理システム(MDM)	26	74.3%	122	64.6%	119	51.5%	267	58.7%
⑦大型提示装置	4	11.4%	66	34.9%	94	40.7%	164	36.0%
⑧その他	3	8.6%	6	3.2%	6	2.6%	15	3.3%
無回答	3	8.6%	6	3.2%	14	6.1%	23	5.1%
回答数合計	138	394.3%	781	413.2%	846	366.2%	1,765	387.9%
回答者数(母数)	35		189		231		455	



※「⑦大型提示装置」以外は50%を超えている。なお、選択肢によって自治体規模で差がみられる。

1-2-10 GIGA 端末整備後に、中学校に対して自治体予算により追加端末用に整備したものを教えてください。(いくつでも)

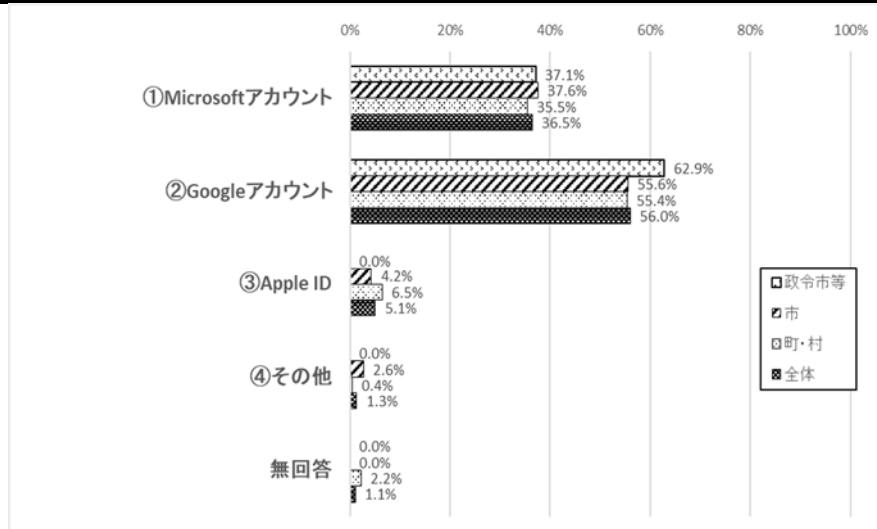
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①機器の保守サポート	4	11.4%	23	12.2%	28	12.1%	55	12.1%
②ICT支援員やヘルプデスク等	10	28.6%	51	27.0%	61	26.4%	122	26.8%
③セキュリティソフト	2	5.7%	17	9.0%	30	13.0%	49	10.8%
④デジタル教材、コンテンツ等	11	31.4%	69	36.5%	86	37.2%	166	36.5%
⑤協働学習支援ツール	4	11.4%	34	18.0%	26	11.3%	64	14.1%
⑥端末管理システム(MDM)	1	2.9%	5	2.6%	9	3.9%	15	3.3%
⑦大型提示装置	8	22.9%	65	34.4%	78	33.8%	151	33.2%
⑧その他	4	11.4%	15	7.9%	6	2.6%	25	5.5%
無回答	13	37.1%	43	22.8%	59	25.5%	115	25.3%
回答数合計	57	162.9%	322	170.4%	383	165.8%	762	167.5%
回答者数(母数)	35		189		231		455	



※「④デジタル教材、コンテンツ等」が全体で 36.5%と最も多く、次いで「⑦大型提示装置」が 33.2%と多い。なお、「④デジタル教材、コンテンツ等」と「⑦大型提示装置」は 1-2-09 の整備時も高い整備率となっており、必要性が高いと考えられている。

1-2-11 中学校の生徒用アカウントは主に何を利用されていますか。

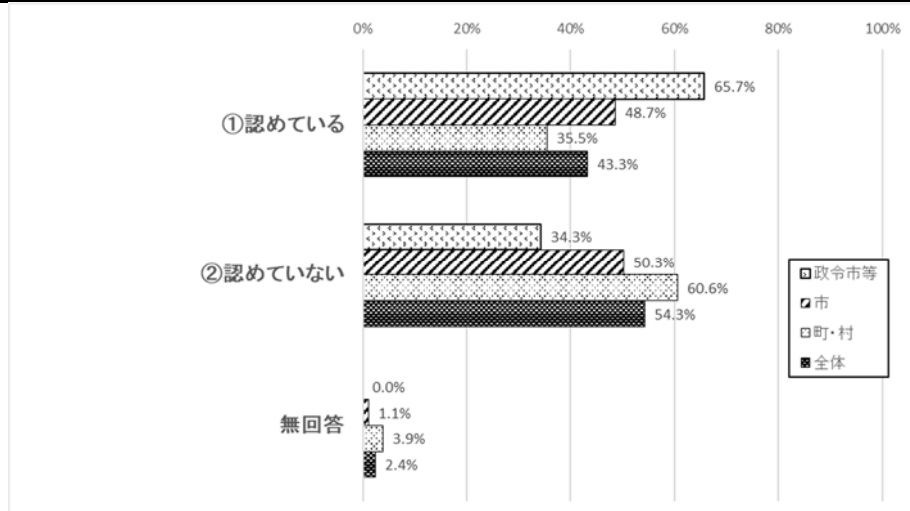
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Microsoftアカウント	13	37.1%	71	37.6%	82	35.5%	166	36.5%
②Googleアカウント	22	62.9%	105	55.6%	128	55.4%	255	56.0%
③Apple ID			8	4.2%	15	6.5%	23	5.1%
④その他			5	2.6%	1	0.4%	6	1.3%
無回答					5	2.2%	5	1.1%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※小学校と同様に「②Google アカウント」が最も多く、全体で 56.0%となった。次いで「①Microsoft アカウント」が 36.5%となっている。

1-2-12 「1-2-11」で選択されたアカウントを、他の端末で利用することを認めていますか。

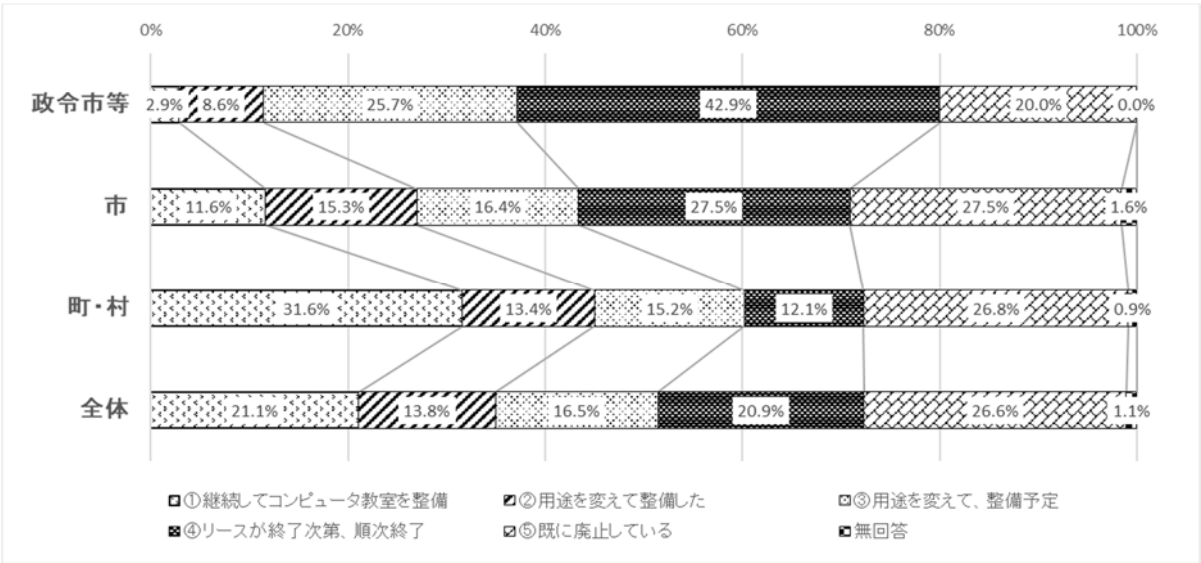
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①認めている	23	65.7%	92	48.7%	82	35.5%	197	43.3%
②認めていない	12	34.3%	95	50.3%	140	60.6%	247	54.3%
無回答			2	1.1%	9	3.9%	11	2.4%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※小学校と同様に「①認めている」が政令市等では 65.7%と最も多く、町・村では 35.5%と最も低い結果となり、自治体規模で差がみられる。

1-2-13 小学校のコンピュータ教室について伺います。

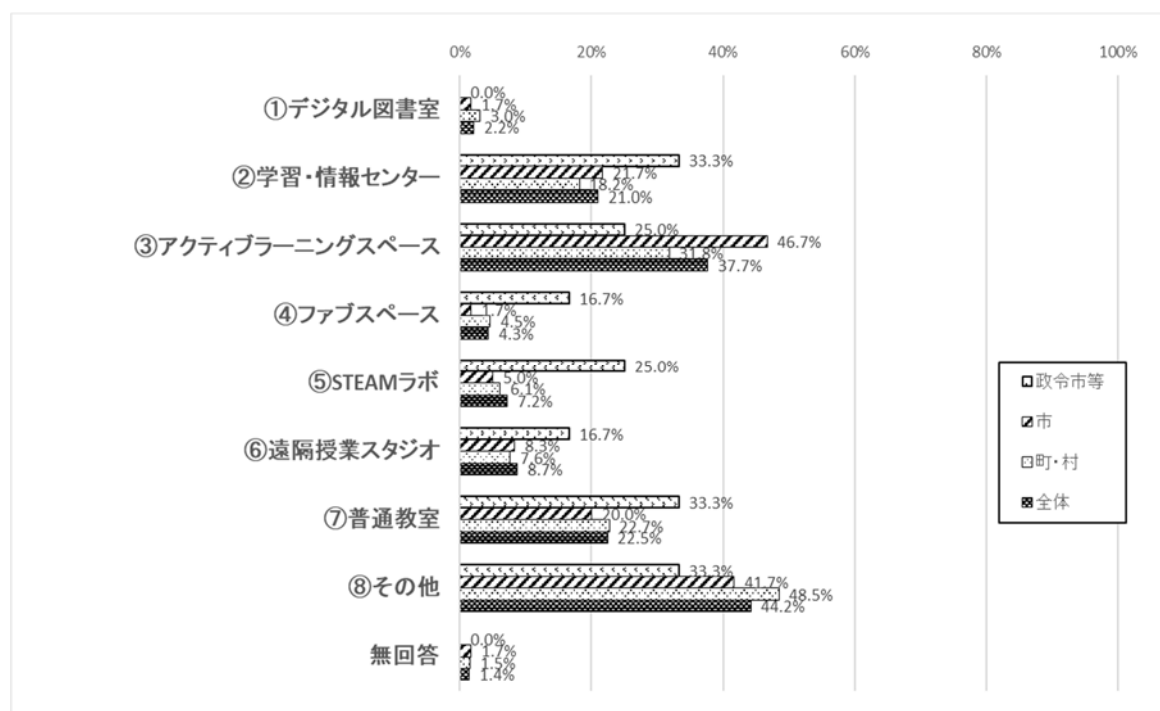
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①継続してコンピュータ教室を整備	1	2.9%	22	11.6%	73	31.6%	96	21.1%
②用途を変えて整備した	3	8.6%	29	15.3%	31	13.4%	63	13.8%
③用途を変えて、整備予定	9	25.7%	31	16.4%	35	15.2%	75	16.5%
④リースが終了次第、順次終了	15	42.9%	52	27.5%	28	12.1%	95	20.9%
⑤既に廃止している	7	20.0%	52	27.5%	62	26.8%	121	26.6%
無回答			3	1.6%	2	0.9%	5	1.1%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※前回比で「①継続してコンピュータ教室を整備」が全体で(15.1%→21.1%)と増えており、令和4年12月19日の文部科学省事務連絡の「コンピュータ教室のあり方について」が影響したものと思われる。

1-2-14 「1-2-13」で②、③と回答した方に伺います。新しい用途はつぎのどれになりますか。(いくつかでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①デジタル図書室			1	1.7%	2	3.0%	3	2.2%
②学習・情報センター	4	33.3%	13	21.7%	12	18.2%	29	21.0%
③アクティブラーニングスペース	3	25.0%	28	46.7%	21	31.8%	52	37.7%
④ファブスペース	2	16.7%	1	1.7%	3	4.5%	6	4.3%
⑤STEAMラボ	3	25.0%	3	5.0%	4	6.1%	10	7.2%
⑥遠隔授業スタジオ	2	16.7%	5	8.3%	5	7.6%	12	8.7%
⑦普通教室	4	33.3%	12	20.0%	15	22.7%	31	22.5%
⑧その他	4	33.3%	25	41.7%	32	48.5%	61	44.2%
無回答			1	1.7%	1	1.5%	2	1.4%
回答数合計	22	183.3%	89	148.3%	95	143.9%	206	149.3%
回答者数(母数)	12		60		66		138	

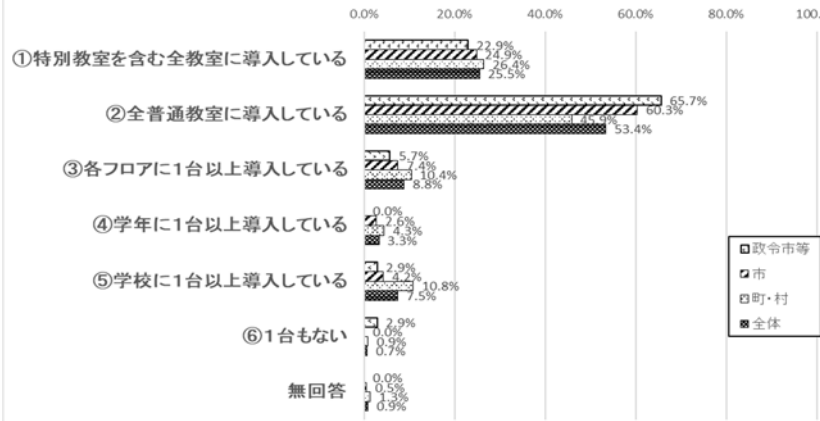


※自治体規模により方針の違いがみられる。政令市等は多様な教室の整備が進んでいる。市は「③アクティブラーニングスペース」が46.7%と多い。

1-2-15 小学校において授業で活用している ICT 機器の整備状況について伺います。

1-2-15(1) 大型提示装置

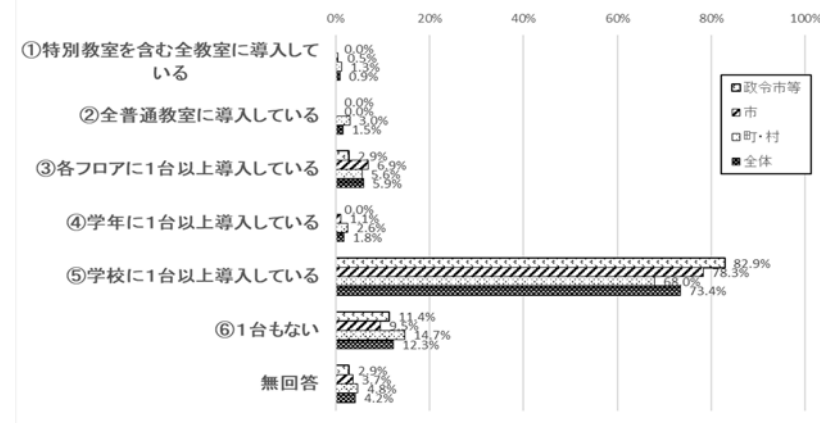
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	8	22.9%	47	24.9%	61	26.4%	116	25.5%
②全普通教室に導入している	23	65.7%	114	60.3%	106	45.9%	243	53.4%
③各フロアに1台以上導入している	2	5.7%	14	7.4%	24	10.4%	40	8.8%
④学年に1台以上導入している			5	2.6%	10	4.3%	15	3.3%
⑤学校に1台以上導入している	1	2.9%	8	4.2%	25	10.8%	34	7.5%
⑥1台もない	1	2.9%			2	0.9%	3	0.7%
無回答			1	0.5%	3	1.3%	4	0.9%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※全体で「①特別教室を含む全教室に導入している」と「②全普通教室に導入している」を合わせて 78.9%が全普通教室に導入しているが、無回答を除く 20.3%は全普通教室に導入できていない。更なる整備が望まれる。

1-2-15(2) カラープリンタ

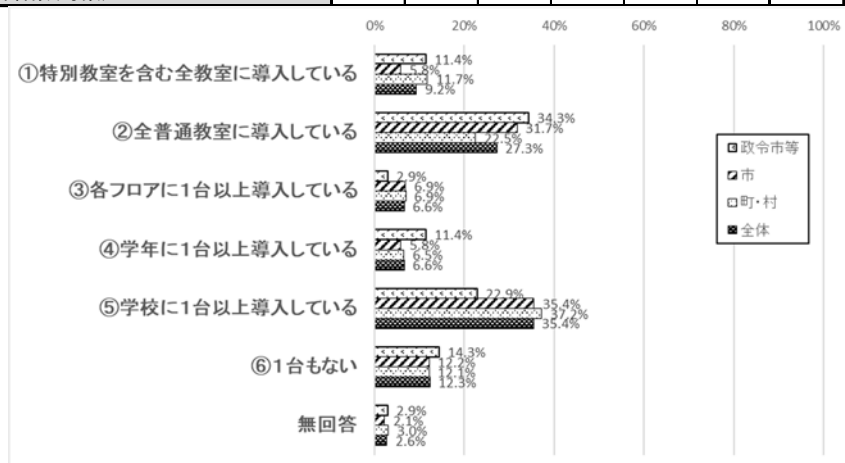
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している			1	0.5%	3	1.3%	4	0.9%
②全普通教室に導入している					7	3.0%	7	1.5%
③各フロアに1台以上導入している	1	2.9%	13	6.9%	13	5.6%	27	5.9%
④学年に1台以上導入している			2	1.1%	6	2.6%	8	1.8%
⑤学校に1台以上導入している	29	82.9%	148	78.3%	157	68.0%	334	73.4%
⑥1台もない	4	11.4%	18	9.5%	34	14.7%	56	12.3%
無回答	1	2.9%	7	3.7%	11	4.8%	19	4.2%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※全体で 73.4%が学校に 1 台以上カラープリンタを導入している。いっそうの整備が望まれる。

1-2-15(3) 実物投影機

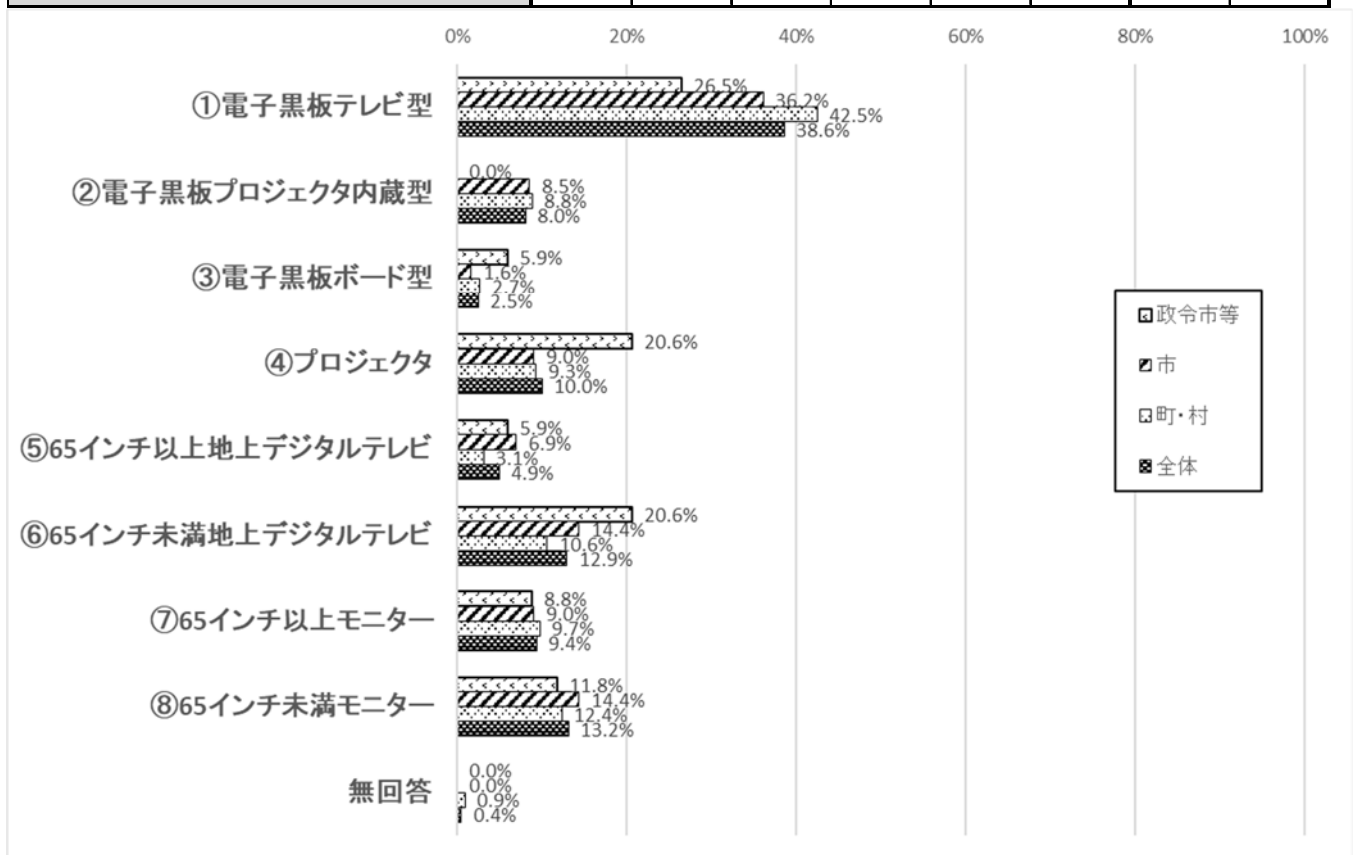
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	4	11.4%	11	5.8%	27	11.7%	42	9.2%
②全普通教室に導入している	12	34.3%	60	31.7%	52	22.5%	124	27.3%
③各フロアに1台以上導入している	1	2.9%	13	6.9%	16	6.9%	30	6.6%
④学年に1台以上導入している	4	11.4%	11	5.8%	15	6.5%	30	6.6%
⑤学校に1台以上導入している	8	22.9%	67	35.4%	86	37.2%	161	35.4%
⑥1台もない	5	14.3%	23	12.2%	28	12.1%	56	12.3%
無回答	1	2.9%	4	2.1%	7	3.0%	12	2.6%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※全体で「①特別教室を含む全教室に導入している」と「②全普通教室に導入している」を合わせて 36.5%は全普通教室に導入しているが、無回答を除く 60.9%は全普通教室に導入できていない。文部科学省の「教育の ICT 化に向けた環境整備 5 か年計画(2018~2022)」では普通教室への常設が掲げられており、今後の整備が求められる。

1-2-16 1-2-15(1)でお答えいただいた大型提示装置の種類について伺います。(主な整備機器について1種類)

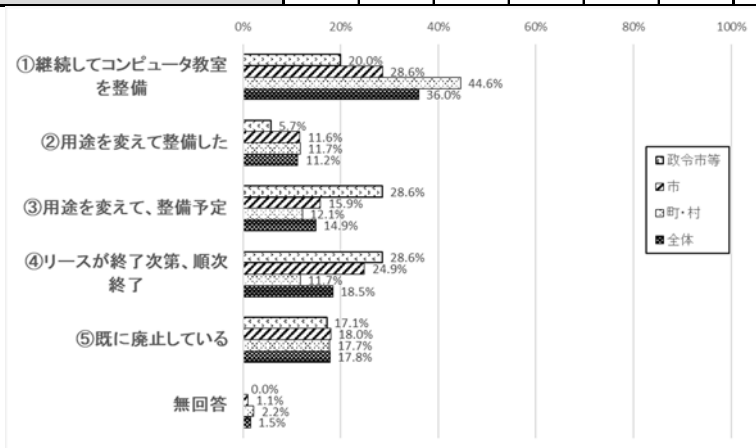
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子黒板テレビ型	9	26.5%	68	36.2%	96	42.5%	173	38.6%
②電子黒板プロジェクタ内蔵型			16	8.5%	20	8.8%	36	8.0%
③電子黒板ボード型	2	5.9%	3	1.6%	6	2.7%	11	2.5%
④プロジェクタ	7	20.6%	17	9.0%	21	9.3%	45	10.0%
⑤65インチ以上地上デジタルテレビ	2	5.9%	13	6.9%	7	3.1%	22	4.9%
⑥65インチ未満地上デジタルテレビ	7	20.6%	27	14.4%	24	10.6%	58	12.9%
⑦65インチ以上モニター	3	8.8%	17	9.0%	22	9.7%	42	9.4%
⑧65インチ未満モニター	4	11.8%	27	14.4%	28	12.4%	59	13.2%
無回答					2	0.9%	2	0.4%
回答者数(母数)	34	100.0%	188	100.0%	226	100.0%	448	100.0%



※GIGA スクール環境での端末やデジタル教科書との利用を考えると、電子黒板での整備が望ましい。全体で「①電子黒板テレビ型」と「②電子黒板プロジェクタ内蔵型」「③電子黒板ボード型」を加えても 49.1%に留まっている。

1-2-17 中学校のコンピュータ教室について伺います。

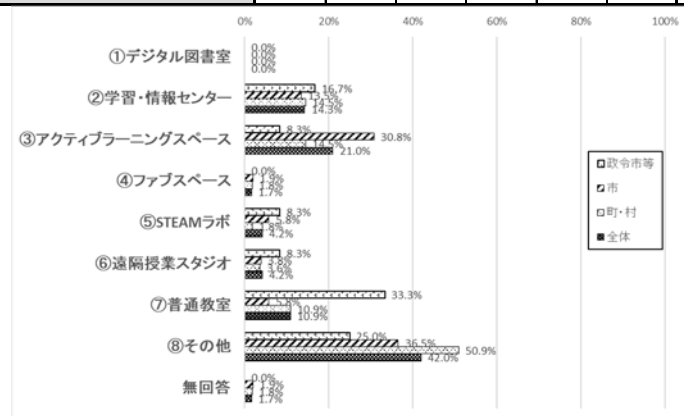
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①継続してコンピュータ教室を整備	7	20.0%	54	28.6%	103	44.6%	164	36.0%
②用途を変えて整備した	2	5.7%	22	11.6%	27	11.7%	51	11.2%
③用途を変えて、整備予定	10	28.6%	30	15.9%	28	12.1%	68	14.9%
④リースが終了次第、順次終了	10	28.6%	47	24.9%	27	11.7%	84	18.5%
⑤既に廃止している	6	17.1%	34	18.0%	41	17.7%	81	17.8%
無回答			2	1.1%	5	2.2%	7	1.5%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※前回比で「①継続してコンピュータ教室を整備」が全体で(24.6%→36.0%)と増えており、令和4年12月19日の文部科学省事務連絡の「コンピュータ教室のあり方について」が影響したものと思われる。

1-2-18 「1-2-17」で②、③と回答した方に伺います。新しい用途はつぎのどれになりますか。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①デジタル図書室								
②学習・情報センター	2	16.7%	7	13.5%	8	14.5%	17	14.3%
③アクティブラーニングスペース	1	8.3%	16	30.8%	8	14.5%	25	21.0%
④ファブスペース			1	1.9%	1	1.8%	2	1.7%
⑤STEAMラボ	1	8.3%	3	5.8%	1	1.8%	5	4.2%
⑥遠隔授業スタジオ	1	8.3%	2	3.8%	2	3.6%	5	4.2%
⑦普通教室	4	33.3%	3	5.8%	6	10.9%	13	10.9%
⑧その他	3	25.0%	19	36.5%	28	50.9%	50	42.0%
無回答			1	1.9%	1	1.8%	2	1.7%
回答者数(母数)	12	100.0%	52	100.0%	55	100.0%	119	100.0%

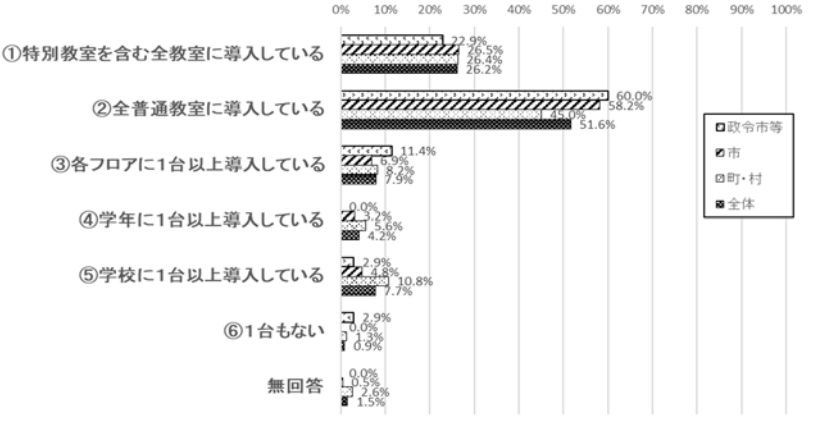


※全体で「③アクティブラーニングスペース」が21.0%と多く、次いで「②学習・情報センター」が14.3%となっている。

1-2-19 中学校において授業で活用している ICT 機器の整備状況について伺います。

1-2-19(1) 大型提示装置

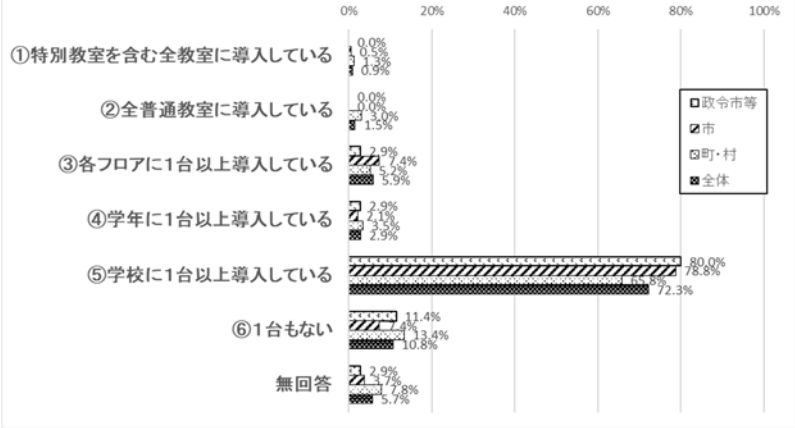
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	8	22.9%	50	26.5%	61	26.4%	119	26.2%
②全普通教室に導入している	21	60.0%	110	58.2%	104	45.0%	235	51.6%
③各フロアに1台以上導入している	4	11.4%	13	6.9%	19	8.2%	36	7.9%
④学年に1台以上導入している			6	3.2%	13	5.6%	19	4.2%
⑤学校に1台以上導入している	1	2.9%	9	4.8%	25	10.8%	35	7.7%
⑥1台もない	1	2.9%			3	1.3%	4	0.9%
無回答			1	0.5%	6	2.6%	7	1.5%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※全体で「①特別教室を含む全教室に導入している」と「②全普通教室に導入している」を合わせて 77.8%は全普通教室に導入しているが、無回答を除く 20.7%は全普通教室に導入できていない。更なる整備が望まれる。

1-2-19(2) カラープリンタ

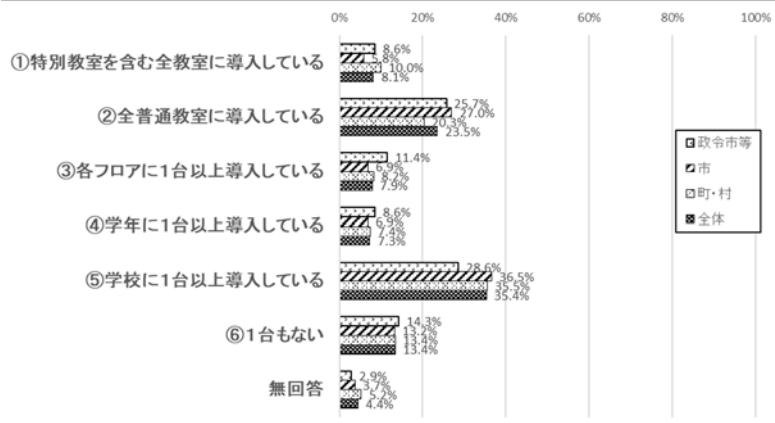
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している			1	0.5%	3	1.3%	4	0.9%
②全普通教室に導入している					7	3.0%	7	1.5%
③各フロアに1台以上導入している	1	2.9%	14	7.4%	12	5.2%	27	5.9%
④学年に1台以上導入している	1	2.9%	4	2.1%	8	3.5%	13	2.9%
⑤学校に1台以上導入している	28	80.0%	149	78.8%	152	65.8%	329	72.3%
⑥1台もない	4	11.4%	14	7.4%	31	13.4%	49	10.8%
無回答	1	2.9%	7	3.7%	18	7.8%	26	5.7%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※全体で 72.3%が学校に 1 台以上カラープリンタを導入している。

1-2-19(3) 実物投影機

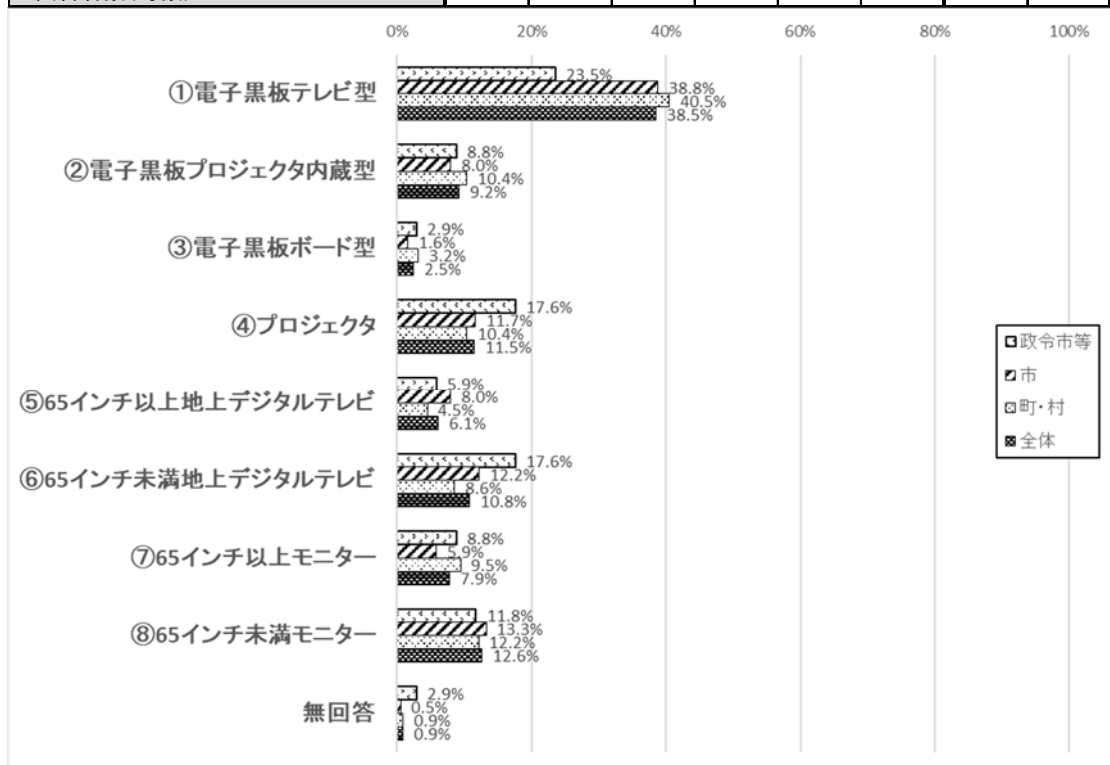
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	3	8.6%	11	5.8%	23	10.0%	37	8.1%
②全普通教室に導入している	9	25.7%	51	27.0%	47	20.3%	107	23.5%
③各フロアに1台以上導入している	4	11.4%	13	6.9%	19	8.2%	36	7.9%
④学年に1台以上導入している	3	8.6%	13	6.9%	17	7.4%	33	7.3%
⑤学校に1台以上導入している	10	28.6%	69	36.5%	82	35.5%	161	35.4%
⑥1台もない	5	14.3%	25	13.2%	31	13.4%	61	13.4%
無回答	1	2.9%	7	3.7%	12	5.2%	20	4.4%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※全体で「①特別教室を含む全教室に導入している」と「②全普通教室に導入している」を合わせて 31.6%は全普通教室に導入しているが、無回答を除く 64.0%は全普通教室に導入できていない。一層の整備が望まれる。

1-2-20 「1-2-19(1)」でお答えいただいた大型提示装置の種類について伺います。(主な整備機器について1種類)

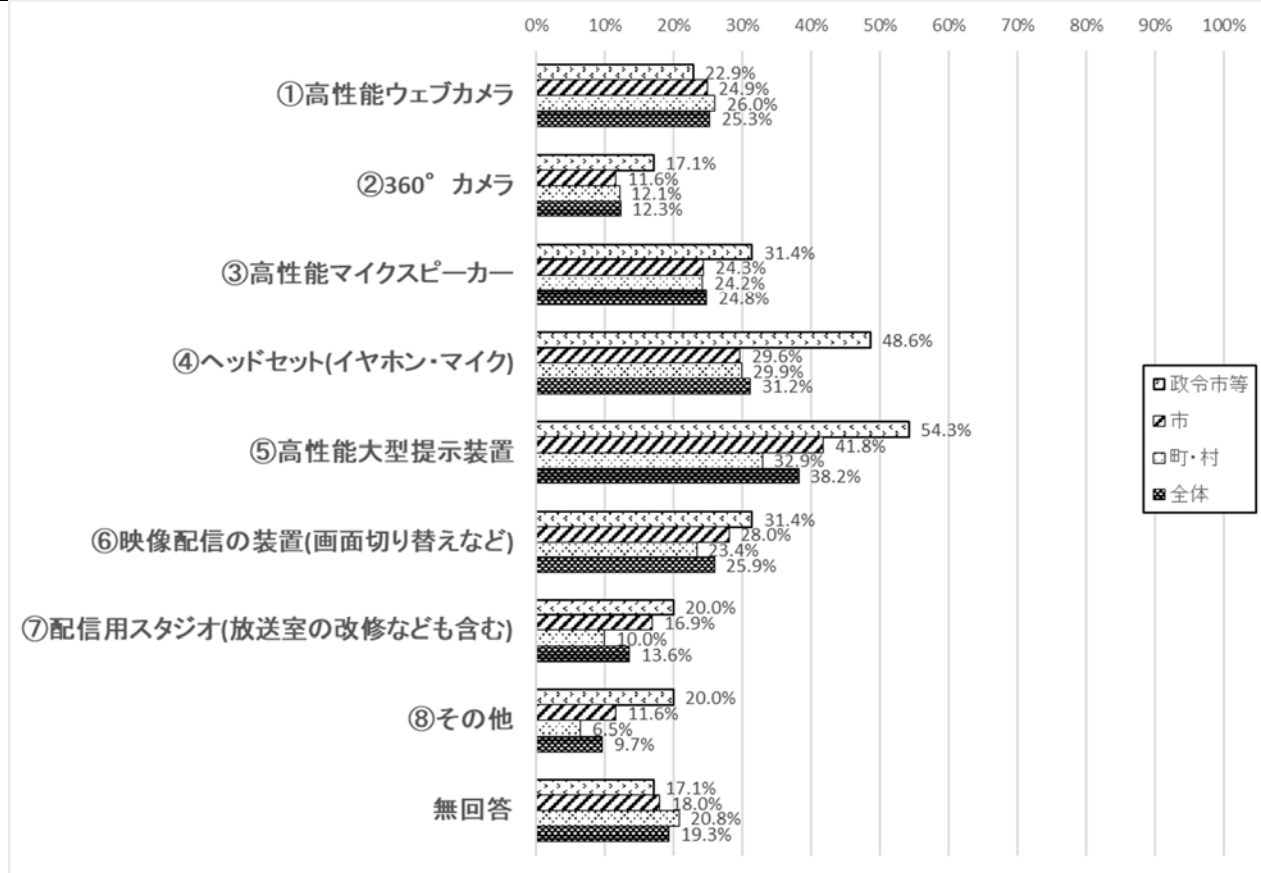
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子黒板テレビ型	8	23.5%	73	38.8%	90	40.5%	171	38.5%
②電子黒板プロジェクタ内蔵型	3	8.8%	15	8.0%	23	10.4%	41	9.2%
③電子黒板ボード型	1	2.9%	3	1.6%	7	3.2%	11	2.5%
④プロジェクタ	6	17.6%	22	11.7%	23	10.4%	51	11.5%
⑤65インチ以上地上デジタルテレビ	2	5.9%	15	8.0%	10	4.5%	27	6.1%
⑥65インチ未満地上デジタルテレビ	6	17.6%	23	12.2%	19	8.6%	48	10.8%
⑦65インチ以上モニター	3	8.8%	11	5.9%	21	9.5%	35	7.9%
⑧65インチ未満モニター	4	11.8%	25	13.3%	27	12.2%	56	12.6%
無回答	1	2.9%	1	0.5%	2	0.9%	4	0.9%
回答者数(母数)	34	100.0%	188	100.0%	222	100.0%	444	100.0%



※GIGA スクール環境での端末やデジタル教科書との利用を考えると、電子黒板での整備が望ましい。全体で「①電子黒板テレビ型」と「②電子黒板プロジェクタ内蔵型」「③電子黒板ボード型」を加えても 50.2%に留まっている。

1-2-21 GIGA スクール構想で導入された端末をいっそう活用するために、今後の整備を希望するものは次のどれですか。(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①高性能ウェブカメラ	8	22.9%	47	24.9%	60	26.0%	115	25.3%
②360° カメラ	6	17.1%	22	11.6%	28	12.1%	56	12.3%
③高性能マイクスピーカー	11	31.4%	46	24.3%	56	24.2%	113	24.8%
④ヘッドセット(イヤホン・マイク)	17	48.6%	56	29.6%	69	29.9%	142	31.2%
⑤高性能大型提示装置	19	54.3%	79	41.8%	76	32.9%	174	38.2%
⑥映像配信の装置(画面切り替えなど)	11	31.4%	53	28.0%	54	23.4%	118	25.9%
⑦配信用スタジオ(放送室の改修なども含む)	7	20.0%	32	16.9%	23	10.0%	62	13.6%
⑧その他	7	20.0%	22	11.6%	15	6.5%	44	9.7%
無回答	6	17.1%	34	18.0%	48	20.8%	88	19.3%
回答数合計	92	262.9%	391	206.9%	429	185.7%	912	200.4%
回答者数(母数)	35		189		231		455	



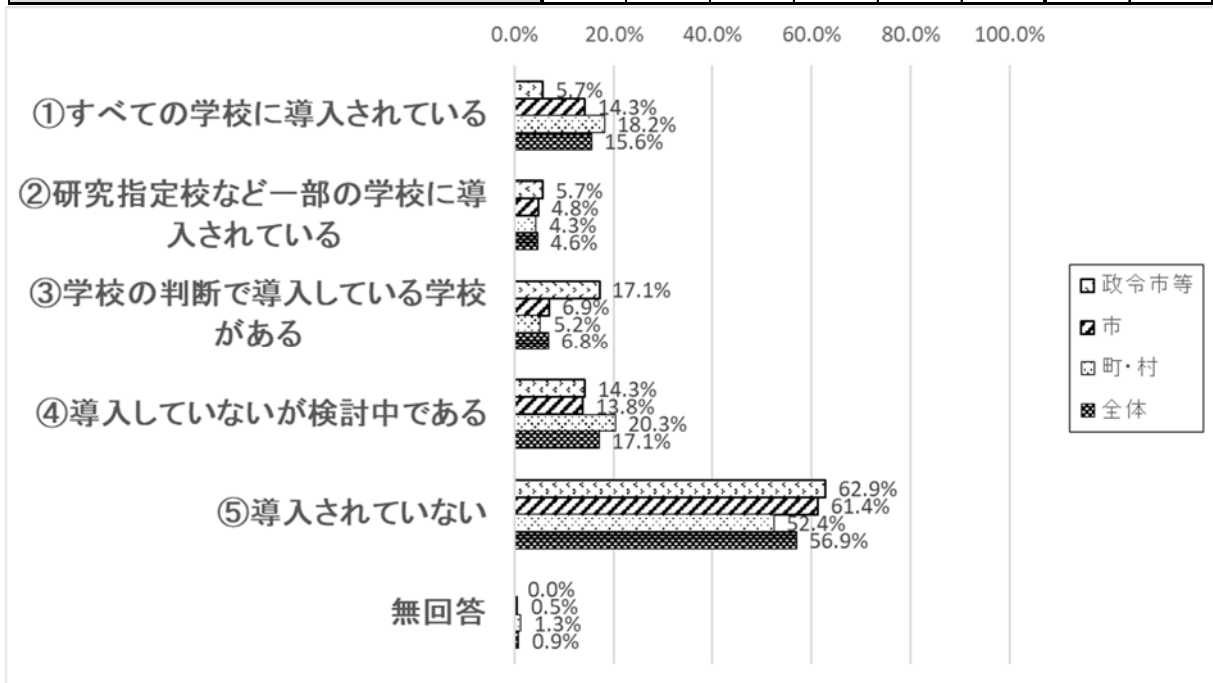
※「⑦高性能大型提示装置」が38.2%と最も多い。「④ヘッドセット(イヤホン・マイク)」が31.2%、遠隔配信用の「①高性能ウェブカメラ」が25.3%、「③高性能マイクスピーカー」が24.8%と一様に多くなっており、オンライン授業のニーズが強くなっている。

1-3 ソフトウェアに関する項目

1-3-01 学習者用デジタル教科書の導入について伺います

1-3-01(1) 文部科学省の学習者用デジタル教科書普及促進事業とは別で学習者用デジタル教科書が小学校に導入されていますか。(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すべての学校に導入されている	2	5.7%	27	14.3%	42	18.2%	71	15.6%
②研究指定校など一部の学校に導入されている	2	5.7%	9	4.8%	10	4.3%	21	4.6%
③学校の判断で導入している学校がある	6	17.1%	13	6.9%	12	5.2%	31	6.8%
④導入していないが検討中である	5	14.3%	26	13.8%	47	20.3%	78	17.1%
⑤導入されていない	22	62.9%	116	61.4%	121	52.4%	259	56.9%
無回答			1	0.5%	3	1.3%	4	0.9%
回答数合計	37	105.7%	192	101.6%	235	101.7%	464	102.0%
回答者数(母数)	35		189		231		455	

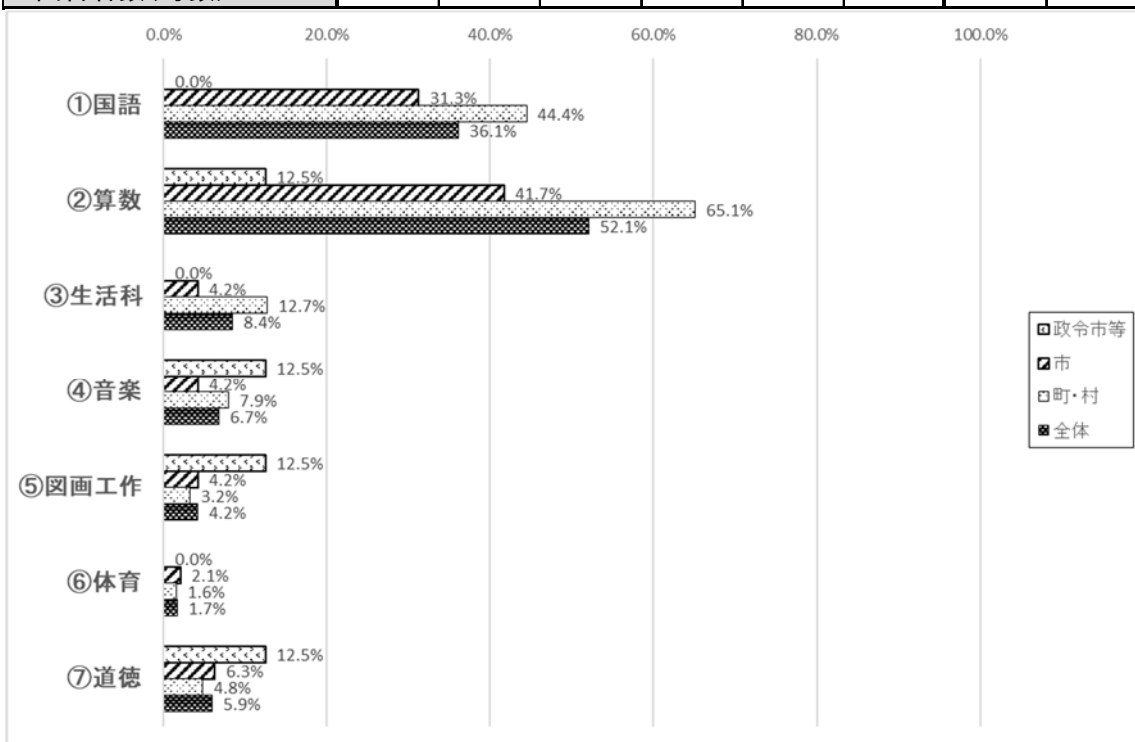


※「①すべての学校に導入されている」「②研究指定校など一部の学校に導入されている」「③学校の判断で導入している学校がある」を合わせると、政令市等では 28.5%、市では 26%、町・村では 27.7%に留まっており、自治体予算での導入はまだまだ進んでいないことがうかがえる。

1-3-01(2) 「1-3-01(1)」で①～③と回答された方に伺います。自治体予算で導入されている教科は何ですか。

1-3-01(2.1) 低学年(いくつでも)

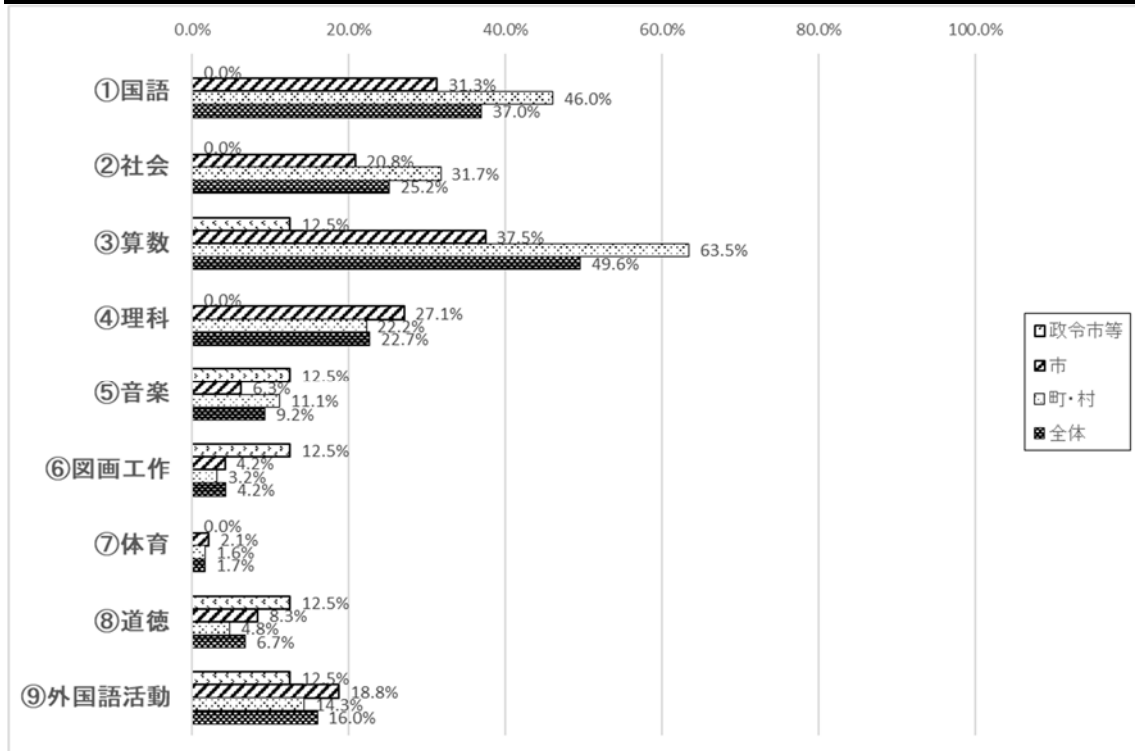
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語			15	31.3%	28	44.4%	43	36.1%
②算数	1	12.5%	20	41.7%	41	65.1%	62	52.1%
③生活科			2	4.2%	8	12.7%	10	8.4%
④音楽	1	12.5%	2	4.2%	5	7.9%	8	6.7%
⑤図画工作	1	12.5%	2	4.2%	2	3.2%	5	4.2%
⑥体育			1	2.1%	1	1.6%	2	1.7%
⑦道徳	1	12.5%	3	6.3%	3	4.8%	7	5.9%
無回答	6	75.0%	25	52.1%	18	28.6%	49	41.2%
回答数合計	10	125.0%	70	145.8%	106	168.3%	186	156.3%
回答者数(母数)	8		48		63		119	



※「②算数」が最も多く、全体で52.1%となっている。次いで「①国語」が36.1%となっている。算数は、学習者用デジタル教科書普及促進事業でおよそ半数の学校に5・6年が導入されているため、低学年を追加整備していることが考えられる。

1-3-01(2.2) 中学年(いくつでも)

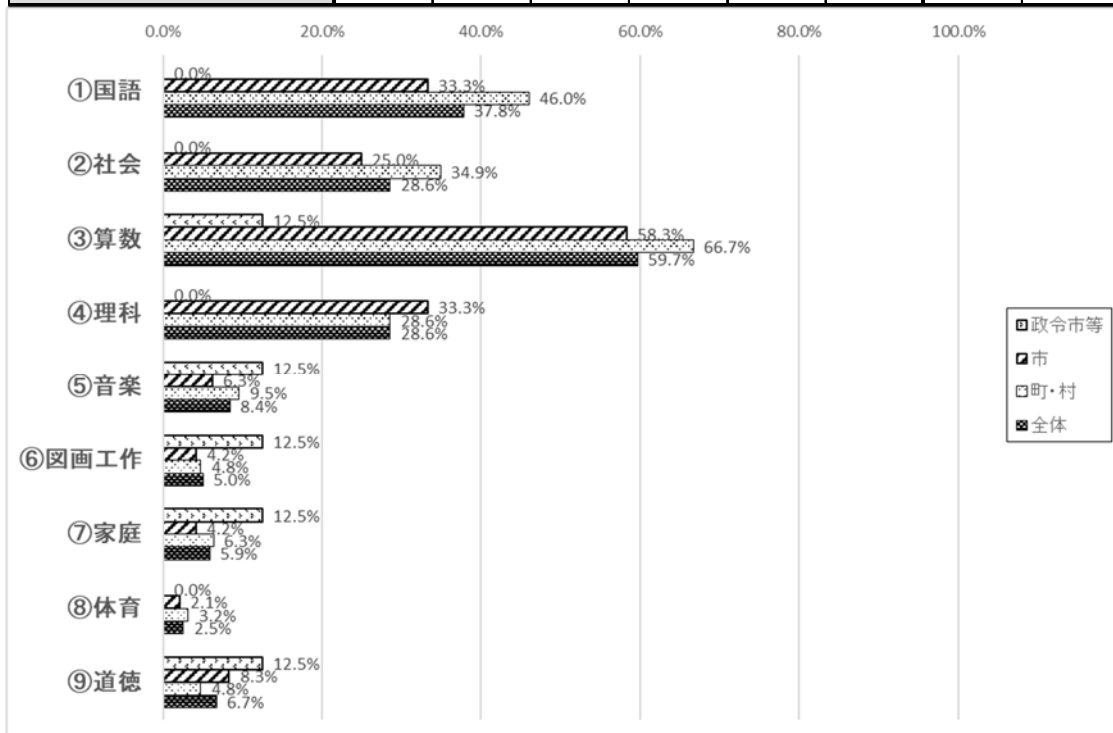
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語			15	31.3%	29	46.0%	44	37.0%
②社会			10	20.8%	20	31.7%	30	25.2%
③算数	1	12.5%	18	37.5%	40	63.5%	59	49.6%
④理科			13	27.1%	14	22.2%	27	22.7%
⑤音楽	1	12.5%	3	6.3%	7	11.1%	11	9.2%
⑥図画工作	1	12.5%	2	4.2%	2	3.2%	5	4.2%
⑦体育			1	2.1%	1	1.6%	2	1.7%
⑧道徳	1	12.5%	4	8.3%	3	4.8%	8	6.7%
⑨外国語活動	1	12.5%	9	18.8%	9	14.3%	19	16.0%
無回答	5	62.5%	23	47.9%	18	28.6%	46	38.7%
回答数合計	10	125.0%	98	204.2%	143	227.0%	251	210.9%
回答者数(母数)	8		48		63		119	



※「③算数」が最も多く、全体で52.1%となっている。次いで「①国語」が36.1%となっている。学習者用デジタル教科書普及促進事業でおよそ半数の学校に、算数5・6年が導入されているため、低学年を追加整備していることが考えられる。

1-3-01(2.3) 高学年(いくつでも)

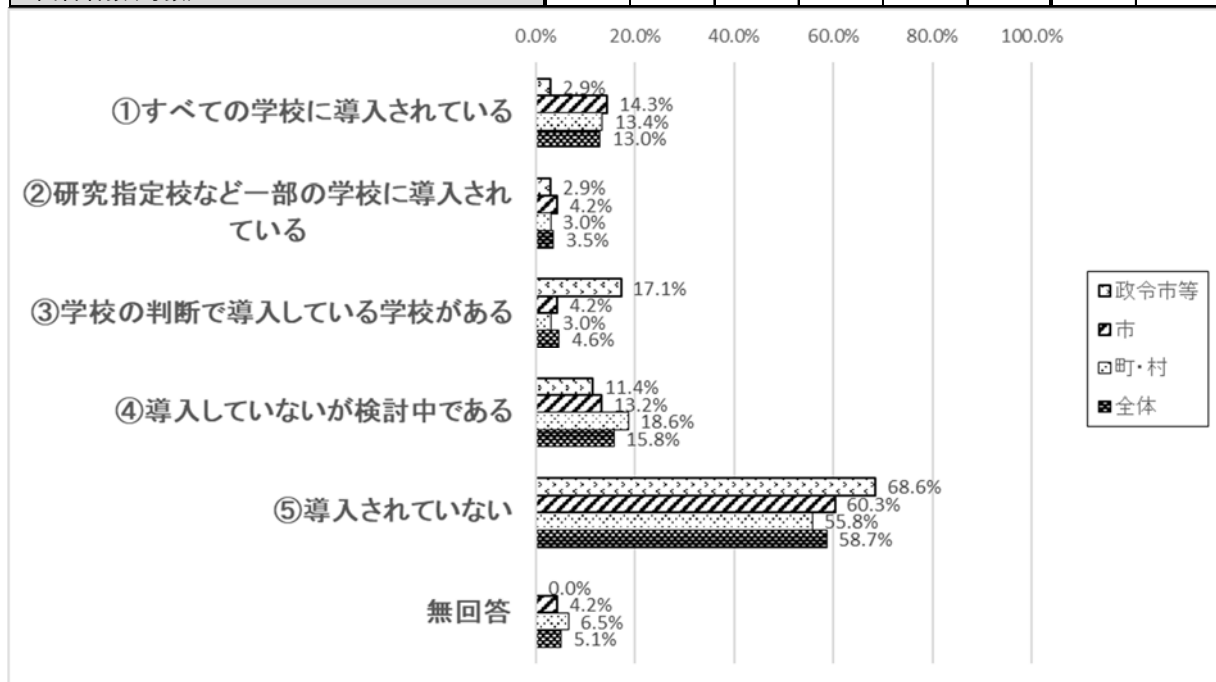
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語			16	33.3%	29	46.0%	45	37.8%
②社会			12	25.0%	22	34.9%	34	28.6%
③算数	1	12.5%	28	58.3%	42	66.7%	71	59.7%
④理科			16	33.3%	18	28.6%	34	28.6%
⑤音楽	1	12.5%	3	6.3%	6	9.5%	10	8.4%
⑥図画工作	1	12.5%	2	4.2%	3	4.8%	6	5.0%
⑦家庭	1	12.5%	2	4.2%	4	6.3%	7	5.9%
⑧体育			1	2.1%	2	3.2%	3	2.5%
⑨道徳	1	12.5%	4	8.3%	3	4.8%	8	6.7%
無回答	6	75.0%	13	27.1%	15	23.8%	34	28.6%
回答数合計	11	137.5%	97	202.1%	144	228.6%	252	211.8%
回答者数(母数)	8		48		63		119	



※ 「③算数」が最も多く、全体で59.7%となっている。次いで「①国語」が37.8%となっている。学習者用デジタル教科書普及促進事業でおよそ半数の学校に、算数5・6年が導入されているため、導入されていない学校に対して追加整備していることが考えられる。

1-3-01(3) 文部科学省の学習者用デジタル教科書普及促進事業とは別で学習者用デジタル教科書が中学校に導入されていますか。(いくつでも)

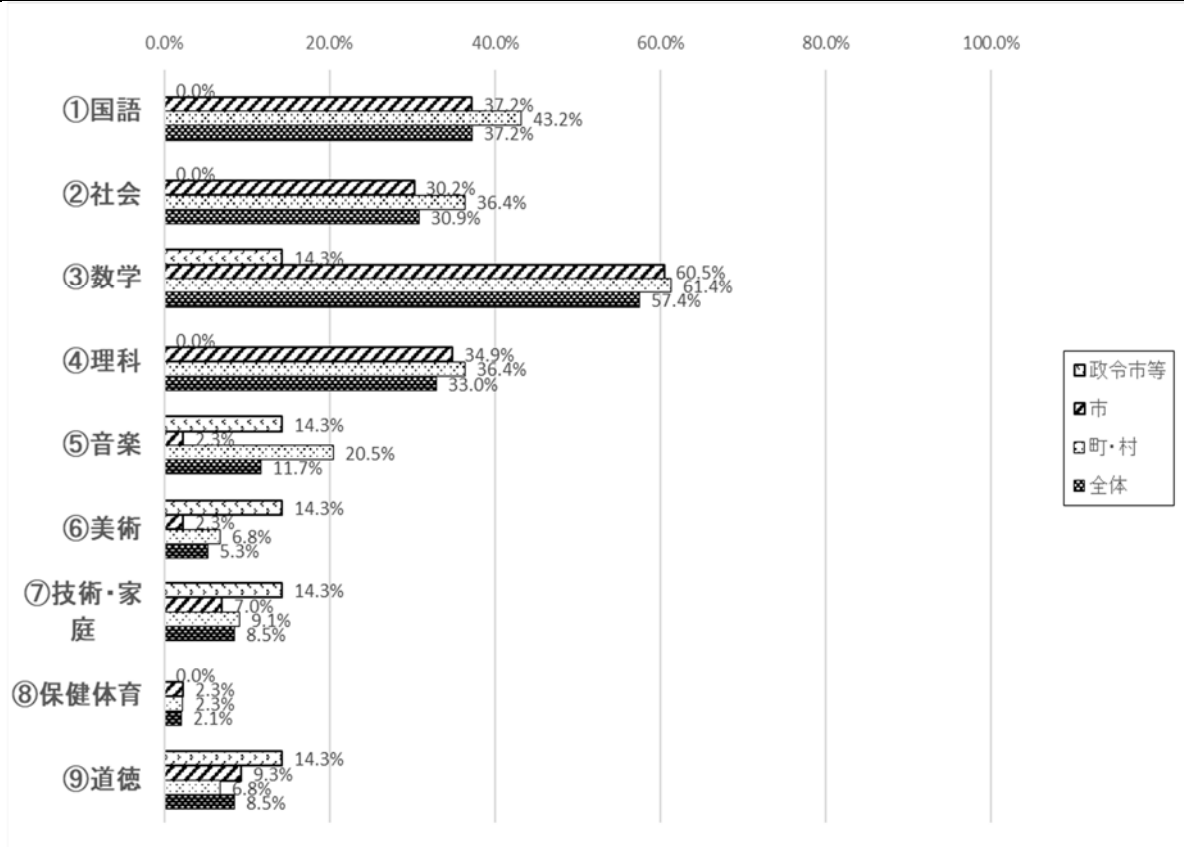
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すべての学校に導入されている	1	2.9%	27	14.3%	31	13.4%	59	13.0%
②研究指定校など一部の学校に導入されている	1	2.9%	8	4.2%	7	3.0%	16	3.5%
③学校の判断で導入している学校がある	6	17.1%	8	4.2%	7	3.0%	21	4.6%
④導入していないが検討中である	4	11.4%	25	13.2%	43	18.6%	72	15.8%
⑤導入されていない	24	68.6%	114	60.3%	129	55.8%	267	58.7%
無回答			8	4.2%	15	6.5%	23	5.1%
回答数合計	36	102.9%	190	100.5%	232	100.4%	458	100.7%
回答者数(母数)	35		189		231		455	



※「①すべての学校に導入されている」「②研究指定校など一部の学校に導入されている」「③学校の判断で導入している学校がある」を合わせると、政令市等では 22.9%、市では 22.7%、町・村では 19.4%に留まっており、自治体予算での導入はまだまだ進んでいないことがうかがえる。

1-3-01(4) 「1-3-01(3)」で①～③と回答された方に伺います。自治体予算で導入されている教科は何ですか。(いくつでも)

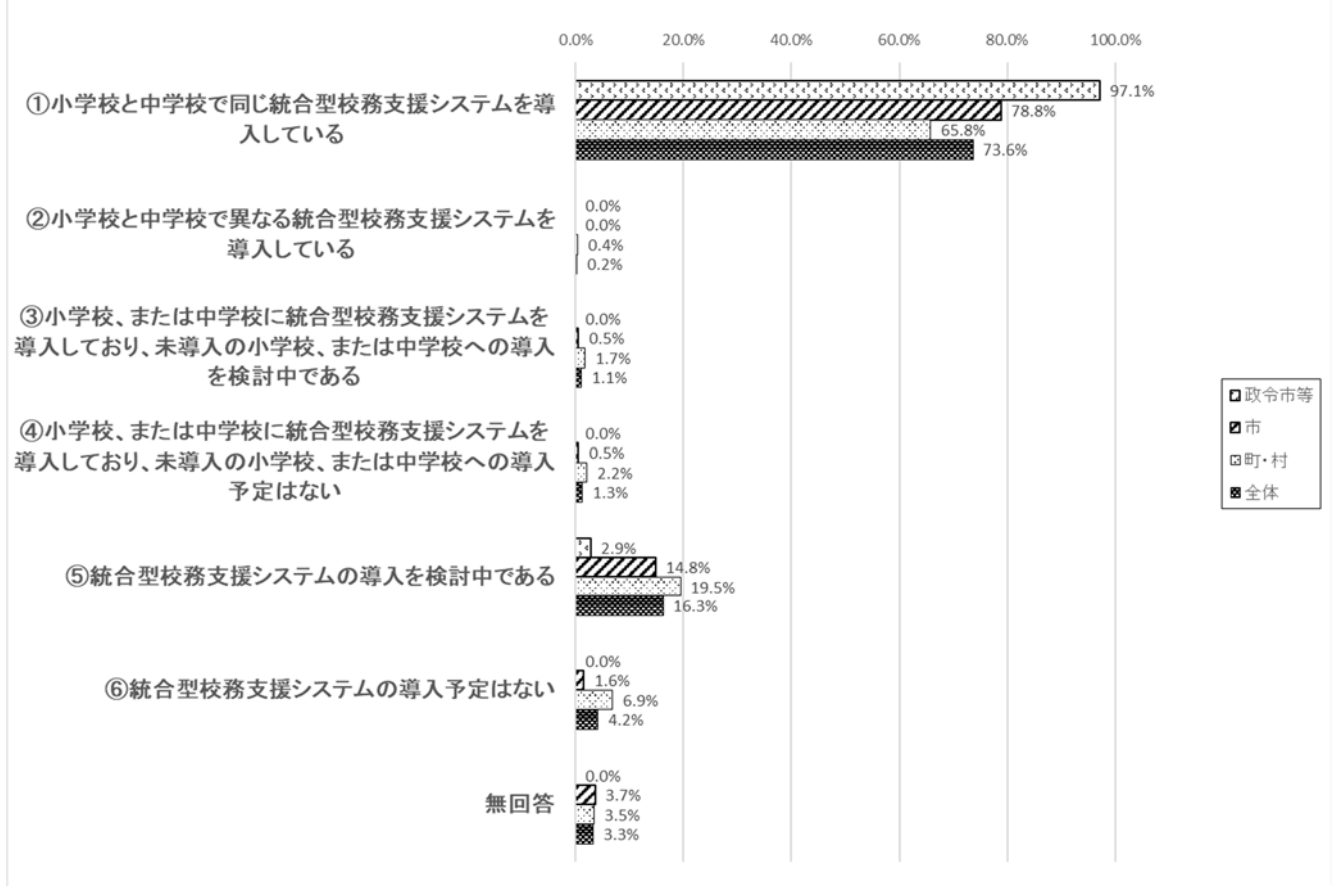
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語			16	37.2%	19	43.2%	35	37.2%
②社会			13	30.2%	16	36.4%	29	30.9%
③数学	1	14.3%	26	60.5%	27	61.4%	54	57.4%
④理科			15	34.9%	16	36.4%	31	33.0%
⑤音楽	1	14.3%	1	2.3%	9	20.5%	11	11.7%
⑥美術	1	14.3%	1	2.3%	3	6.8%	5	5.3%
⑦技術・家庭	1	14.3%	3	7.0%	4	9.1%	8	8.5%
⑧保健体育			1	2.3%	1	2.3%	2	2.1%
⑨道徳	1	14.3%	4	9.3%	3	6.8%	8	8.5%
無回答	5	71.4%	11	25.6%	8	18.2%	24	25.5%
回答数合計	10	142.9%	91	211.6%	106	240.9%	207	220.2%
回答者数(母数)	7		43		44		94	



※「③数学」が最も多く、全体で **57.4%** となっている。次いで「①国語」が 37.2%、「④理科」が 33.0%、「②社会」が 30.9% となっている。数学は、学習者用デジタル教科書普及促進事業でおよそ半数の学校に導入されているため、整備されていない学校に対して追加整備していることが考えられる。

1-3-02 統合型校務支援システムについて伺います。

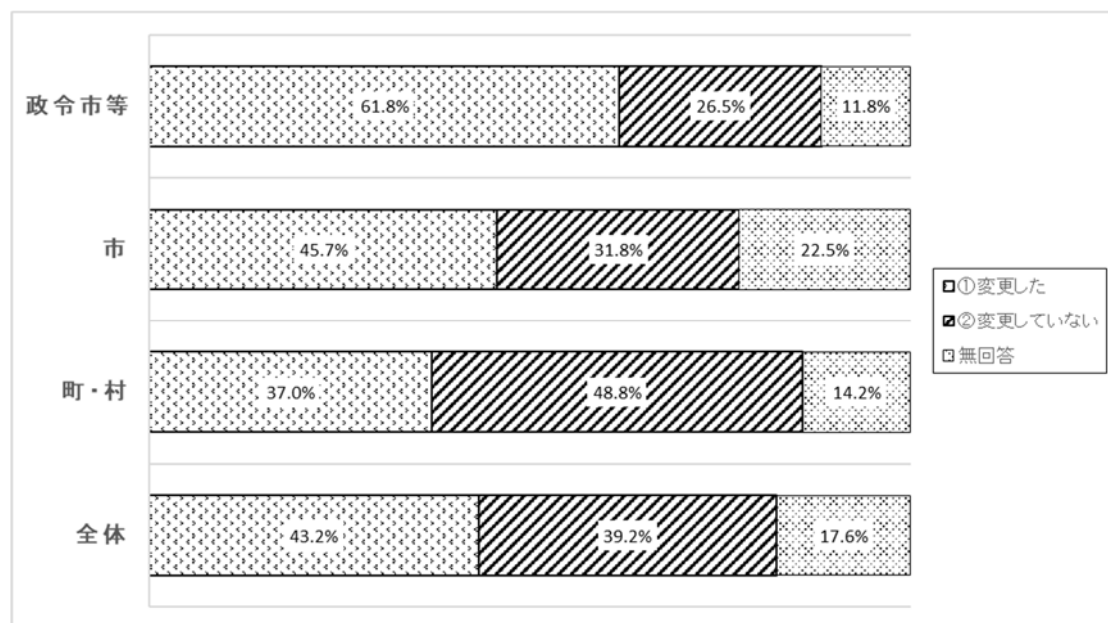
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①小学校と中学校で同じ統合型校務支援システムを導入している	34	97.1%	149	78.8%	152	65.8%	335	73.6%
②小学校と中学校で異なる統合型校務支援システムを導入している					1	0.4%	1	0.2%
③小学校、または中学校に統合型校務支援システムを導入しており、未導入の小学校、または中学校への導入を検討中である			1	0.5%	4	1.7%	5	1.1%
④小学校、または中学校に統合型校務支援システムを導入しており、未導入の小学校、または中学校への導入予定はない			1	0.5%	5	2.2%	6	1.3%
⑤統合型校務支援システムの導入を検討中である	1	2.9%	28	14.8%	45	19.5%	74	16.3%
⑥統合型校務支援システムの導入予定はない			3	1.6%	16	6.9%	19	4.2%
無回答			7	3.7%	8	3.5%	15	3.3%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※依然として自治体規模により大きな差が出ている。「①小学校と中学校で同じ統合型校務支援システムを導入している」は、政令市等で97.1%、市で78.8%、町・村で65.8%となっており、前回調査と比較すると全体で（63.9%→73.6%）と増加している。

1-3-04 「1-3-02」で①～④と回答された方に伺います。統合型校務支援システムを導入するにあたり、これまでの校務のルールを変更しましたか。

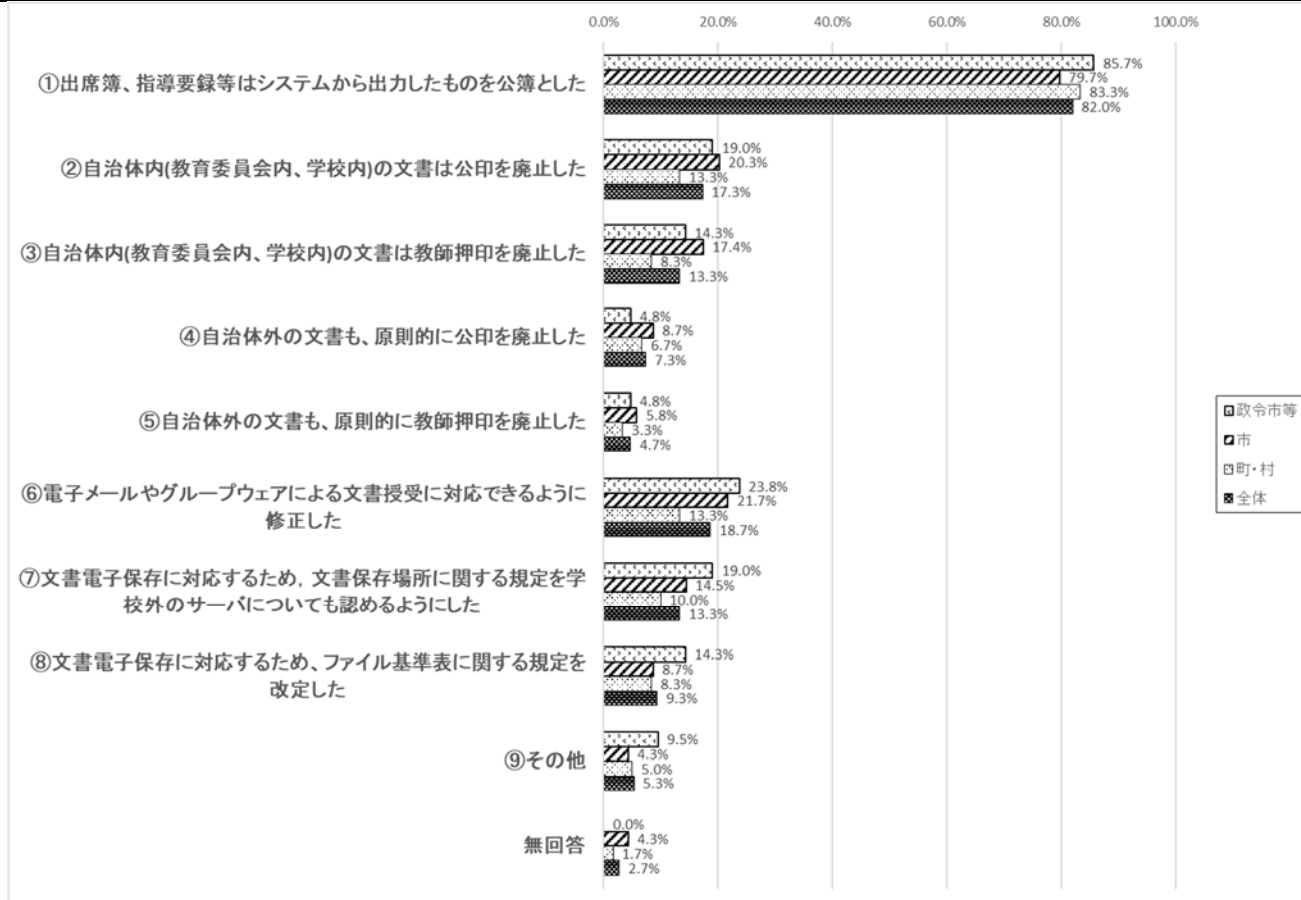
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①変更した	21	61.8%	69	45.7%	60	37.0%	150	43.2%
②変更していない	9	26.5%	48	31.8%	79	48.8%	136	39.2%
無回答	4	11.8%	34	22.5%	23	14.2%	61	17.6%
回答者数(母数)	34	100.0%	151	100.0%	162	100.0%	347	100.0%



※政令市等では「①変更した」61.8%が「②変更していない」26.5%より多くっており、市も同様に「①変更した」45.7%が「②変更していない」31.8%より多くになっている。一方、町・村では「①変更した」37.0%より「②変更していない」48.8%が多くなっており、自治体規模により差が出ている。

1-3-05 「1-3-04」で「①変更した」と回答された方に伺います。変更した具体的な内容はどのようなものですか。(いくつでも)

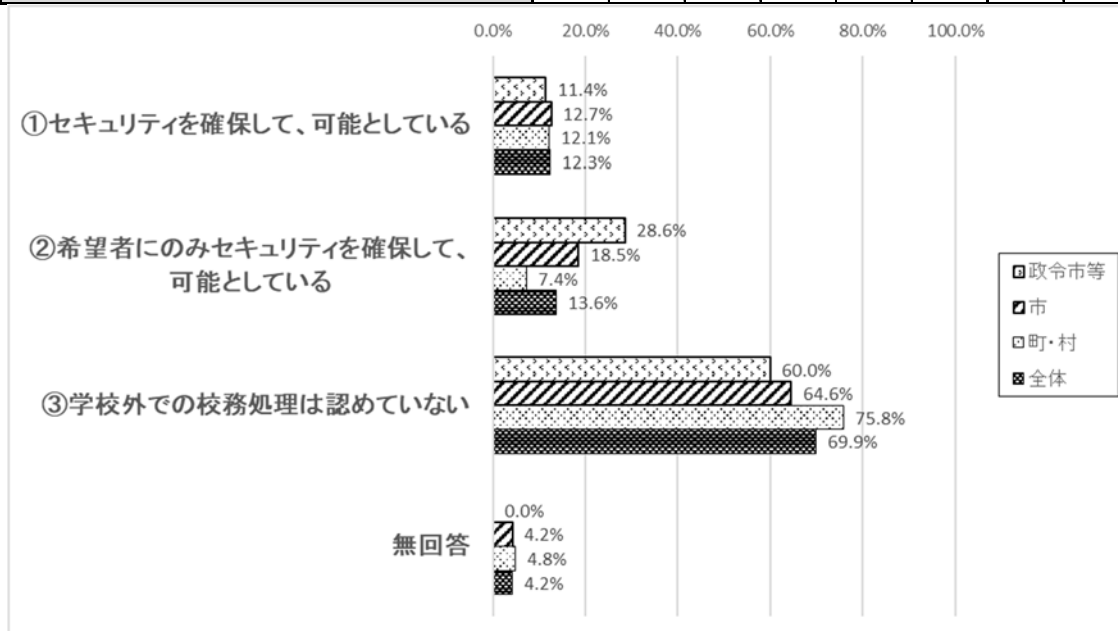
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①出席簿、指導要録等はシステムから出力したものを公簿とした	18	85.7%	55	79.7%	50	83.3%	123	82.0%
②自治体内(教育委員会内、学校内)の文書は公印を廃止した	4	19.0%	14	20.3%	8	13.3%	26	17.3%
③自治体内(教育委員会内、学校内)の文書は教師押印を廃止した	3	14.3%	12	17.4%	5	8.3%	20	13.3%
④自治体外の文書も、原則的に公印を廃止した	1	4.8%	6	8.7%	4	6.7%	11	7.3%
⑤自治体外の文書も、原則的に教師押印を廃止した	1	4.8%	4	5.8%	2	3.3%	7	4.7%
⑥電子メールやグループウェアによる文書授受に対応できるように修正した	5	23.8%	15	21.7%	8	13.3%	28	18.7%
⑦文書電子保存に対応するため、文書保存場所に関する規定を学校外のサーバについても認めるようにした	4	19.0%	10	14.5%	6	10.0%	20	13.3%
⑧文書電子保存に対応するため、ファイル基準表に関する規定を改定した	3	14.3%	6	8.7%	5	8.3%	14	9.3%
⑨その他	2	9.5%	3	4.3%	3	5.0%	8	5.3%
無回答			3	4.3%	1	1.7%	4	2.7%
回答数合計	41	195.2%	128	185.5%	92	153.3%	261	174.0%
回答者数(母数)	21		69		60		150	



※「①出席簿、指導要録等はシステムから出力したものを公簿とした」が、自治体規模に大きな差異なく、全体で82.0%となっている。

1-3-06 学校外での校務処理についてあてはまるものを一つ選択してください。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①セキュリティを確保して、可能としている	4	11.4%	24	12.7%	28	12.1%	56	12.3%
②希望者にのみセキュリティを確保して、可能としている	10	28.6%	35	18.5%	17	7.4%	62	13.6%
③学校外での校務処理は認めていない	21	60.0%	122	64.6%	175	75.8%	318	69.9%
無回答			8	4.2%	11	4.8%	19	4.2%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%

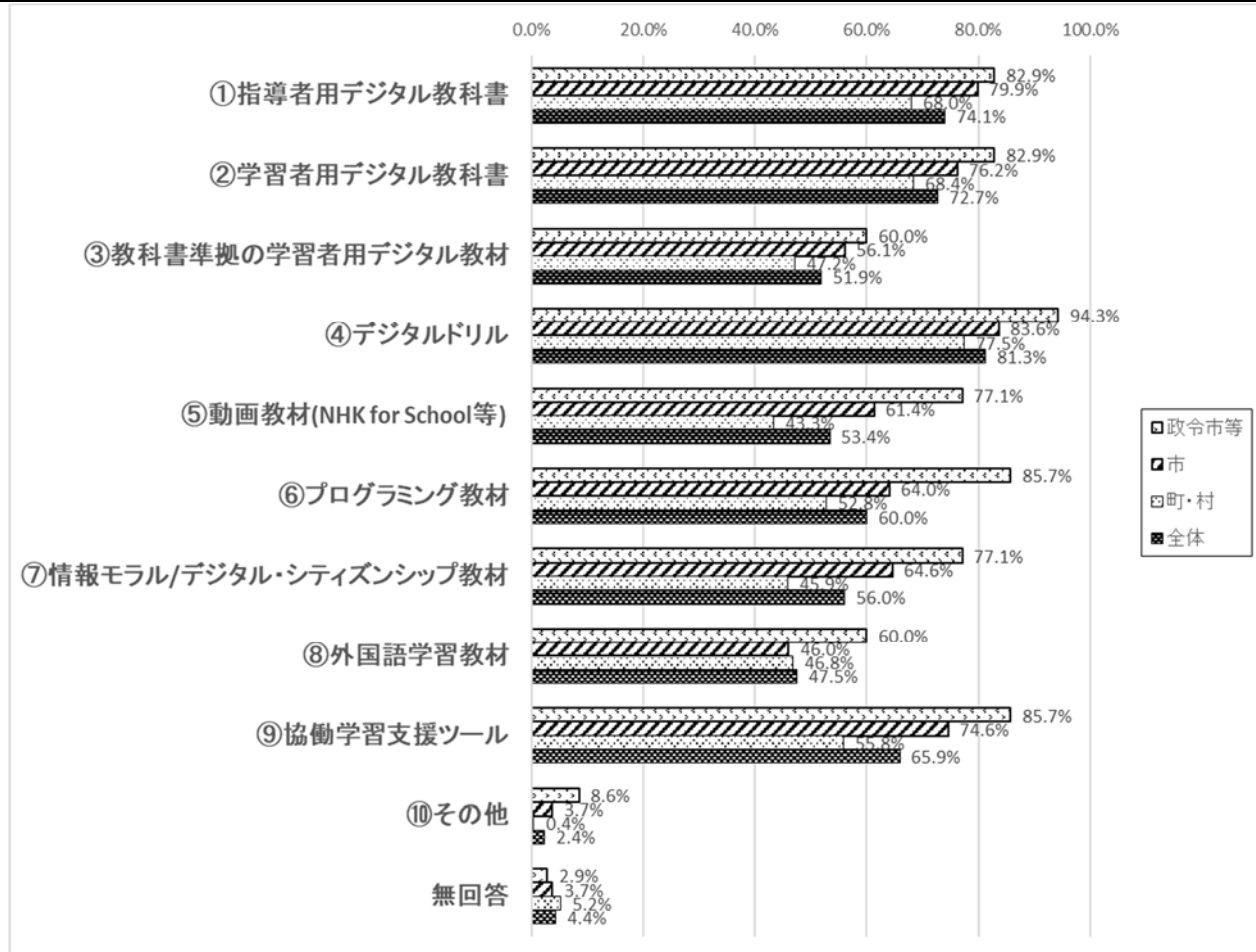


※「①セキュリティを確保して、可能としている」は全体で12.3%に留まり、「③学校外での校務処理は認めていない」が全体で69.9%である。

しかしながら1-7-01(2)「セキュリティを確保して、学校外で校務処理を可能とすべきである。」では、「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて62.5%である。2-5-01(9)「セキュリティを確保して、自宅や出張先で校務処理を可能とすべきである。」では、「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて80.4%となっており改善が強く望まれる。

1-3-07(1) 1人1台端末を活用するために、必要だと思うアプリ・ツール(オンライン教材を含む)は何ですか。(いくつでも)

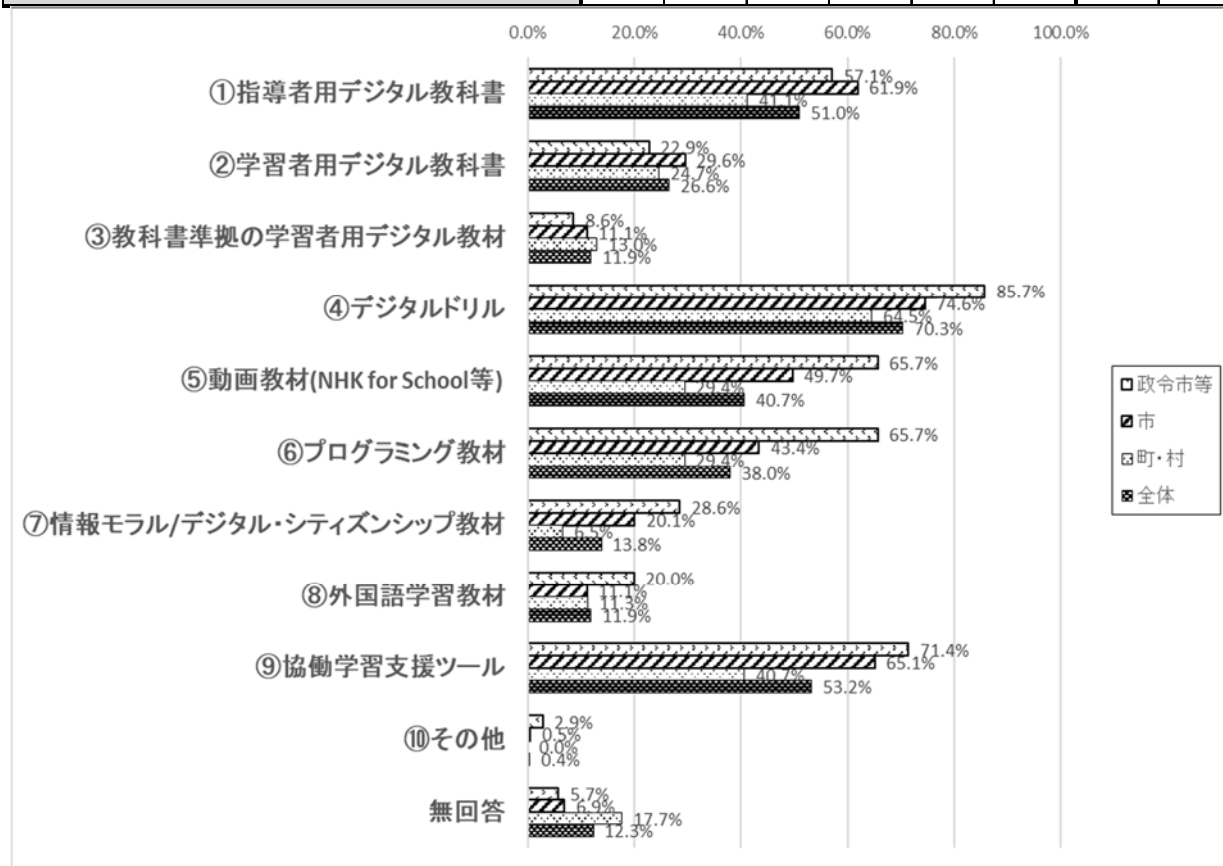
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①指導者用デジタル教科書	29	82.9%	151	79.9%	157	68.0%	337	74.1%
②学習者用デジタル教科書	29	82.9%	144	76.2%	158	68.4%	331	72.7%
③教科書準拠の学習者用デジタル教材	21	60.0%	106	56.1%	109	47.2%	236	51.9%
④デジタルドリル	33	94.3%	158	83.6%	179	77.5%	370	81.3%
⑤動画教材(NHK for School等)	27	77.1%	116	61.4%	100	43.3%	243	53.4%
⑥プログラミング教材	30	85.7%	121	64.0%	122	52.8%	273	60.0%
⑦情報モラル/デジタル・シティズンシップ教材	27	77.1%	122	64.6%	106	45.9%	255	56.0%
⑧外国語学習教材	21	60.0%	87	46.0%	108	46.8%	216	47.5%
⑨協働学習支援ツール	30	85.7%	141	74.6%	129	55.8%	300	65.9%
⑩その他	3	8.6%	7	3.7%	1	0.4%	11	2.4%
無回答	1	2.9%	7	3.7%	12	5.2%	20	4.4%
回答数合計	251	717.1%	1,160	613.8%	1,181	511.3%	2,592	569.7%
回答者数(母数)	35		189		231		455	



※「④デジタルドリル」が最も多く、全体で81.3%。次いで「①指導者用デジタル教科書」74.1%、「②学習者用デジタル教科書」72.7%、「⑨協働学習支援ツール」65.9%となっている。

1-3-07(2) 「1-3-07(1)」で選択した項目の中で、すでに導入しているアプリ・ツールはありますか。(いくつかつでも)

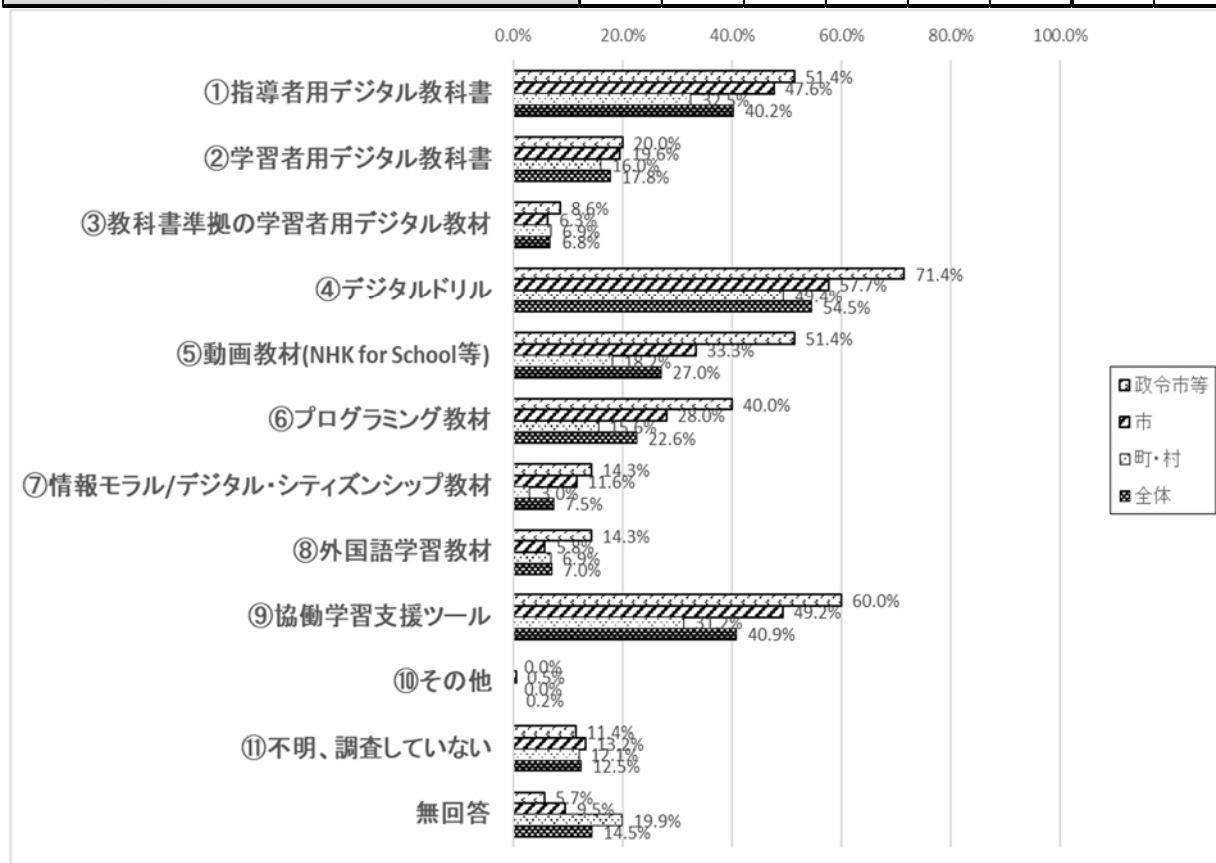
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①指導者用デジタル教科書	20	57.1%	117	61.9%	95	41.1%	232	51.0%
②学習者用デジタル教科書	8	22.9%	56	29.6%	57	24.7%	121	26.6%
③教科書準拠の学習者用デジタル教材	3	8.6%	21	11.1%	30	13.0%	54	11.9%
④デジタルドリル	30	85.7%	141	74.6%	149	64.5%	320	70.3%
⑤動画教材(NHK for School等)	23	65.7%	94	49.7%	68	29.4%	185	40.7%
⑥プログラミング教材	23	65.7%	82	43.4%	68	29.4%	173	38.0%
⑦情報モラル/デジタル・シティズンシップ教材	10	28.6%	38	20.1%	15	6.5%	63	13.8%
⑧外国語学習教材	7	20.0%	21	11.1%	26	11.3%	54	11.9%
⑨協働学習支援ツール	25	71.4%	123	65.1%	94	40.7%	242	53.2%
⑩その他	1	2.9%	1	0.5%			2	0.4%
無回答	2	5.7%	13	6.9%	41	17.7%	56	12.3%
回答数合計	152	434.3%	707	374.1%	643	278.4%	1,502	330.1%
回答者数(母数)	35		189		231		455	



※「④デジタルドリル」が最も多く、全体で70.3%となっており、前問の結果と合致している。一方、「②学習者用デジタル教科書」は全体で26.6%となっており、前問(72.7%)と大きな差がある。1人1台端末を有効活用するためにも「②学習者用デジタル教科書」のさらなる導入が望まれる。

1-3-07(3) 「1-3-07(2)」で選択した項目の中で、効果があったアプリ・ツールはありますか。(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①指導者用デジタル教科書	18	51.4%	90	47.6%	75	32.5%	183	40.2%
②学習者用デジタル教科書	7	20.0%	37	19.6%	37	16.0%	81	17.8%
③教科書準拠の学習者用デジタル教材	3	8.6%	12	6.3%	16	6.9%	31	6.8%
④デジタルドリル	25	71.4%	109	57.7%	114	49.4%	248	54.5%
⑤動画教材(NHK for School等)	18	51.4%	63	33.3%	42	18.2%	123	27.0%
⑥プログラミング教材	14	40.0%	53	28.0%	36	15.6%	103	22.6%
⑦情報モラル/デジタル・シティズンシップ教材	5	14.3%	22	11.6%	7	3.0%	34	7.5%
⑧外国語学習教材	5	14.3%	11	5.8%	16	6.9%	32	7.0%
⑨協働学習支援ツール	21	60.0%	93	49.2%	72	31.2%	186	40.9%
⑩その他			1	0.5%			1	0.2%
⑪不明、調査していない	4	11.4%	25	13.2%	28	12.1%	57	12.5%
無回答	2	5.7%	18	9.5%	46	19.9%	66	14.5%
回答数合計	122	348.6%	534	282.5%	489	211.7%	1,145	251.6%
回答者数(母数)	35		189		231		455	

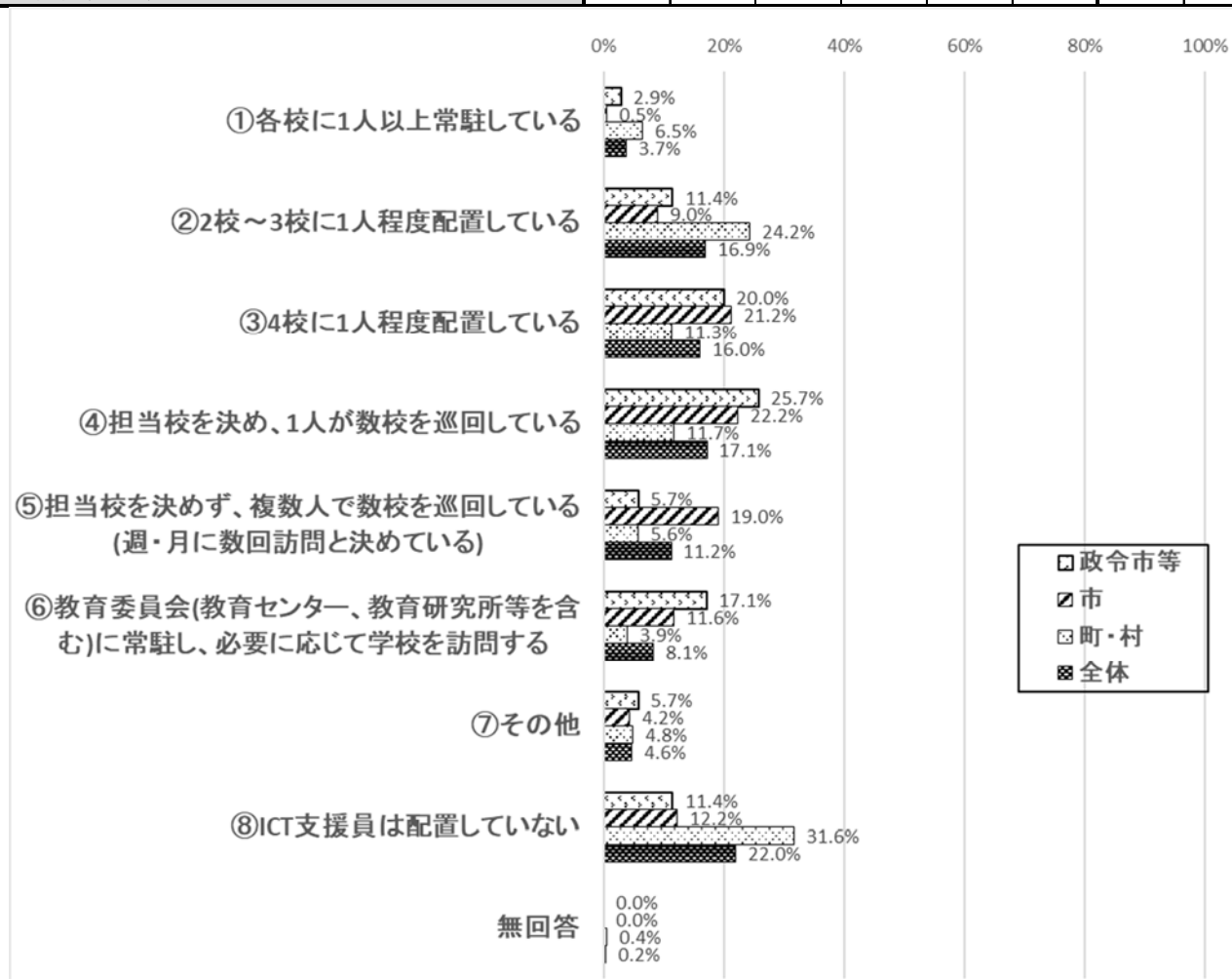


※全体で「④デジタルドリル」が最も多く 54.5%、次いで「⑨協働学習支援ツール」が 40.9% となっている。なお、自治体規模の大きい政令市等では、④⑨の他「①指導者用デジタル教科書」「⑤動画教材(NHK for School 等)」も 51.4%と高い結果が出ている。

1-4 保守サポートに関する項目

1-4-01 ICT 支援員の配置について伺います。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①各校に1人以上常駐している	1	2.9%	1	0.5%	15	6.5%	17	3.7%
②2校～3校に1人程度配置している	4	11.4%	17	9.0%	56	24.2%	77	16.9%
③4校に1人程度配置している	7	20.0%	40	21.2%	26	11.3%	73	16.0%
④担当校を決め、1人が数校を巡回している	9	25.7%	42	22.2%	27	11.7%	78	17.1%
⑤担当校を決めず、複数人で数校を巡回している(週・月に数回訪問と決めている)	2	5.7%	36	19.0%	13	5.6%	51	11.2%
⑥教育委員会(教育センター、教育研究所等を含む)に常駐し、必要に応じて学校を訪問する	6	17.1%	22	11.6%	9	3.9%	37	8.1%
⑦その他	2	5.7%	8	4.2%	11	4.8%	21	4.6%
⑧ICT支援員は配置していない	4	11.4%	23	12.2%	73	31.6%	100	22.0%
無回答					1	0.4%	1	0.2%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



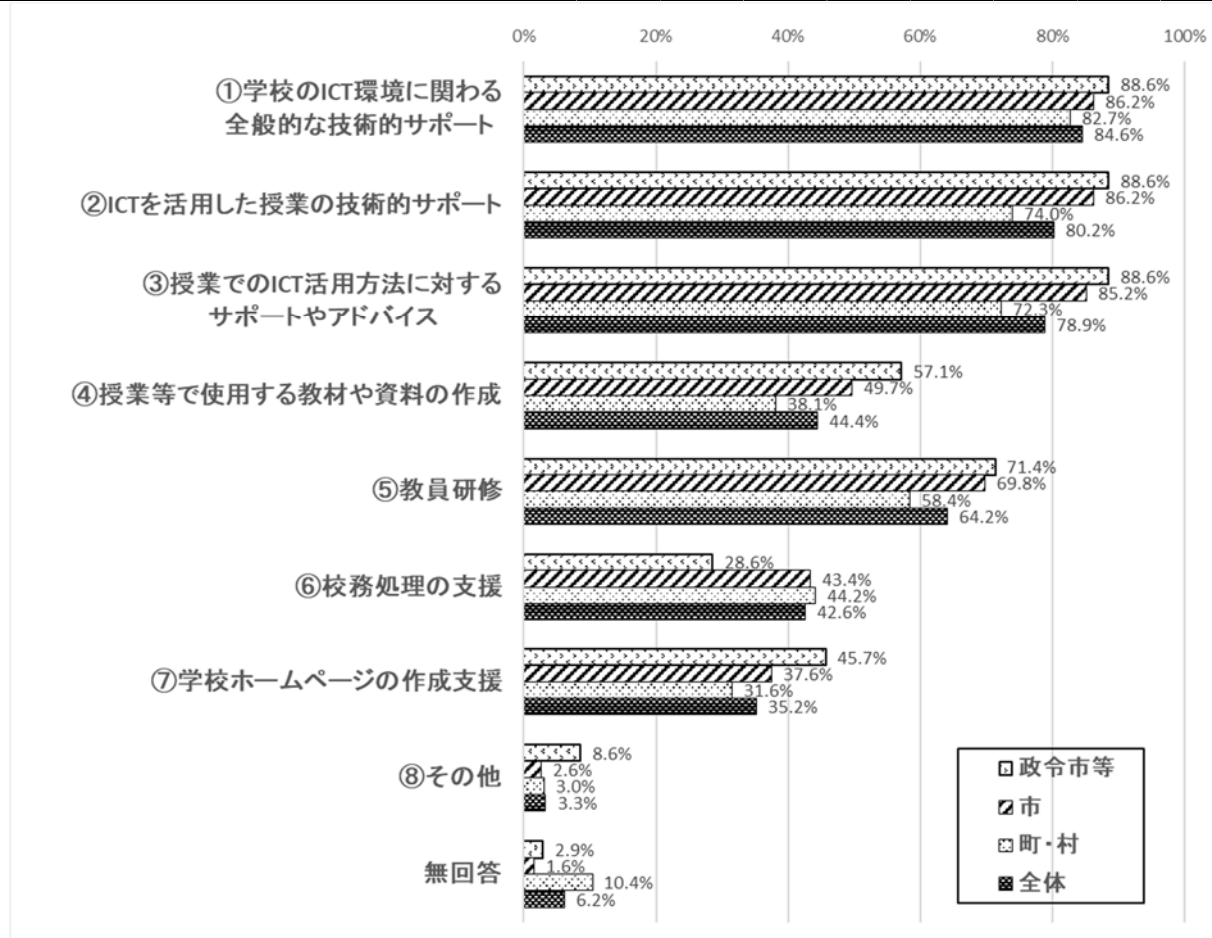
※「⑧ICT 支援員は配置していない」は前回と比べ全体で改善 (32.4%→22.0%)がみられる。

町・村でも前回と比較し改善(40.7%→31.6%)がみられるものの、政令市等、市と比べ支援員未導入地域が多い。

その反面、町・村の支援員配置は「①各校に1人以上常駐している」「②2校～3校に1人程度配置している」の割合が多くなっている。

1-4-02 ICT 支援員に期待する業務について伺います。(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校のICT環境に関わる全般的な技術的サポート	31	88.6%	163	86.2%	191	82.7%	385	84.6%
②ICTを活用した授業の技術的サポート	31	88.6%	163	86.2%	171	74.0%	365	80.2%
③授業でのICT活用方法に対するサポートやアドバイス	31	88.6%	161	85.2%	167	72.3%	359	78.9%
④授業等で使用する教材や資料の作成	20	57.1%	94	49.7%	88	38.1%	202	44.4%
⑤教員研修	25	71.4%	132	69.8%	135	58.4%	292	64.2%
⑥校務処理の支援	10	28.6%	82	43.4%	102	44.2%	194	42.6%
⑦学校ホームページの作成支援	16	45.7%	71	37.6%	73	31.6%	160	35.2%
⑧その他	3	8.6%	5	2.6%	7	3.0%	15	3.3%
無回答	1	2.9%	3	1.6%	24	10.4%	28	6.2%
回答数合計	168	480.0%	874	462.4%	958	414.7%	2,000	439.6%
回答者数(母数)	35		189		231		455	

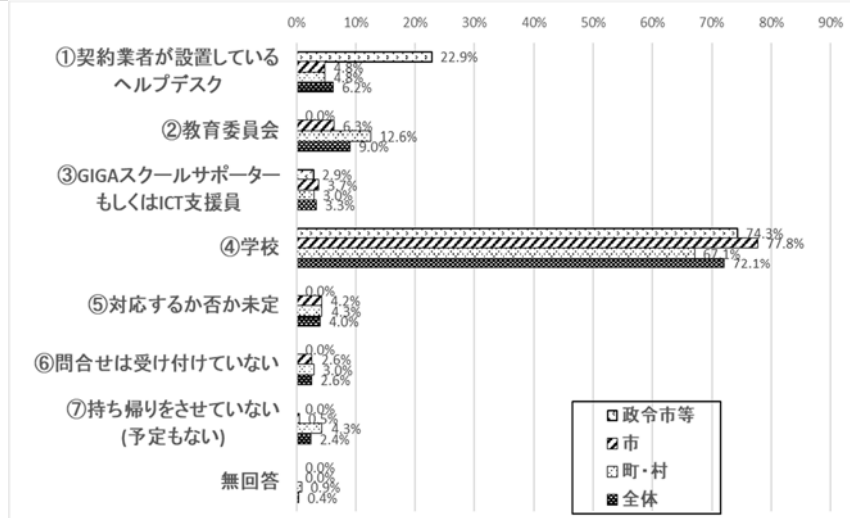


※「①学校の ICT 環境に関わる全般的な技術的サポート」、「②ICT を活用した授業の技術的サポート」、「③授業での ICT 活用方法に対するサポートやアドバイス」が全体で 75%を超えている。

政令市等では「④授業等で使用する教材や資料の作成」が(72.1%→57.1%)と減少している。

1-4-03 1人1台端末が整備され、持ち帰り利用を行っている場合や持ち帰りを予定している場合、家庭からの問合せにはどのように対応(する予定含む)していますか。

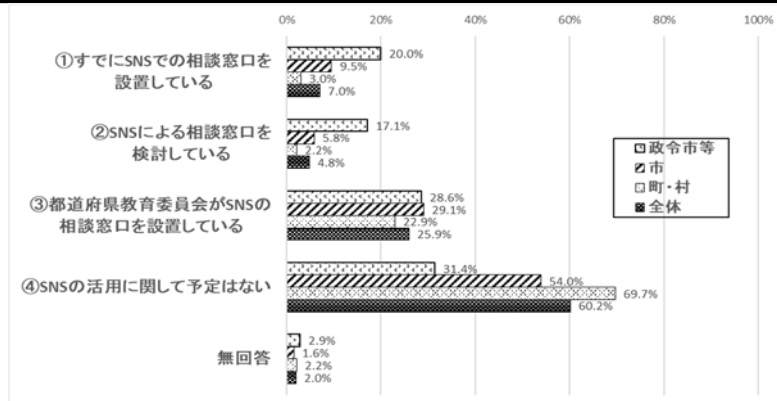
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①契約業者が設置しているヘルプデスク	8	22.9%	9	4.8%	11	4.8%	28	6.2%
②教育委員会			12	6.3%	29	12.6%	41	9.0%
③GIGAスクールサポーターもしくはICT支援員	1	2.9%	7	3.7%	7	3.0%	15	3.3%
④学校	26	74.3%	147	77.8%	155	67.1%	328	72.1%
⑤対応するか否か未定			8	4.2%	10	4.3%	18	4.0%
⑥問合せは受け付けていない			5	2.6%	7	3.0%	12	2.6%
⑦持ち帰りをさせていない(予定もない)			1	0.5%	10	4.3%	11	2.4%
無回答					2	0.9%	2	0.4%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※「④学校」が最も多く、全体では前回から増加（54.2%→72.1%）しており、学校現場の更なる負担増加が懸念され、対策が望まれる。

1-4-04 児童・生徒の学校での悩み事やトラブルの相談窓口として SNS の活用を行っていますか。

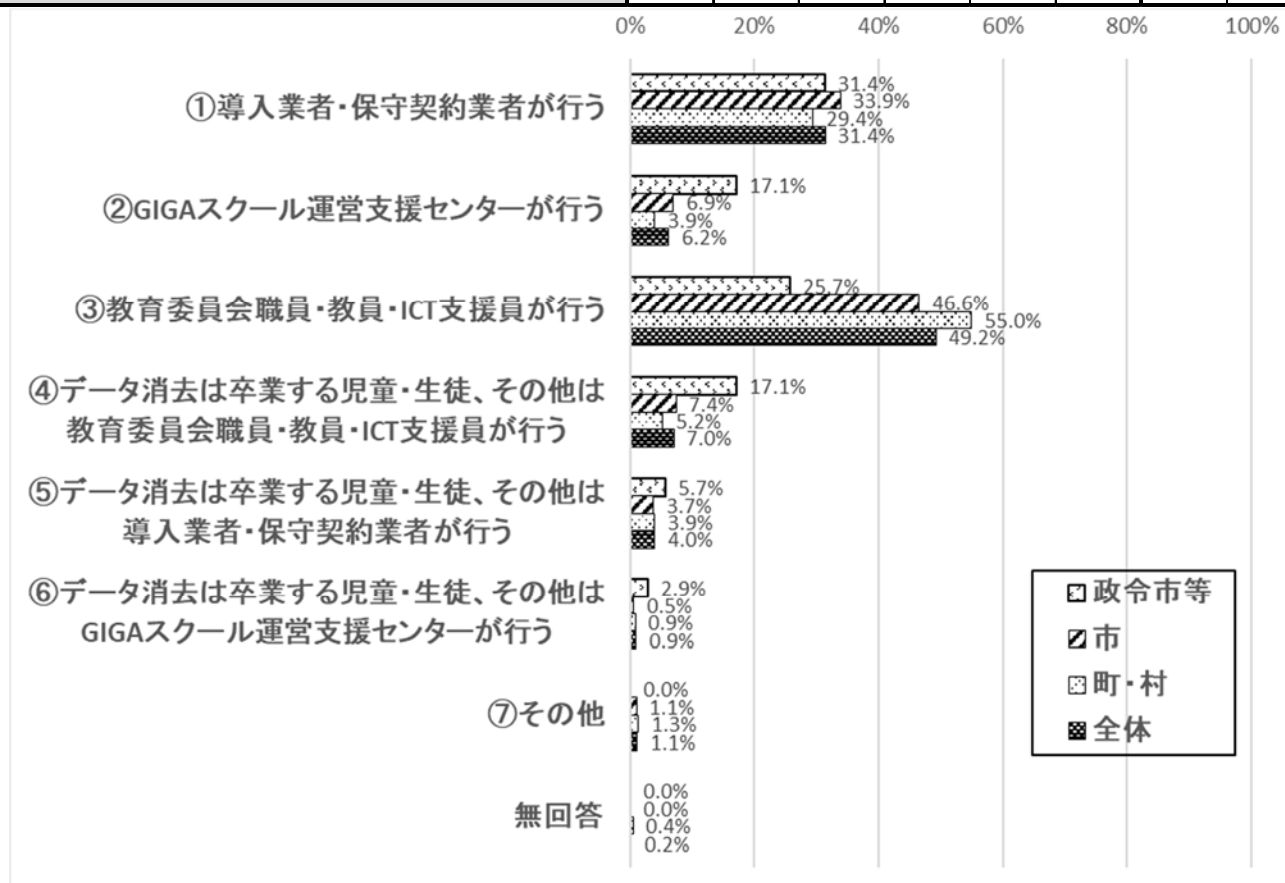
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すでにSNSでの相談窓口を設置している	7	20.0%	18	9.5%	7	3.0%	32	7.0%
②SNSによる相談窓口を検討している	6	17.1%	11	5.8%	5	2.2%	22	4.8%
③都道府県教育委員会がSNSの相談窓口を設置している	10	28.6%	55	29.1%	53	22.9%	118	25.9%
④SNSの活用に関して予定はない	11	31.4%	102	54.0%	161	69.7%	274	60.2%
無回答	1	2.9%	3	1.6%	5	2.2%	9	2.0%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※政令市等では「②SNSによる相談窓口を検討している」が（2.3%→17.1%）と顕著に増加している。

1-4-05 1人1台端末の年次更新(卒業した児童・生徒のデータ消去、新入生のアカウント登録等)作業は誰が行いますか。

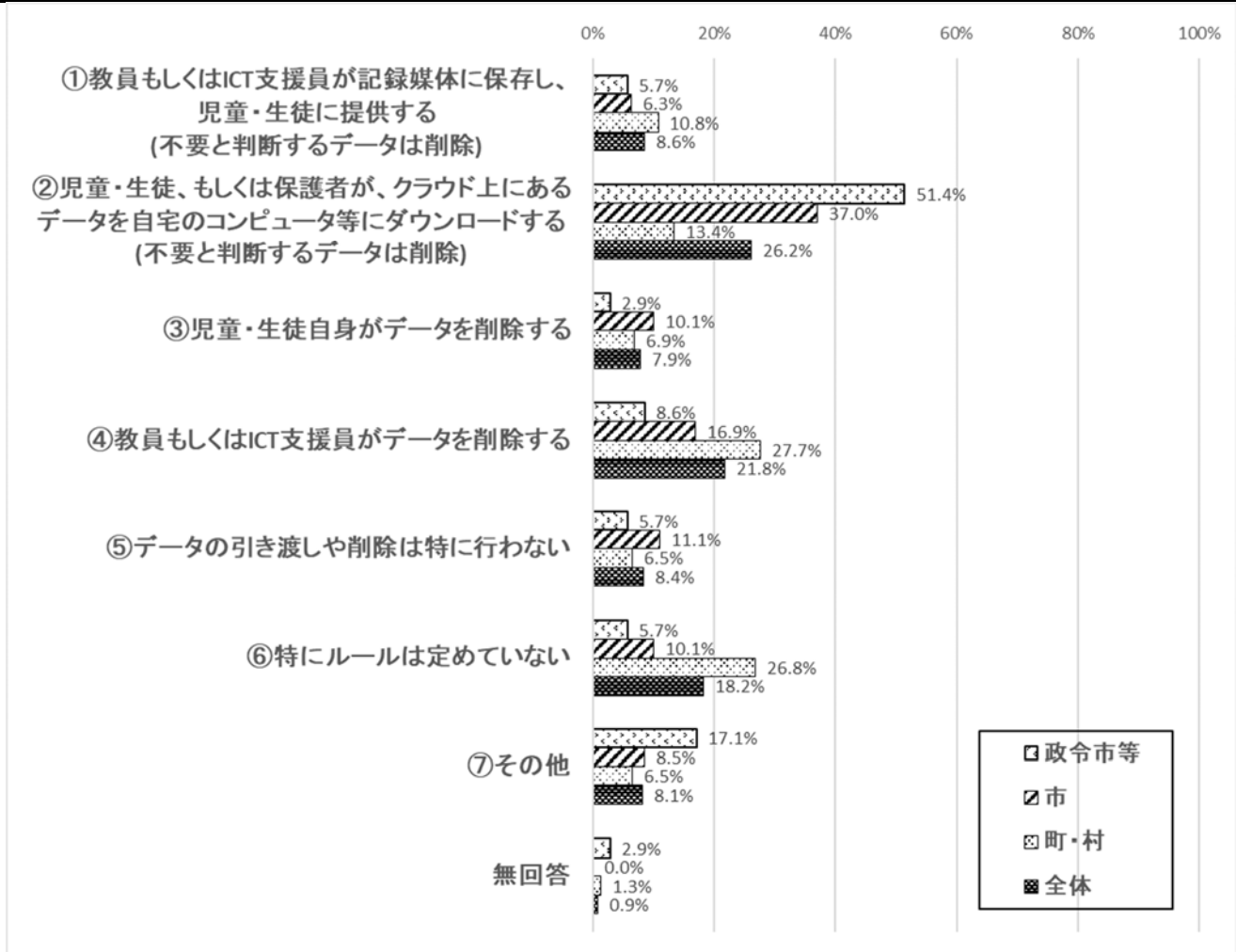
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①導入業者・保守契約業者が行う	11	31.4%	64	33.9%	68	29.4%	143	31.4%
②GIGAスクール運営支援センターが行う	6	17.1%	13	6.9%	9	3.9%	28	6.2%
③教育委員会職員・教員・ICT支援員が行う	9	25.7%	88	46.6%	127	55.0%	224	49.2%
④データ消去は卒業する児童・生徒、その他は教育委員会職員・教員・ICT支援員が行う	6	17.1%	14	7.4%	12	5.2%	32	7.0%
⑤データ消去は卒業する児童・生徒、その他は導入業者・保守契約業者が行う	2	5.7%	7	3.7%	9	3.9%	18	4.0%
⑥データ消去は卒業する児童・生徒、その他はGIGAスクール運営支援センターが行う	1	2.9%	1	0.5%	2	0.9%	4	0.9%
⑦その他			2	1.1%	3	1.3%	5	1.1%
無回答					1	0.4%	1	0.2%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※「③教育委員会職員・教員・ICT支援員が行う」が全体で49.2%と最も多く、政令市等では25.7%、市では46.6%、町・村では55.0%と自治体規模によって差が見られる。

1-4-06 児童・生徒の卒業・転校時に個人用端末およびクラウド上に保存されている個人のデータの取り扱いについて伺います。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教員もしくはICT支援員が記録媒体に保存し、児童・生徒に提供する(不要と判断するデータは削除)	2	5.7%	12	6.3%	25	10.8%	39	8.6%
②児童・生徒、もしくは保護者が、クラウド上にあるデータを自宅のコンピュータ等にダウンロードする(不要と判断するデータは削除)	18	51.4%	70	37.0%	31	13.4%	119	26.2%
③児童・生徒自身がデータを削除する	1	2.9%	19	10.1%	16	6.9%	36	7.9%
④教員もしくはICT支援員がデータを削除する	3	8.6%	32	16.9%	64	27.7%	99	21.8%
⑤データの引き渡しや削除は特に行わない	2	5.7%	21	11.1%	15	6.5%	38	8.4%
⑥特にルールは定めていない	2	5.7%	19	10.1%	62	26.8%	83	18.2%
⑦その他	6	17.1%	16	8.5%	15	6.5%	37	8.1%
無回答	1	2.9%			3	1.3%	4	0.9%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※「②児童・生徒、もしくは保護者が、クラウド上にあるデータを自宅のコンピュータ等にダウンロードする(不要と判断するデータは削除)」は政令市等が51.4%と最も多く、市が37.0%、町・村が13.4%と自治体規模によって差がみられる。

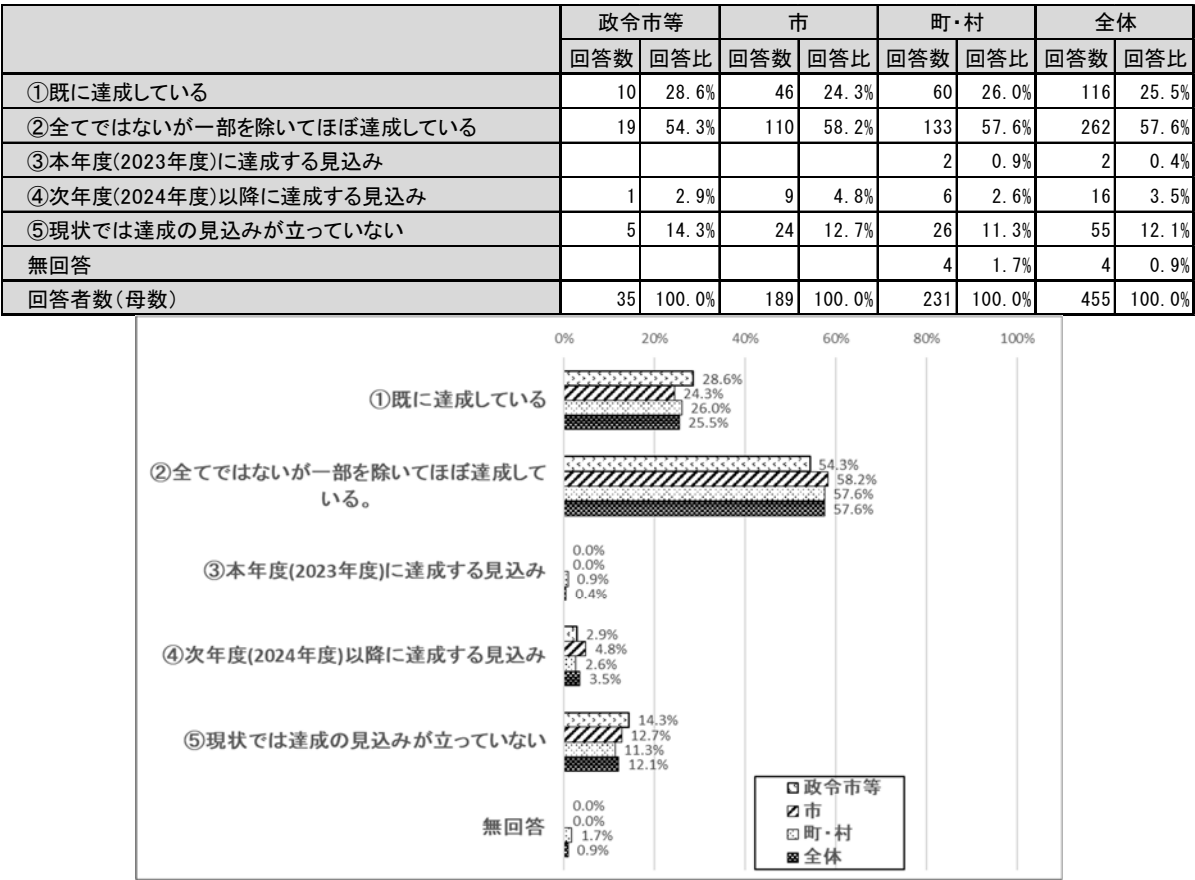
「⑥特にルールは定めていない」では町・村が26.8%と最も多くルール策定が遅れている。

1-5 予算に関する項目

※ご参考資料：日本教育情報化振興会「ICT 教育環境整備ハンドブック 2023」
下記 URL より刊行物ページにて pdf をダウンロード
<https://www.japet.or.jp/publications/ict-handbook-2023/>

1-5-01 「2018 年度以降の学校における ICT 環境の整備方針」での目標を達成していますか。

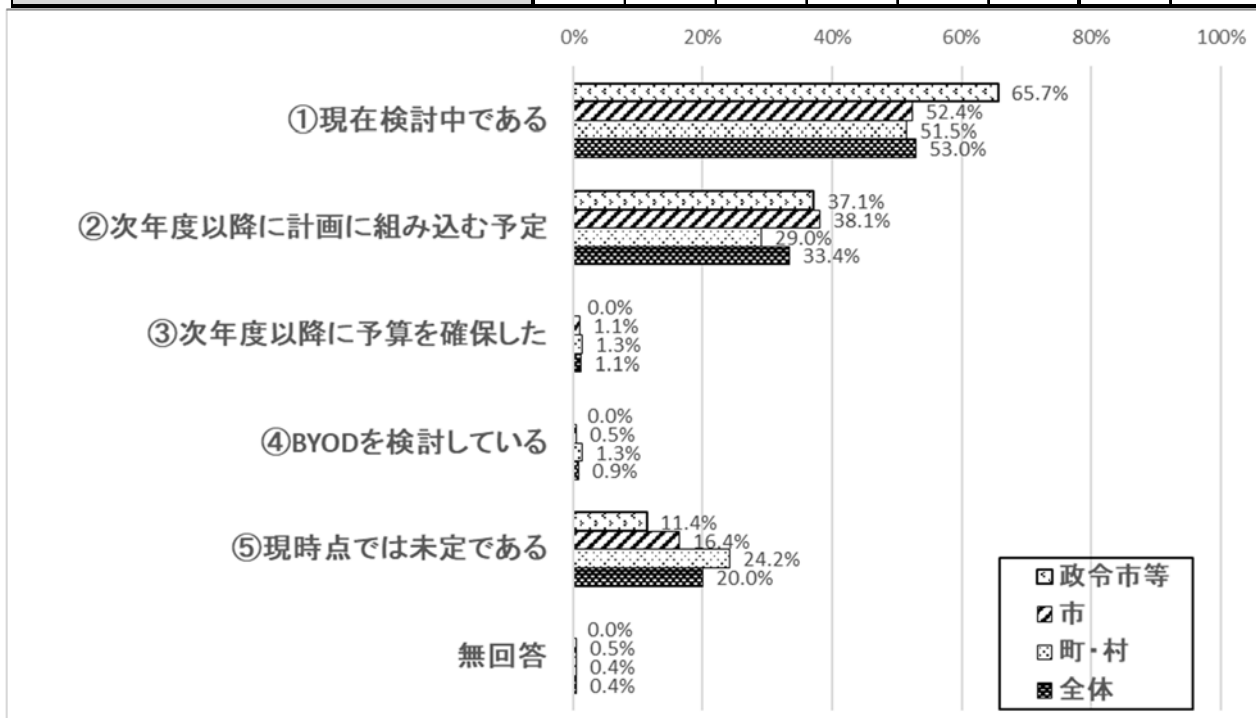
- 2018 年度以降の学校における ICT 環境の整備方針で目標とされている水準
- ・学習者用端末 3 クラスに 1 クラス分程度整備
 - ・指導者用端末 授業を担当する教師 1 人 1 台
 - ・大型提示装置・実物投影機 100%整備
各普通教室 1 台、特別教室用として 6 台
(実物投影機は、整備実態を踏まえ、小学校及び特別支援学校に整備)
 - ・超高速インターネット及び無線 LAN100%整備
 - ・統合型校務支援システム 100%整備
 - ・ICT 支援員 4 校に 1 人配置
 - ・上記のほか、学習用ツール(*)、予備用学習者用端末、充電保管庫、学習用サーバ、校務用サーバ、校務用端末やセキュリティに関するソフトウェアについても整備
- (※)ワープロソフトや表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどをはじめとする各教科等の学習活動に共通で必要なソフトウェア
- * 参考：日本教育情報化振興会「ICT 教育環境整備ハンドブック 2019」29 頁
<https://www.japet.or.jp/publications/ict-handbook-2019/>



※自治体規模に関わらず全体で「①既に達成している」は 25.5%、「②全てではないが一部を除いてほぼ達成している」が 57.6%で、合わせて 8 割以上でほぼ達成されているが、「⑤現状では達成の見込みが立っていない」が 12.1%あるのが不安である。

1-5-02 1人1台端末の更新に関して、今後の計画、次年度以降の予算について伺います。(いくつでも)

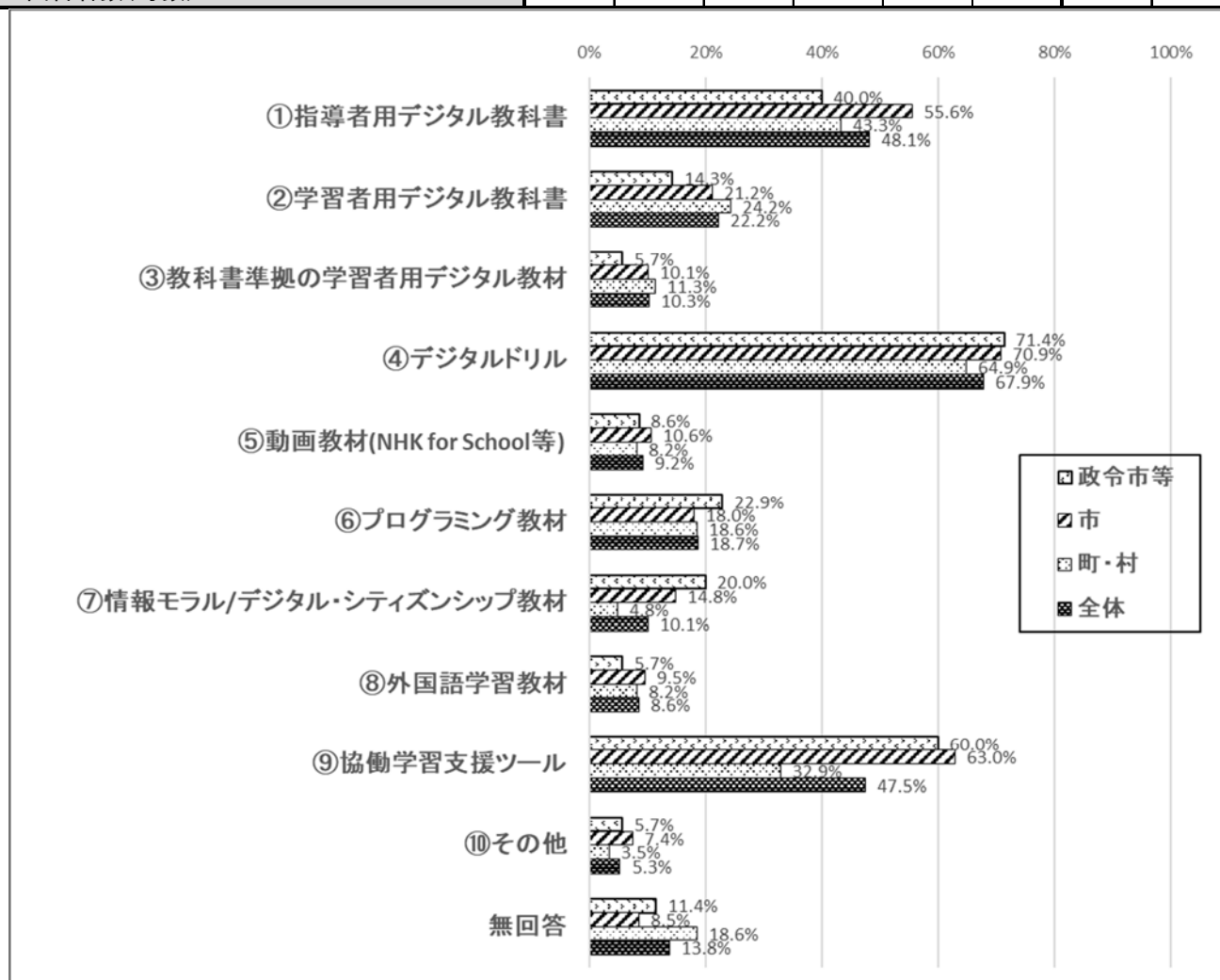
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①現在検討中である	23	65.7%	99	52.4%	119	51.5%	241	53.0%
②次年度以降に計画に組み込む予定	13	37.1%	72	38.1%	67	29.0%	152	33.4%
③次年度以降に予算を確保した			2	1.1%	3	1.3%	5	1.1%
④BYODを検討している			1	0.5%	3	1.3%	4	0.9%
⑤現時点では未定である	4	11.4%	31	16.4%	56	24.2%	91	20.0%
無回答			1	0.5%	1	0.4%	2	0.4%
回答数合計	40	114.3%	206	109.0%	249	107.8%	495	108.8%
回答者数(母数)	35		189		231		455	



※全体で「①現在検討中である」が53.0%、「②次年度以降に計画に組み込む予定」が33.4%で更新計画は着実に進んでいる。

1-5-03 1人1台端末で使用する学習用アプリ・ツールに関して予算措置を予定していますか。(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①指導者用デジタル教科書	14	40.0%	105	55.6%	100	43.3%	219	48.1%
②学習者用デジタル教科書	5	14.3%	40	21.2%	56	24.2%	101	22.2%
③教科書準拠の学習者用デジタル教材	2	5.7%	19	10.1%	26	11.3%	47	10.3%
④デジタルドリル	25	71.4%	134	70.9%	150	64.9%	309	67.9%
⑤動画教材(NHK for School等)	3	8.6%	20	10.6%	19	8.2%	42	9.2%
⑥プログラミング教材	8	22.9%	34	18.0%	43	18.6%	85	18.7%
⑦情報モラル/デジタル・シティズンシップ教材	7	20.0%	28	14.8%	11	4.8%	46	10.1%
⑧外国語学習教材	2	5.7%	18	9.5%	19	8.2%	39	8.6%
⑨協働学習支援ツール	21	60.0%	119	63.0%	76	32.9%	216	47.5%
⑩その他	2	5.7%	14	7.4%	8	3.5%	24	5.3%
無回答	4	11.4%	16	8.5%	43	18.6%	63	13.8%
回答数合計	93	265.7%	547	289.4%	551	238.5%	1,191	261.8%
回答者数(母数)	35		189		231		455	

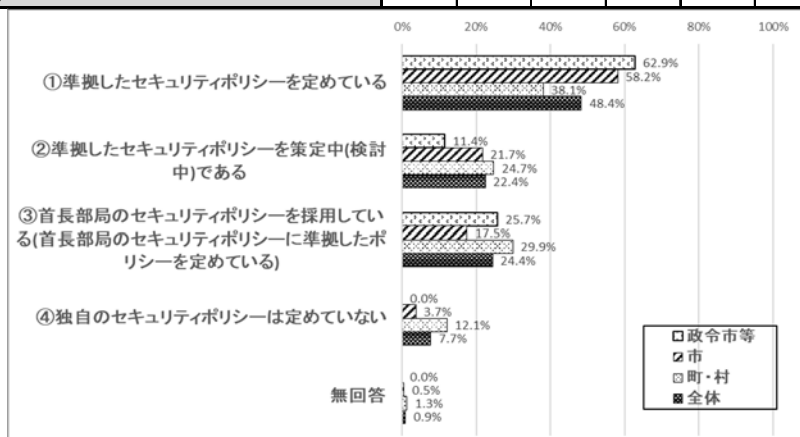


※「④デジタルドリル」が全体で67.9%と最も多く、次いで「①指導者用デジタル教科書」「⑨協働学習支援ツール」となっている。

1-6 情報セキュリティに関する項目

1-6-01 文部科学省の教育情報セキュリティポリシーに関するガイドラインに沿った独自のセキュリティポリシーを定めていますか。(いくつでも)

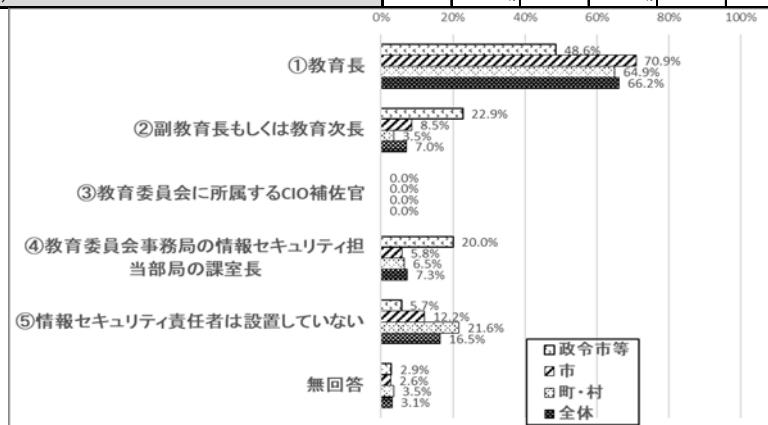
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①準拠したセキュリティポリシーを定めている	22	62.9%	110	58.2%	88	38.1%	220	48.4%
②準拠したセキュリティポリシーを策定中(検討中)である	4	11.4%	41	21.7%	57	24.7%	102	22.4%
③首長部局のセキュリティポリシーを採用している(首長部局のセキュリティポリシーに準拠したポリシーを定めている)	9	25.7%	33	17.5%	69	29.9%	111	24.4%
④独自のセキュリティポリシーは定めていない			7	3.7%	28	12.1%	35	7.7%
無回答			1	0.5%	3	1.3%	4	0.9%
回答数合計	35	100.0%	192	101.6%	245	106.1%	472	103.7%
回答者数(母数)	35		189		231		455	



※自治体規模でばらつきはあるが「①準拠したセキュリティポリシーを定めている」が全体で48.4%と最も多い。「②準拠したセキュリティポリシーを策定中(検討中)である」が全体で22.4%ある。

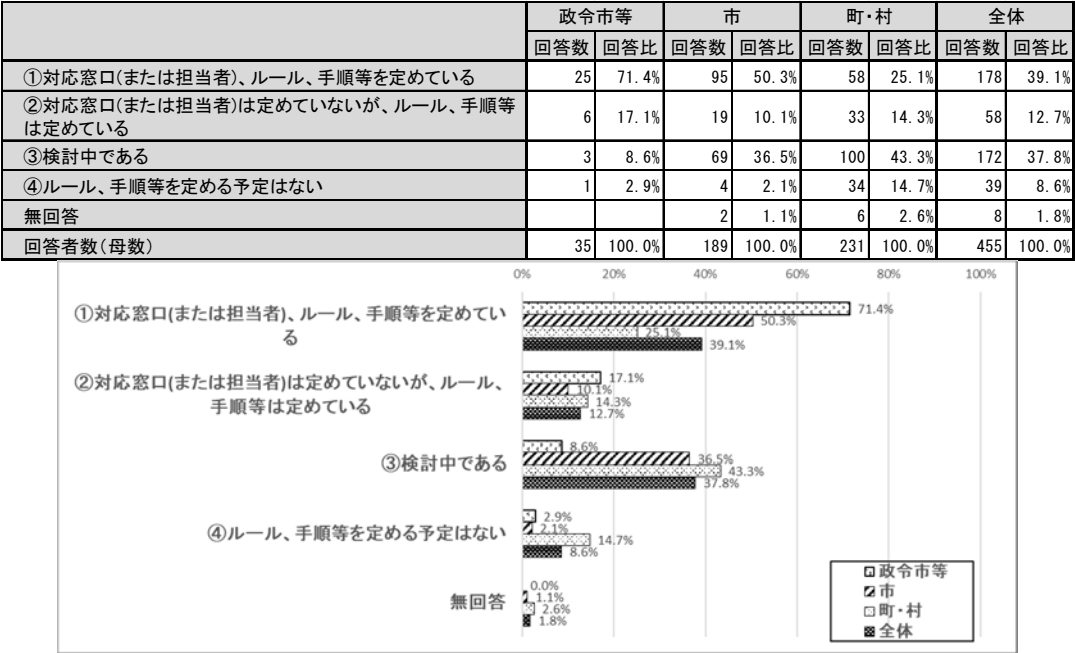
1-6-02 教育委員会内の最高情報セキュリティ責任者は誰ですか。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教育長	17	48.6%	134	70.9%	150	64.9%	301	66.2%
②副教育長もしくは教育次長	8	22.9%	16	8.5%	8	3.5%	32	7.0%
③教育委員会に所属するCIO補佐官								
④教育委員会事務局の情報セキュリティ担当部局の課室長	7	20.0%	11	5.8%	15	6.5%	33	7.3%
⑤情報セキュリティ責任者は設置していない	2	5.7%	23	12.2%	50	21.6%	75	16.5%
無回答	1	2.9%	5	2.6%	8	3.5%	14	3.1%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



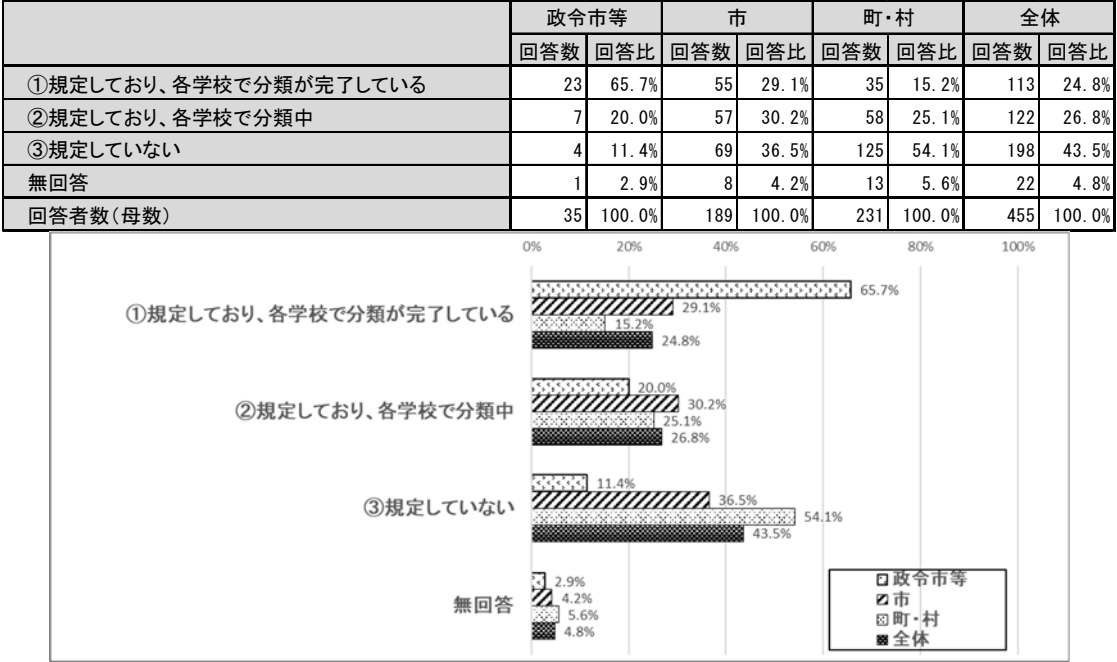
※「①教育長」が全体で66.2%と最も多い。「⑤情報セキュリティ責任者は設置していない」が全体で(16.4%→16.5%)となかなか改善が進んでいない。

1-6-03 セキュリティ事故に備えて、教育委員会事務局内に統一的な窓口を設置し、報告ルール、対応手順等を定めていますか。



※自治体規模で差があり「①対応窓口(または担当者)、ルール、手順等を定めている」が政令市等で71.4%、市が50.3%、町・村が25.1%となっている。町・村では「④ルール、手順を定める予定はない」が14.7%もあり、早急な対応が望まれる。

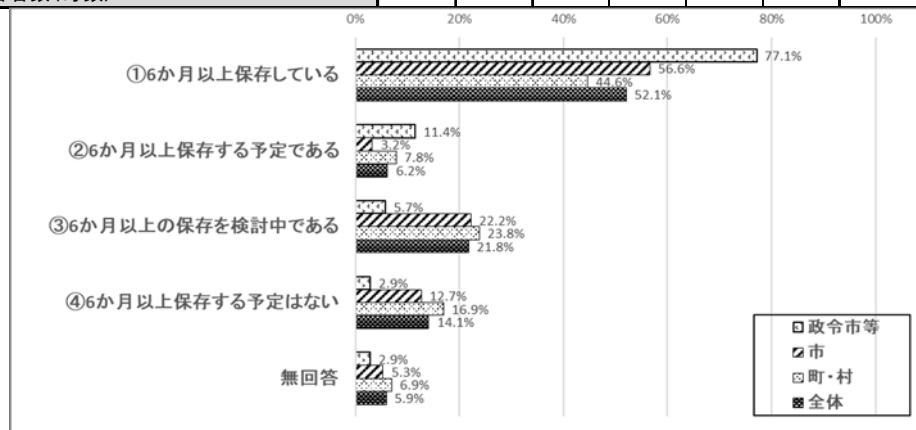
1-6-04 セキュリティポリシーの中で、文部科学省のセキュリティガイドラインに準じた情報資産の分類を行うよう規定していますか。



※自治体規模で大きな差があり「①規定しており、各学校で分類が完了している」は、政令市等が(60.5%→65.7%)、市が(25.3%→29.1%)、町・村では(9.7%→15.2%)となっている。「③規定していない」は町・村が54.1%、全体で43.5%になっており早急な対応が望まれる。

- 1-6-05 校務系情報のログ(アクセスログ、システム稼動ログ、障害時のシステム出力ログ)は6か月以上保存していますか。

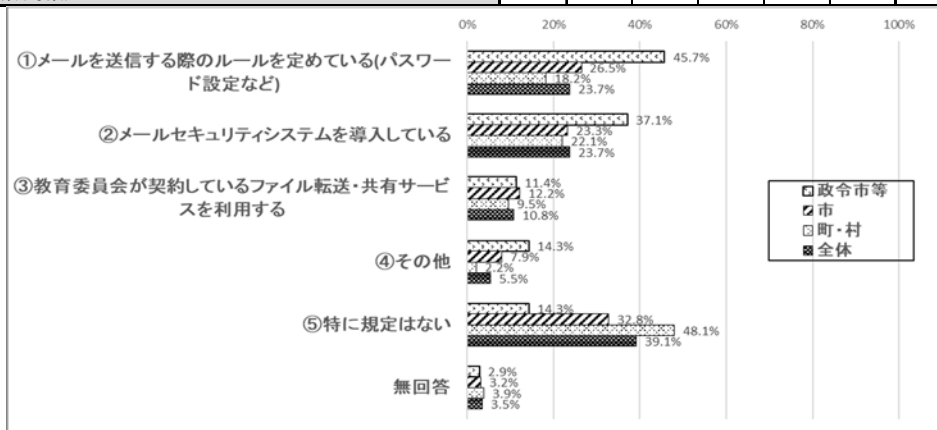
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①6か月以上保存している	27	77.1%	107	56.6%	103	44.6%	237	52.1%
②6か月以上保存する予定である	4	11.4%	6	3.2%	18	7.8%	28	6.2%
③6か月以上の保存を検討中である	2	5.7%	42	22.2%	55	23.8%	99	21.8%
④6か月以上保存する予定はない	1	2.9%	24	12.7%	39	16.9%	64	14.1%
無回答	1	2.9%	10	5.3%	16	6.9%	27	5.9%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※自治体規模で差があり「①6か月以上保存している」は政令市等が77.1%、市が56.6%、町・村が44.6%となっている。「④6か月以上保存する予定は無い」が全体で14.1%もある。

- 1-6-06 教職員がメールで外部へファイルを送信する際のセキュリティ対策については、どのような規定・システムがありますか。(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①メールを送信する際のルールを定めている(パスワード設定など)	16	45.7%	50	26.5%	42	18.2%	108	23.7%
②メールセキュリティシステムを導入している	13	37.1%	44	23.3%	51	22.1%	108	23.7%
③教育委員会が契約しているファイル転送・共有サービスを利用する	4	11.4%	23	12.2%	22	9.5%	49	10.8%
④その他	5	14.3%	15	7.9%	5	2.2%	25	5.5%
⑤特に規定はない	5	14.3%	62	32.8%	111	48.1%	178	39.1%
無回答	1	2.9%	6	3.2%	9	3.9%	16	3.5%
回答数合計	44	125.7%	200	105.8%	240	103.9%	484	106.4%
回答者数(母数)	35		189		231		455	

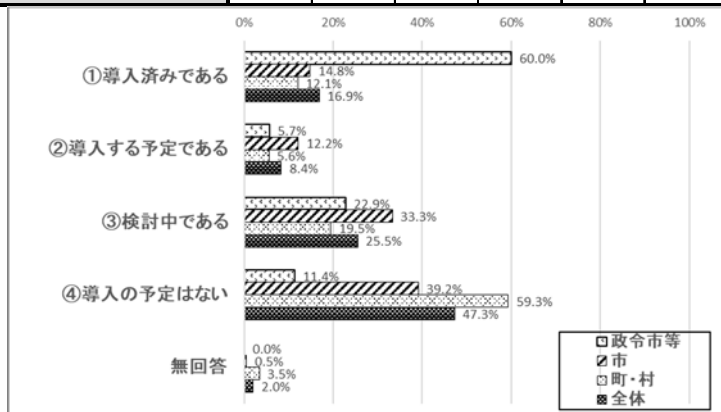


※政令市等では「①メールを送信する際のルールを定めている(パスワード設定など)」が45.7%、「②メールセキュリティシステムを導入している」が37.1%と対策が進んでいるが、町・村では「⑤特に規定はない」が48.1%となっており何らかの対策が望まれる。

1-6-07 教職員が学校内のシステムを利用する際の仕組みとして、二要素認証(多要素認証)は導入していますか。

※二要素認証：ID/パスワードに加えて、物理認証や生体認証を併用する個人認証方式のこと。

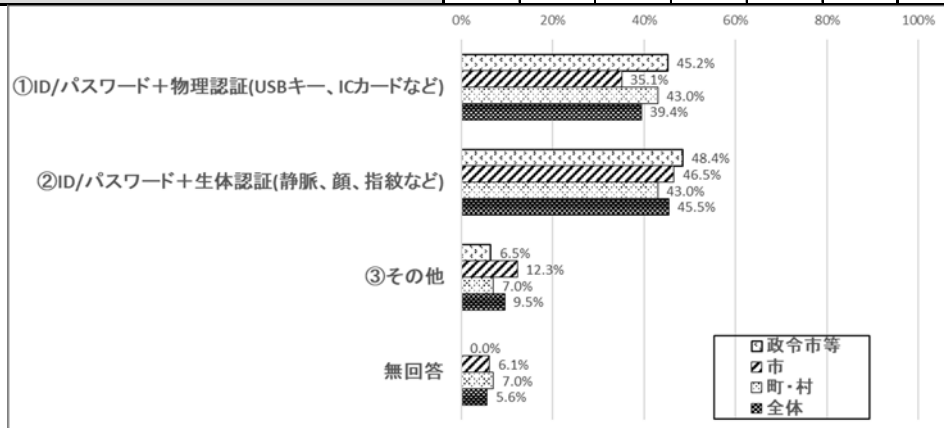
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①導入済みである	21	60.0%	28	14.8%	28	12.1%	77	16.9%
②導入する予定である	2	5.7%	23	12.2%	13	5.6%	38	8.4%
③検討中である	8	22.9%	63	33.3%	45	19.5%	116	25.5%
④導入の予定はない	4	11.4%	74	39.2%	137	59.3%	215	47.3%
無回答			1	0.5%	8	3.5%	9	2.0%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※自治体規模で大きな差がある。「①導入済みである」は政令市等が60.0%、市が14.8%、町・村が12.1%である。「④導入の予定はない」は町・村が59.3%、全体で47.5%となっている。

1-6-08 「1-6-07」で①～③と回答した方に伺います。導入済みまたは導入予定の二要素認証(多要素認証)の仕組みについて、当てはまるものを選んでください。

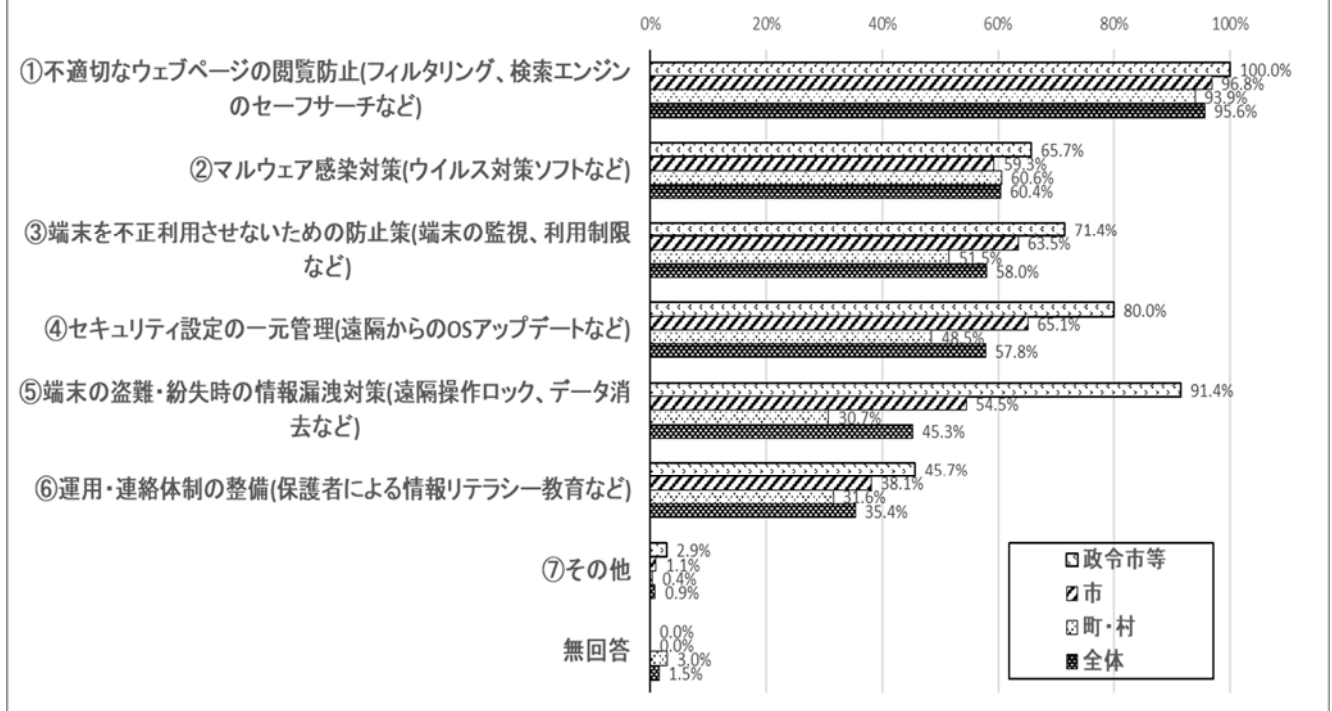
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ID/パスワード+物理認証(USBキー、ICカードなど)	14	45.2%	40	35.1%	37	43.0%	91	39.4%
②ID/パスワード+生体認証(静脈、顔、指紋など)	15	48.4%	53	46.5%	37	43.0%	105	45.5%
③その他	2	6.5%	14	12.3%	6	7.0%	22	9.5%
無回答			7	6.1%	6	7.0%	13	5.6%
回答者数(母数)	31	100.0%	114	100.0%	86	100.0%	231	100.0%



※自治体規模での差はなく「①ID/パスワード+物理認証(USBキー、ICカードなど)」が全体で39.4%、「②ID/パスワード+生体認証(静脈、顔、指紋など)」が45.5%となっている。

1-6-09 児童・生徒用 1 人 1 台端末については、どのようなセキュリティ対策が講じられていますか。
(いくつでも)

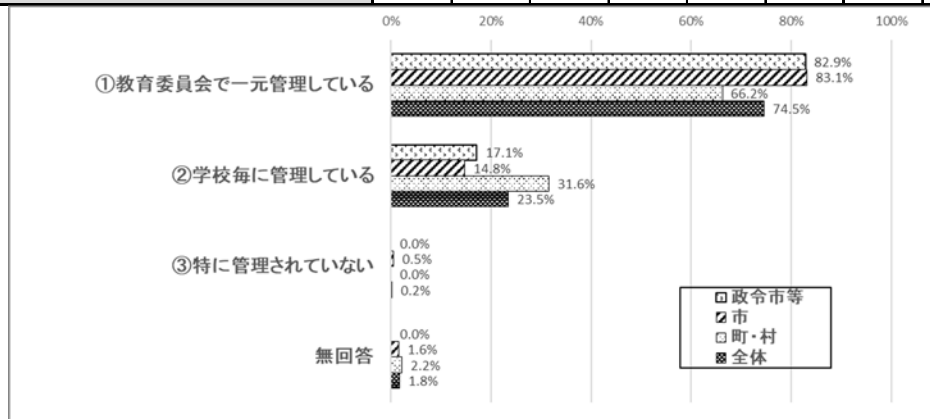
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①不適切なウェブページの閲覧防止(フィルタリング、検索エンジンのセーフサーチなど)	35	100.0%	183	96.8%	217	93.9%	435	95.6%
②マルウェア感染対策(ウイルス対策ソフトなど)	23	65.7%	112	59.3%	140	60.6%	275	60.4%
③端末を不正利用させないための防止策(端末の監視、利用制限など)	25	71.4%	120	63.5%	119	51.5%	264	58.0%
④セキュリティ設定の一元管理(遠隔からのOSアップデートなど)	28	80.0%	123	65.1%	112	48.5%	263	57.8%
⑤端末の盗難・紛失時の情報漏洩対策(遠隔操作ロック、データ消去など)	32	91.4%	103	54.5%	71	30.7%	206	45.3%
⑥運用・連絡体制の整備(保護者による情報リテラシー教育など)	16	45.7%	72	38.1%	73	31.6%	161	35.4%
⑦その他	1	2.9%	2	1.1%	1	0.4%	4	0.9%
無回答					7	3.0%	7	1.5%
回答数合計	160	457.1%	715	378.3%	740	320.3%	1,615	354.9%
回答者数(母数)	35		189		231		455	



※様々なセキュリティ対策が講じられているが、自治体規模が小さくなるほど対策が進んでいない。「①不適切なウェブページの閲覧防止(フィルタリング、検索エンジンのセーフサーチなど)」が政令市等で 100%、全体で 95.6%とほとんどの教育委員会で対策が講じられている。政令市等では「⑤端末の盗難・紛失時の情報漏洩対策(遠隔操作ロック、データ消去など)」が 91.4%、「④セキュリティ設定の一元管理(遠隔からの OS アップデートなど)」が 80.0%等となっている。

1-6-10 児童・生徒のアカウントは、どのように管理していますか。

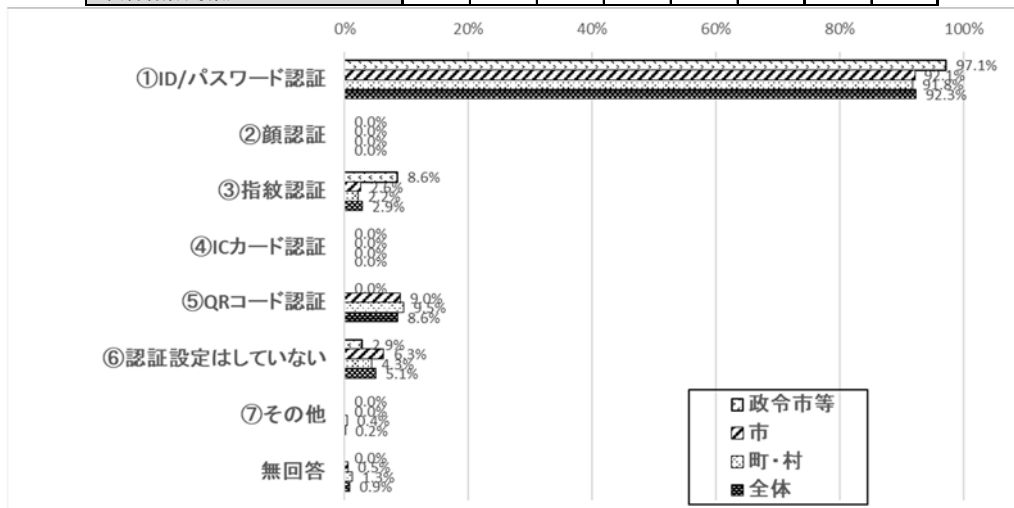
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教育委員会で一元管理している	29	82.9%	157	83.1%	153	66.2%	339	74.5%
②学校毎に管理している	6	17.1%	28	14.8%	73	31.6%	107	23.5%
③特に管理されていない			1	0.5%			1	0.2%
無回答			3	1.6%	5	2.2%	8	1.8%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※「①教育委員会で一元管理している」が全体で 74.5%となっている。町・村では「②学校毎に管理している」が 31.6%となっている。

1-6-11 児童・生徒用 1 人 1 台端末を利用する際のユーザ認証方法について、当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ID/パスワード認証	34	97.1%	174	92.1%	212	91.8%	420	92.3%
②顔認証								
③指紋認証	3	8.6%	5	2.6%	5	2.2%	13	2.9%
④ICカード認証								
⑤QRコード認証			17	9.0%	22	9.5%	39	8.6%
⑥認証設定はしていない	1	2.9%	12	6.3%	10	4.3%	23	5.1%
⑦その他					1	0.4%	1	0.2%
無回答			1	0.5%	3	1.3%	4	0.9%
回答数合計	38	108.6%	209	110.6%	253	109.5%	500	109.9%
回答者数(母数)	35		189		231		455	



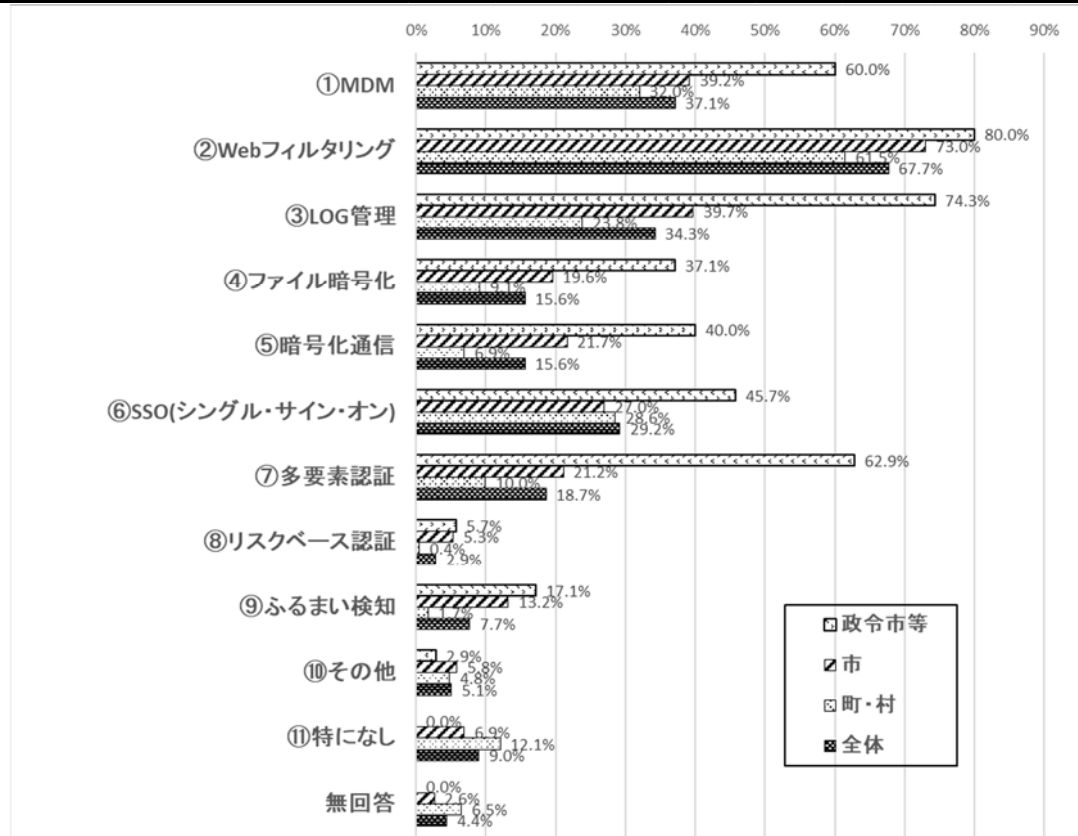
※「自治体規模での差はなく「①ID/パスワード認証」が全体で 92.3%と最も多い。「⑤QRコード認証」が全体で 8.6%となっている。

1-6-12 校務用端末に導入済みまたは導入予定のセキュリティ対策として、当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

※リスクベース認証：システムへの接続において場所や時間などが通常と異なる場合などにID・パスワードだけではなく追加の認証を行う方式

※ふるまい検知：通信内容を監視し、異常、あるいは不審な挙動を検知する仕組み

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①MDM	21	60.0%	74	39.2%	74	32.0%	169	37.1%
②Webフィルタリング	28	80.0%	138	73.0%	142	61.5%	308	67.7%
③LOG管理	26	74.3%	75	39.7%	55	23.8%	156	34.3%
④ファイル暗号化	13	37.1%	37	19.6%	21	9.1%	71	15.6%
⑤暗号化通信	14	40.0%	41	21.7%	16	6.9%	71	15.6%
⑥SSO(シングル・サイン・オン)	16	45.7%	51	27.0%	66	28.6%	133	29.2%
⑦多要素認証	22	62.9%	40	21.2%	23	10.0%	85	18.7%
⑧リスクベース認証	2	5.7%	10	5.3%	1	0.4%	13	2.9%
⑨ふるまい検知	6	17.1%	25	13.2%	4	1.7%	35	7.7%
⑩その他	1	2.9%	11	5.8%	11	4.8%	23	5.1%
⑪特になし			13	6.9%	28	12.1%	41	9.0%
無回答			5	2.6%	15	6.5%	20	4.4%
回答数合計	149	425.7%	520	275.1%	456	197.4%	1,125	247.3%
回答者数(母数)	35		189		231		455	



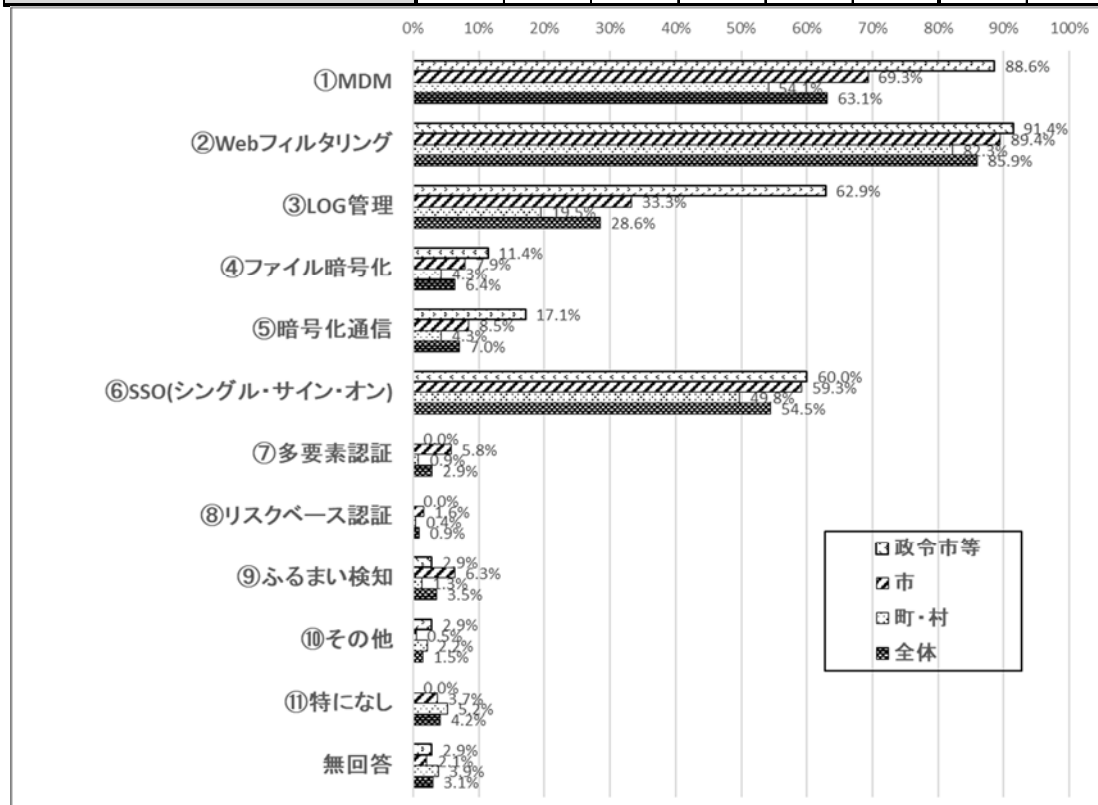
※様々な対策が取られているが、自治体規模が小さくなるほど対策が遅れている。「②Webフィルタリング」が全体で67.7%と最も多い。政令市等では「③LOG管理」74.3%、「⑦多要素認証」62.9%、「①MDM」60.0%などとなっている。

1-6-13 児童・生徒用1人1台端末に導入済みまたは導入予定のセキュリティ対策として、当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

※リスクベース認証：システムへの接続において場所や時間などが通常と異なる場合などにID・パスワードだけではなく追加の認証を行う方式

※ふるまい検知：通信内容を監視し、異常、あるいは不審な挙動を検知する仕組み

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①MDM	31	88.6%	131	69.3%	125	54.1%	287	63.1%
②Webフィルタリング	32	91.4%	169	89.4%	190	82.3%	391	85.9%
③LOG管理	22	62.9%	63	33.3%	45	19.5%	130	28.6%
④ファイル暗号化	4	11.4%	15	7.9%	10	4.3%	29	6.4%
⑤暗号化通信	6	17.1%	16	8.5%	10	4.3%	32	7.0%
⑥SSO(シングル・サイン・オン)	21	60.0%	112	59.3%	115	49.8%	248	54.5%
⑦多要素認証			11	5.8%	2	0.9%	13	2.9%
⑧リスクベース認証			3	1.6%	1	0.4%	4	0.9%
⑨ふるまい検知	1	2.9%	12	6.3%	3	1.3%	16	3.5%
⑩その他	1	2.9%	1	0.5%	5	2.2%	7	1.5%
⑪特になし			7	3.7%	12	5.2%	19	4.2%
無回答	1	2.9%	4	2.1%	9	3.9%	14	3.1%
回答数合計	119	340.0%	544	287.8%	527	228.1%	1,190	261.5%
回答者数(母数)	35		189		231		455	



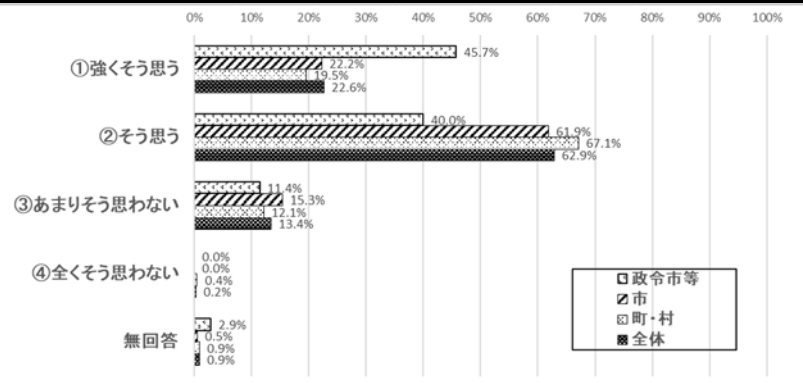
※「全体で「②Web フィルタリング」が85.9%と最も多い。「⑥SSO（シングル・サイン・オン）」は54.5%である。政令市等では「①MDM」88.6%、「③LOG 管理」62.9%と様々な対策が進んでいる。

1-7 教育の情報化に対する意識に関する項目

1-7-01 教育の情報化に向けて次の質問項目についてどう思われますか。それぞれの質問項目別にお答えください。

1-7-01(1) 導入されている各種端末のセキュリティを強化すべきである。

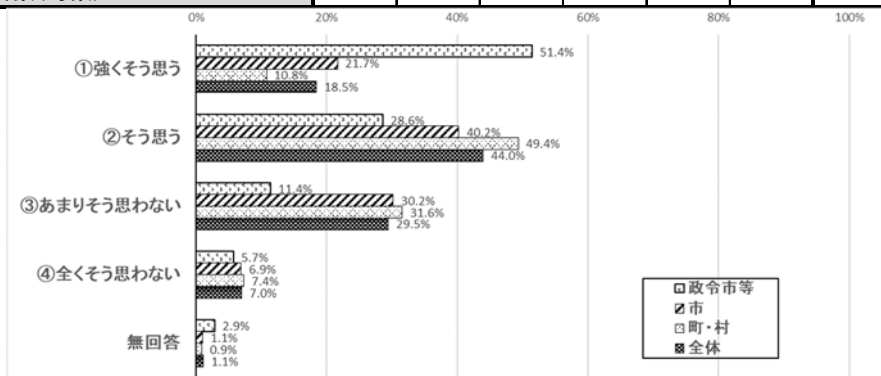
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	16	45.7%	42	22.2%	45	19.5%	103	22.6%
②そう思う	14	40.0%	117	61.9%	155	67.1%	286	62.9%
③あまりそう思わない	4	11.4%	29	15.3%	28	12.1%	61	13.4%
④全くそう思わない					1	0.4%	1	0.2%
無回答	1	2.9%	1	0.5%	2	0.9%	4	0.9%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 85.5%とセキュリティのさらなる強化が望まれている。

1-7-01(2) セキュリティを確保して、学校外で校務処理を可能とすべきである。

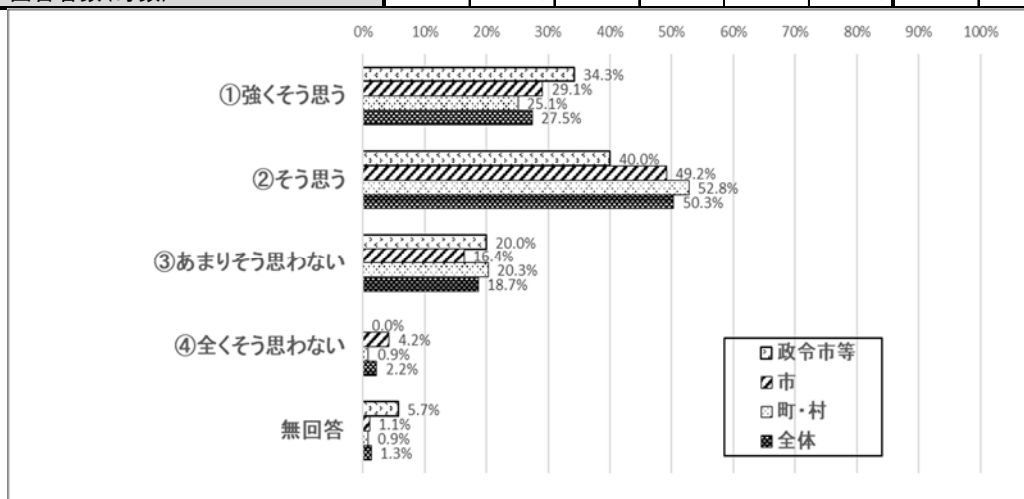
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	18	51.4%	41	21.7%	25	10.8%	84	18.5%
②そう思う	10	28.6%	76	40.2%	114	49.4%	200	44.0%
③あまりそう思わない	4	11.4%	57	30.2%	73	31.6%	134	29.5%
④全くそう思わない	2	5.7%	13	6.9%	17	7.4%	32	7.0%
無回答	1	2.9%	2	1.1%	2	0.9%	5	1.1%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※政令市等では「①強くそう思う」が 51.4%と高い。「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 62.5%であるが、「③あまりそう思わない」も全体で 29.5%あり考えは割れている。

1-7-01(3) 授業での ICT 活用、校務支援システムの導入などで、ICT 支援員を増員すべきである。

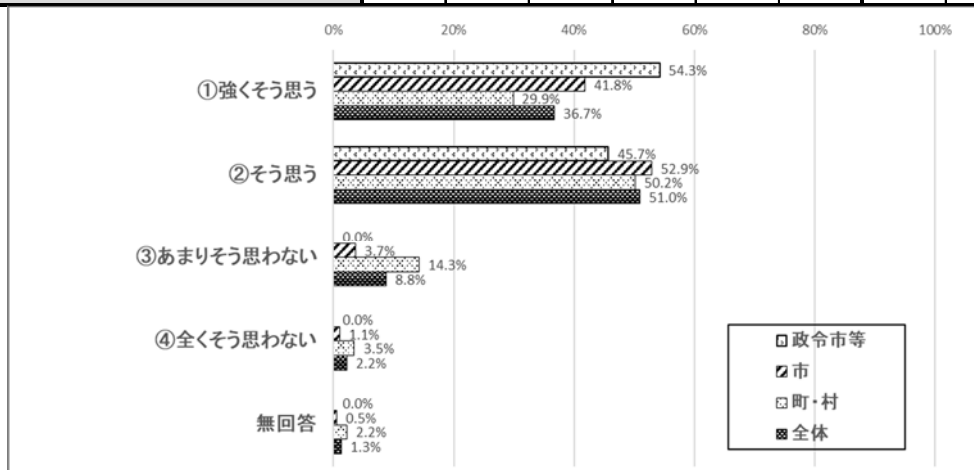
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	12	34.3%	55	29.1%	58	25.1%	125	27.5%
②そう思う	14	40.0%	93	49.2%	122	52.8%	229	50.3%
③あまりそう思わない	7	20.0%	31	16.4%	47	20.3%	85	18.7%
④全くそう思わない			8	4.2%	2	0.9%	10	2.2%
無回答	2	5.7%	2	1.1%	2	0.9%	6	1.3%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※全体で「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて 77.8%が、ICT 支援員の増員を望んでいる。

1-7-01(4) ICT 活用は学校により差が出ている。

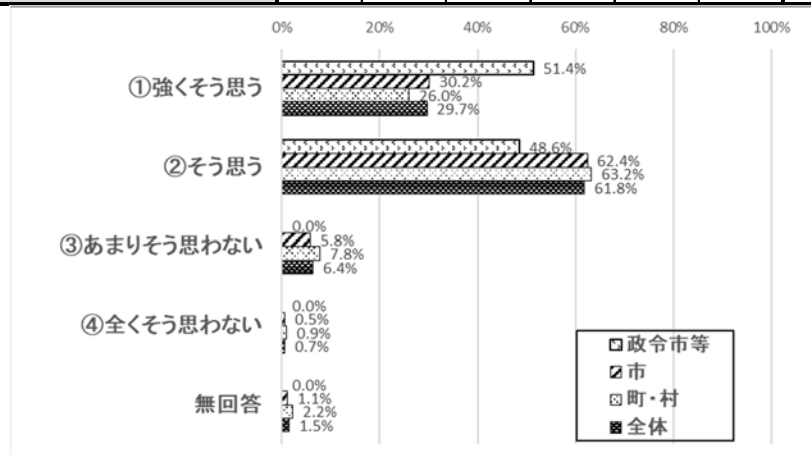
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	19	54.3%	79	41.8%	69	29.9%	167	36.7%
②そう思う	16	45.7%	100	52.9%	116	50.2%	232	51.0%
③あまりそう思わない			7	3.7%	33	14.3%	40	8.8%
④全くそう思わない			2	1.1%	8	3.5%	10	2.2%
無回答			1	0.5%	5	2.2%	6	1.3%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※「①強くそう思う」は政令市等が 54.3%、市が 41.8%、町・村が 29.9%となっている。「①強くそう思う」「②そう思う」合わせて全体で 87.7%であり、学校間格差が顕著だと思われる。

1-7-01(5) ICT 活用を推進するために研修が必要である。

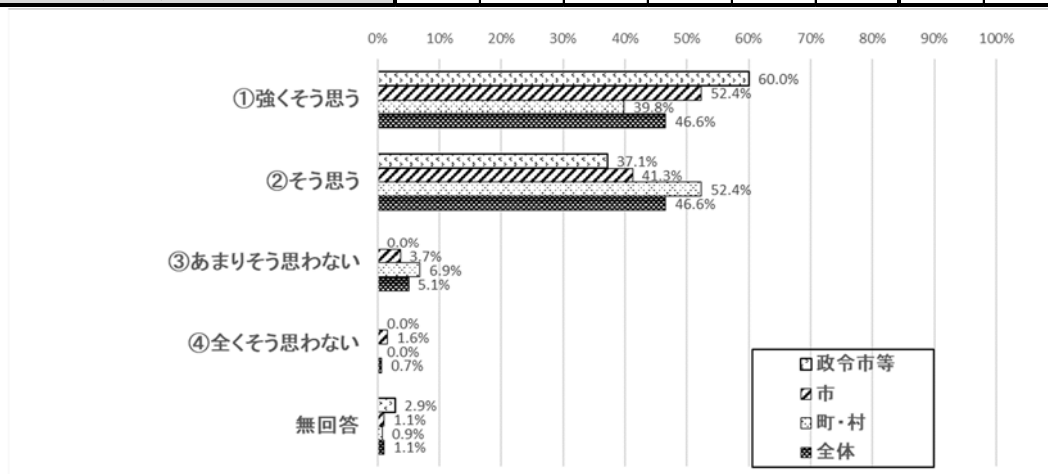
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	18	51.4%	57	30.2%	60	26.0%	135	29.7%
②そう思う	17	48.6%	118	62.4%	146	63.2%	281	61.8%
③あまりそう思わない			11	5.8%	18	7.8%	29	6.4%
④全くそう思わない			1	0.5%	2	0.9%	3	0.7%
無回答			2	1.1%	5	2.2%	7	1.5%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で 91.5%と非常に多くなっている。特に政令市等では「①強く思う」が 51.4%と半数を超えている。

1-7-01(6) 1人1台端末環境を有効活用・運用するために、保守サポートの予算を充実すべきである。

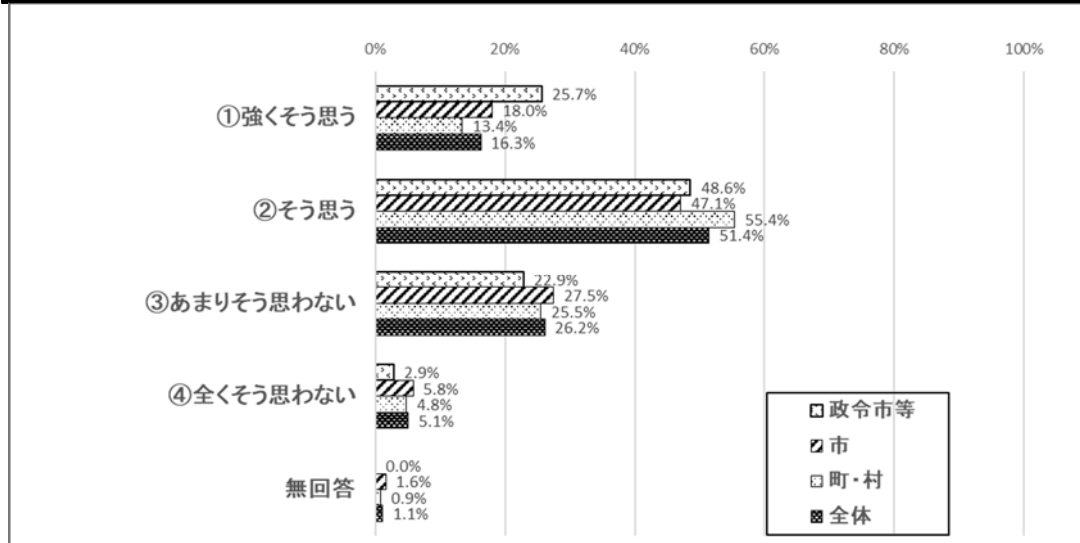
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	21	60.0%	99	52.4%	92	39.8%	212	46.6%
②そう思う	13	37.1%	78	41.3%	121	52.4%	212	46.6%
③あまりそう思わない			7	3.7%	16	6.9%	23	5.1%
④全くそう思わない			3	1.6%			3	0.7%
無回答	1	2.9%	2	1.1%	2	0.9%	5	1.1%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で 93.2%である。「①強く思う」は政令市等で 60.0%、市で 52.4%と強く望まれている。

1-7-01(7) コンピュータ教室は、デジタル図書室、学習・情報センター、アクティブラーニングスペース、ファブスペース、STEAM ラボ、遠隔授業スタジオ等発展的活用を行うべきである。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	9	25.7%	34	18.0%	31	13.4%	74	16.3%
②そう思う	17	48.6%	89	47.1%	128	55.4%	234	51.4%
③あまりそう思わない	8	22.9%	52	27.5%	59	25.5%	119	26.2%
④全くそう思わない	1	2.9%	11	5.8%	11	4.8%	23	5.1%
無回答			3	1.6%	2	0.9%	5	1.1%
回答者数(母数)	35	100.0%	189	100.0%	231	100.0%	455	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で 67.7%となっており、新しい活用が望まれている。

This page is intentionally left blank

第Ⅲ部 学校編

学校編は、全国の公立小中学校に対して調査を行い、得られた結果を集計し掲載したものである。

調査内容は、以下のカテゴリに分けて掲載されている。

- 2-0 プロフィール
- 2-1 ネットワーク及び学習記録に関する項目
- 2-2 ハードウェアに関する項目
- 2-3 ソフトウェアに関する項目
- 2-4 保守・サポートに関する項目
- 2-5 教育の情報化に対する意識に関する項目

学校編では、さらに「3」として、先進地域・一般地域の分類で集計し、特に注目すべき点があった設問についてのみ掲載している。

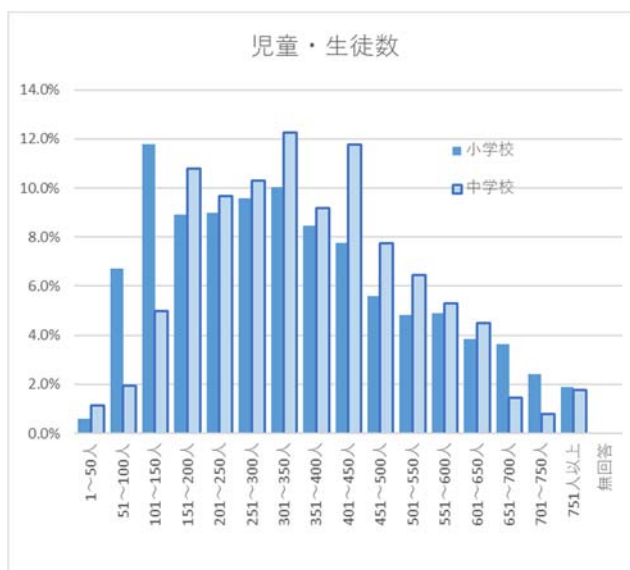
2 全体的傾向（小中学校別の集計）

2-0 回答者プロフィール

学校を対象とする調査は、小学校 3,745 校、中学校 1,599 校の合計 5,344 校を対象として選び、のうち小学校 1,324 校、中学校 621 校から回答が得られた。以下に、今回の調査にこれらの学校のプロフィールとして、児童・生徒数、学級数、教員数という 3 つの観点から、回答をいただいた学校数の分布を掲載する。

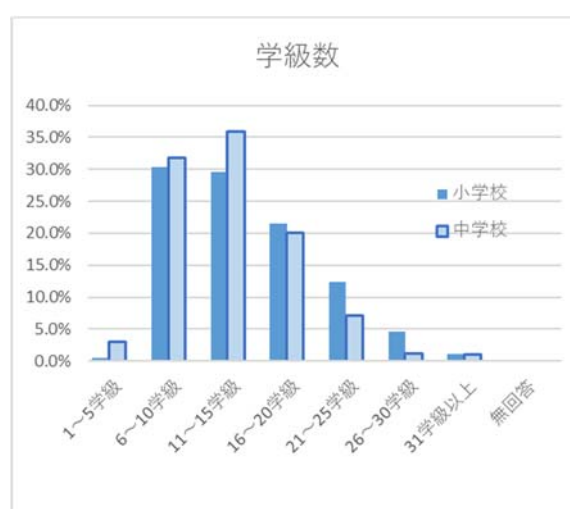
児童・生徒数別学校数分布

児童・生徒数	小学校		中学校		全体	
	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率
1～50人	8	0.6%	7	1.1%	15	0.8%
51～100人	89	6.7%	12	1.9%	101	5.2%
101～150人	156	11.8%	31	5.0%	187	9.6%
151～200人	118	8.9%	67	10.8%	185	9.5%
201～250人	119	9.0%	60	9.7%	179	9.2%
251～300人	127	9.6%	64	10.3%	191	9.8%
301～350人	133	10.0%	76	12.2%	209	10.7%
351～400人	112	8.5%	57	9.2%	169	8.7%
401～450人	103	7.8%	73	11.8%	176	9.0%
451～500人	74	5.6%	48	7.7%	122	6.3%
501～550人	64	4.8%	40	6.4%	104	5.3%
551～600人	65	4.9%	33	5.3%	98	5.0%
601～650人	51	3.9%	28	4.5%	79	4.1%
651～700人	48	3.6%	9	1.4%	57	2.9%
701～750人	32	2.4%	5	0.8%	37	1.9%
751人以上	25	1.9%	11	1.8%	36	1.9%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



学級数別学校数分布

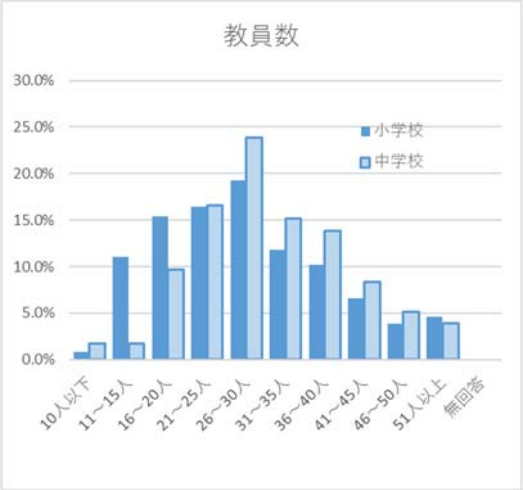
学級数	小学校		中学校		全体	
	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率
1～5学級	6	0.5%	19	3.1%	25	1.3%
6～10学級	402	30.4%	197	31.7%	599	30.8%
11～15学級	392	29.6%	223	35.9%	615	31.6%
16～20学級	285	21.5%	125	20.1%	410	21.1%
21～25学級	164	12.4%	44	7.1%	208	10.7%
26～30学級	61	4.6%	7	1.1%	68	3.5%
31学級以上	14	1.1%	6	1.0%	20	1.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



(学校編)

教員数別学校数分布

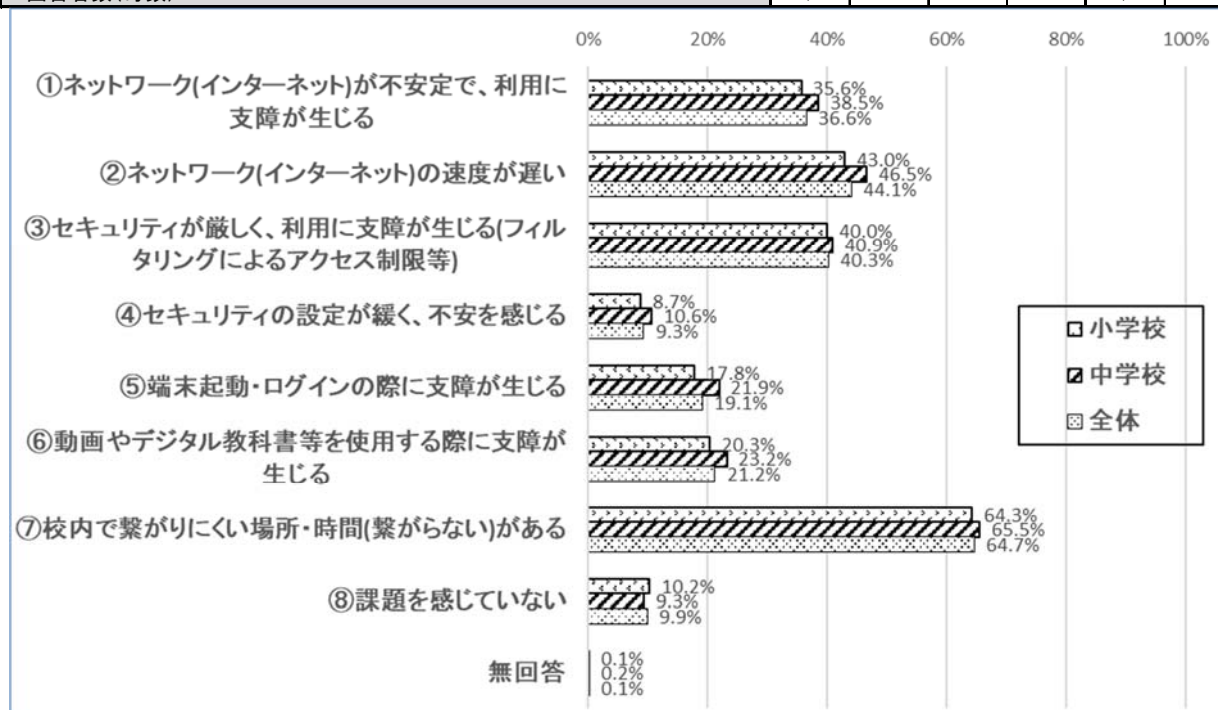
教員数	小学校		中学校		全体	
	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率
10人以下	11	0.8%	11	1.8%	22	1.1%
11～15人	146	11.0%	11	1.8%	157	8.1%
16～20人	204	15.4%	60	9.7%	264	13.6%
21～25人	217	16.4%	103	16.6%	320	16.5%
26～30人	255	19.3%	148	23.8%	403	20.7%
31～35人	156	11.8%	94	15.1%	250	12.9%
36～40人	135	10.2%	86	13.8%	221	11.4%
41～45人	88	6.6%	52	8.4%	140	7.2%
46～50人	51	3.9%	32	5.2%	83	4.3%
51人以上	61	4.6%	24	3.9%	85	4.4%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



2-1 ネットワーク及び学習記録に関する項目

2-1-01 ネットワークの利用について感じていることについて伺います。(いくつでも)

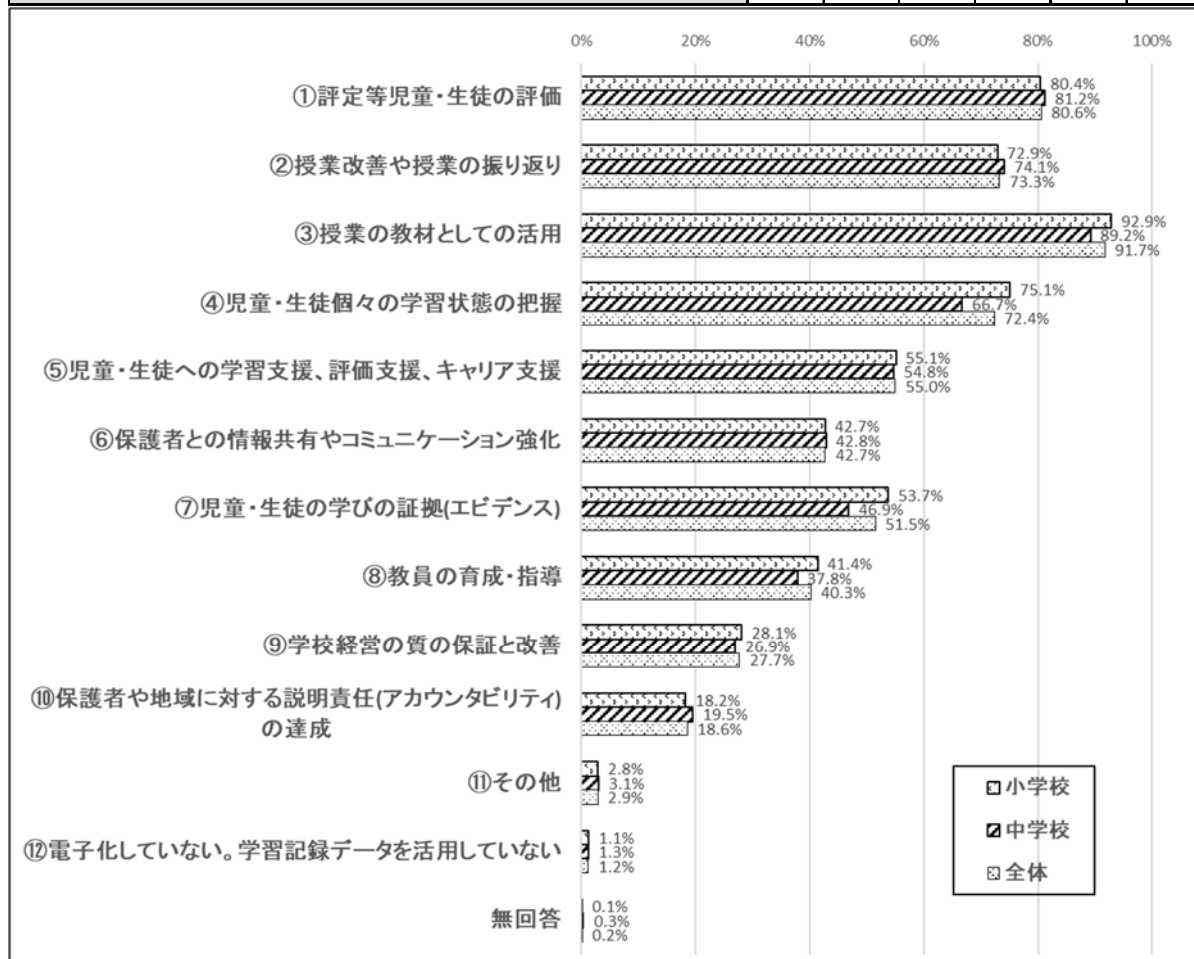
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ネットワーク(インターネット)が不安定で、利用に支障が生じる	472	35.6%	239	38.5%	711	36.6%
②ネットワーク(インターネット)の速度が遅い	569	43.0%	289	46.5%	858	44.1%
③セキュリティが厳しく、利用に支障が生じる(フィルタリングによるアクセス制限等)	529	40.0%	254	40.9%	783	40.3%
④セキュリティの設定が緩く、不安を感じる	115	8.7%	66	10.6%	181	9.3%
⑤端末起動・ログインの際に支障が生じる	236	17.8%	136	21.9%	372	19.1%
⑥動画やデジタル教科書等を使用する際に支障が生じる	269	20.3%	144	23.2%	413	21.2%
⑦校内で繋がりにくい場所・時間(繋がらない)がある	851	64.3%	407	65.5%	1,258	64.7%
⑧課題を感じていない	135	10.2%	58	9.3%	193	9.9%
無回答	1	0.1%	1	0.2%	2	0.1%
回答数合計	3,177	240.0%	1,594	256.7%	4,771	245.3%
回答者数(母数)	1,324		621		1,945	



※全体で「⑦校内で繋がりにくい場所・時間(繋がらない)がある」が64.7%、「②ネットワーク(インターネット)の速度が遅い」が44.1%、「①ネットワーク(インターネット)が不安定で、利用に支障が生じる」が36.6%と、ネットワークに課題がある。また「③セキュリティが厳しく、利用に支障が生じる(フィルタリングによるアクセス制限等)」は全体で40.3%あり、学校現場と教育委員会との調整が必要と思われる。

2-1-02 電子化された学習記録の活用について、既に利用しているものをすべて選択してください。(いくつでも)

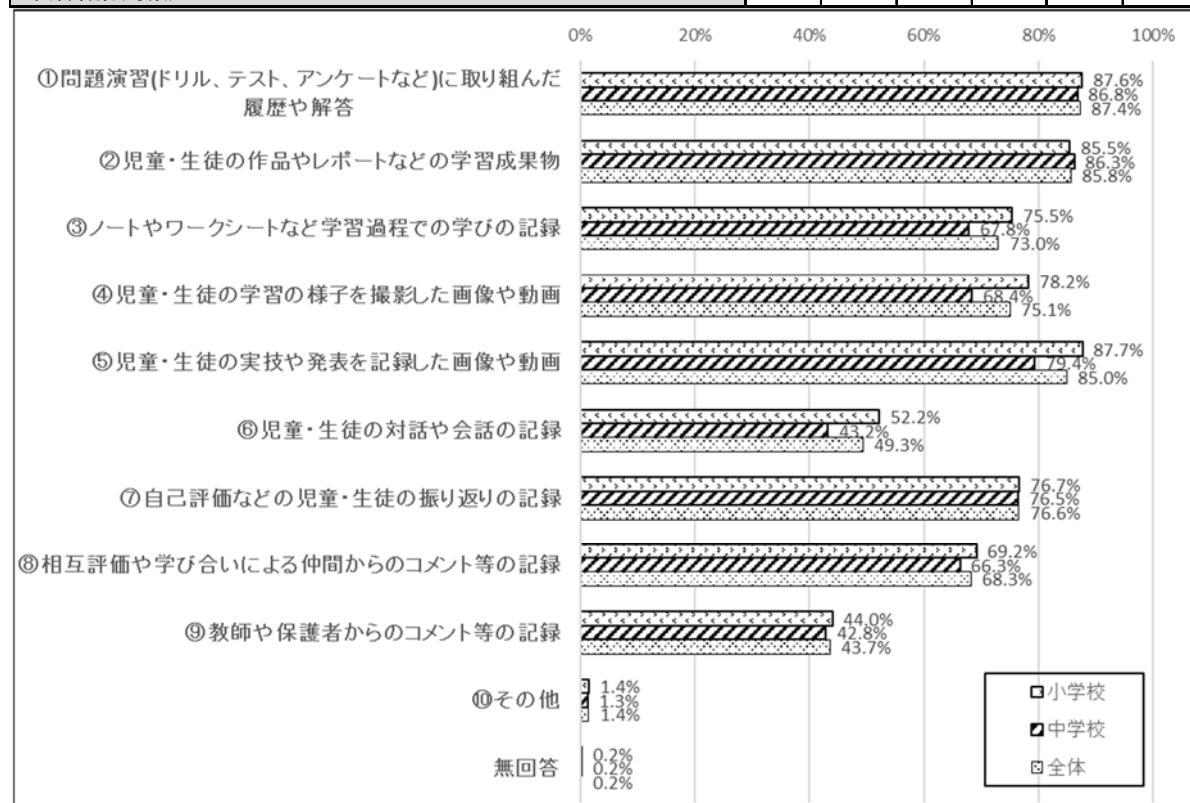
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①評定等児童・生徒の評価	1,064	80.4%	504	81.2%	1,568	80.6%
②授業改善や授業の振り返り	965	72.9%	460	74.1%	1,425	73.3%
③授業の教材としての活用	1,230	92.9%	554	89.2%	1,784	91.7%
④児童・生徒個々の学習状態の把握	994	75.1%	414	66.7%	1,408	72.4%
⑤児童・生徒への学習支援、評価支援、キャリア支援	730	55.1%	340	54.8%	1,070	55.0%
⑥保護者との情報共有やコミュニケーション強化	565	42.7%	266	42.8%	831	42.7%
⑦児童・生徒の学びの証拠(エビデンス)	711	53.7%	291	46.9%	1,002	51.5%
⑧教員の育成・指導	548	41.4%	235	37.8%	783	40.3%
⑨学校経営の質の保証と改善	372	28.1%	167	26.9%	539	27.7%
⑩保護者や地域に対する説明責任(アカウンタビリティ)の達成	241	18.2%	121	19.5%	362	18.6%
⑪その他	37	2.8%	19	3.1%	56	2.9%
⑫電子化していない。学習記録データを活用していない	15	1.1%	8	1.3%	23	1.2%
無回答	1	0.1%	2	0.3%	3	0.2%
回答数合計	7,473	564.4%	3,381	544.4%	10,854	558.0%
回答者数(母数)	1,324		621		1,945	



※小学校、中学校で差は無く「③授業の教材としての活用」が最も多く、全体で91.7%、次いで「①評定等児童・生徒の評価」が80.6%、「②授業改善や授業の振り返り」が73.3%、「④児童・生徒個々の学習状況の把握」が72.4%となっている。

2-1-03 子供たちの学習記録について、電子化が有効だとお考えになるものをすべて選択してください。
(いくつでも)

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①問題演習(ドリル、テスト、アンケートなど)に取り組んだ履歴や解答	1,160	87.6%	539	86.8%	1,699	87.4%
②児童・生徒の作品やレポートなどの学習成果物	1,132	85.5%	536	86.3%	1,668	85.8%
③ノートやワークシートなど学習過程での学びの記録	999	75.5%	421	67.8%	1,420	73.0%
④児童・生徒の学習の様子を撮影した画像や動画	1,036	78.2%	425	68.4%	1,461	75.1%
⑤児童・生徒の実技や発表を記録した画像や動画	1,161	87.7%	493	79.4%	1,654	85.0%
⑥児童・生徒の対話や会話の記録	691	52.2%	268	43.2%	959	49.3%
⑦自己評価などの児童・生徒の振り返りの記録	1,015	76.7%	475	76.5%	1,490	76.6%
⑧相互評価や学び合いによる仲間からのコメント等の記録	916	69.2%	412	66.3%	1,328	68.3%
⑨教師や保護者からのコメント等の記録	583	44.0%	266	42.8%	849	43.7%
⑩その他	19	1.4%	8	1.3%	27	1.4%
無回答	2	0.2%	1	0.2%	3	0.2%
回答数合計	8,714	658.2%	3,844	619.0%	12,558	645.7%
回答者数(母数)	1,324		621		1,945	

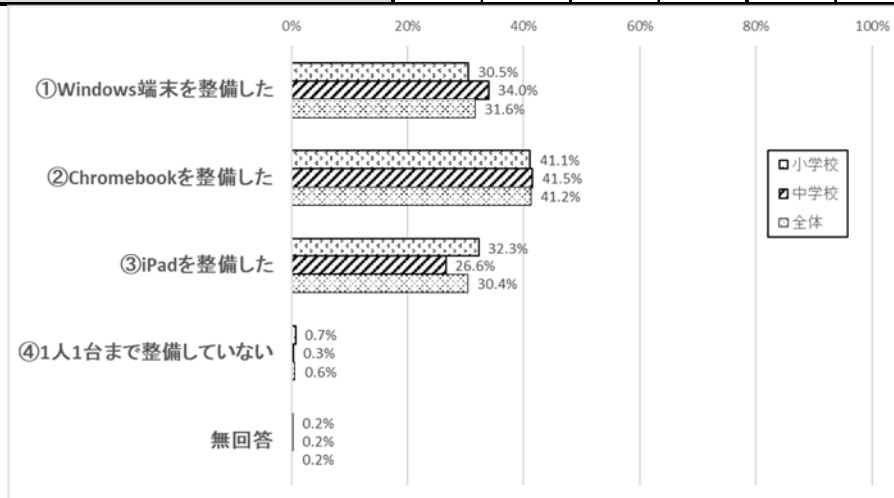


※学習記録の電子化はほとんどが有効と考えられている。

2-2 ハードウェアに関する項目

2-2-01 児童・生徒用の1人1台端末について伺います。端末は次のどれですか。(いくつでも)

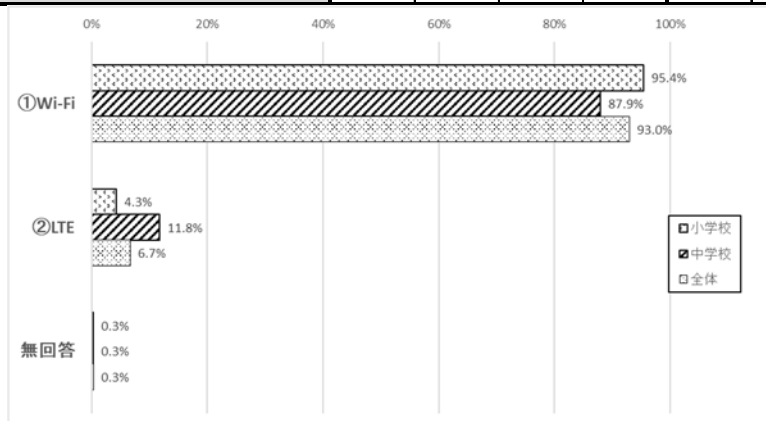
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Windows端末を整備した	404	30.5%	211	34.0%	615	31.6%
②Chromebookを整備した	544	41.1%	258	41.5%	802	41.2%
③iPadを整備した	427	32.3%	165	26.6%	592	30.4%
④1人1台まで整備していない	9	0.7%	2	0.3%	11	0.6%
無回答	2	0.2%	1	0.2%	3	0.2%
回答数合計	1,386	104.7%	637	102.6%	2,023	104.0%
回答者数(母数)	1,324		621		1,945	



※「②Chromebookを整備した」は小・中学校でほぼ同様の回答比だが、「③iPadを整備した」は小学校(32.3%)に比べ中学校(26.6%)が少なく、「①Windows 端末を整備した」は小学校(30.5%)に比べ中学校(34.0%)が多くなっている。

2-2-02 「2-2-01」の端末について、主なネットワークへの接続手段は次のどれですか。

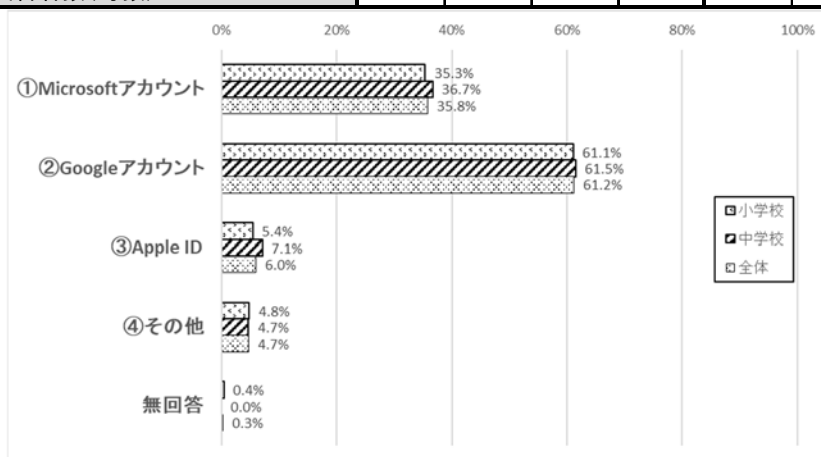
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Wi-Fi	1,263	95.4%	546	87.9%	1,809	93.0%
②LTE	57	4.3%	73	11.8%	130	6.7%
無回答	4	0.3%	2	0.3%	6	0.3%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



※「①Wi-Fi」が93.0%と多く、「②LTE」は6.7%に留まっている。

2-2-03 「2-2-01」で1人1台端末にログインする際の児童・生徒用アカウントは何を利用されていますか。(いくつでも)

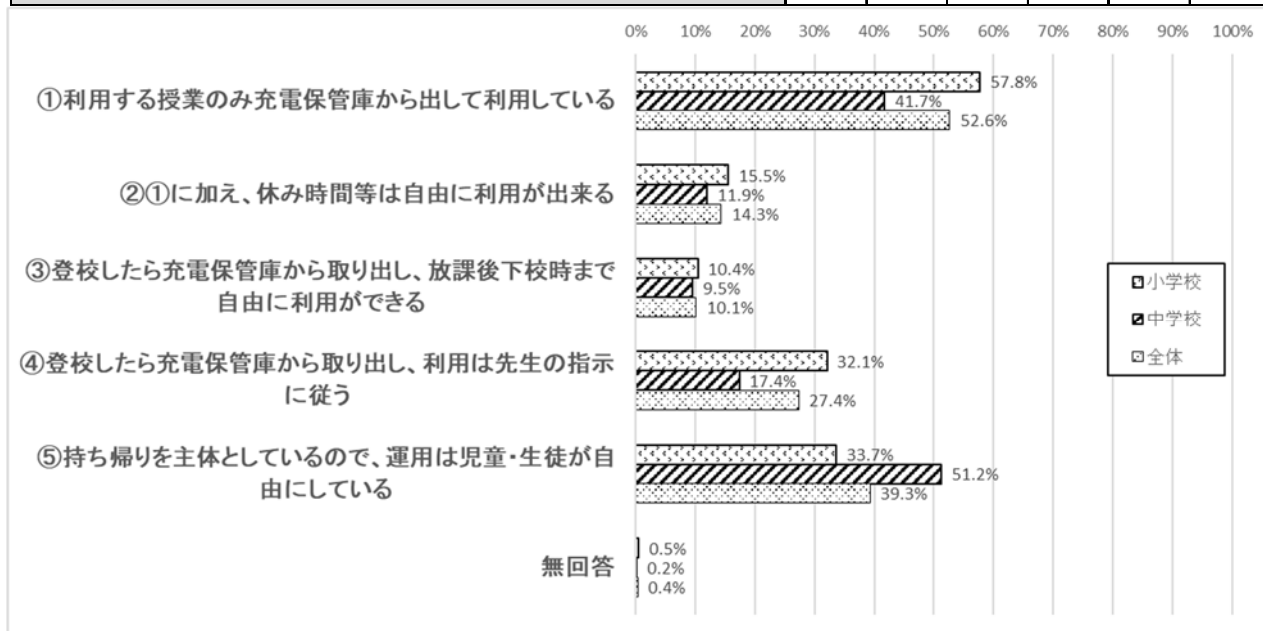
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Microsoftアカウント	468	35.3%	228	36.7%	696	35.8%
②Googleアカウント	809	61.1%	382	61.5%	1,191	61.2%
③Apple ID	72	5.4%	44	7.1%	116	6.0%
④その他	63	4.8%	29	4.7%	92	4.7%
無回答	5	0.4%			5	0.3%
回答数合計	1,417	107.0%	683	110.0%	2,100	108.0%
回答者数(母数)	1,324		621		1,945	



※「②Google アカウント」が全体で 61.2%と多く、次いで「①Microsoft アカウント」の 35.8% となった。

2-2-04 児童・生徒用の1人1台端末の学校での運用方法について伺います。(いくつでも)

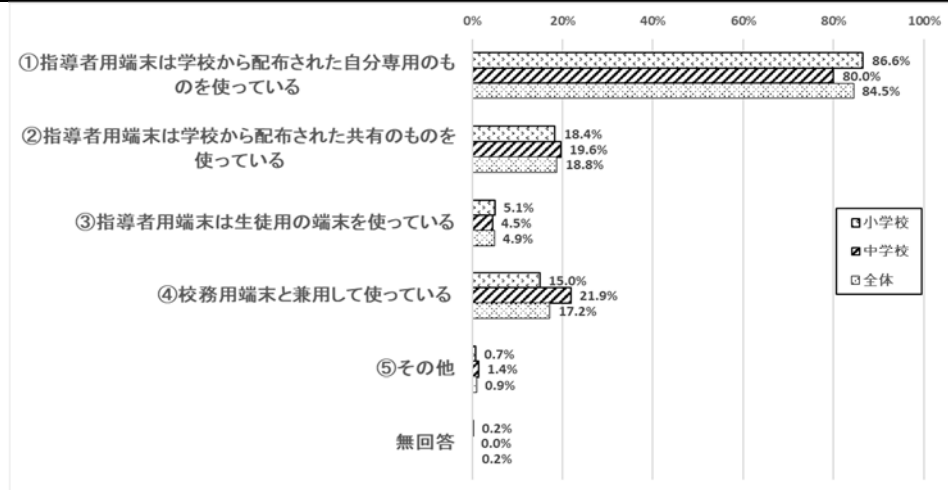
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①利用する授業のみ充電保管庫から出して利用している	765	57.8%	259	41.7%	1,024	52.6%
②①に加え、休み時間等は自由に利用が出来る	205	15.5%	74	11.9%	279	14.3%
③登校したら充電保管庫から取り出し、放課後下校時まで自由に利用できる	138	10.4%	59	9.5%	197	10.1%
④登校したら充電保管庫から取り出し、利用は先生の指示に従う	425	32.1%	108	17.4%	533	27.4%
⑤持ち帰りを主体としているので、運用は児童・生徒が自由になっている	446	33.7%	318	51.2%	764	39.3%
無回答	6	0.5%	1	0.2%	7	0.4%
回答数合計	1,985	149.9%	819	131.9%	2,804	144.2%
回答者数(母数)	1,324		621		1,945	



※全体で「①利用する授業のみ充電保管庫から出して利用する」の52.6%と「④登校したら充電保管庫から取り出し、利用は先生の指示に従う」の27.4%は先生の指示で利用している。一方、「③登校したら充電保管庫から取り出し、放課後下校時まで自由に利用できる」の10.1%と「⑤持ち帰りを主体としているので、運用は児童・生徒が自由になっている」の39.3%は児童・生徒が主体的に判断している。

2-2-05 教員が授業で使用する端末について伺います。(いくつでも)

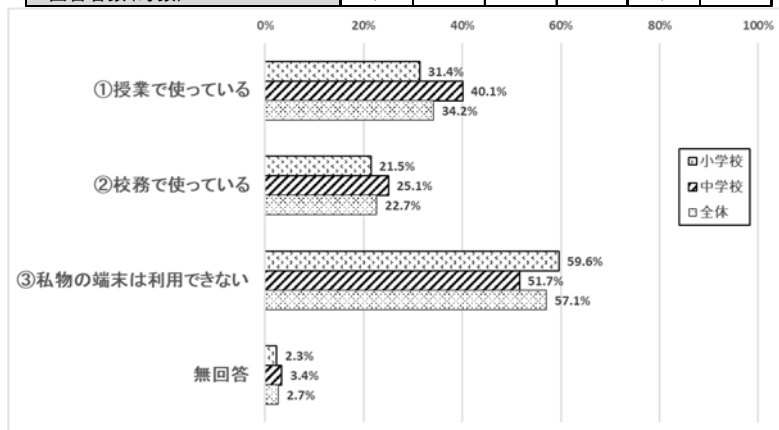
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①指導者用端末は学校から配布された自分専用のものを使っている	1,146	86.6%	497	80.0%	1,643	84.5%
②指導者用端末は学校から配布された共有のものを使っている	243	18.4%	122	19.6%	365	18.8%
③指導者用端末は生徒用の端末を使っている	67	5.1%	28	4.5%	95	4.9%
④校務用端末と兼用して使っている	198	15.0%	136	21.9%	334	17.2%
⑤その他	9	0.7%	9	1.4%	18	0.9%
無回答	3	0.2%			3	0.2%
回答数合計	1,666	125.8%	792	127.5%	2,458	126.4%
回答者数(母数)	1,324		621		1,945	



※「①指導者用端末は学校から配布された自分専用のものを使っている」が全体で84.5%である。「②指導者用端末は学校から配布された共有のものを使っている」が18.8%、「④校務用端末と兼用して使っている」が17.2%もあり、不自由な状況を余儀なくされている教員も少なくないため、より一層の整備が求められる。

2-2-06 校内で教員が私物の端末(タブレット含む)を使っていますか。(いくつでも)

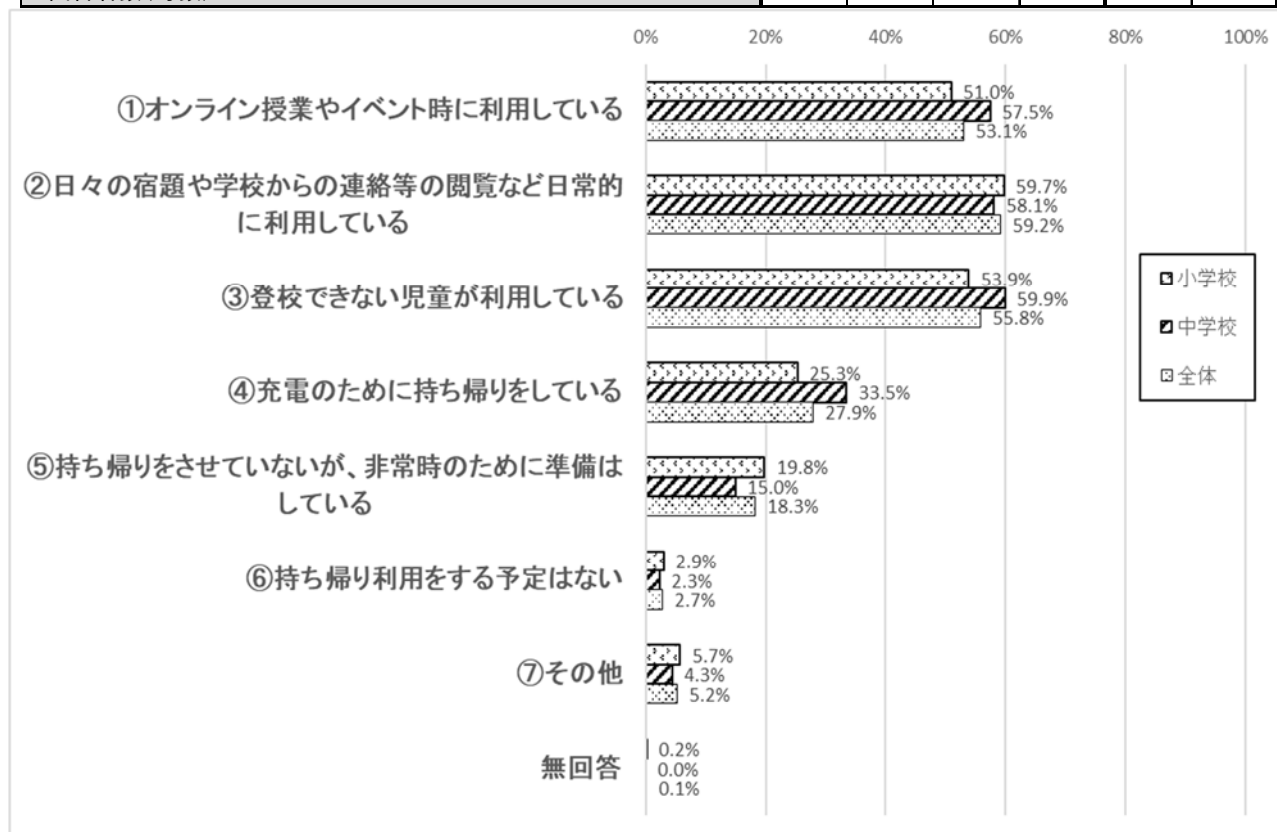
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①授業で使っている	416	31.4%	249	40.1%	665	34.2%
②校務で使っている	285	21.5%	156	25.1%	441	22.7%
③私物の端末は利用できない	789	59.6%	321	51.7%	1,110	57.1%
無回答	31	2.3%	21	3.4%	52	2.7%
回答数合計	1,521	114.9%	747	120.3%	2,268	116.6%
回答者数(母数)	1,324		621		1,945	



※全体で「①授業で使っている」が34.2%、「②校務で使っている」が22.7%もあり、安全性が懸念される状況が続いている。

2-2-07 児童・生徒用の1人1台端末の持ち帰り利用について伺います。(いくつでも)

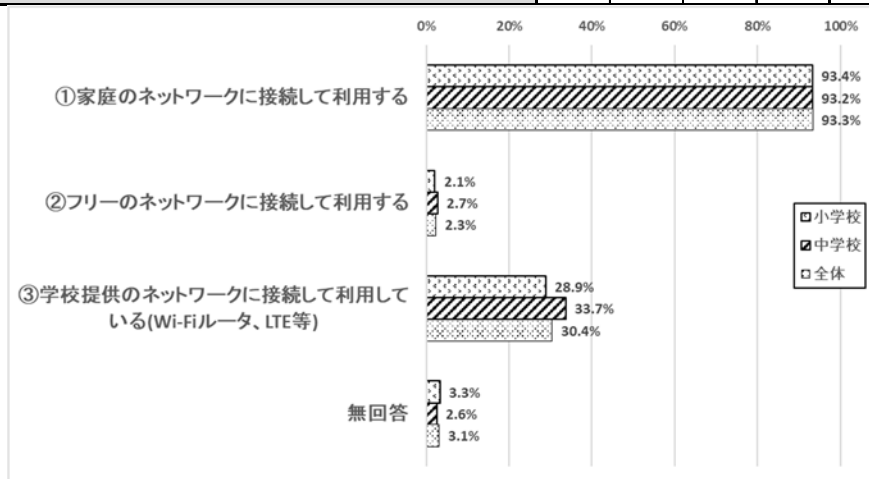
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①オンライン授業やイベント時に利用している	675	51.0%	357	57.5%	1,032	53.1%
②日々の宿題や学校からの連絡等の閲覧など日常的に利用している	791	59.7%	361	58.1%	1,152	59.2%
③登校できない児童が利用している	713	53.9%	372	59.9%	1,085	55.8%
④充電のために持ち帰りをしている	335	25.3%	208	33.5%	543	27.9%
⑤持ち帰りをさせていないが、非常時のために準備はしている	262	19.8%	93	15.0%	355	18.3%
⑥持ち帰り利用をする予定はない	39	2.9%	14	2.3%	53	2.7%
⑦その他	75	5.7%	27	4.3%	102	5.2%
無回答	2	0.2%			2	0.1%
回答数合計	2,892	218.4%	1,432	230.6%	4,324	222.3%
回答者数(母数)	1,324		621		1,945	



※全般に持ち帰り利用は進んできたが、60%未満に留まる。全体で「⑥持ち帰り利用をする予定はない」の2.7%に加え、「⑤持ち帰りをさせていないが、非常時のために準備はしている」が18.3%と通常時の持ち帰りをしていない学校がまだ一定数あることがうかがえる。

2-2-08 「2-2-07」の家庭で端末を使用する場合について伺います。(いくつでも)

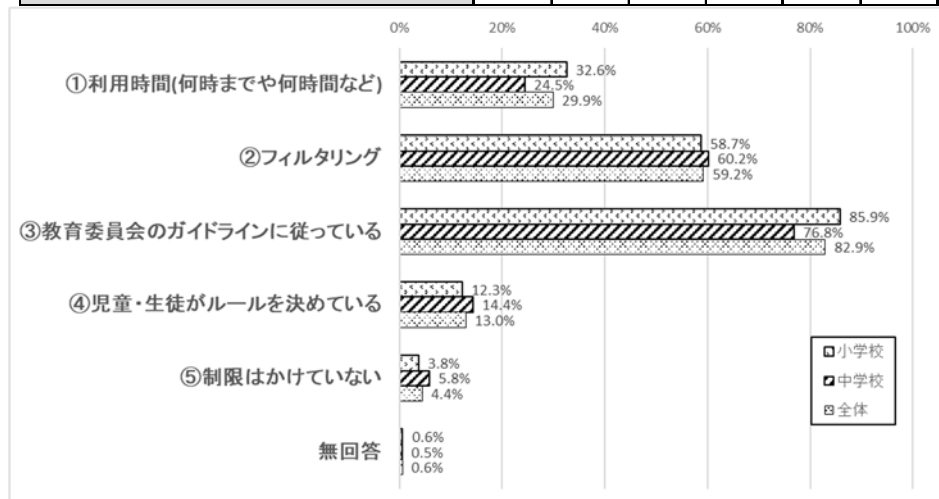
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①家庭のネットワークに接続して利用する	1,236	93.4%	579	93.2%	1,815	93.3%
②フリーのネットワークに接続して利用する	28	2.1%	17	2.7%	45	2.3%
③学校提供のネットワークに接続して利用している(Wi-Fiルータ、LTE等)	382	28.9%	209	33.7%	591	30.4%
無回答	44	3.3%	16	2.6%	60	3.1%
回答数合計	1,690	127.6%	821	132.2%	2,511	129.1%
回答者数(母数)	1,324		621		1,945	



※全体で「①家庭のネットワークに接続して利用する」が93.3%である。

2-2-09 「2-2-07」で①②③と回答された方に伺います。学校として1人1台端末の利用にかけている制限はありますか。(いくつでも)

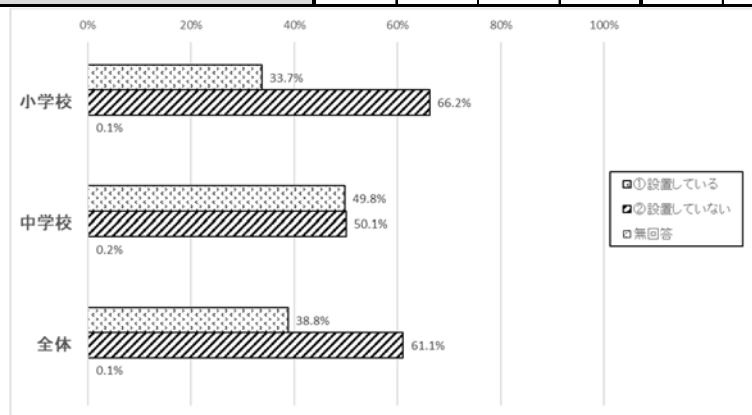
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①利用時間(何時までや何時間など)	364	32.6%	134	24.5%	498	29.9%
②フィルタリング	656	58.7%	330	60.2%	986	59.2%
③教育委員会のガイドラインに従っている	959	85.9%	421	76.8%	1,380	82.9%
④児童・生徒がルールを決めている	137	12.3%	79	14.4%	216	13.0%
⑤制限はかけていない	42	3.8%	32	5.8%	74	4.4%
無回答	7	0.6%	3	0.5%	10	0.6%
回答数合計	2,165	193.8%	999	182.3%	3,164	190.0%
回答者数(母数)	1,117		548		1,665	



※全体で「③教育委員会のガイドラインに従っている」が82.9%と多いのは想定通りだが、「②フィルタリング」が59.2%に留まっている。

2-2-10 従来型のコンピュータ教室を設置していますか。

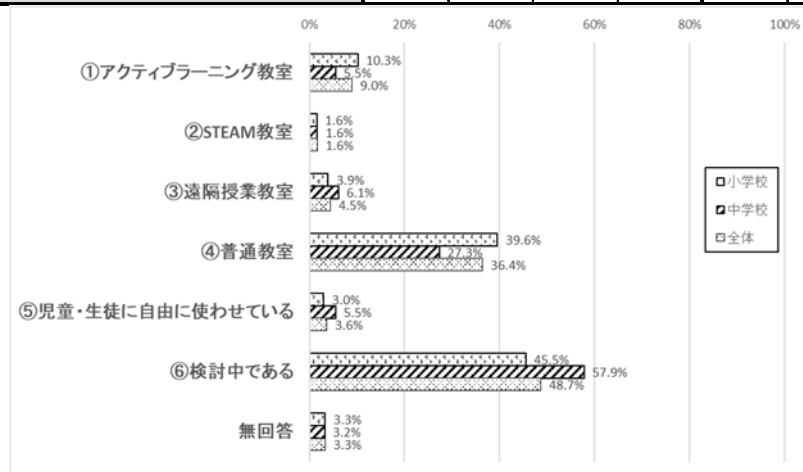
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①設置している	446	33.7%	309	49.8%	755	38.8%
②設置していない	877	66.2%	311	50.1%	1,188	61.1%
無回答	1	0.1%	1	0.2%	2	0.1%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



※「②設置していない」が前回比(32.5%→61.1%)で大幅に増えており、コンピュータ教室の設置が少なくなっている。また、小学校と中学校で差がみられる。

2-2-12 「2-2-10」で「②設置していない」と回答された方に伺います。コンピュータ教室のあとをどのように活用していますか。(いくつかでも)

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①アクティブラーニング教室	90	10.3%	17	5.5%	107	9.0%
②STEAM教室	14	1.6%	5	1.6%	19	1.6%
③遠隔授業教室	34	3.9%	19	6.1%	53	4.5%
④普通教室	347	39.6%	85	27.3%	432	36.4%
⑤児童・生徒に自由に使わせている	26	3.0%	17	5.5%	43	3.6%
⑥検討中である	399	45.5%	180	57.9%	579	48.7%
無回答	29	3.3%	10	3.2%	39	3.3%
回答数合計	939	107.1%	333	107.1%	1,272	107.1%
回答者数(母数)	877		311		1,188	

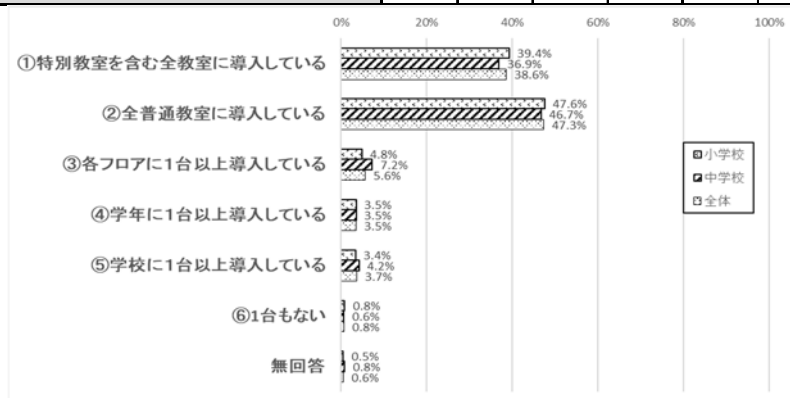


※「④普通教室」が全体で 36.4%、「⑥検討中である」が 48.7%あり、コンピュータ教室を発展的に活用する取り組みはまだ少ない。

2-2-13 授業で活用している ICT 機器の整備状況について伺います。

2-2-13(1) 大型提示装置

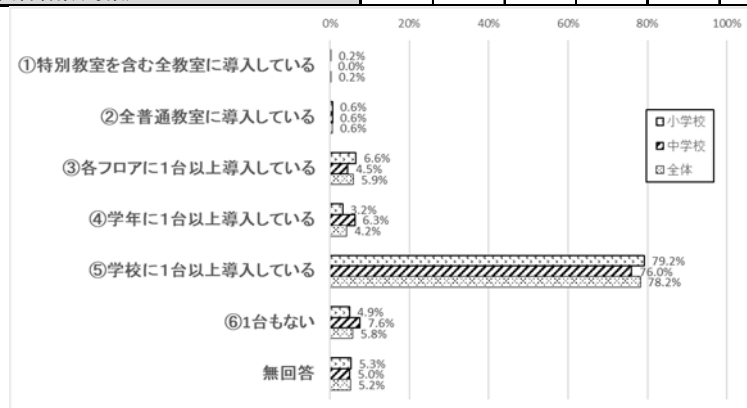
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	521	39.4%	229	36.9%	750	38.6%
②全普通教室に導入している	630	47.6%	290	46.7%	920	47.3%
③各フロアに1台以上導入している	64	4.8%	45	7.2%	109	5.6%
④学年に1台以上導入している	47	3.5%	22	3.5%	69	3.5%
⑤学校に1台以上導入している	45	3.4%	26	4.2%	71	3.7%
⑥1台もない	11	0.8%	4	0.6%	15	0.8%
無回答	6	0.5%	5	0.8%	11	0.6%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



※「①特別教室を含む全教室に導入している」と「②全普通教室に導入している」を合わせて全体で 85.9%あり、普通教室への導入は進んでいる。

2-2-13(2) カラープリンタ

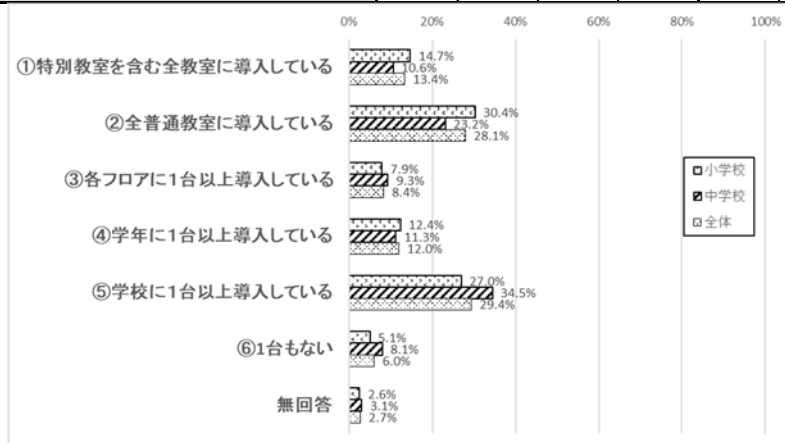
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	3	0.2%			3	0.2%
②全普通教室に導入している	8	0.6%	4	0.6%	12	0.6%
③各フロアに1台以上導入している	87	6.6%	28	4.5%	115	5.9%
④学年に1台以上導入している	42	3.2%	39	6.3%	81	4.2%
⑤学校に1台以上導入している	1,049	79.2%	472	76.0%	1,521	78.2%
⑥1台もない	65	4.9%	47	7.6%	112	5.8%
無回答	70	5.3%	31	5.0%	101	5.2%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



※全体で「③各フロアに1台以上導入している」が前回比(3.1%→5.9%)で増えているが、普通教室への導入はまだ少ない。1人1台端末の活用が進んでいることから、各端末から印刷できる環境整備が望ましい。

2-2-13(3) 実物投影機

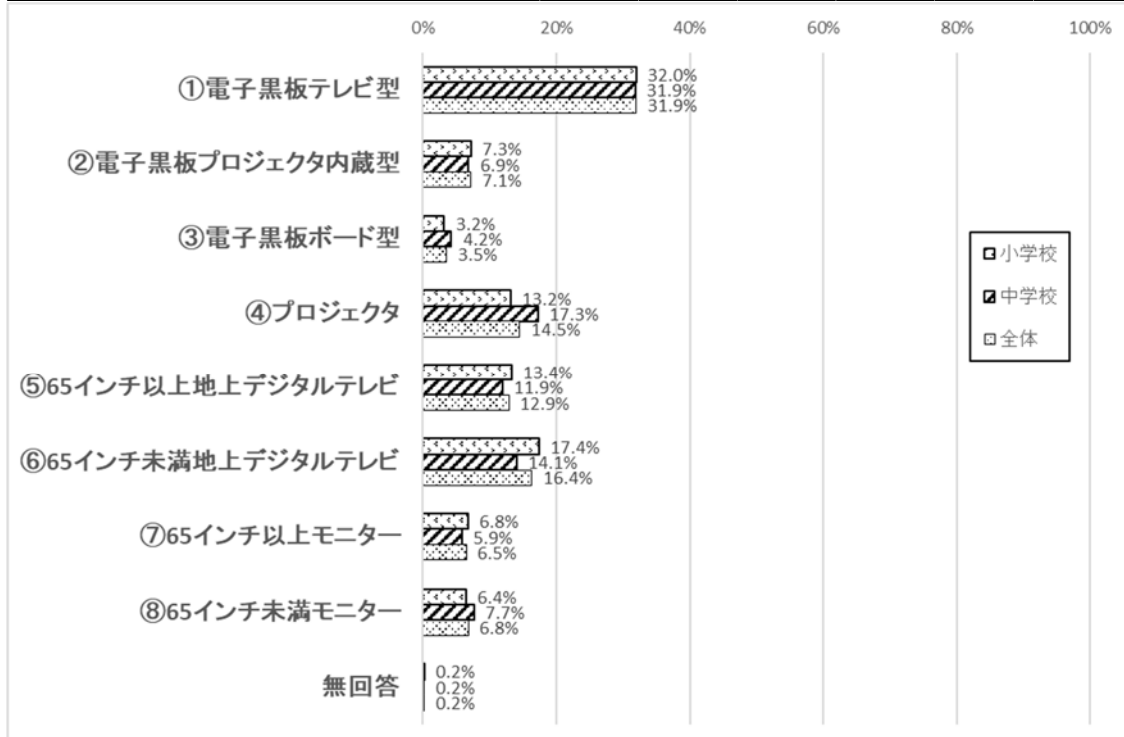
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	195	14.7%	66	10.6%	261	13.4%
②全普通教室に導入している	402	30.4%	144	23.2%	546	28.1%
③各フロアに1台以上導入している	105	7.9%	58	9.3%	163	8.4%
④学年に1台以上導入している	164	12.4%	70	11.3%	234	12.0%
⑤学校に1台以上導入している	357	27.0%	214	34.5%	571	29.4%
⑥1台もない	67	5.1%	50	8.1%	117	6.0%
無回答	34	2.6%	19	3.1%	53	2.7%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



※「①特別教室を含む全教室に導入している」と「②全普通教室に導入している」を合わせると、小学校では 45.1%、中学校では 33.8%となっている。文部科学省の掲げる「教育の ICT 化に向けた環境整備 5 か年計画(2018~2022)」にある小学校の普通教室への 100%整備に向けて、一層の整備が望まれる。

2-2-14 「2-2-13(1)」でお答えいただいた大型提示装置の種類について伺います。(主な整備機器について1種類)

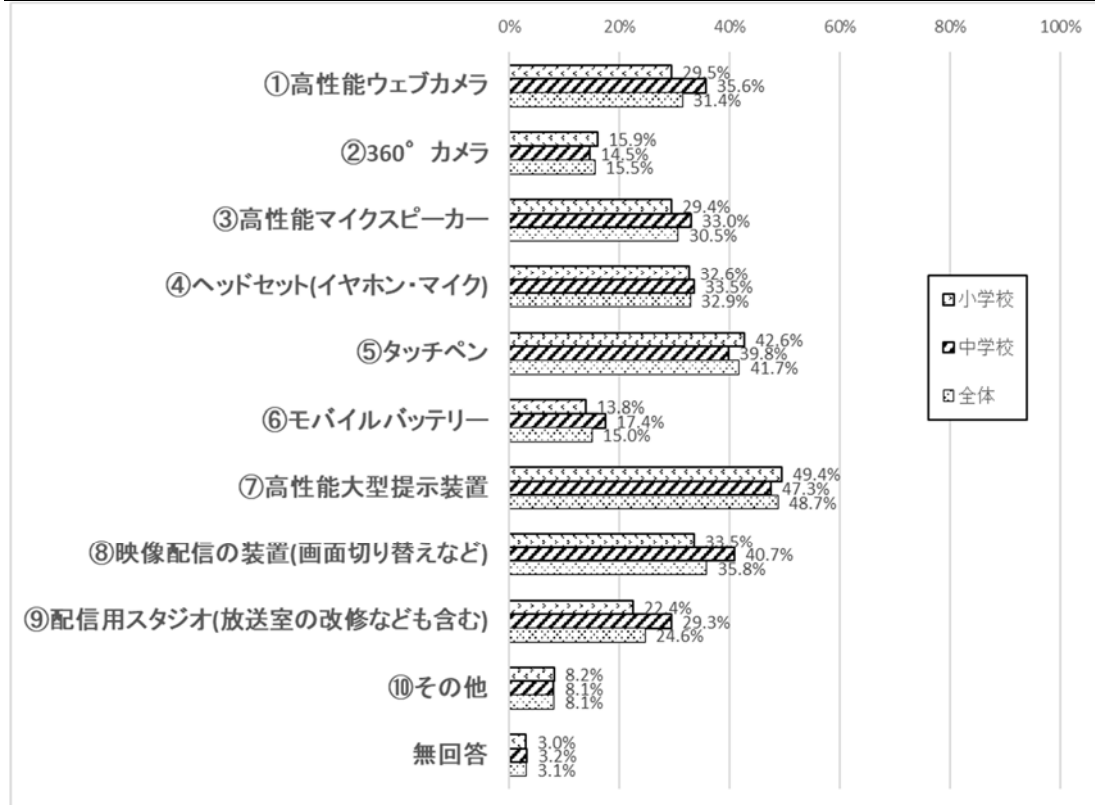
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子黒板テレビ型	418	32.0%	195	31.9%	613	31.9%
②電子黒板プロジェクタ内蔵型	95	7.3%	42	6.9%	137	7.1%
③電子黒板ボード型	42	3.2%	26	4.2%	68	3.5%
④プロジェクタ	173	13.2%	106	17.3%	279	14.5%
⑤65インチ以上地上デジタルテレビ	175	13.4%	73	11.9%	248	12.9%
⑥65インチ未満地上デジタルテレビ	228	17.4%	86	14.1%	314	16.4%
⑦65インチ以上モニター	89	6.8%	36	5.9%	125	6.5%
⑧65インチ未満モニター	84	6.4%	47	7.7%	131	6.8%
無回答	3	0.2%	1	0.2%	4	0.2%
回答者数(母数)	1,307	100.0%	612	100.0%	1,919	100.0%



※全体で「①電子黒板テレビ型」が31.9%と最も多い。「⑤65インチ以上地上デジタルテレビ」「⑥65インチ未満地上デジタルテレビ」のテレビを合わせると29.3%、また「⑦65インチ以上モニター」「⑧65インチ未満モニター」を合わせると13.3%あり、大型提示装置はテレビ、モニター型が多くなっている。

2-2-15 GIGA スクール構想で導入された端末をいっそう活用するために、今後整備を希望するものは次のどれですか。(いくつでも)

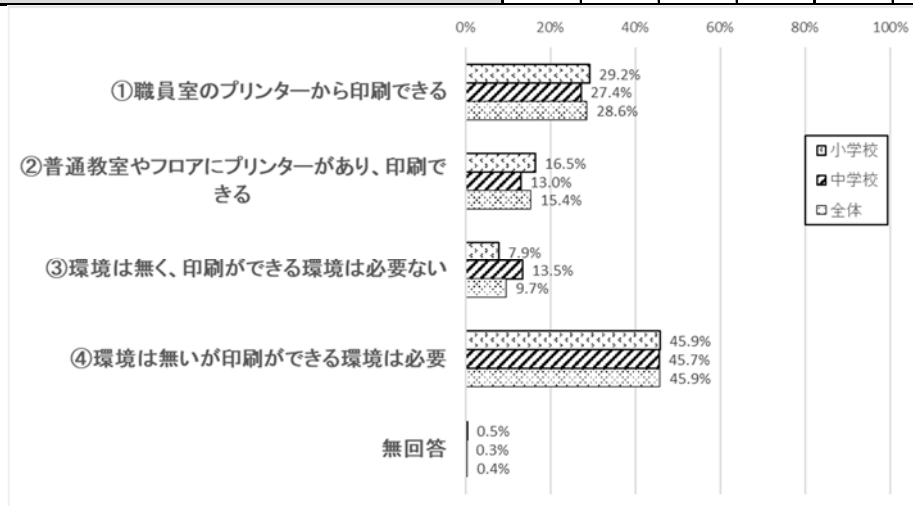
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①高性能ウェブカメラ	390	29.5%	221	35.6%	611	31.4%
②360° カメラ	211	15.9%	90	14.5%	301	15.5%
③高性能マイクスピーカー	389	29.4%	205	33.0%	594	30.5%
④ヘッドセット(イヤホン・マイク)	431	32.6%	208	33.5%	639	32.9%
⑤タッチペン	564	42.6%	247	39.8%	811	41.7%
⑥モバイルバッテリー	183	13.8%	108	17.4%	291	15.0%
⑦高性能大型提示装置	654	49.4%	294	47.3%	948	48.7%
⑧映像配信の装置(画面切り替えなど)	443	33.5%	253	40.7%	696	35.8%
⑨配信用スタジオ(放送室の改修なども含む)	296	22.4%	182	29.3%	478	24.6%
⑩その他	108	8.2%	50	8.1%	158	8.1%
無回答	40	3.0%	20	3.2%	60	3.1%
回答数合計	3,709	280.1%	1,878	302.4%	5,587	287.2%
回答者数(母数)	1,324		621		1,945	



※全体で「⑦高性能大型提示装置」が48.7%と最も多い。遠隔配信用の「①高性能ウェブカメラ」が31.4%、「③高性能マイクスピーカー」が30.5%と多くなっており、「⑧映像配信の装置(画面切り替えなど)」の35.8%も合わせて配信のニーズが強くなっていることがうかがえる。

2-2-16 1人1台端末から印刷する環境はありますか。

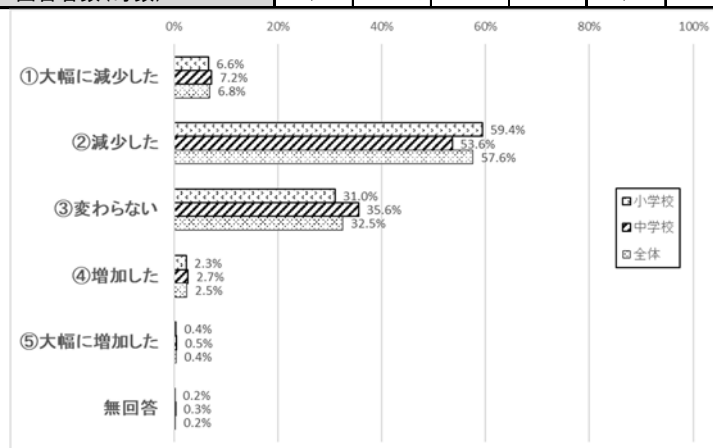
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①職員室のプリンターから印刷できる	387	29.2%	170	27.4%	557	28.6%
②普通教室やフロアにプリンターがあり、印刷できる	219	16.5%	81	13.0%	300	15.4%
③環境は無く、印刷ができる環境は必要ない	104	7.9%	84	13.5%	188	9.7%
④環境は無いが印刷ができる環境は必要	608	45.9%	284	45.7%	892	45.9%
無回答	6	0.5%	2	0.3%	8	0.4%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



※全体で「①職員室のプリンターから印刷できる」と「②普通教室やフロアにプリンターがあり、印刷できる」を合わせると 44.0%あり、印刷できる環境は半数に満たないが、「④環境は無いが印刷ができる環境は必要」が 45.9%あり、教員のニーズは高いことがうかがえる。

2-2-17 学校全体の ICT 化が進むなか、教材等がデジタル化し印刷量は変化しましたか。

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①大幅に減少した	88	6.6%	45	7.2%	133	6.8%
②減少した	787	59.4%	333	53.6%	1,120	57.6%
③変わらない	411	31.0%	221	35.6%	632	32.5%
④増加した	31	2.3%	17	2.7%	48	2.5%
⑤大幅に増加した	5	0.4%	3	0.5%	8	0.4%
無回答	2	0.2%	2	0.3%	4	0.2%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



※全体で「②減少した」が前回比(44.7%→57.6%)で増えており、「③変わらない」は前回比(49.5%→32.5%)で減少したことから、印刷量が減ったととらえていることがうかがえる。

2-3 ソフトウェアに関する項目

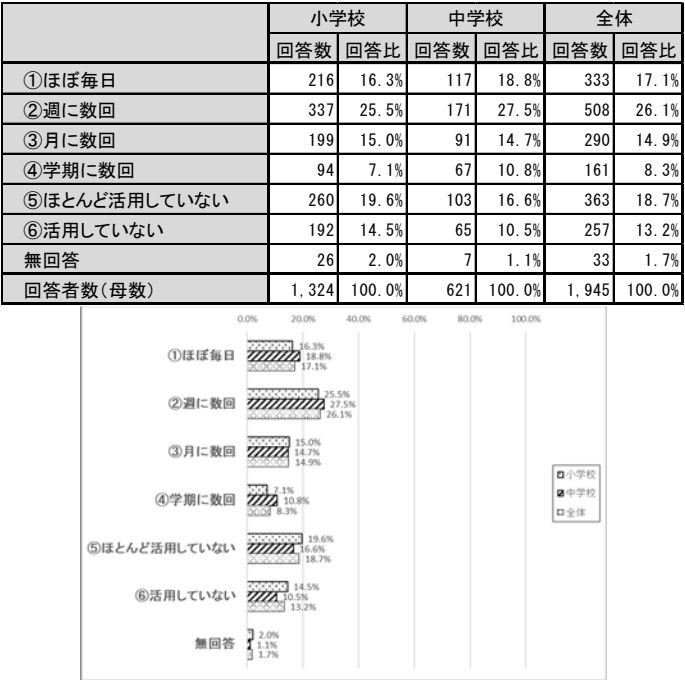
2-3-01 教科指導において、以下の学習用アプリ・ツールをどの程度活用していますか。

2-3-01(1) 指導者用デジタル教科書・教材



※①「ほぼ毎日」が最も多く全体で 58.9%、次いで「②週に数回」が 23.5%となっている。

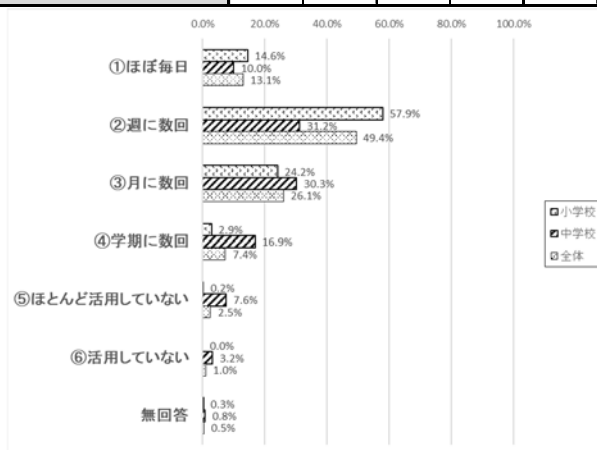
2-3-01(2) 学習者用デジタル教科書・教材



※全体で「⑤ほとんど活用していない」18.7%、「⑥活用していない」13.2%は指導者用デジタル教科書に比べて高くなっている。外国語は全児童生徒に提供されていることを考えると、より一層の活用促進が望まれる。

2-3-01(3) 動画教材(NHK for School 等)

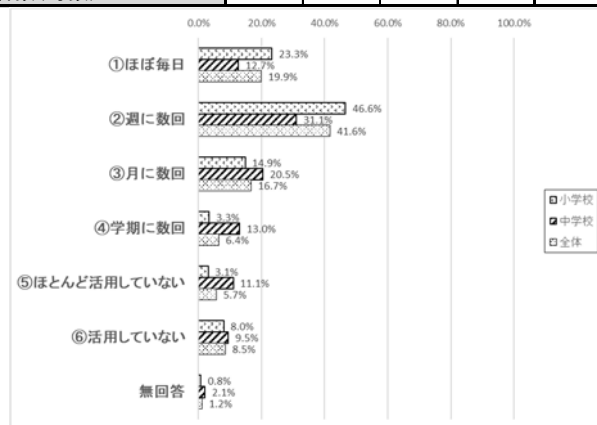
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ほぼ毎日	193	14.6%	62	10.0%	255	13.1%
②週に数回	767	57.9%	194	31.2%	961	49.4%
③月に数回	320	24.2%	188	30.3%	508	26.1%
④学期に数回	38	2.9%	105	16.9%	143	7.4%
⑤ほとんど活用していない	2	0.2%	47	7.6%	49	2.5%
⑥活用していない			20	3.2%	20	1.0%
無回答	4	0.3%	5	0.8%	9	0.5%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



※全体で「①ほぼ毎日」「②週に数回」を合わせると 62.5%となっている。特に小学校の「②週に数回」は 57.9%と高く、中学校よりも活用されていることがわかる。

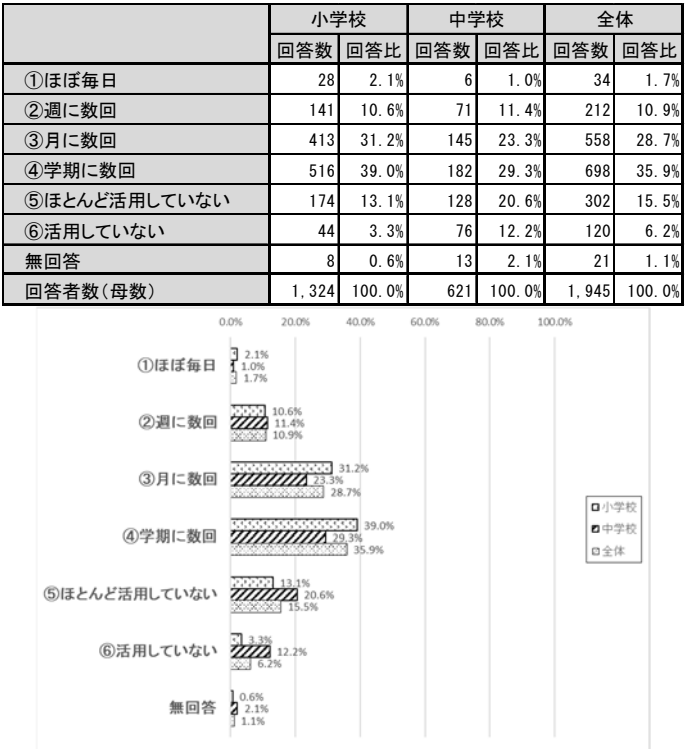
2-3-01(4) デジタルドリル

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ほぼ毎日	309	23.3%	79	12.7%	388	19.9%
②週に数回	617	46.6%	193	31.1%	810	41.6%
③月に数回	197	14.9%	127	20.5%	324	16.7%
④学期に数回	44	3.3%	81	13.0%	125	6.4%
⑤ほとんど活用していない	41	3.1%	69	11.1%	110	5.7%
⑥活用していない	106	8.0%	59	9.5%	165	8.5%
無回答	10	0.8%	13	2.1%	23	1.2%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



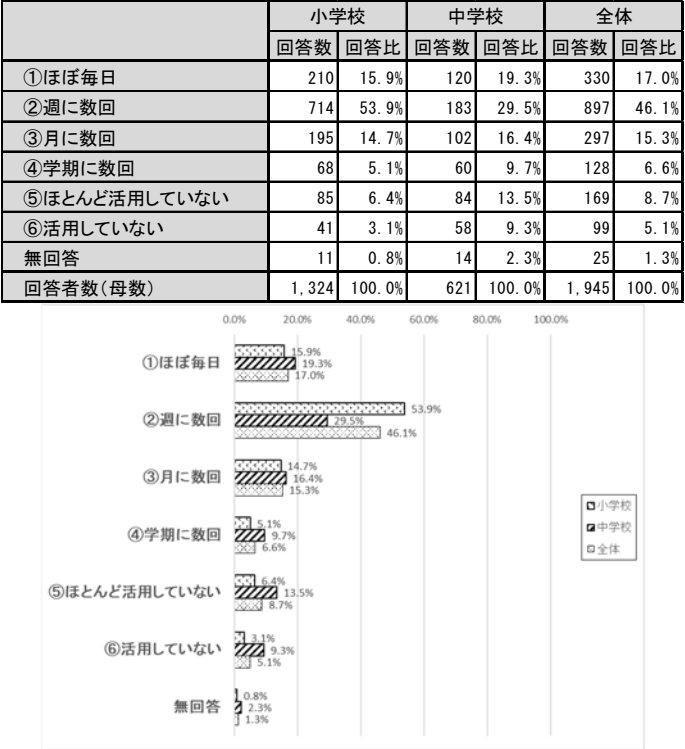
※「①ほぼ毎日」が全体で 19.9%、小学校は 23.3%となっている。「②週に数回」も全体では 41.6%だが、小学校は 46.6%と高くなっている。

2-3-01(5) プログラミング教材



※「④学期に数回」が最も多く、全体で35.9%。次いで「③月に数回」が28.7%となっている。

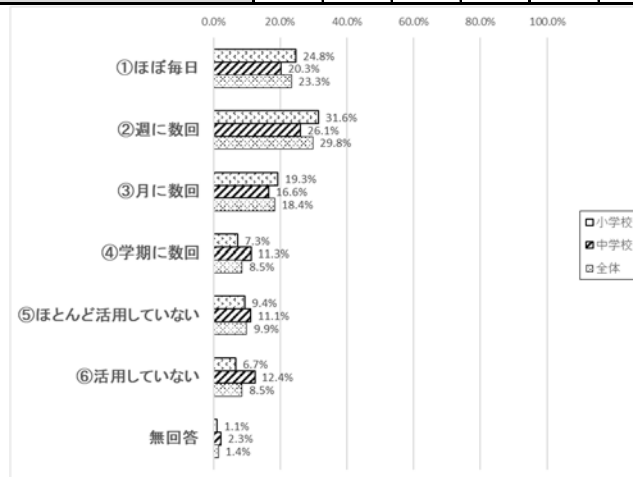
2-3-01(6) 外国語学習用教材



※「①ほぼ毎日」と「②週に数回」を足して、小学校は69.8%、中学校は48.8%と、小学校の方がより活用されている。

2-3-01(7) 協働学習支援ツール

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ほぼ毎日	328	24.8%	126	20.3%	454	23.3%
②週に数回	418	31.6%	162	26.1%	580	29.8%
③月に数回	255	19.3%	103	16.6%	358	18.4%
④学期に数回	96	7.3%	70	11.3%	166	8.5%
⑤ほとんど活用していない	124	9.4%	69	11.1%	193	9.9%
⑥活用していない	89	6.7%	77	12.4%	166	8.5%
無回答	14	1.1%	14	2.3%	28	1.4%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%

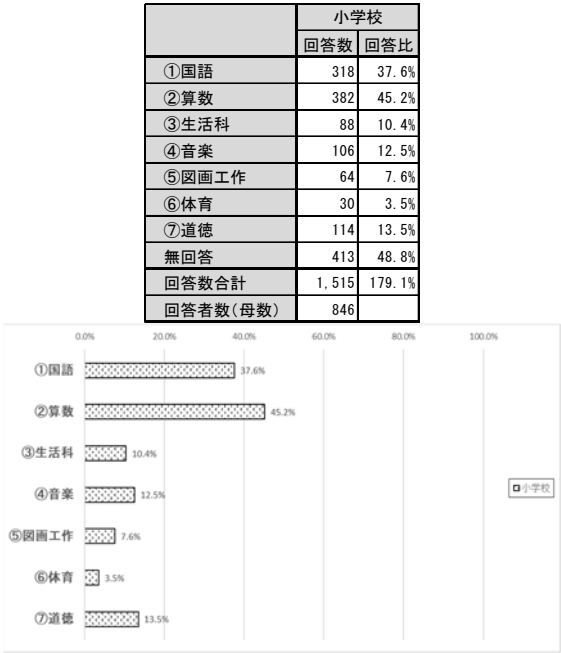


※全体で「①ほぼ毎日」と「②週に数回」を合わせて 53.1%となっており、2校に1校は日常的に活用している。

(学校編)

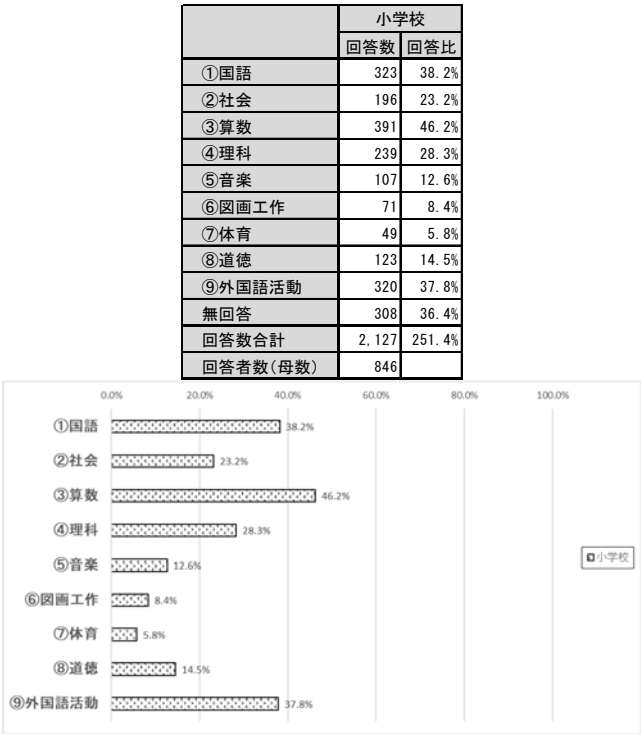
2-3-02 「2-3-01(2)」で「学習者用デジタル教科書・教材」を活用している(①～④)と回答された小学校の方に伺います。自治体予算で導入されている教科は何ですか。

2-3-02(1) 低学年(いくつでも)



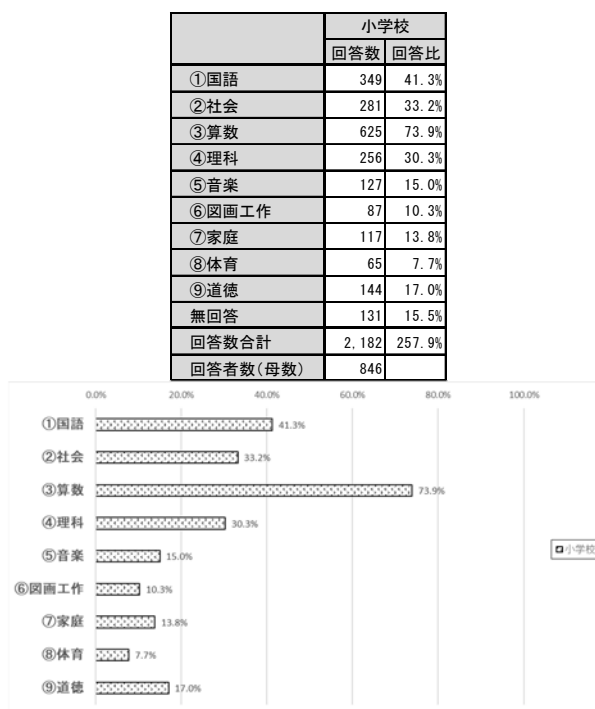
※「②算数」が最も高く 45.2%、次いで「①国語」が 37.6%となっている。1-3-01(2.1)同様に、算数は学習者用デジタル教科書普及促進事業でおよそ半数の学校に 5・6 年が導入されているため、低学年を追加整備していることが考えられる。

2-3-02(2) 中学年(いくつでも)



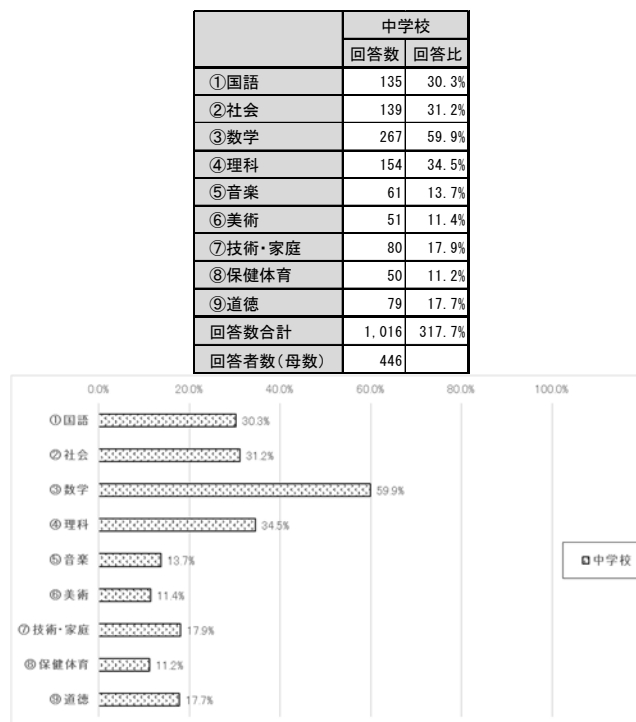
※「③算数」が最も多く 46.2%、次いで「①国語」が 38.2%となっている。1-3-01(2.2)同様に、算数は学習者用デジタル教科書普及促進事業でおよそ半数の学校に 5・6 年が導入されているため、低学年と合わせて中学年を追加整備していることが考えられる。

2-3-02(3) 高学年(いくつでも)



※「③算数」が最も多く 73.9%、次いで「①国語」が 41.3%となっている。1-3-01(2.3)同様、算数は学習者用デジタル教科書普及促進事業でおよそ半数の学校に 5・6 年が導入されているため、導入されていない学校に対して追加整備していることが考えられる。

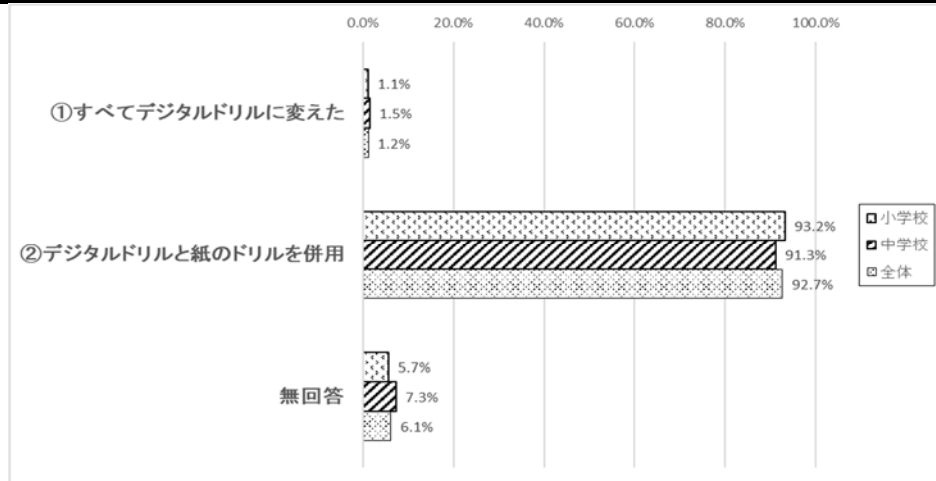
2-3-03 「2-3-01(2)」で「学習者用デジタル教科書・教材」を活用している(①～④)と回答された中学校の方に伺います。導入されている教科は何ですか。(いくつでも)



※「③数学」が最も多く 59.9%、次いで「④理科」が 34.5%、「②社会」が 31.2%となっている。学習者用デジタル教科書普及促進事業でおよそ半数の学校に、数学が導入されているため、導入されていない学校に対して追加整備していることが考えられる。

2-3-04 「2-3-01(4)」で「デジタルドリル」を活用している(①～④)と回答された方に伺います。紙のドリル教材に代えてデジタルドリルを活用していますか。

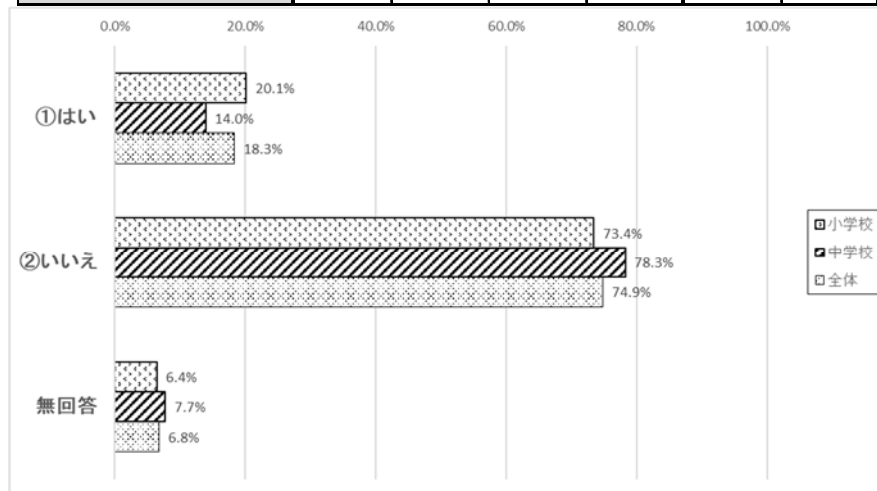
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すべてデジタルドリルに変えた	13	1.1%	7	1.5%	20	1.2%
②デジタルドリルと紙のドリルを併用	1,088	93.2%	438	91.3%	1,526	92.7%
無回答	66	5.7%	35	7.3%	101	6.1%
回答者数(母数)	1,167	100.0%	480	100.0%	1,647	100.0%



※全体で「②デジタルドリルと紙のドリルを併用」が92.7%と圧倒している。

2-3-05 「2-3-01(4)」で「デジタルドリル」を活用している(①～④)と回答された方に重ねて伺います。デジタルドリルの費用は保護者負担ですか。

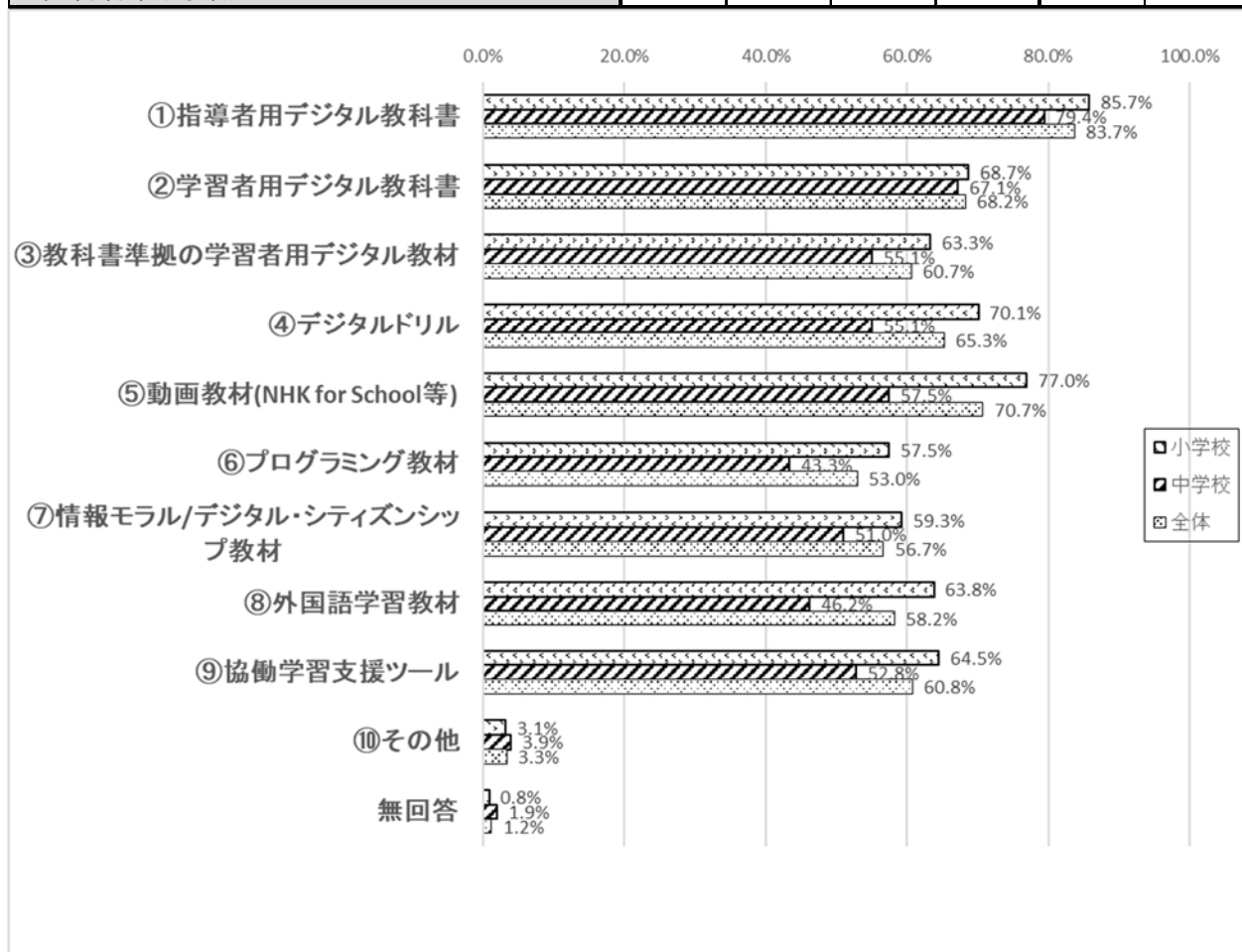
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①はい	235	20.1%	67	14.0%	302	18.3%
②いいえ	857	73.4%	376	78.3%	1,233	74.9%
無回答	75	6.4%	37	7.7%	112	6.8%
回答者数(母数)	1,167	100.0%	480	100.0%	1,647	100.0%



※全体で「②いいえ」が74.9%、「①はい」が18.3%となっている。紙のドリルに代えてデジタルドリルを活用するようになると、保護者負担も増えることが考えられる。

2-3-06 教科指導において、必要だと思うアプリ・ツールは何ですか。(いくつでも)

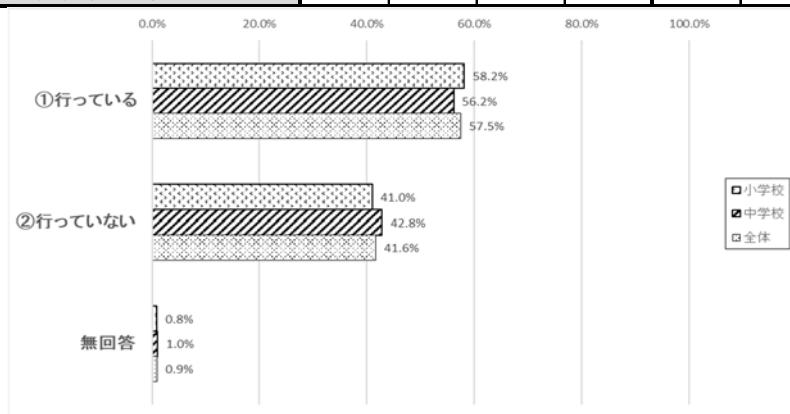
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①指導者用デジタル教科書	1,135	85.7%	493	79.4%	1,628	83.7%
②学習者用デジタル教科書	910	68.7%	417	67.1%	1,327	68.2%
③教科書準拠の学習者用デジタル教材	838	63.3%	342	55.1%	1,180	60.7%
④デジタルドリル	928	70.1%	342	55.1%	1,270	65.3%
⑤動画教材(NHK for School等)	1,019	77.0%	357	57.5%	1,376	70.7%
⑥プログラミング教材	761	57.5%	269	43.3%	1,030	53.0%
⑦情報モラル/デジタル・シティズンシップ教材	785	59.3%	317	51.0%	1,102	56.7%
⑧外国語学習教材	845	63.8%	287	46.2%	1,132	58.2%
⑨協働学習支援ツール	854	64.5%	328	52.8%	1,182	60.8%
⑩その他	41	3.1%	24	3.9%	65	3.3%
無回答	11	0.8%	12	1.9%	23	1.2%
回答数合計	8,127	613.8%	3,188	513.4%	11,315	581.7%
回答者数(母数)	1,324		621		1,945	



※「①指導者用デジタル教科書」が最も多く全体で83.7%、次いで「⑤動画教材(NHK for School等)」が70.7%、「②学習者用デジタル教科書」が68.2%となっている。

2-3-07 学級閉鎖中や休校中などに ICT を活用したオンライン学習を行っていますか。

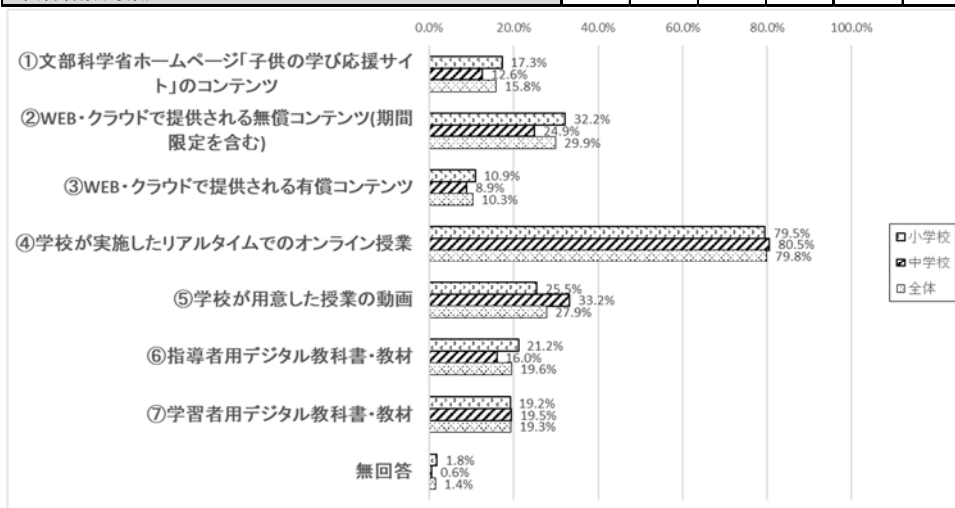
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①行っている	770	58.2%	349	56.2%	1,119	57.5%
②行っていない	543	41.0%	266	42.8%	809	41.6%
無回答	11	0.8%	6	1.0%	17	0.9%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



※「①行っている」が全体で 57.5% となっているが、「②行っていない」も 41.6% である。あらゆる事態に備え、オンライン学習を行えるよう日頃より準備することが求められる。

2-3-08 「2-3-07」で「①行っている」と回答された方に伺います。学級閉鎖中や休校中などに ICT を活用した家庭学習を行ったとき、どのようなアプリ・ツールを活用しましたか。(いくつでも)

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①文部科学省ホームページ「子供の学び応援サイト」のコンテンツ	133	17.3%	44	12.6%	177	15.8%
②WEB・クラウドで提供される無償コンテンツ(期間限定を含む)	248	32.2%	87	24.9%	335	29.9%
③WEB・クラウドで提供される有償コンテンツ	84	10.9%	31	8.9%	115	10.3%
④学校が実施したリアルタイムでのオンライン授業	612	79.5%	281	80.5%	893	79.8%
⑤学校が用意した授業の動画	196	25.5%	116	33.2%	312	27.9%
⑥指導者用デジタル教科書・教材	163	21.2%	56	16.0%	219	19.6%
⑦学習者用デジタル教科書・教材	148	19.2%	68	19.5%	216	19.3%
無回答	14	1.8%	2	0.6%	16	1.4%
回答数合計	1,598	207.5%	685	196.3%	2,283	204.0%
回答者数(母数)	770		349		1,119	

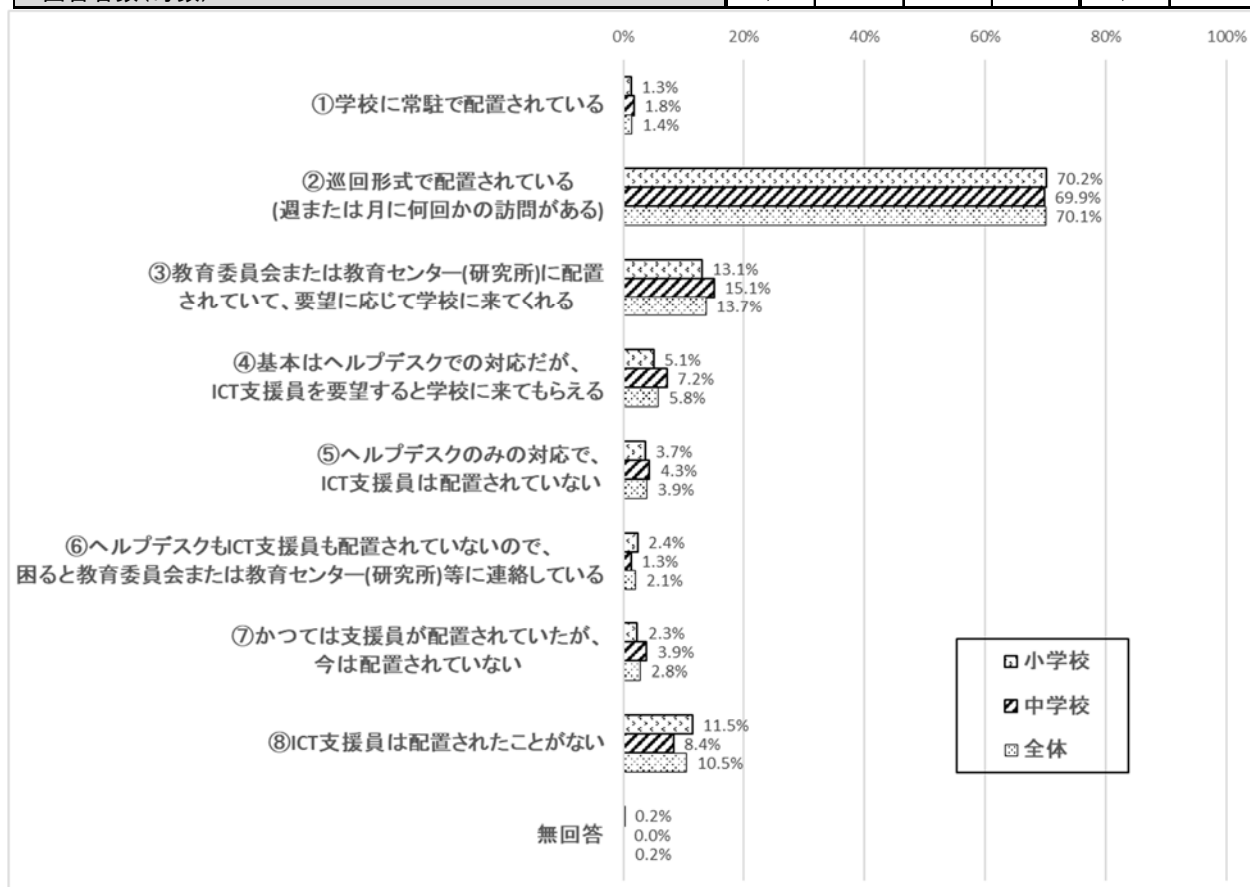


※「④学校が実施したリアルタイムでのオンライン授業」が最も多く、全体で 79.8% となっている。

2-4 保守サポートに関する項目

2-4-01 ICT 支援員の配置について伺います。(いくつでも)

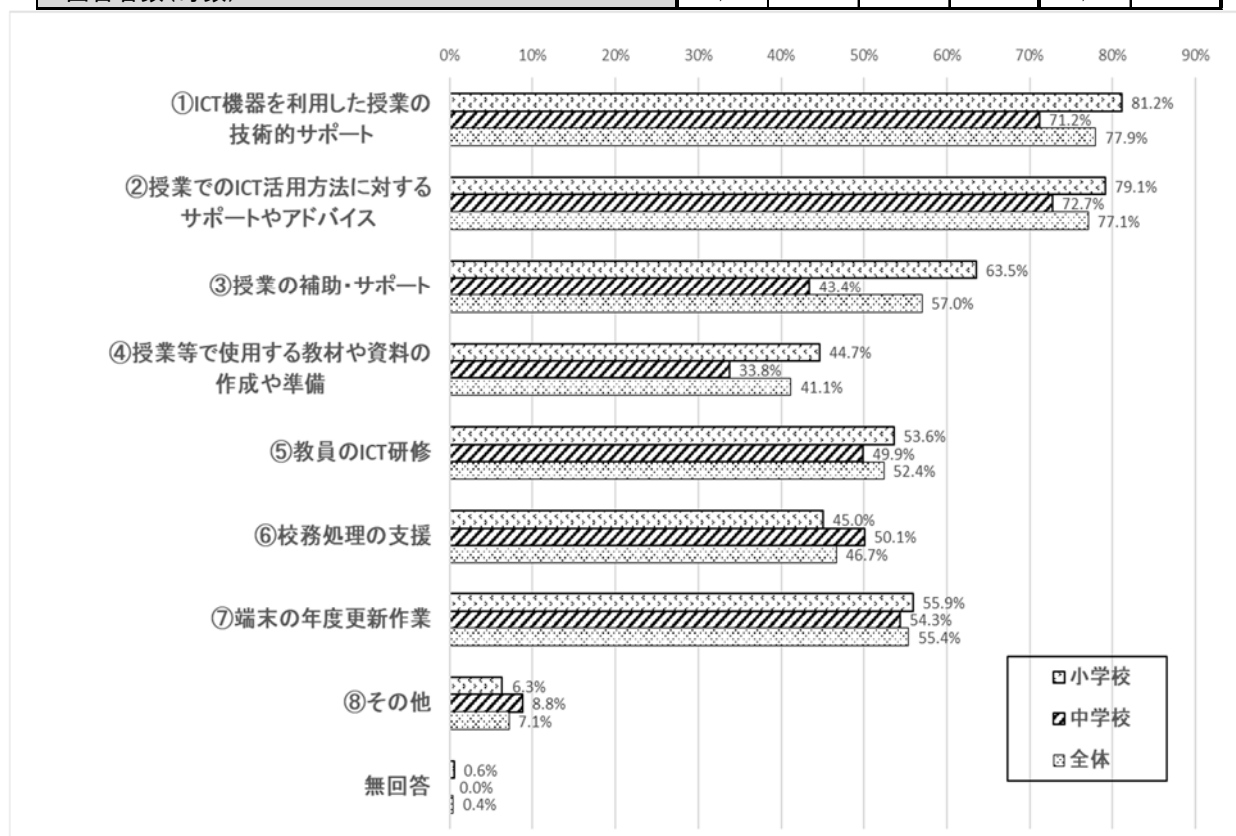
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校に常駐で配置されている	17	1.3%	11	1.8%	28	1.4%
②巡回形式で配置されている(週または月に何回かの訪問がある)	929	70.2%	434	69.9%	1,363	70.1%
③教育委員会または教育センター(研究所)に配置されていて、要望に応じて学校に来てくれる	173	13.1%	94	15.1%	267	13.7%
④基本はヘルプデスクでの対応だが、ICT支援員を要望すると学校に来てもらえる	67	5.1%	45	7.2%	112	5.8%
⑤ヘルプデスクのみの対応で、ICT支援員は配置されていない	49	3.7%	27	4.3%	76	3.9%
⑥ヘルプデスクもICT支援員も配置されていないので、困ると教育委員会または教育センター(研究所)等に連絡している	32	2.4%	8	1.3%	40	2.1%
⑦かつては支援員が配置されていたが、今は配置されていない	31	2.3%	24	3.9%	55	2.8%
⑧ICT支援員は配置されたことがない	152	11.5%	52	8.4%	204	10.5%
無回答	3	0.2%			3	0.2%
回答数合計	1,453	109.7%	695	111.9%	2,148	110.4%
回答者数(母数)	1,324		621		1,945	



※「②巡回形式で配置されている(週または月に何回かの訪問がある)」が全体で(61.7→70.1%)と若干増加しているが、「⑧ICT 支援員は配置されたことがない」は全体で(15.7%→10.5%)とあまり改善が進んでおらず、更なる配置が望まれる。

2-4-02 「2-4-01」で①～④と回答された方に伺います。ICT 支援員にどのような作業を依頼していますか。(いくつでも)

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ICT機器を利用した授業の技術的サポート	883	81.2%	371	71.2%	1,254	77.9%
②授業でのICT活用方法に対するサポートやアドバイス	861	79.1%	379	72.7%	1,240	77.1%
③授業の補助・サポート	691	63.5%	226	43.4%	917	57.0%
④授業等で使用する教材や資料の作成や準備	486	44.7%	176	33.8%	662	41.1%
⑤教員のICT研修	583	53.6%	260	49.9%	843	52.4%
⑥校務処理の支援	490	45.0%	261	50.1%	751	46.7%
⑦端末の年度更新作業	608	55.9%	283	54.3%	891	55.4%
⑧その他	69	6.3%	46	8.8%	115	7.1%
無回答	6	0.6%			6	0.4%
回答数合計	4,677	429.9%	2,002	384.3%	6,679	415.1%
回答者数(母数)	1,088		521		1,609	



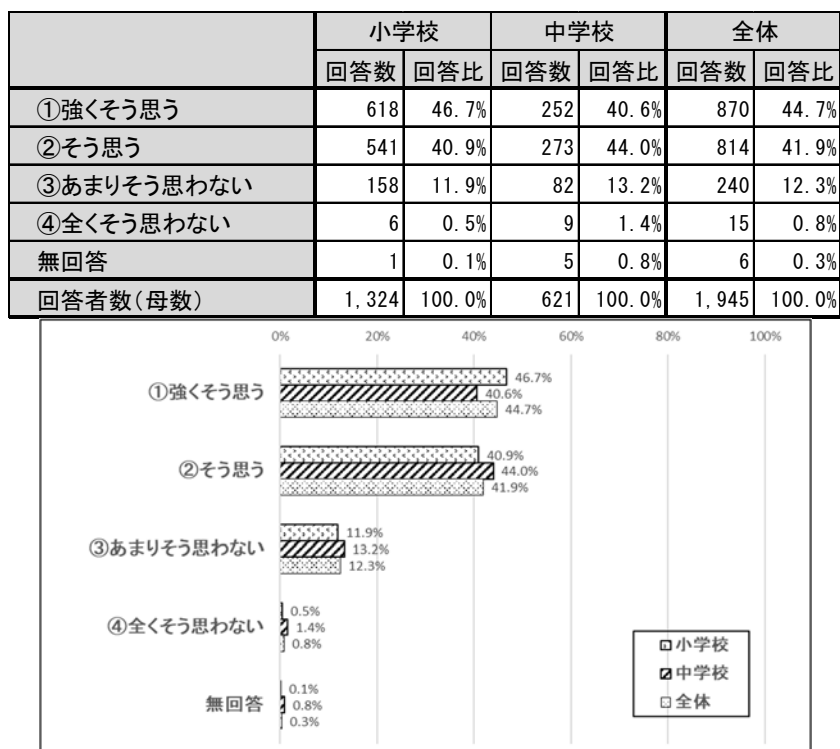
※「①ICT 機器を利用した授業の技術的サポート」が全体で 77.9%と最も多く、次いで「②授業での ICT 活用方法に対するサポートやアドバイス」が全体で 77.1%となっており、授業への ICT 活用の技術支援、活用方法への支援要望が高くなっている。

また、「⑥校務処理の支援」が全体で(29.2%→46.7%)と支援の要望が増えてきている。

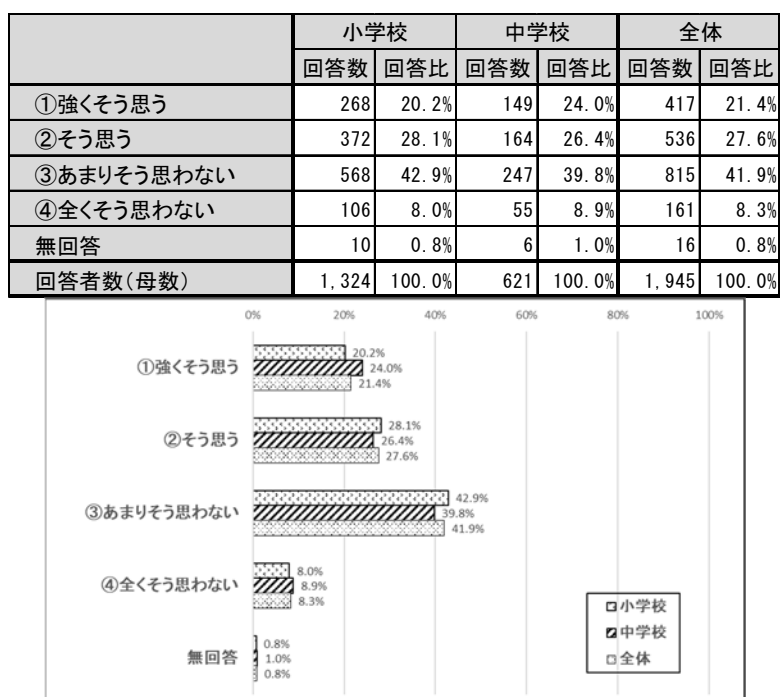
2-5 教育の情報化に対する意識に関する項目

2-5-01 授業での ICT 活用の推進について感じていることは何ですか。

2-5-01(1) より大画面の提示装置を使って授業を行うべきである。

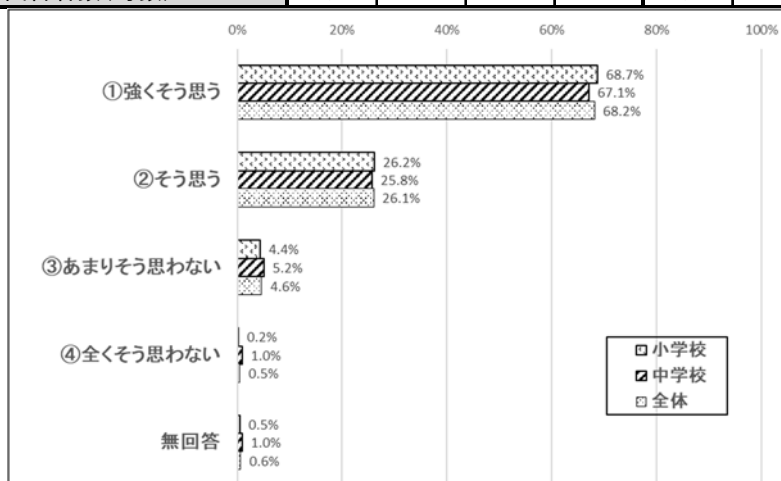


2-5-01(2) 大型提示装置は普通教室にも複数台必要である。



2-5-01(3) ネットワークの強化が必要である。

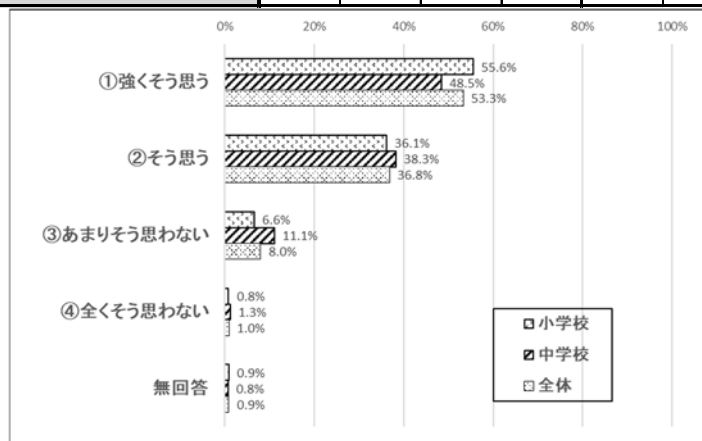
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	910	68.7%	417	67.1%	1,327	68.2%
②そう思う	347	26.2%	160	25.8%	507	26.1%
③あまりそう思わない	58	4.4%	32	5.2%	90	4.6%
④全くそう思わない	3	0.2%	6	1.0%	9	0.5%
無回答	6	0.5%	6	1.0%	12	0.6%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



※全体で「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて 94.3%となっており、ネットワークのさらなる整備が望まれている。

2-5-01(4) 教科教育用ソフトウェアやデジタル教材の購入費用を増額(購入ソフトウェアを充実させる)すべきである。

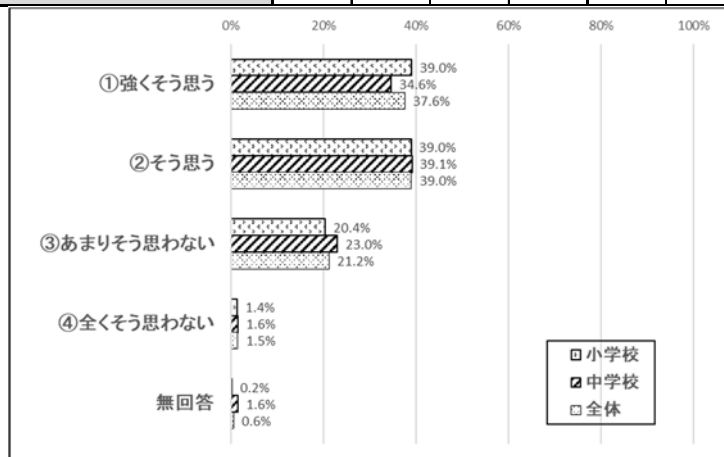
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	736	55.6%	301	48.5%	1,037	53.3%
②そう思う	478	36.1%	238	38.3%	716	36.8%
③あまりそう思わない	87	6.6%	69	11.1%	156	8.0%
④全くそう思わない	11	0.8%	8	1.3%	19	1.0%
無回答	12	0.9%	5	0.8%	17	0.9%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 90.1%であり、デジタル教材のさらなる整備が望まれている。

2-5-01(5) 1人1台端末を有効活用するためのデジタル教材が不足している。

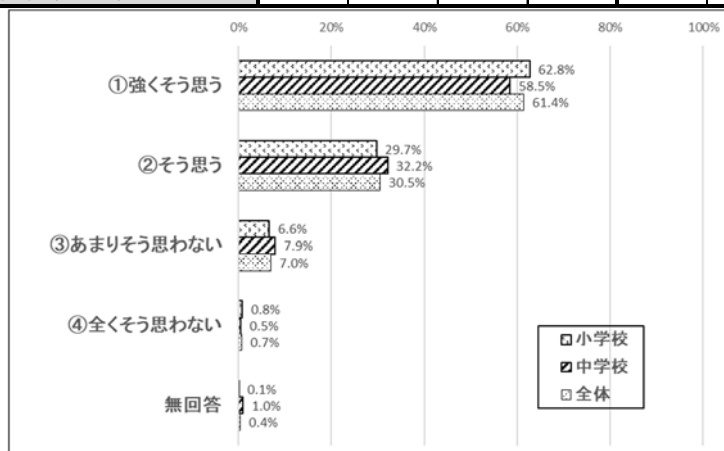
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	517	39.0%	215	34.6%	732	37.6%
②そう思う	516	39.0%	243	39.1%	759	39.0%
③あまりそう思わない	270	20.4%	143	23.0%	413	21.2%
④全くそう思わない	19	1.4%	10	1.6%	29	1.5%
無回答	2	0.2%	10	1.6%	12	0.6%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて76.6%となっており、1人1台端末を有効活用するためのデジタル教材が不足している。

2-5-01(6) 学校にICT支援員を配置すべきである。

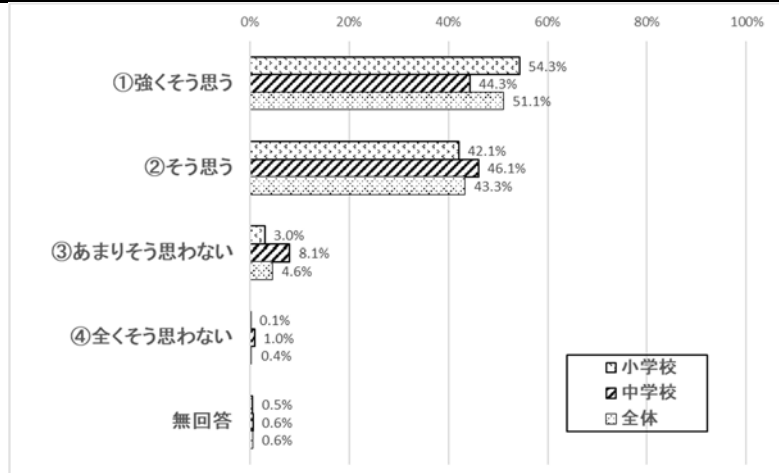
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	831	62.8%	363	58.5%	1,194	61.4%
②そう思う	393	29.7%	200	32.2%	593	30.5%
③あまりそう思わない	88	6.6%	49	7.9%	137	7.0%
④全くそう思わない	11	0.8%	3	0.5%	14	0.7%
無回答	1	0.1%	6	1.0%	7	0.4%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



※全体で「①強く思う」「②そう思う」を合わせて91.9%となっており、教育現場でICT支援員は強く望まれている。

2-5-01(7) 指導者用デジタル教科書・教材の活用を進めるべきである。

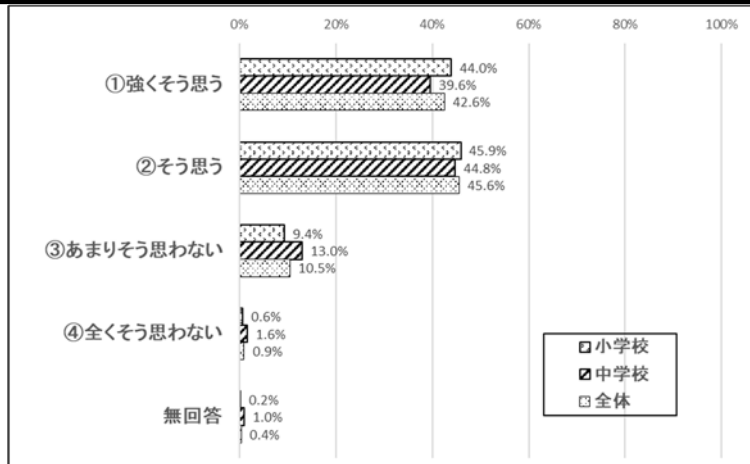
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	719	54.3%	275	44.3%	994	51.1%
②そう思う	557	42.1%	286	46.1%	843	43.3%
③あまりそう思わない	40	3.0%	50	8.1%	90	4.6%
④全くそう思わない	1	0.1%	6	1.0%	7	0.4%
無回答	7	0.5%	4	0.6%	11	0.6%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 94.4%であり、指導者用デジタル教科書は必要とされている。

2-5-01(8) 学習者用デジタル教科書の活用を進めるべきである。

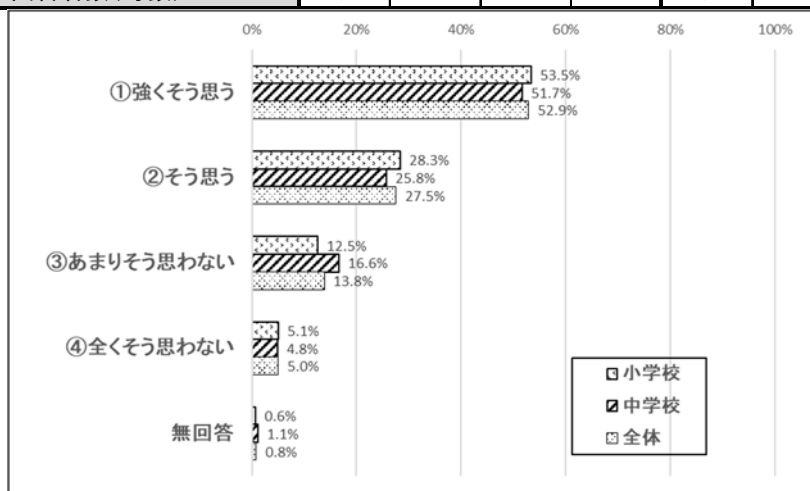
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	582	44.0%	246	39.6%	828	42.6%
②そう思う	608	45.9%	278	44.8%	886	45.6%
③あまりそう思わない	124	9.4%	81	13.0%	205	10.5%
④全くそう思わない	8	0.6%	10	1.6%	18	0.9%
無回答	2	0.2%	6	1.0%	8	0.4%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 88.2%となっており、学習者用デジタル教科書の活用は望まれている。

2-5-01(9) セキュリティを確保して、自宅や出張先で校務処理を可能とすべきである。

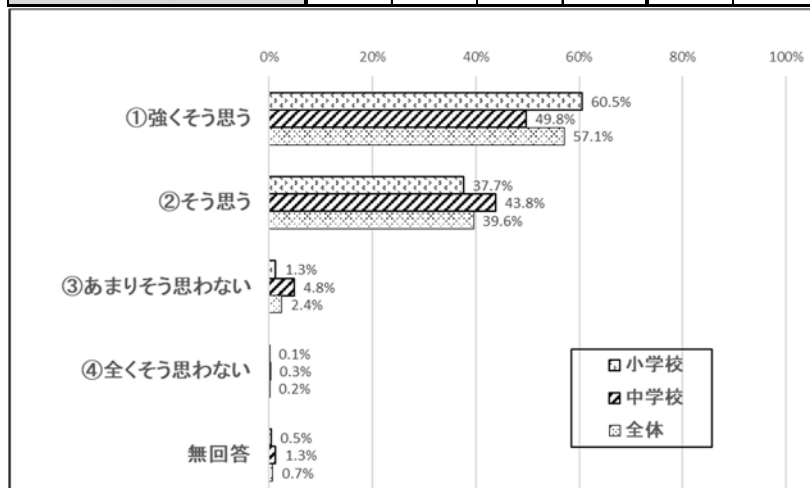
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	708	53.5%	321	51.7%	1,029	52.9%
②そう思う	375	28.3%	160	25.8%	535	27.5%
③あまりそう思わない	166	12.5%	103	16.6%	269	13.8%
④全くそう思わない	67	5.1%	30	4.8%	97	5.0%
無回答	8	0.6%	7	1.1%	15	0.8%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 80.4%である。セキュリティを確保して、自宅や出張先で校務処理が強く望まれている。

2-5-01(10) 1人1台端末を活用して、個別最適な学びを進めるべきである。

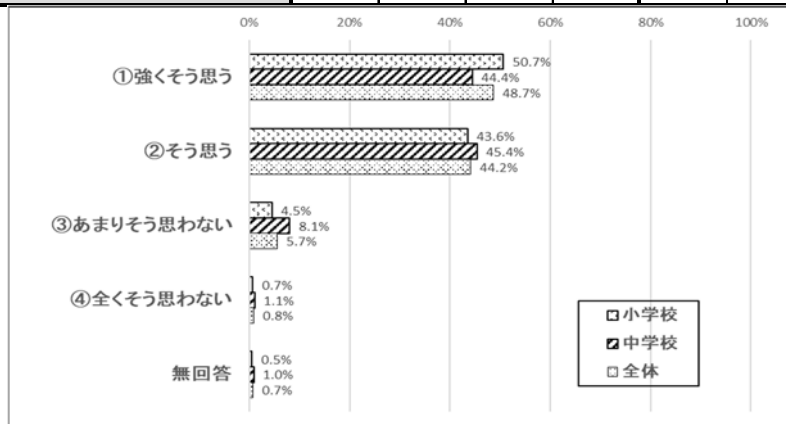
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	801	60.5%	309	49.8%	1,110	57.1%
②そう思う	499	37.7%	272	43.8%	771	39.6%
③あまりそう思わない	17	1.3%	30	4.8%	47	2.4%
④全くそう思わない	1	0.1%	2	0.3%	3	0.2%
無回答	6	0.5%	8	1.3%	14	0.7%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 96.7%である。1人1台端末を活用しての個別最適な学びが必要とされている。

2-5-01(11) 不登校・長期欠席者等への対応の一環として、ICT 環境を活用した学習支援を行うべきである。

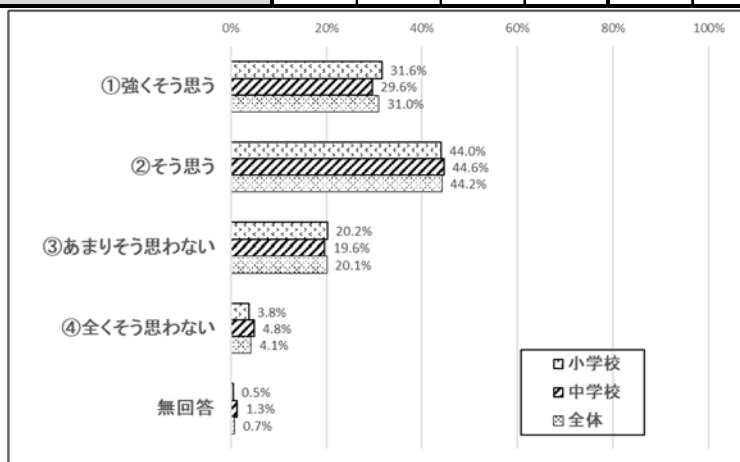
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	671	50.7%	276	44.4%	947	48.7%
②そう思う	577	43.6%	282	45.4%	859	44.2%
③あまりそう思わない	60	4.5%	50	8.1%	110	5.7%
④全くそう思わない	9	0.7%	7	1.1%	16	0.8%
無回答	7	0.5%	6	1.0%	13	0.7%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で 92.9%である。ICT を活用した教育支援は強く望まれている。

2-5-01(12) コンピュータ教室は、デジタル図書室、学習・情報センター、アクティブラーニングスペース、ファブスペース、STEAM ラボ、遠隔授業スタジオ等発展的活用を行うべきである。

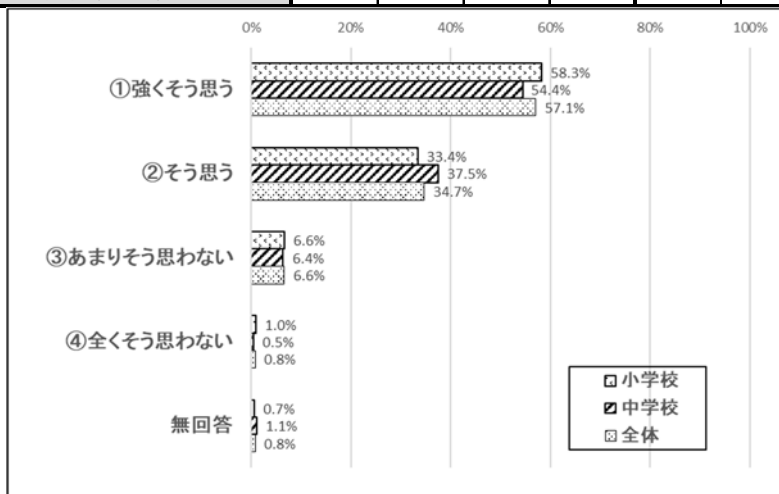
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	418	31.6%	184	29.6%	602	31.0%
②そう思う	582	44.0%	277	44.6%	859	44.2%
③あまりそう思わない	268	20.2%	122	19.6%	390	20.1%
④全くそう思わない	50	3.8%	30	4.8%	80	4.1%
無回答	6	0.5%	8	1.3%	14	0.7%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で 75.2%である。コンピュータ教室の新たな活用が望まれている。

2-5-01(13) どの端末(家庭も含む)からでも安全にアクセスできる環境を構築すべきである。

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	772	58.3%	338	54.4%	1,110	57.1%
②そう思う	442	33.4%	233	37.5%	675	34.7%
③あまりそう思わない	88	6.6%	40	6.4%	128	6.6%
④全くそう思わない	13	1.0%	3	0.5%	16	0.8%
無回答	9	0.7%	7	1.1%	16	0.8%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%

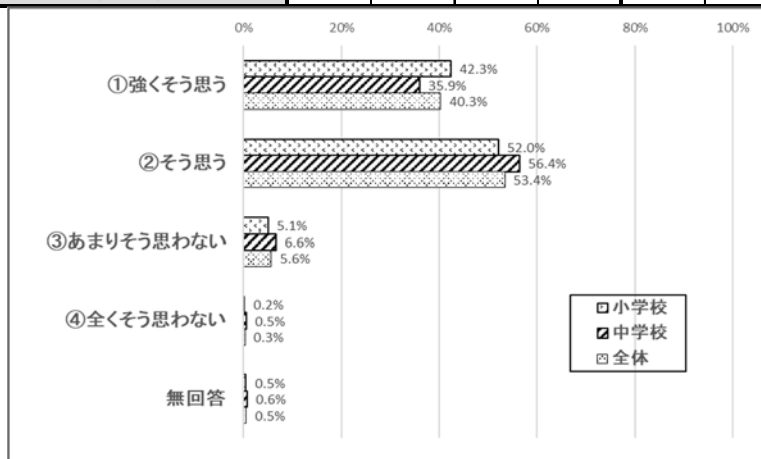


※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で 91.8%である。どの端末からでも安全にアクセスできる環境整備が望まれている。

2-5-02 授業用 ICT 環境整備が推進された結果、生じたことは何ですか。

2-5-02(1) 1人1台端末の導入で授業の進め方や方法が変わった。

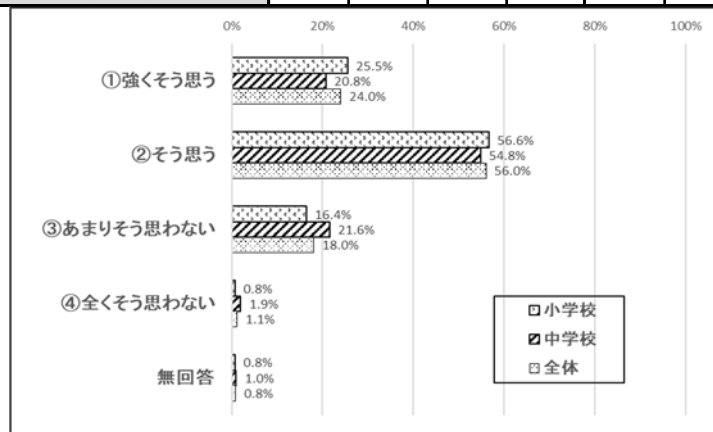
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	560	42.3%	223	35.9%	783	40.3%
②そう思う	689	52.0%	350	56.4%	1,039	53.4%
③あまりそう思わない	67	5.1%	41	6.6%	108	5.6%
④全くそう思わない	2	0.2%	3	0.5%	5	0.3%
無回答	6	0.5%	4	0.6%	10	0.5%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で 93.7%である。GIGA スクール構想は授業の進め方や方法に大きな影響を与えている。

2-5-02(2) 1人1台端末の活用で個別最適な学びが進んだ。

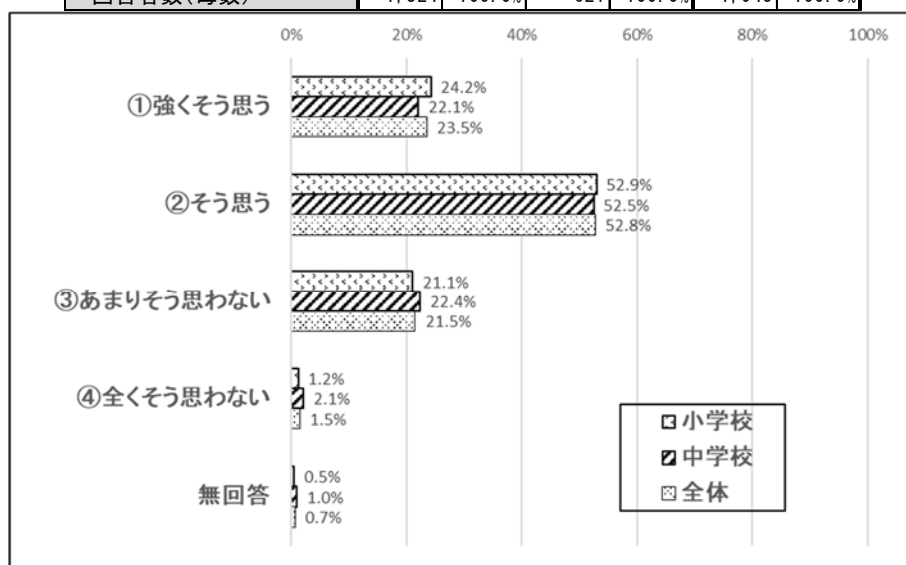
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	338	25.5%	129	20.8%	467	24.0%
②そう思う	749	56.6%	340	54.8%	1,089	56.0%
③あまりそう思わない	217	16.4%	134	21.6%	351	18.0%
④全くそう思わない	10	0.8%	12	1.9%	22	1.1%
無回答	10	0.8%	6	1.0%	16	0.8%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で 80.0%である。個別最適な学習が進んでいる。GIGA スクール構想の良い結果が現れている。

2-5-02(3) 1人1台端末の活用で協働する時間が増えた。

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	321	24.2%	137	22.1%	458	23.5%
②そう思う	701	52.9%	326	52.5%	1,027	52.8%
③あまりそう思わない	279	21.1%	139	22.4%	418	21.5%
④全くそう思わない	16	1.2%	13	2.1%	29	1.5%
無回答	7	0.5%	6	1.0%	13	0.7%
回答者数(母数)	1,324	100.0%	621	100.0%	1,945	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で76.3%である。協働学習の時間が増えたことが分かる。

3 先進地域／一般地域別の集計比較

本章は、学校に対して行った調査について、「先進地域」と「一般地域」とに分けて比較対照したものを掲載する。ここで「先進地域」という分類に属する学校は、GIGA スクール構想前に地域全体で児童・生徒に対して1人1台の環境をほぼ実現していると言われている自治体の学校を指す。これに対して、「一般地域」はその他の自治体に属する学校を指す。先進地域としては、17の自治体を選び489の小中学校に協力を依頼し、220校の小中学校から回答を得た。その結果を、他の地域の学校1,725校から得た結果と比較する。

なお、前章において、すでに学校に対する調査の全体的傾向を小学校・中学校・全体のデータを掲載しているため、ここでは先進地域の学校と一般地域の学校との間で顕著な差が出ている設問についてのみ、掲載するものとする。また各設問の項番は、小中学校別の集計解説ページとの照合を容易にするため、前節の項番と同じ番号を使用した。そのため、本節では項番が不連続になっている箇所があることに注意いただきたい。

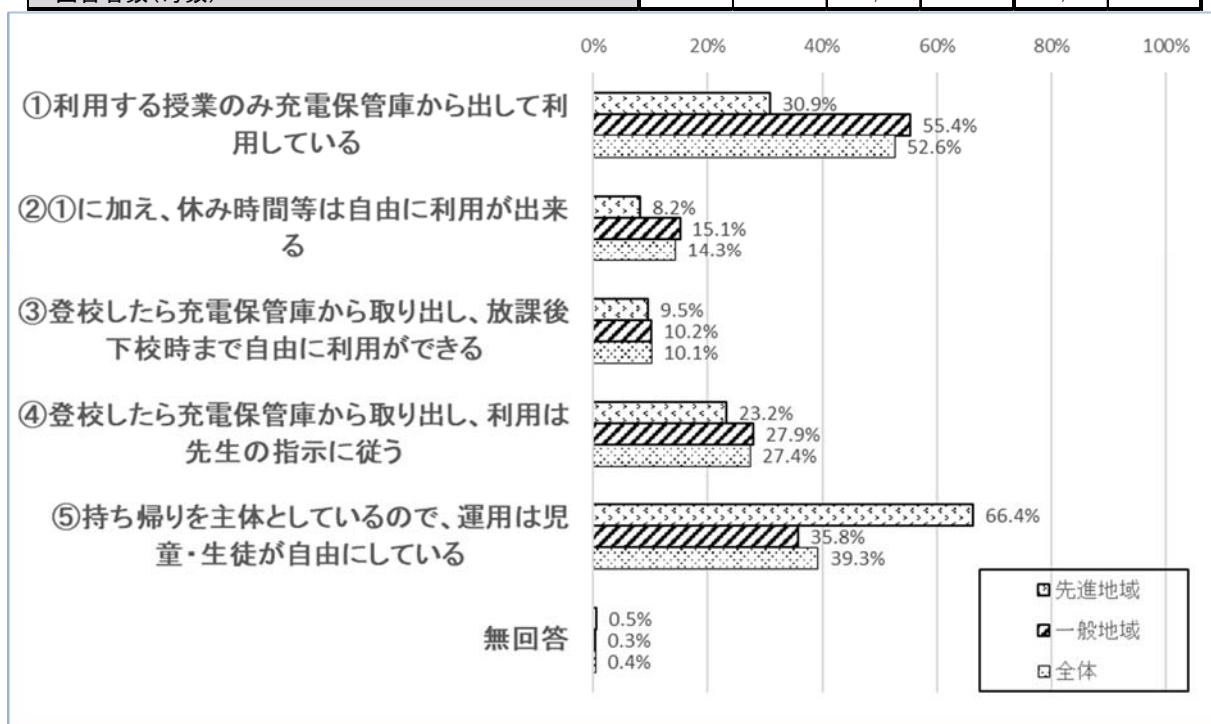
3-1 ネットワーク及び学習記録に関する項目

※3-1の全質問項目については有意差がなく、掲載していない。

3-2 ハードウェアに関する項目

3-2-04 児童・生徒用の1人1台端末の学校での運用方法について伺います。(いくつでも)

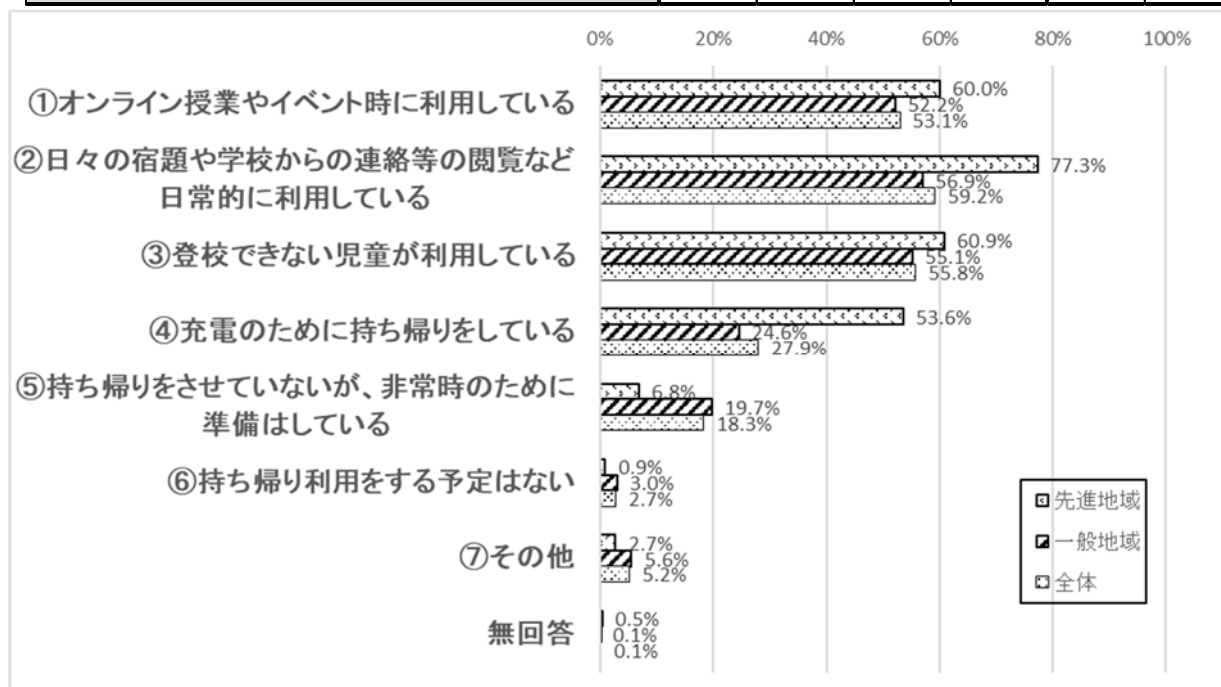
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①利用する授業のみ充電保管庫から出して利用している	68	30.9%	956	55.4%	1,024	52.6%
②①に加え、休み時間等は自由に利用が出来る	18	8.2%	261	15.1%	279	14.3%
③登校したら充電保管庫から取り出し、放課後下校時まで自由に利用できる	21	9.5%	176	10.2%	197	10.1%
④登校したら充電保管庫から取り出し、利用は先生の指示に従う	51	23.2%	482	27.9%	533	27.4%
⑤持ち帰りを主体としているので、運用は児童・生徒が自由にしている	146	66.4%	618	35.8%	764	39.3%
無回答	1	0.5%	6	0.3%	7	0.4%
回答数合計	305	138.6%	2,499	144.9%	2,804	144.2%
回答者数(母数)	220		1,725		1,945	



※先進地域は「⑤持ち帰りを主体としているので、運用は児童・生徒が自由にしている」が66.4%と一般地域と比べ30ポイント以上高い。運用を生徒主体にしている点が特徴といえる。

3-2-07 児童・生徒用の１人１台端末の持ち帰り利用について伺います。(いくつでも)

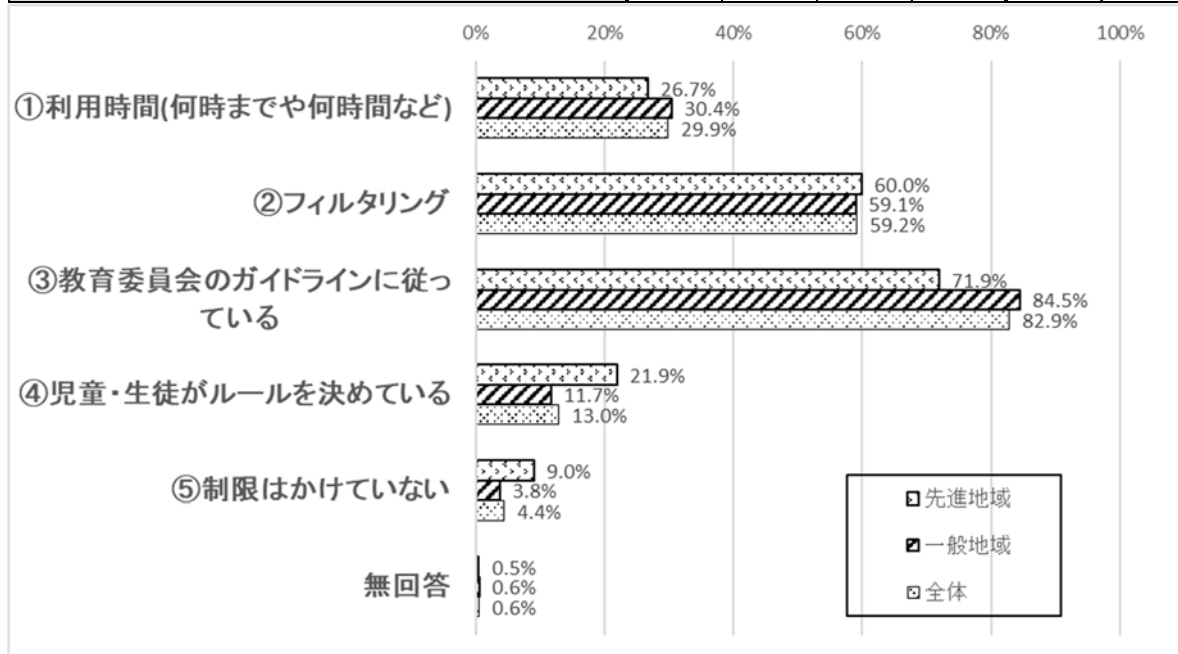
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①オンライン授業やイベント時に利用している	132	60.0%	900	52.2%	1,032	53.1%
②日々の宿題や学校からの連絡等の閲覧など日常的に利用している	170	77.3%	982	56.9%	1,152	59.2%
③登校できない児童が利用している	134	60.9%	951	55.1%	1,085	55.8%
④充電のために持ち帰りをしている	118	53.6%	425	24.6%	543	27.9%
⑤持ち帰りをさせていないが、非常時のために準備はしている	15	6.8%	340	19.7%	355	18.3%
⑥持ち帰り利用をする予定はない	2	0.9%	51	3.0%	53	2.7%
⑦その他	6	2.7%	96	5.6%	102	5.2%
無回答	1	0.5%	1	0.1%	2	0.1%
回答数合計	578	262.7%	3,746	217.2%	4,324	222.3%
回答者数(母数)	220		1,725		1,945	



※先進地域は「④充電のために持ち帰りをしている」と「②日々の宿題や学校からの連絡等の閲覧など日常的に利用している」が一般地域に比べて 20 ポイント以上多い。

3-2-09 「3-2-07」で①②③と回答された方に伺います。学校として1人1台端末の利用にかけている制限はありますか。(いくつでも)

	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①利用時間(何時までや何時間など)	56	26.7%	442	30.4%	498	29.9%
②フィルタリング	126	60.0%	860	59.1%	986	59.2%
③教育委員会のガイドラインに従っている	151	71.9%	1,229	84.5%	1,380	82.9%
④児童・生徒がルールを決めている	46	21.9%	170	11.7%	216	13.0%
⑤制限はかけていない	19	9.0%	55	3.8%	74	4.4%
無回答	1	0.5%	9	0.6%	10	0.6%
回答数合計	399	190.0%	2,765	190.0%	3,164	190.0%
回答者数(母数)	210		1,455		1,665	

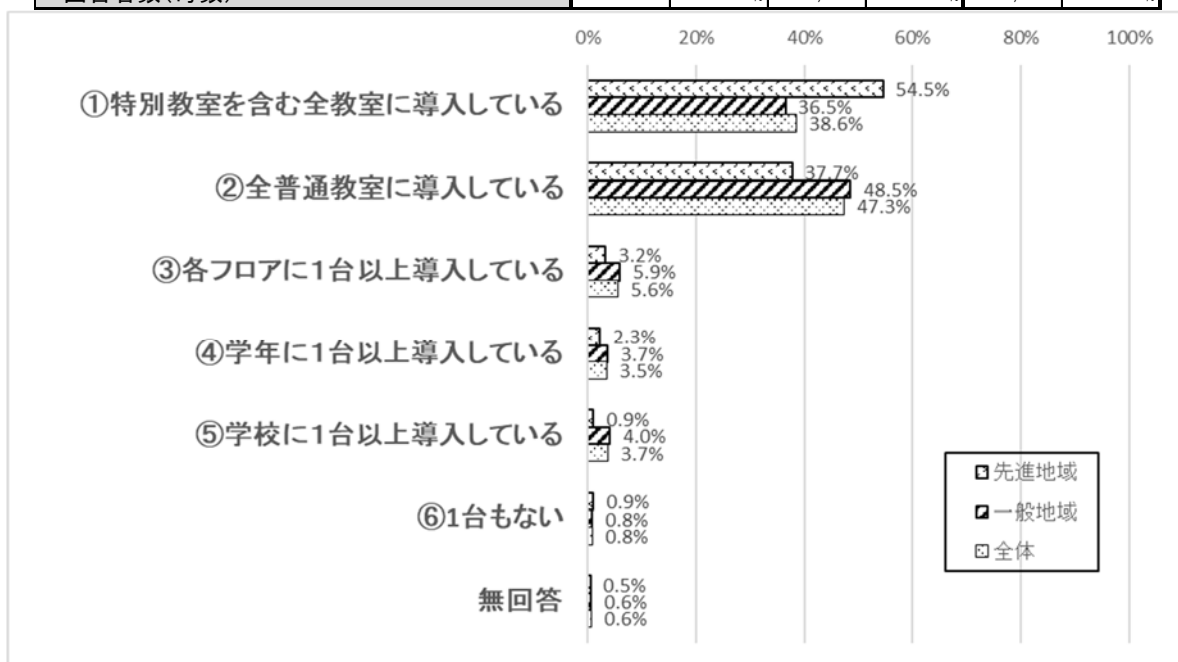


※先進地域は「③教育委員会のガイドラインに従っている」が71.9%と一般地域に比べて10ポイント以上低く、「④児童・生徒がルールを決めている」は一般地域に比べて10ポイント以上高い。

3-2-13 授業で活用している ICT 機器の整備状況について伺います。

3-2-13(1) 大型提示装置

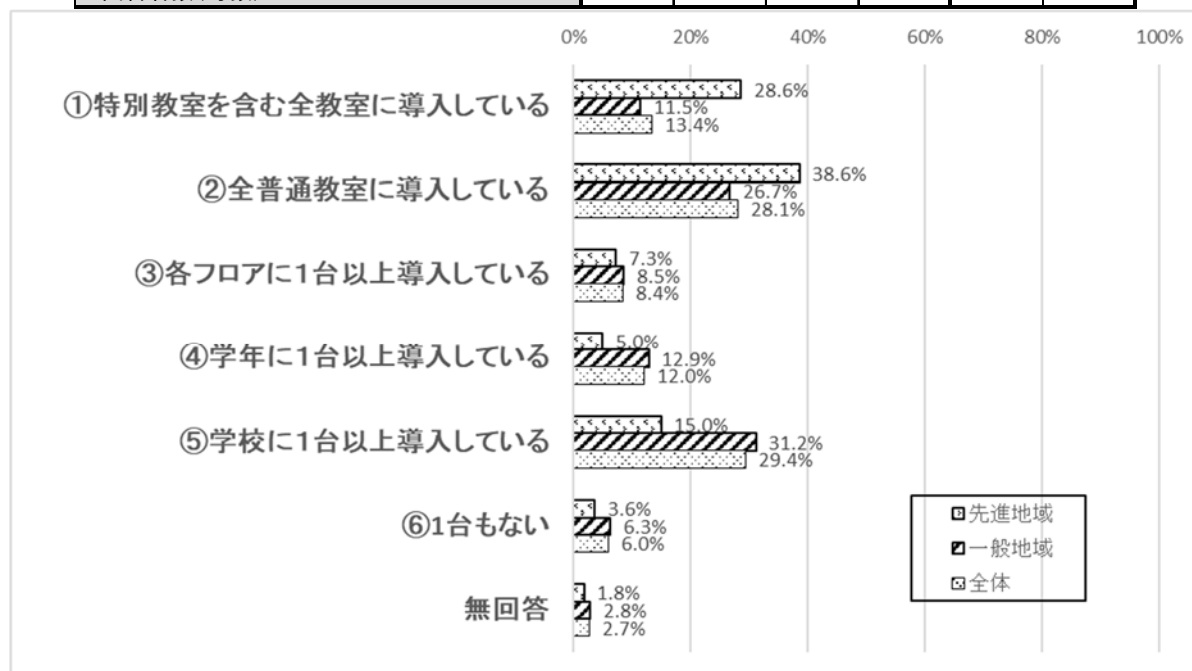
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	120	54.5%	630	36.5%	750	38.6%
②全普通教室に導入している	83	37.7%	837	48.5%	920	47.3%
③各フロアに1台以上導入している	7	3.2%	102	5.9%	109	5.6%
④学年に1台以上導入している	5	2.3%	64	3.7%	69	3.5%
⑤学校に1台以上導入している	2	0.9%	69	4.0%	71	3.7%
⑥1台もない	2	0.9%	13	0.8%	15	0.8%
無回答	1	0.5%	10	0.6%	11	0.6%
回答者数(母数)	220	100.0%	1,725	100.0%	1,945	100.0%



※先進地域は一般地域と比べ「①特別教室を含む全教室に導入している」が 18.0 ポイント多く、特別教室を含めた整備が進んでいる。

3-2-13(3) 実物投影機

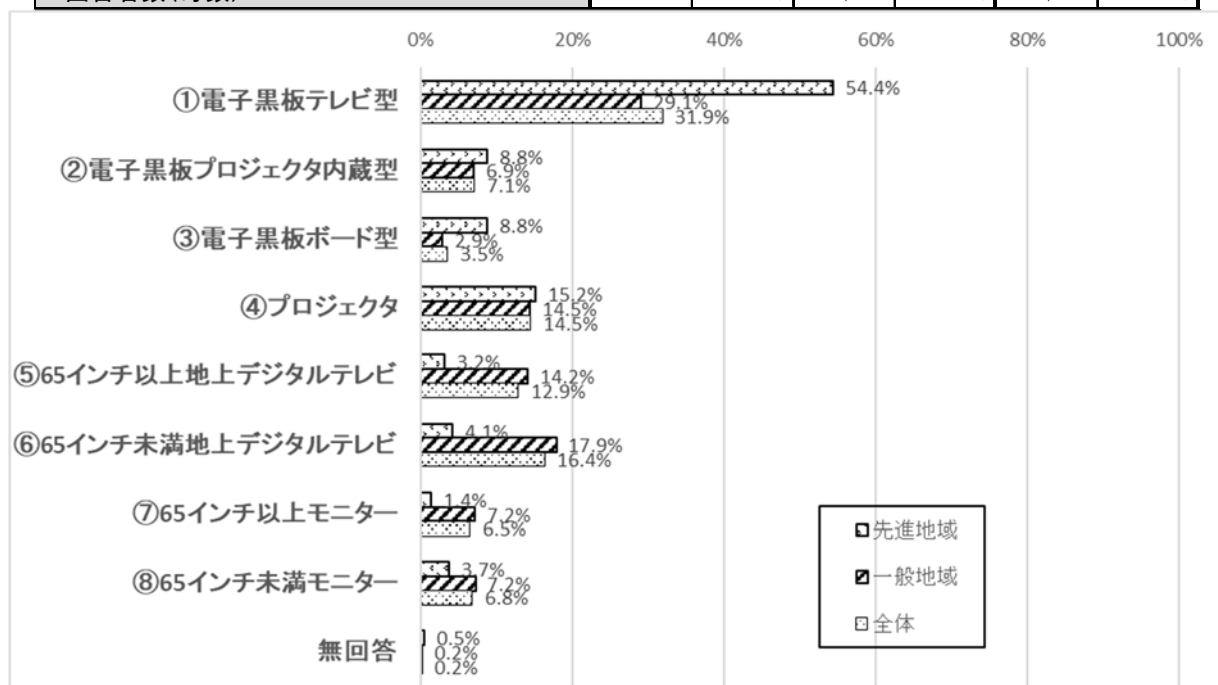
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	63	28.6%	198	11.5%	261	13.4%
②全普通教室に導入している	85	38.6%	461	26.7%	546	28.1%
③各フロアに1台以上導入している	16	7.3%	147	8.5%	163	8.4%
④学年に1台以上導入している	11	5.0%	223	12.9%	234	12.0%
⑤学校に1台以上導入している	33	15.0%	538	31.2%	571	29.4%
⑥1台もない	8	3.6%	109	6.3%	117	6.0%
無回答	4	1.8%	49	2.8%	53	2.7%
回答者数(母数)	220	100.0%	1,725	100.0%	1,945	100.0%



※先進地域は一般地域と比べ「①特別教室を含む全教室に導入している」が17.1ポイント、「②全普通教室に導入している」が11.9ポイント多い。先進地域は一般地域より整備が進んでいる。

3-2-14 「3-2-13(1)」でお答えいただいた大型提示装置の種類について伺います。(主な整備機器について1種類)

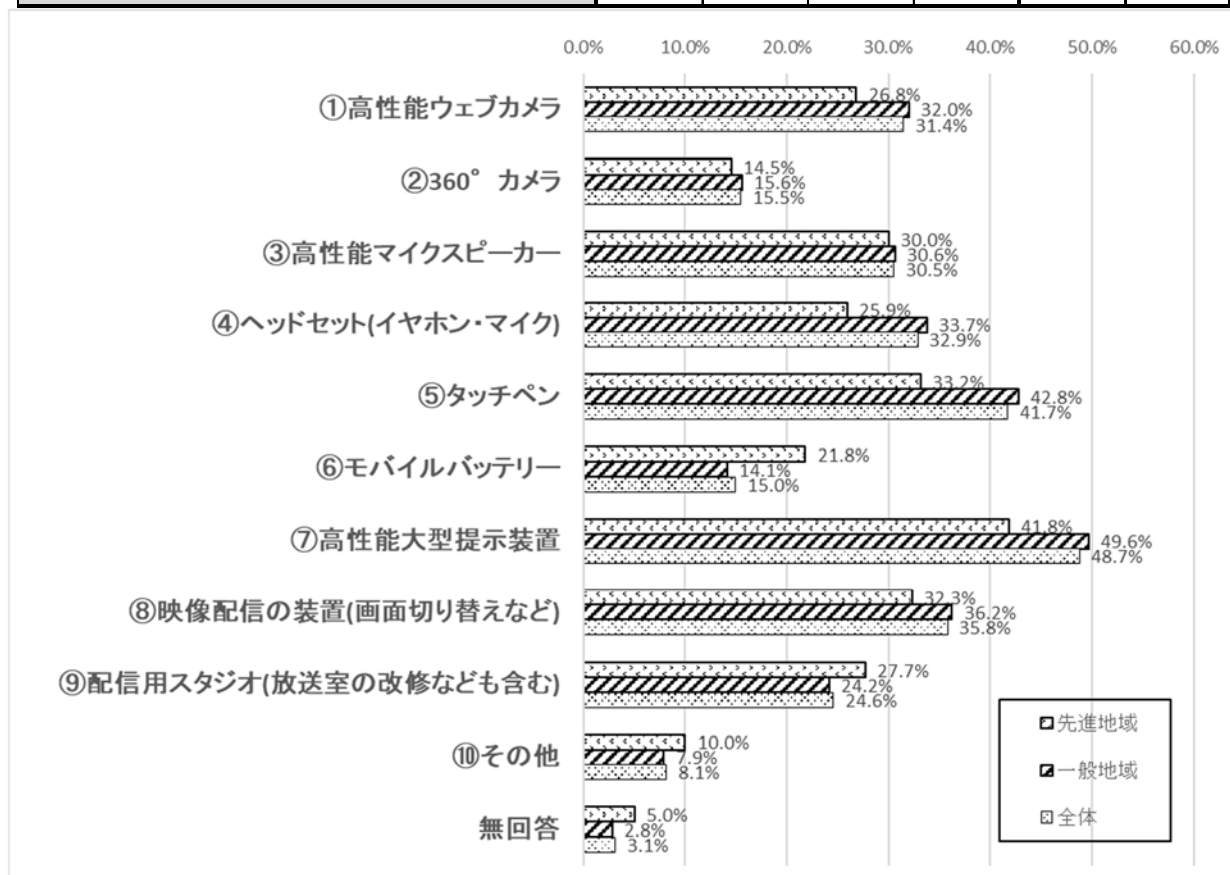
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子黒板テレビ型	118	54.4%	495	29.1%	613	31.9%
②電子黒板プロジェクタ内蔵型	19	8.8%	118	6.9%	137	7.1%
③電子黒板ボード型	19	8.8%	49	2.9%	68	3.5%
④プロジェクタ	33	15.2%	246	14.5%	279	14.5%
⑤65インチ以上地上デジタルテレビ	7	3.2%	241	14.2%	248	12.9%
⑥65インチ未満地上デジタルテレビ	9	4.1%	305	17.9%	314	16.4%
⑦65インチ以上モニター	3	1.4%	122	7.2%	125	6.5%
⑧65インチ未満モニター	8	3.7%	123	7.2%	131	6.8%
無回答	1	0.5%	3	0.2%	4	0.2%
回答者数(母数)	217	100.0%	1,702	100.0%	1,919	100.0%



※先進地域は一般地域と比べ「①電子黒板テレビ型」が25.3%と多く、全体的に電子黒板が多いのに対して、一般地域は「⑥65インチ未満地上デジタルテレビ」や「⑦65インチ以上モニター」などのテレビ・モニターが多い。

3-2-15 GIGA スクール構想で導入された端末をいっそう活用するために、今後整備を希望するものは次のどれですか。(いくつでも)

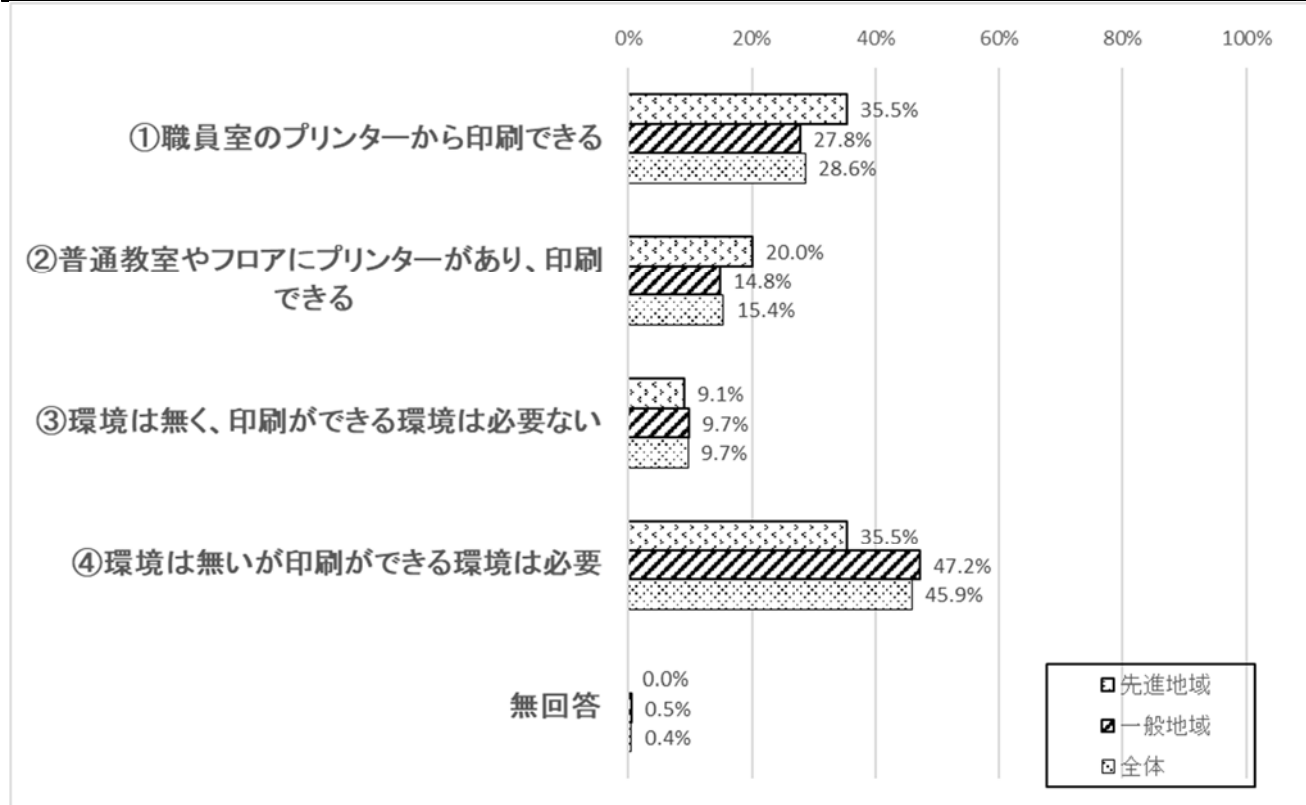
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①高性能ウェブカメラ	59	26.8%	552	32.0%	611	31.4%
②360° カメラ	32	14.5%	269	15.6%	301	15.5%
③高性能マイクスピーカー	66	30.0%	528	30.6%	594	30.5%
④ヘッドセット(イヤホン・マイク)	57	25.9%	582	33.7%	639	32.9%
⑤タッチペン	73	33.2%	738	42.8%	811	41.7%
⑥モバイルバッテリー	48	21.8%	243	14.1%	291	15.0%
⑦高性能大型提示装置	92	41.8%	856	49.6%	948	48.7%
⑧映像配信の装置(画面切り替えなど)	71	32.3%	625	36.2%	696	35.8%
⑨配信用スタジオ(放送室の改修なども含む)	61	27.7%	417	24.2%	478	24.6%
⑩その他	22	10.0%	136	7.9%	158	8.1%
無回答	11	5.0%	49	2.8%	60	3.1%
回答数合計	592	269.1%	4,995	289.6%	5,587	287.2%
回答者数(母数)	220		1,725		1,945	



※先進地域は一般地域と比べ「⑥モバイルバッテリー」が一般地域より多い。

3-2-16 1人1台端末から印刷する環境はありますか。

	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①職員室のプリンターから印刷できる	78	35.5%	479	27.8%	557	28.6%
②普通教室やフロアにプリンターがあり、印刷できる	44	20.0%	256	14.8%	300	15.4%
③環境は無く、印刷ができる環境は必要ない	20	9.1%	168	9.7%	188	9.7%
④環境は無いが印刷ができる環境は必要	78	35.5%	814	47.2%	892	45.9%
無回答			8	0.5%	8	0.4%
回答者数(母数)	220	100.0%	1,725	100.0%	1,945	100.0%



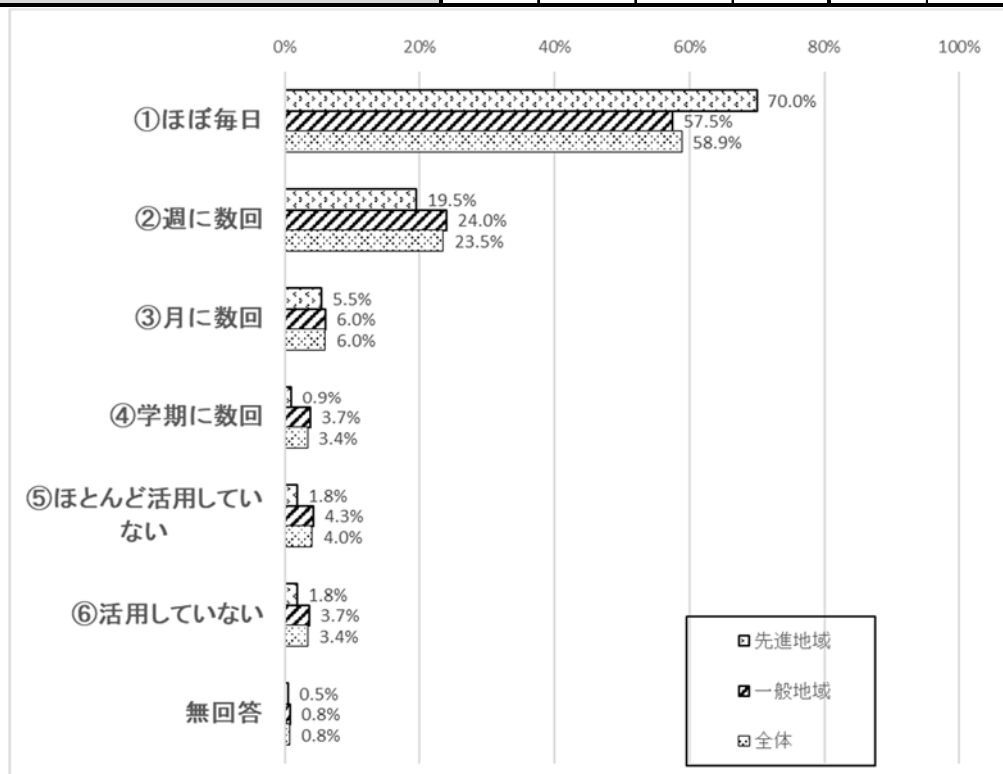
※先進地域は一般地域と比べ「①職員室のプリンターから印刷できる」、「②普通教室やフロアにプリンターがあり、印刷できる」が合計で 55.5%と多い。一般地域では「④環境は無いが印刷できる環境は必要」が 47.2%と多い。

3-3 ソフトウェアに関する項目

3-3-01 教科指導において、以下の学習用アプリ・ツールをどの程度活用していますか。

3-3-01(1) 指導者用デジタル教科書・教材

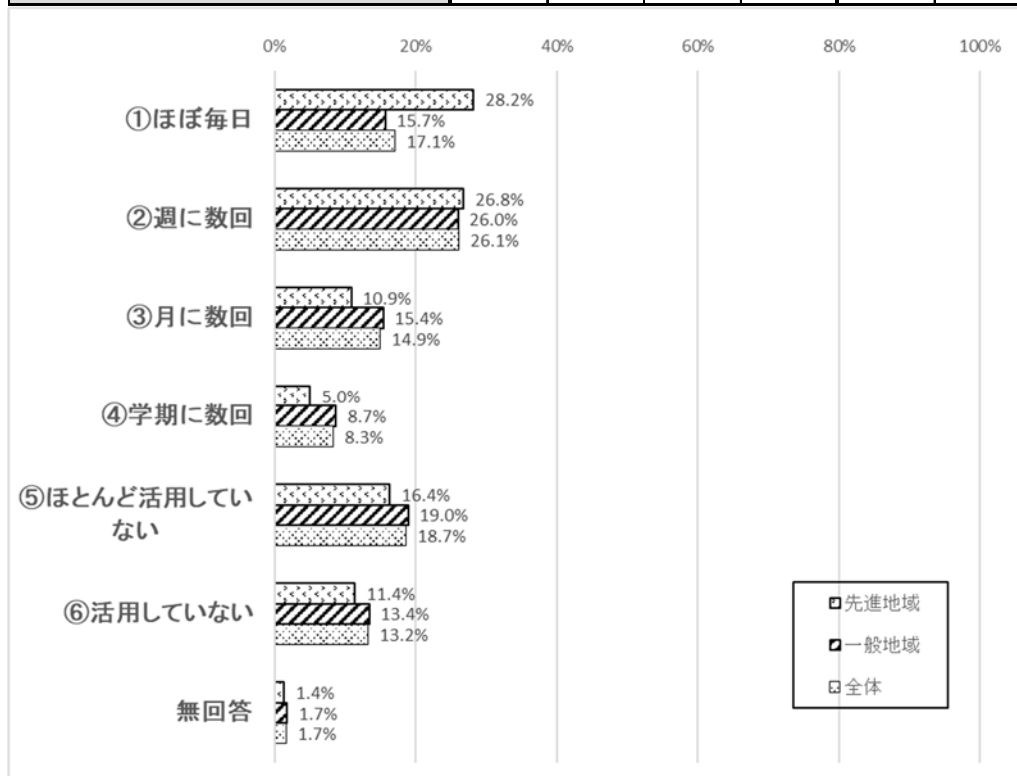
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ほぼ毎日	154	70.0%	992	57.5%	1,146	58.9%
②週に数回	43	19.5%	414	24.0%	457	23.5%
③月に数回	12	5.5%	104	6.0%	116	6.0%
④学期に数回	2	0.9%	64	3.7%	66	3.4%
⑤ほとんど活用していない	4	1.8%	74	4.3%	78	4.0%
⑥活用していない	4	1.8%	63	3.7%	67	3.4%
無回答	1	0.5%	14	0.8%	15	0.8%
回答者数(母数)	220	100.0%	1,725	100.0%	1,945	100.0%



※「①ほぼ毎日」が全体で 58.9%。先進地域では 70.0%となっており、より活用が進んでいる。

3-3-01(2) 学習者用デジタル教科書・教材

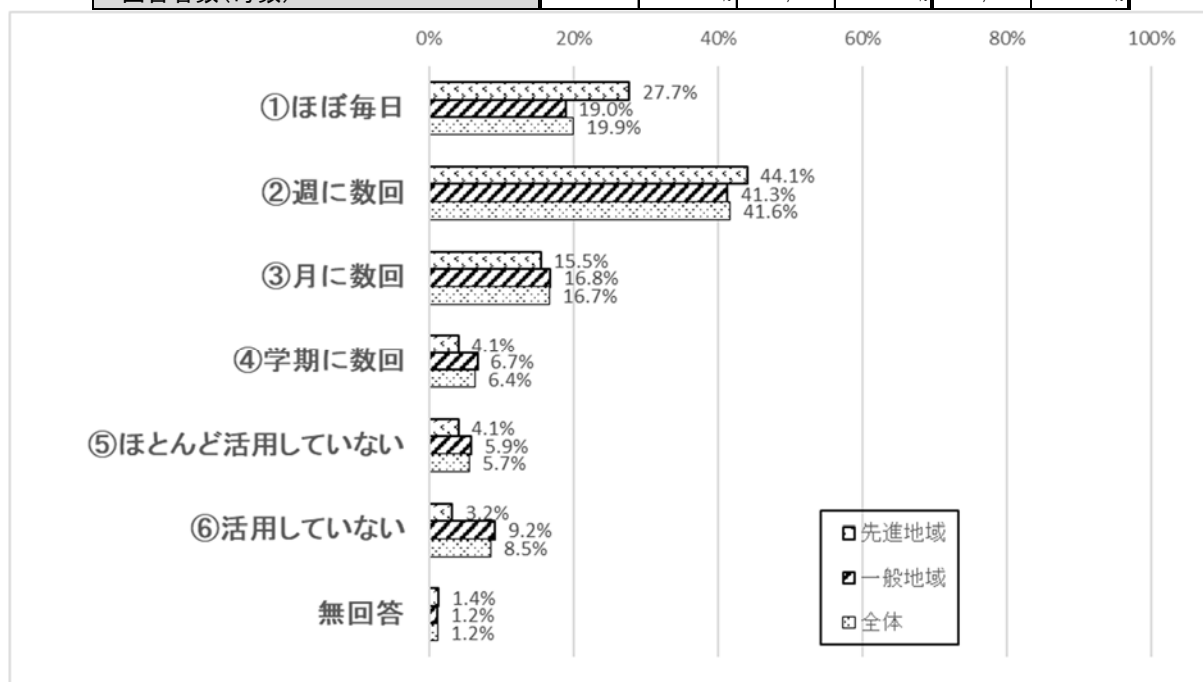
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ほぼ毎日	62	28.2%	271	15.7%	333	17.1%
②週に数回	59	26.8%	449	26.0%	508	26.1%
③月に数回	24	10.9%	266	15.4%	290	14.9%
④学期に数回	11	5.0%	150	8.7%	161	8.3%
⑤ほとんど活用していない	36	16.4%	327	19.0%	363	18.7%
⑥活用していない	25	11.4%	232	13.4%	257	13.2%
無回答	3	1.4%	30	1.7%	33	1.7%
回答者数(母数)	220	100.0%	1,725	100.0%	1,945	100.0%



※「①ほぼ毎日」が先進地域は28.2%、一般地域は15.7%となっている。

3-3-01(4) デジタルドリル

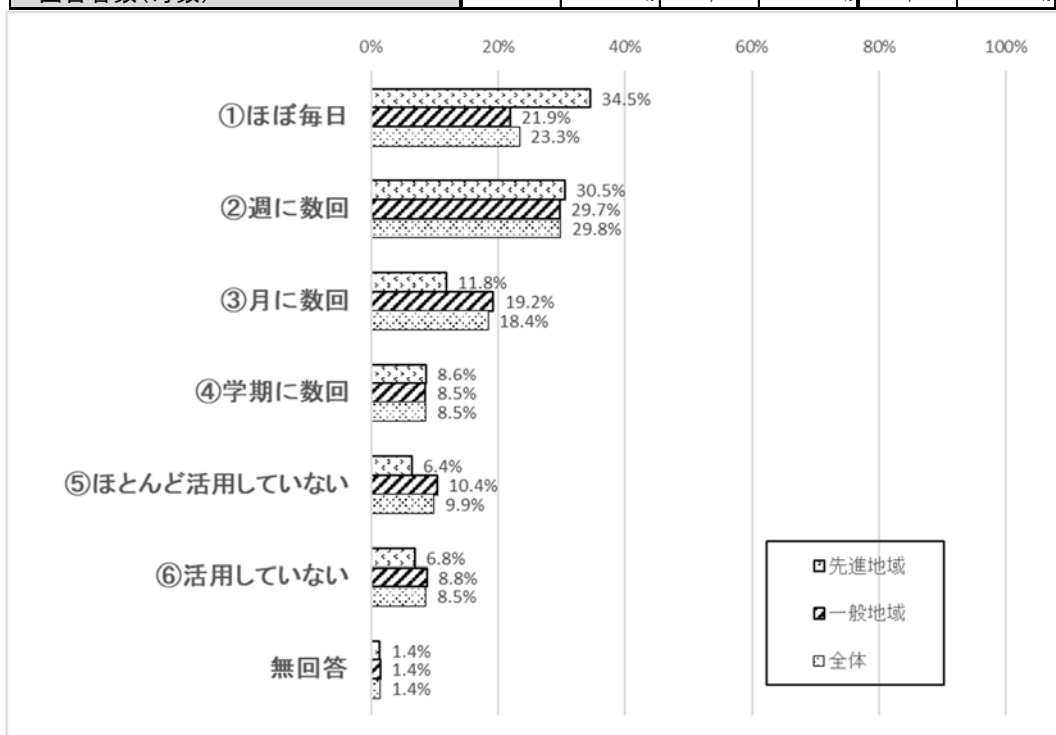
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ほぼ毎日	61	27.7%	327	19.0%	388	19.9%
②週に数回	97	44.1%	713	41.3%	810	41.6%
③月に数回	34	15.5%	290	16.8%	324	16.7%
④学期に数回	9	4.1%	116	6.7%	125	6.4%
⑤ほとんど活用していない	9	4.1%	101	5.9%	110	5.7%
⑥活用していない	7	3.2%	158	9.2%	165	8.5%
無回答	3	1.4%	20	1.2%	23	1.2%
回答者数(母数)	220	100.0%	1,725	100.0%	1,945	100.0%



※「①ほぼ毎日」が先進地域で27.7%、一般地域で19.0%となっている。また、「②週に数回」を合わせると、先進地域は71.8%、一般地域は60.3%となっており、先進地域の方が日常的に活用されていることが分かる。

3-3-01(7) 協働学習支援ツール

	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ほぼ毎日	76	34.5%	378	21.9%	454	23.3%
②週に数回	67	30.5%	513	29.7%	580	29.8%
③月に数回	26	11.8%	332	19.2%	358	18.4%
④学期に数回	19	8.6%	147	8.5%	166	8.5%
⑤ほとんど活用していない	14	6.4%	179	10.4%	193	9.9%
⑥活用していない	15	6.8%	151	8.8%	166	8.5%
無回答	3	1.4%	25	1.4%	28	1.4%
回答者数(母数)	220	100.0%	1,725	100.0%	1,945	100.0%

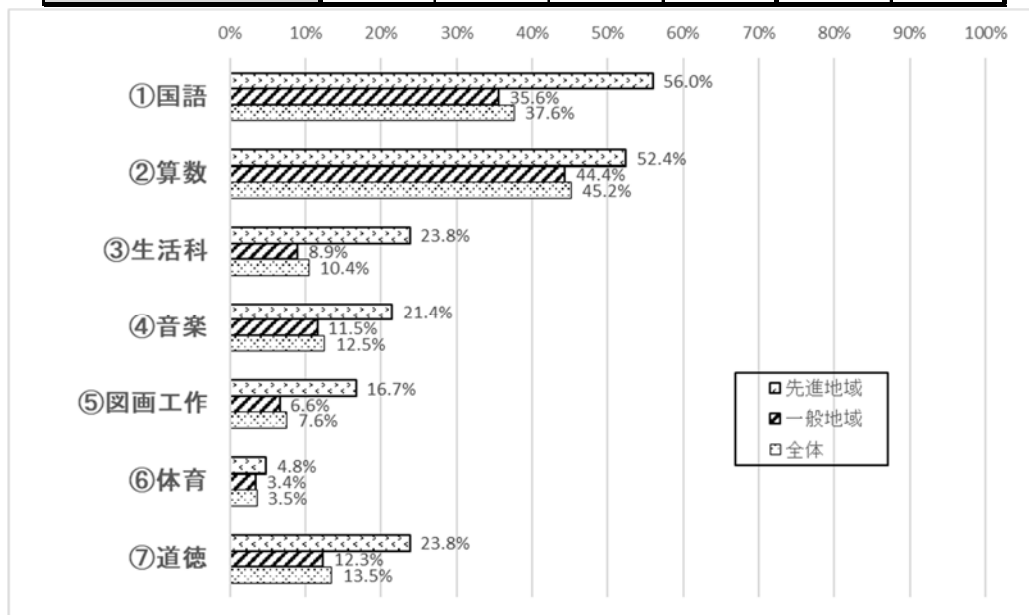


※先進地域では一般地域と比べ、「①ほぼ毎日」が12.6ポイント多くなっており、1人1台端末を協働的な学習に活用していることがうかがえる。

3-3-02 「3-3-01(2)」で「学習者用デジタル教科書・教材」を活用している(①～④)と回答された小学校の方に伺います。自治体予算で導入されている教科は何ですか。

3-3-02(1) 低学年(いくつでも)

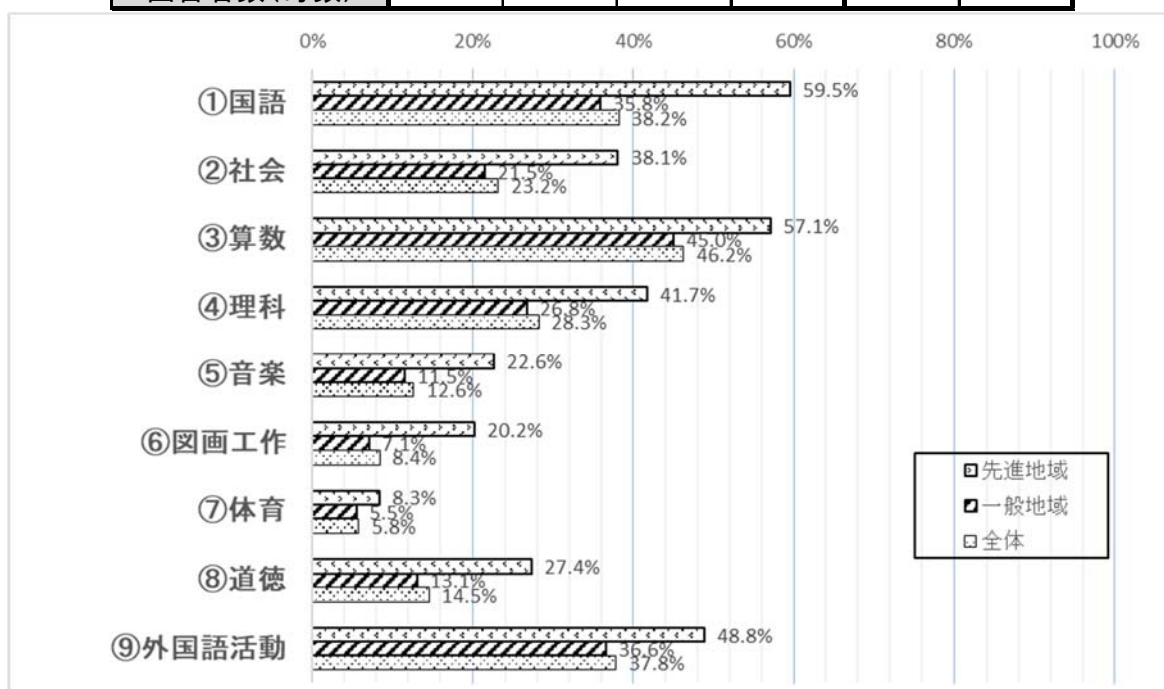
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	47	56.0%	271	35.6%	318	37.6%
②算数	44	52.4%	338	44.4%	382	45.2%
③生活科	20	23.8%	68	8.9%	88	10.4%
④音楽	18	21.4%	88	11.5%	106	12.5%
⑤図画工作	14	16.7%	50	6.6%	64	7.6%
⑥体育	4	4.8%	26	3.4%	30	3.5%
⑦道徳	20	23.8%	94	12.3%	114	13.5%
回答者数(母数)	84		762		846	



※全体では「②算数」が45.2%と最も高くなっているが、先進地域では「①国語」が56.0%となっている。いずれの教科も先進地域の方が導入されていることが分かる。

3-3-02(2) 中学年(いくつでも)

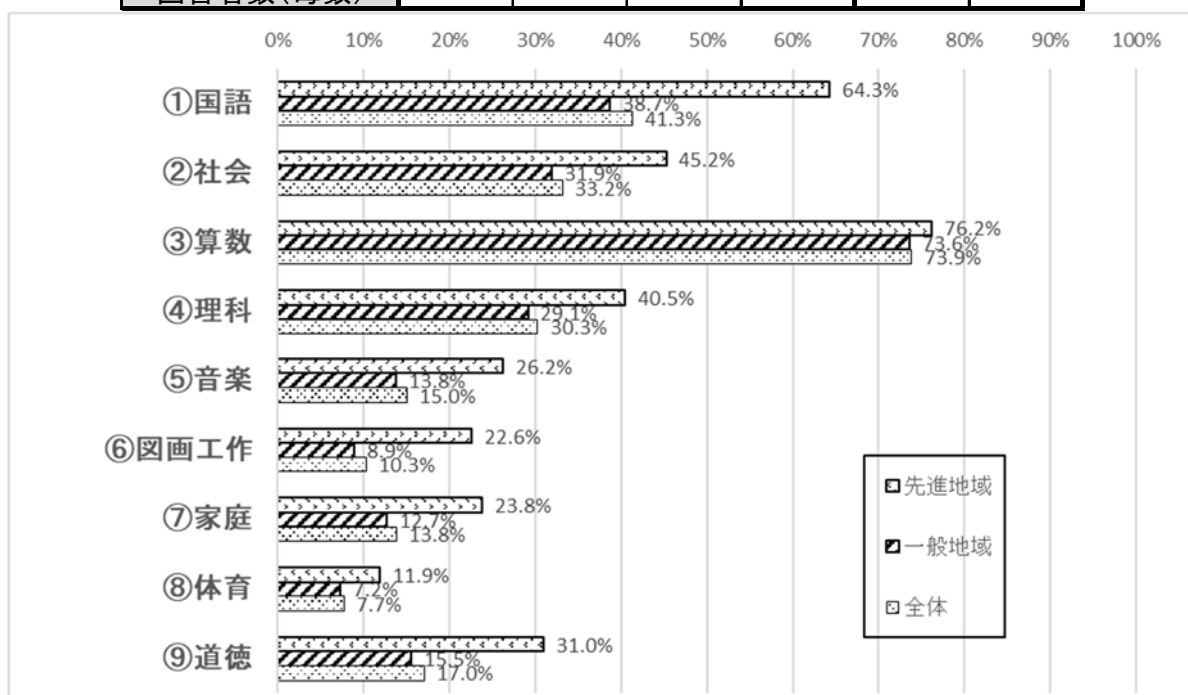
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	50	59.5%	273	35.8%	323	38.2%
②社会	32	38.1%	164	21.5%	196	23.2%
③算数	48	57.1%	343	45.0%	391	46.2%
④理科	35	41.7%	204	26.8%	239	28.3%
⑤音楽	19	22.6%	88	11.5%	107	12.6%
⑥図画工作	17	20.2%	54	7.1%	71	8.4%
⑦体育	7	8.3%	42	5.5%	49	5.8%
⑧道德	23	27.4%	100	13.1%	123	14.5%
⑨外国語活動	41	48.8%	279	36.6%	320	37.8%
回答者数(母数)	84		762		846	



※全体では「②算数」が46.2%と最も高くなっている。先進地域では「①国語」が最も高く59.5%となっている。いずれの教科も先進地域の方が導入されていることが分かる。

3-3-02(3) 高学年(いくつでも)

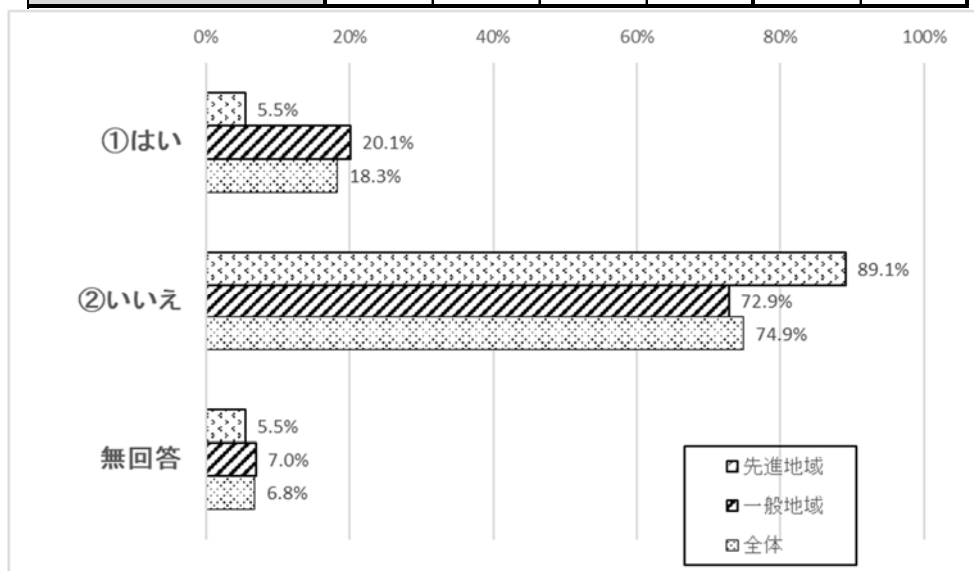
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	54	64.3%	295	38.7%	349	41.3%
②社会	38	45.2%	243	31.9%	281	33.2%
③算数	64	76.2%	561	73.6%	625	73.9%
④理科	34	40.5%	222	29.1%	256	30.3%
⑤音楽	22	26.2%	105	13.8%	127	15.0%
⑥図画工作	19	22.6%	68	8.9%	87	10.3%
⑦家庭	20	23.8%	97	12.7%	117	13.8%
⑧体育	10	11.9%	55	7.2%	65	7.7%
⑨道徳	26	31.0%	118	15.5%	144	17.0%
回答者数(母数)	84		762		846	



※「②算数」が最も高く、先進地域で 76.2%、一般地域では 73.6%となっている。次いで、「①国語」が先進地域で 64.3%、一般地域では 38.7%となっており、低中学年同様に有意差がある。「②算数」に有意差が認められなかったのは、国費で整備されていることに因るものと推測される。

3-3-05 「3-3-01(4)」で「デジタルドリル」を活用している(①～④)と回答された方に重ねて伺います。
デジタルドリルの費用は保護者負担ですか。

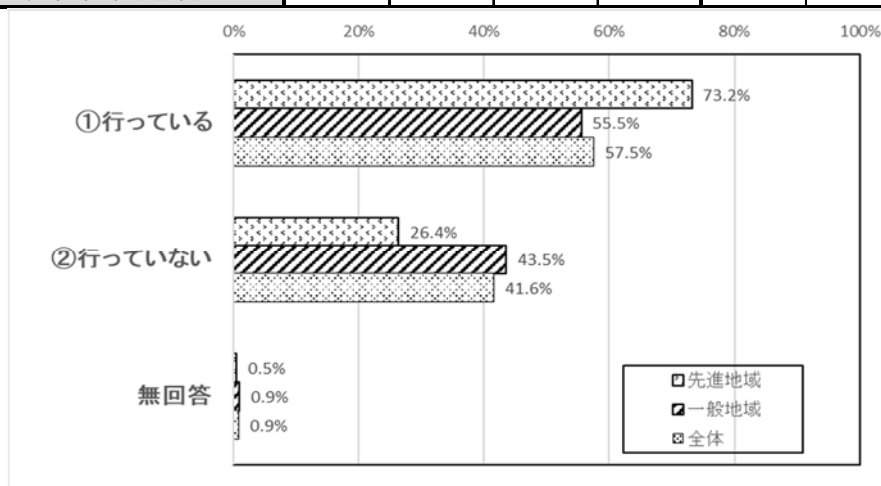
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①はい	11	5.5%	291	20.1%	302	18.3%
②いいえ	179	89.1%	1,054	72.9%	1,233	74.9%
無回答	11	5.5%	101	7.0%	112	6.8%
回答者数(母数)	201	100.0%	1,446	100.0%	1,647	100.0%



※一般地域では「①はい」が20.1%となっており、先進地域の5.5%と大きな差がある。

3-3-07 学級閉鎖中や休校中などに ICT を活用したオンライン学習を行っていますか。

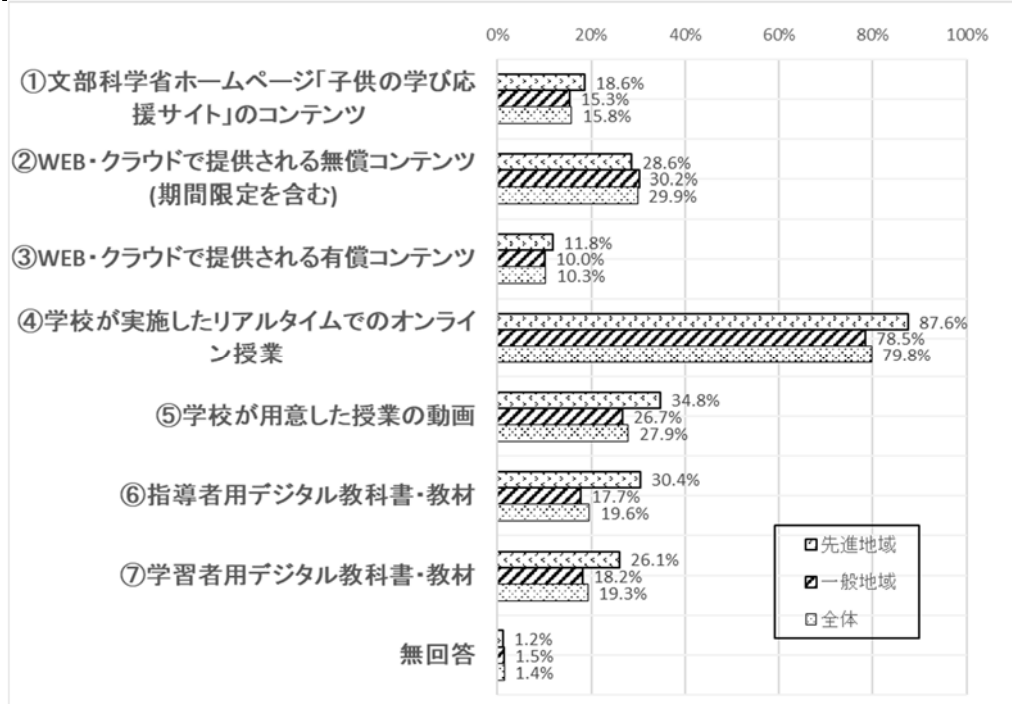
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①行っている	161	73.2%	958	55.5%	1,119	57.5%
②行っていない	58	26.4%	751	43.5%	809	41.6%
無回答	1	0.5%	16	0.9%	17	0.9%
回答者数(母数)	220	100.0%	1,725	100.0%	1,945	100.0%



※「①行っている」が先進地域では73.2%、一般地域では55.5%となっている。先進地域の方がオンライン学習を行っている。

3-3-08 「3-3-07」で「①行っている」と回答された方に伺います。学級閉鎖中や休校中などに ICT を活用した家庭学習を行ったとき、どのようなアプリ・ツールを活用しましたか。(いくつでも)

	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①文部科学省ホームページ「子供の学び応援サイト」のコンテンツ	30	18.6%	147	15.3%	177	15.8%
②WEB・クラウドで提供される無償コンテンツ(期間限定を含む)	46	28.6%	289	30.2%	335	29.9%
③WEB・クラウドで提供される有償コンテンツ	19	11.8%	96	10.0%	115	10.3%
④学校が実施したリアルタイムでのオンライン授業	141	87.6%	752	78.5%	893	79.8%
⑤学校が用意した授業の動画	56	34.8%	256	26.7%	312	27.9%
⑥指導者用デジタル教科書・教材	49	30.4%	170	17.7%	219	19.6%
⑦学習者用デジタル教科書・教材	42	26.1%	174	18.2%	216	19.3%
無回答	2	1.2%	14	1.5%	16	1.4%
回答数合計	385	239.1%	1,898	198.1%	2,283	204.0%
回答者数(母数)	161		958		1,119	

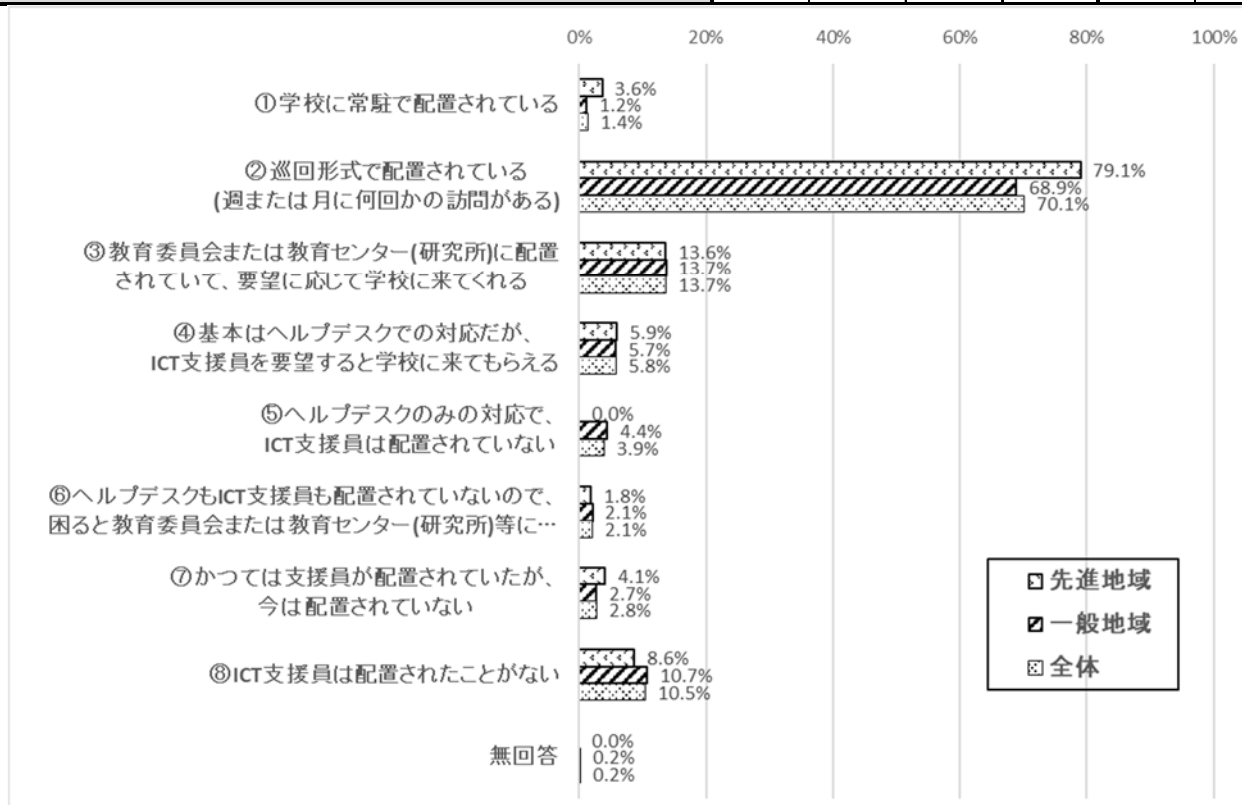


※ 「④学校が実施したリアルタイムでのオンライン授業」が先進地域で 87.6%、一般地域で 78.5%となっている。また、「⑥指導者用デジタル教科書」が先進地域では 30.4%、一般地域では 17.7%といずれも有意差がある。指導者用デジタル教科書は先進地域の方が活用が進んでいる。

3-4 保守サポートに関する項目

3-4-01 ICT 支援員の配置について伺います。(いくつでも)

	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校に常駐で配置されている	8	3.6%	20	1.2%	28	1.4%
②巡回形式で配置されている(週または月に何回かの訪問がある)	174	79.1%	1,189	68.9%	1,363	70.1%
③教育委員会または教育センター(研究所)に配置されていて、要望に応じて学校に来てくれる	30	13.6%	237	13.7%	267	13.7%
④基本はヘルプデスクでの対応だが、ICT支援員を要望すると学校に来てもらえる	13	5.9%	99	5.7%	112	5.8%
⑤ヘルプデスクのみの対応で、ICT支援員は配置されていない			76	4.4%	76	3.9%
⑥ヘルプデスクもICT支援員も配置されていないので、困ると教育委員会または教育センター(研究所)等に連絡している	4	1.8%	36	2.1%	40	2.1%
⑦かつては支援員が配置されていたが、今は配置されていない	9	4.1%	46	2.7%	55	2.8%
⑧ICT支援員は配置されたことがない	19	8.6%	185	10.7%	204	10.5%
無回答			3	0.2%	3	0.2%
回答数合計	257	116.8%	1,891	109.6%	2,148	110.4%
回答者数(母数)	220		1,725		1,945	



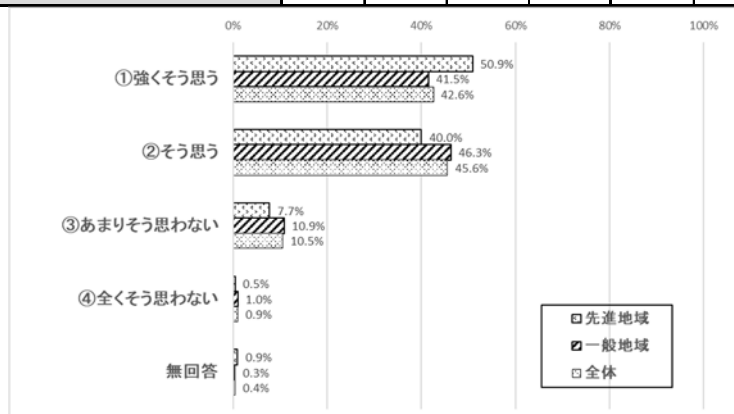
※先進地域、一般地域問わず「②巡回形式で配置されている(週または月に何回かの訪問がある)」による配置が一番多い。先進地域は 79.1%と、一般地域の 68.9%より 10 ポイント以上高い。

3-5 教育の情報化に対する意識に関する項目

3-5-01 授業での ICT 活用の推進について感じていることは何ですか。

3-5-01(8) 学習者用デジタル教科書の活用を進めるべきである。

	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	112	50.9%	716	41.5%	828	42.6%
②そう思う	88	40.0%	798	46.3%	886	45.6%
③あまりそう思わない	17	7.7%	188	10.9%	205	10.5%
④全くそう思わない	1	0.5%	17	1.0%	18	0.9%
無回答	2	0.9%	6	0.3%	8	0.4%
回答者数(母数)	220	100.0%	1,725	100.0%	1,945	100.0%

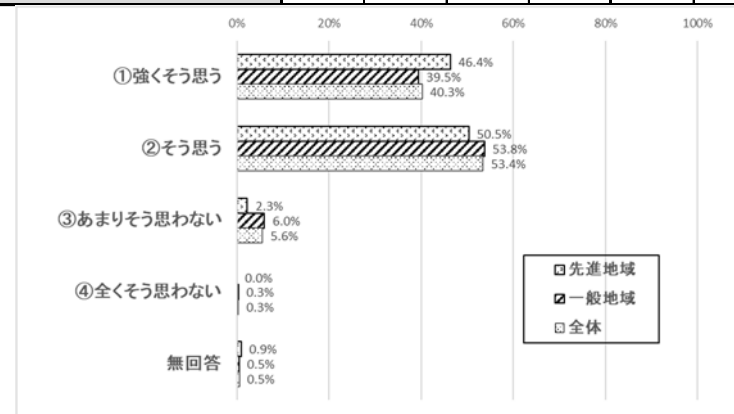


※先進地域では「①強く思う」「②そう思う」を合わせて 90.9%となっており、学習者用デジタル教科書の活用が必要とされている。

3-5-02 授業用 ICT 環境整備が推進された結果、生じたことは何ですか。

3-5-02(1) 1人1台端末の導入で授業の進め方や方法が変わった。

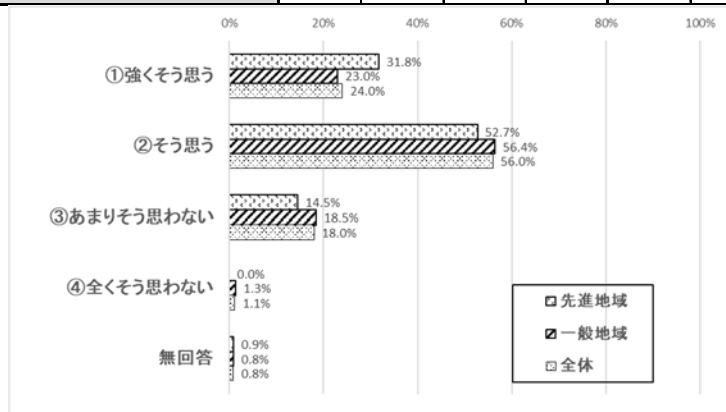
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	102	46.4%	681	39.5%	783	40.3%
②そう思う	111	50.5%	928	53.8%	1,039	53.4%
③あまりそう思わない	5	2.3%	103	6.0%	108	5.6%
④全くそう思わない			5	0.3%	5	0.3%
無回答	2	0.9%	8	0.5%	10	0.5%
回答者数(母数)	220	100.0%	1,725	100.0%	1,945	100.0%



※全体で「①強く思う」「②そう思う」合わせて 93.7%となっており、授業の進め方や方法に多大な影響を与えている。

3-5-02(2) 1人1台端末の活用で個別最適な学びが進んだ。

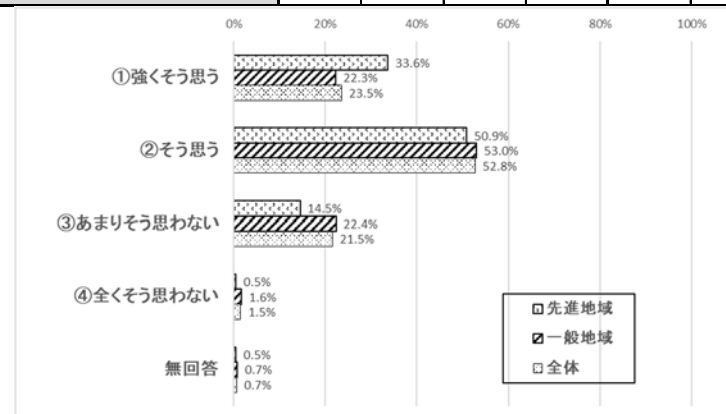
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	70	31.8%	397	23.0%	467	24.0%
②そう思う	116	52.7%	973	56.4%	1,089	56.0%
③あまりそう思わない	32	14.5%	319	18.5%	351	18.0%
④全くそう思わない			22	1.3%	22	1.1%
無回答	2	0.9%	14	0.8%	16	0.8%
回答者数(母数)	220	100.0%	1,725	100.0%	1,945	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で80.0%である。先進地域では「①強く思う」が31.8%あり一般地域より個別最適な学びが進んでいる。

3-5-02(3) 1人1台端末の活用で協働する時間が増えた。

	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	74	33.6%	384	22.3%	458	23.5%
②そう思う	112	50.9%	915	53.0%	1,027	52.8%
③あまりそう思わない	32	14.5%	386	22.4%	418	21.5%
④全くそう思わない	1	0.5%	28	1.6%	29	1.5%
無回答	1	0.5%	12	0.7%	13	0.7%
回答者数(母数)	220	100.0%	1,725	100.0%	1,945	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で76.3%である。先進地域では「①強く思う」が33.6%となっており一般地域より協働学習が進んでいる。

This page is intentionally left blank

あとがき

本調査は今回で第14回となりました。隔年で実施している調査ですので、四半世紀を超える継続調査活動となっております。この間、膨大な設問に真摯にご回答いただいた教育委員会の方々、学校現場で日々の教育を実践する中、ご回答に貴重なお時間をいただいた教員の皆様に深く感謝申し上げます。特に近年、働き方改革が提唱され、外部からの調査やアンケートに対し、回答を控える流れの中で、ご回答いただいた先生方には重ねて御礼申し上げます。そして、この調査報告をまとめるにあたり、ご尽力、ご協力いただいた国内調査部会の JAPET&CEC 会員企業の皆様、事務局の皆様に感謝申し上げます。

この調査活動を始めた当時は、「ハードウェア」「ソフトウェア」に関するものだけでしたが、時代の変化とともに「ネットワーク」「保守・サポート」「教育の情報化への意識」等と調査の幅を広げてまいりました。統合型校務支援システムの導入や、セキュリティに関する設問も追加するなど現状に対応した設問を検討し、普及・定着したと思われる設問は省き、より教育の情報化、教育 DX の進捗状況が見えるような様々な角度から工夫を重ねました。今回は GIGA スクール構想に伴い学校現場が大きく変化し、1人1台端末の活用が進み始めた段階の調査でしたので、活用の促進を確認する新しい設問も加えました。新設の設問だけではなく、経年変化を見るために同じ設問を続けているものもあります。回答される方々の負担を考慮しこれまでよりも設問数をかなり削減しました。それでも教育委員会様には 87、学校様には 58 もの設問となりました。

前回に引き続き、GIGA スクール構想以前に児童・生徒用コンピュータのほぼ1人1台環境を実現し、充実した ICT 環境の学校様 220 校からご回答をいただき、一般的な学校様との比較を行い、環境が変わることで、教員や児童・生徒の意識の変容や、先生の授業の方法、進め方が変わるということが推測される結果となっています。

調査結果を見直すと、自治体間の格差はまだまだ大きく、傾向として、大規模自治体と小規模自治体との差が広がっているように感じています。

今後、教育現場では、GIGA スクール端末のより有効的な活用、セキュリティの強化、校務の情報化、クラウド利用、家庭での ICT 活用等これまで以上に変化が求められるものと考えられます。学校を取り巻く環境はますます変化して行くものと思われます。国内調査部会は、教育現場の状況の変化に対応しながら、この調査事業を継続、発展させて行く所存です。皆様方のより一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 日本教育情報化振興会
情報化調査委員会 国内調査部会
部会長 井上 義裕

情報化調査委員会 国内調査部会メンバー

部会長	井上 義裕	株式会社 J M C
副部会長	岩脇 崇	テクノホライゾン株式会社
委員	稲富 裕也	エプソン販売株式会社
委員	加藤 達也	株式会社文溪堂
委員	小関 秀夫	スズキ教育ソフト株式会社
委員	塚原 潤也	株式会社 J M C
委員	西田 理乃	株式会社教育家庭新聞社
委員	久松 雅美	光村図書出版株式会社
委員	森田 憲治	N E C フィールディング株式会社
委員	吉田 隼人	S k y 株式会社
事務局	岩瀬 幹彦	一般社団法人 日本教育情報化振興会

第 14 回 教育用コンピュータ等に関するアンケート調査 報告書

令和 6 年 6 月 1 日発行

編集・発行 一般社団法人 日本教育情報化振興会

〒105-0001

東京都港区虎ノ門 2-10-1 虎ノ門ツインビルディング 1 F

電話 03-5575-5365 FAX 03-5575-5366

URL: <https://www.japet.or.jp/>

禁無断転載

COPYRIGHT © 2024 一般社団法人 日本教育情報化振興会

This page is intentionally left blank

This page is intentionally left blank



Japan Association for Promotion of Educational Technology

一般社団法人 日本教育情報化振興会